

実践女子大学図書館所蔵

黒川文庫目録

【新版】

実践女子大学図書館
実践女子大学文芸資料研究所
編

実践女子大学図書館所蔵

黒川文庫目録【新版】

実践女子大学図書館
実践女子大学文芸資料研究所
編

実践女子大学の古典籍と黒川文庫

実践女子大学は、渋谷区の常磐松の地にあった昭和二〇年（一九四五）五月二五日、午後一〇時頃の空襲のため校舎が焼失した。図書館に収められていた典籍・書籍は、本学創設者・下田歌子の遺品と運命をもにした。大正・昭和の交に話題になった新発見の河内本『源氏物語』ほかの金子元臣博士旧蔵本もそれに含まれる。惜しみて余りあることであった。しかし、六〇年余を経て、現在の本学図書館は「山岸文庫」「常磐松文庫」「黒川文庫」その他を具える一大貴重書センターの様相を呈している。その変貌ぶり、進化は、戦後歴代の図書館関係者のたゆまぬ努力の賜物といつてよい。

こうした図書館の中核をなすコレクションの中でも、「黒川文庫」は、現在でこそ明治大学・ノートルダム清心女子大学・日本大学・國學院大學・東京大学・宮内庁書陵部などに分蔵されているものひとつだが、そのもとは黒川春村（一七九九〜一八六七）に端を発し、高弟の身からその跡を継いだ真頼（一八二九〜一九〇六）とその嫡子真道（一八六六〜一九二五）という三代の旧蔵書として知られ、国学者の知囊を明らかにするものであった。本学の所蔵点数・規模は他の所蔵機関と比べてやや小ぶりではあるけれども、「物語」の印を捺してある、中古・中世の物語・説話、近世文芸を中心とする典籍群で、古典散文の研究者にとっては、貴重な文献の集積——俗っぽくいえば「宝の山」——といえるものであり、「山岸文庫」「常

磐松文庫」とともに実践女子大学の知的財産の根幹をなすものといつて間違いない。

したがって、本学図書館の方々を中心に所蔵貴重書の整理がなされるとともに、黒川文庫についての目録の作成が早くに試みられたのは当然のなりゆきではあった。昭和四二年一月三日付で刊行された『黒川文庫目録』（以下「旧版」と略称する）は、当時の司書・山口つゆ氏のほぼ独力によって編まれた、と仄聞している。しかしその後、図書館は、旧版以来古典籍の充実に力を注ぎ、黒川文庫にも相当点数の追補が見られるようになった。さらに「物語」の部に直接間接に関わり合う専門の立場から見ると、旧版の記述はやや簡略に過ぎて、使用の範囲がかなり限定されるという憾みがあり、斯界では他の「山岸文庫」「常磐松文庫」とともに完備された資料の公開が望まれてきた。

平成二二（二〇一〇）年度、文芸資料研究所は「近代初頭期における古典籍蒐集の文献学的研究とその展開——黒川春村・真頼・真道と黒川文庫をめぐる考察——」という課題のもと、学内特別研究の補助金を受けることになった。これを機に、図書館と共同で当該文庫所蔵本の書誌の再調査・整理をおこない、旧版『目録』の新訂増補版を企画、編集する運びとなった。そしてその結果が本目録であり、また「新版」と称するゆえんである。

ただ、三〇〇点を軽く凌駕する典籍の調査を行うには、時間の制約があり、かつ文芸資料研究所・図書館の日常の業務の合間での作業であって、人手の制約もあった。目録の制作には慎重を期したものの、思わぬ過誤があるかも知れない。この度公刊を試みるのも、ひろく情報を共有財産とし、さらに識者に諮ることによって補完を果たしてゆきたい、と考えるからである。如上の次第のとおり、忌憚なく叱正、ご教

示を被りたい。

「黒川文庫」について、現在のところ最新の包括的研究は柴田光彦氏の「黒川文庫の変遷について」（『黒川文庫目録 索引編』青裳堂書店、二〇〇一年九月刊、所収）であるが、本学の黒川文庫については、早く一九八一年に本学の図書館学課程教授であった永田清一氏が、体系的な論稿「黒川文庫」（『実践女子大学文学部紀要』第二三集、一九八一年三月）を公表している。この稿あればあらたな概説は必要あるまいと考え、かつ同論が現在では稀覯であることもあって、本目録の判型にあわせて、初出からやや縮小して収めることとした。参照されたい。

なお、今回の企画の出発点となった学内特別研究に関して、棚田輝嘉文学部長の尽力があったこと、さらに図書館の全面的な協力・協働作業があったことを銘記しておきたい。本目録の文責は文芸資料研究所にあることも付記しておく。

二〇一一年三月

実践女子大学文芸資料研究所所長

横井 孝

目次

実践女子大学の古典籍と黒川文庫

3

黒川文庫目録 書誌解題

9

I	物語の部	11
II	日記・随筆の部	139
III	説話の部	165
IV	中世・近世小説の部	189
V	雑の部	243

黒川文庫 印譜 (抄)

277

永田清一「黒川文庫」〔実践女子大学文学部紀要〕第二三集、一九八一年三月より転載

303

黒川文庫目録

書誌解題

凡例

本目録は、実践女子大学黒川文庫所蔵本の書誌を一覧したものである。以下の必要と思われる諸項目にわけて記載した。本学所蔵本は黒川家の分類では一括して「物語」の部に収められたものであるが、本目録では、便宜として「物語の部」「日記・隨筆の部」「説話の部」「中世・近世小説の部」「雑の部」の部立を仮設して掲げた。あくまでも便宜的な措置である。黒川文庫に蔵する「地図」「烏帽子雛形」「典侍装束一具雛形」の類は、書籍と同等の扱いはできないため、おおむね旧目録に依拠し、わずかに加筆するに留めた。今後の課題としたい。

1 通し番号、書名、刊写の別、巻冊数、新版では追補分を含めてあらたに通し番号を付した。旧目録のそれは書名の後に「」を付して示した。

2 「表紙」色・文様を挙げた。なお、その用語は「表紙文様集成」(国文学研究資料館『調査研究報告』第二五号別冊、二〇〇四年一月)を参照したところがある。

3 「寸法」〔縦〕* * cm ×〔横〕* * cmの表記とした〔縦・横の文字は表記しない〕。新版作成にあたって全点再調査し、旧目録と差が生じたところが少なくないが、いずれも誤差の範囲であることが多い。

4 「外題・内題」外題の存否、形状(題簽など)をなるべく詳細に挙げた。

5 「料紙」楮紙・斐紙・鳥の子紙などの別を簡略に記した。

6 「体裁」装丁の状態を、「綴じの形態」「二面の行数」「墨付丁数」の順に掲げた。

7 「印記」その押印された場所の情報も、当該書の伝流に関係することと考えられるため、なるべく詳しく掲げた。なお、主な印記は別に「印譜」として一括して示した。本学所蔵書目の殆どには「物語」の丸印が表紙右上に捺されるのが通例であり、この項目からは除外した。

8 「奥書」〔識語〕〔刊記〕は刊写によって、適宜挙げた。本奥書の類も必要に応じて引用した。

9 「備考」以上の各項目以外の、あるいは補完として重要と思われる事項を簡略に示した。

10 「参考」当該書を直接研究対象とした、あるいは言及した文献の中で、重要と思われる参考論文等を適宜挙げることにした。この項目を省略した書目は少なくない。

本目録は左に示すように、四人の分担作業で成った。旧目録の番号を示せば、すなわち、

〔一〕～〔二〇〇〕〔二〇一〕～〔二〇九〕……………上野英子
〔二〇一〕～〔二〇〇〕……………横井孝
〔二一〇〕～〔二四〇〕〔二六三〕～〔二八八〕〔追補〕……………越後敬子
〔二四一〕～〔二六二〕……………松原哲子

が担当した。目録作成に関する事務全般にあたっては主に上野が、目録の構成・整理は主に横井が担当した。

I 物語の部

1 たけとり物語

(二)

版本、二巻、一冊。〔表紙〕紺無地紙表紙。〔寸法〕

二七・四cm×一七・二cm。〔書題〕左肩に白無地刷題箋を貼

付□□とり物□。損傷甚だしい。右肩に「尊鎮法親王本校合」と朱書。巻首題「たけとり物語」「たけとり物語 下」、尾題

「たけとり物語上終」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴（五孔）。前見返し剥脱。前遊紙一丁（四周単郭、版心上黒魚尾の印刷紙。後綴時に補ったものか）。四周単郭。

〔たけ上 一（二二二）〕「たけ下 一（十九終）」。無界。一面行数二行。第二丁のみ補修。

〔印記〕各冊一丁表「（神代文字）」（賀茂真淵）（緑印）、「黒

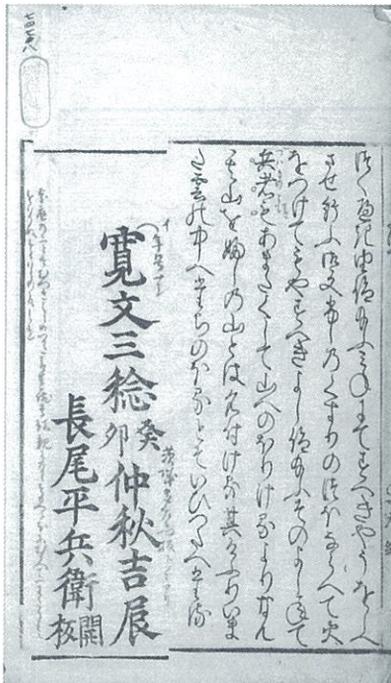
川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕下巻一九丁裏「寛文三稔癸吉辰／長尾平兵衛開」。

〔備考〕「絵入竹取物語」本文部分の板木を利用したのか。

一丁オの付箋に「昭和九年辰九月五日／得此活本即校合／一ト云ニ活本之／左ニ〇点ハ活本ニ无之（墨書）／青 青蓮院

尊法親王／真跡本（朱書）」とあり、本文中にも朱墨二種類の校合書入れがある。



2 絵入竹取物語

(一)

版本、二巻、二冊。〔表紙〕黒無地表紙。〔寸法〕

二五・〇cm×一七・三cm。〔外題・内題〕表紙左上刷題簽入「

竹とり物語 上(下)」。内題・尾題「たけとり物語」、柱刻「た

け上(下)」。版心「たけ上 一(二十二)」「たけ下 一(

十九終)」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。四周単郭。無界。一面二一行。絵入本。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川

真道藏書」朱印。上冊二丁才「英文」(黒印)。

〔刊記〕下冊末尾「茨城多左衛門板」。下巻裏表紙見返し

「三都発行書肆／江戸日本橋南巷丁目 須原屋茂兵衛／同武丁目

山城屋佐兵衛／同下谷地池端仲町 岡村庄助／同今川橋南詰 永楽

屋東四郎／京三条通御幸町角 吉野屋仁兵衛／大阪心斎橋通北久太良

町 河内屋喜兵衛板／同心斎橋通備後町 河内屋卯助行)。





 へきさこああくひりあちよりおまれら
 ちあくをゆゑとては子とまれとく
 きふもやとぬとてさき事おけり
 まんりむされまけとゆふひくお
 けくよたりは子いとおゆきおぬまは
 おむとひんをのあさとよびてけけさ
 きなま竹のやひあど竹のひねり
 らあけあそふうのあまひきまけ
 とさうけきういふはけいへき
 くあそく世界のこれこあてかるとや
 もいってこのやひんをえとて

3 竹取翁物語解

田中大秀著
山崎弘泰・
長瀬俊香校

(三)

版本、六卷、六冊。〔表紙〕原表紙。支子色布目地に海松菱散らし文様表紙。〔外題・内題〕左肩に刷題簽（二七・八cm×三・五cm）貼付「竹取翁物語解 首（一〜五止）」。内題「竹取翁物語解」、巻首題・尾題・版心題「竹取翁物語解」。第一冊目表紙右上「真頼書入本 共六冊」と墨書。

〔寸法〕二六・四cm×一八・二cm。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴（四孔、黄色綴糸。角切れ付き）。各冊前遊紙一丁。版式は四周單郭。内郭二〇・〇cm×一四・六cm。無界。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」。「卯記有貞」（各冊題簽、本文一丁表）。

〔刊記〕第一冊目巻末「文政十一年歲次戊子三月功畢 田中大秀著并書／山崎弘泰 長瀬俊香同校」。最終冊後見返し「尾張桐園藏板／天保二年^{卯辛}初夏発兌／江戸下谷池之端 須原屋伊八

／京堀川通高辻上ル 植村藤右衛門／大坂心齋橋北久太郎町



河内屋喜兵衛／同唐物町 河内屋太助／尾州名古屋本町十丁目
松屋善兵衛。

4 伊勢物語〔角倉本〕

〔四〕

古活字版、二巻、二冊。〔表紙〕雲紙後補表紙。〔寸法〕

二五・八cm×一九・二cm。〔外題・内題〕左上に打付に「伊

勢物語 上(下)」墨書。上冊のみ、右上に「角倉本」右下に「共
二冊」と墨書。〔料紙〕鳥の子(具引き料紙)。

〔体裁〕袋綴。前後遊紙各二丁。一丁目裏より書写。一面九行。
柱刻なし。絵入本。

〔印記〕上冊二丁表「光鴻」。下冊跋「光鴻」。下冊二丁表「幽
真閣圖書印」。下冊二丁表「□農」各冊二丁表「黒川真頼藏書」
「黒川真道藏書」。下冊後見返し「筒井藏書」。

〔刊記〕「伊勢物語新刊世酷多矣然京極黃門一本ノ之奥書云此
物語之根源古人之説々不同云々而今以天福年所被与孫女本
正之猶恐有ノ慶長己酉(一六〇九)仲春上澣日」。

〔識語〕「文政と、せ。はる正月ノ学古堂よりあさくさノにも
とめぬ 『光(印)』印(墨書)」



みら乃くの思ふもちすりてまゆへ小
見ふ道とめみわむふなるこ
肥いふうさお心りなわさう人無かく
いらるやまこやひをな丸一々教
あーおとくありけりな乃京ハはふ
神々の京ハ人乃い点まふき大満るべり
覺難時に西遠京不り女あわらわらぬ
女世人不りハまをまららわらぬ人わら
ふわはんお海さるさわお教とらわら

〔備考〕『増補古活字版之研究』四三〇頁。第三種本。

5 伊勢物語

〔五〕

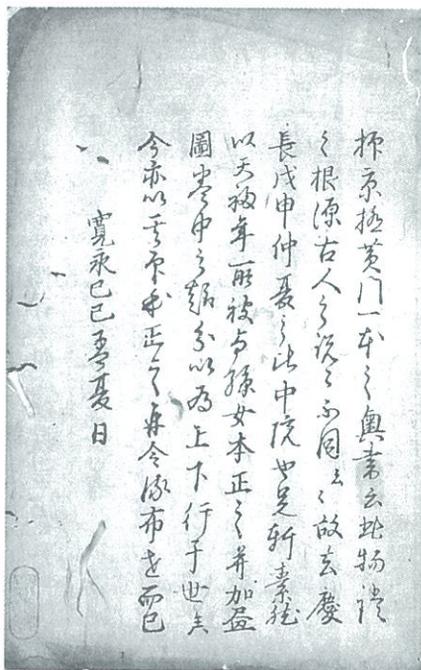
版本、一卷、一冊。〔表紙〕青の打曇地に草花蠟せん模様入り紙表紙。左肩に金箔題簽貼付（二・八・四cm×四・九cm）貼付「伊勢物語□」と墨書。表紙右上に「寛永版」の朱書。〔寸法〕二・八・二cm×二〇・一cm。〔料紙〕楮紙。全冊裏打ち補修済み。〔体裁〕袋綴。一丁表はもと白紙、後に業平略伝の書入がなされた。一丁裏より本文が始まる。無郭無界。一面二行一行三〇字内外。和歌は改行二行分かち書き、和歌の終わりは改行して地の文がつづく形式。

〔印記〕一丁表□□井高朗之図書記「松田藏書」「黒川真頼藏書」
「黒川真道藏書」。

〔刊記〕末尾「抑京極黄門一本之奥書云此物語ノ之根源古人之説々不同云々故去慶ノ長戊申仲夏之比中院也足軒素然ノ以

天福年所被与孫女本正之并加画ノ図卷中之趣分以為上下行于世矣ノ今亦以其印本正之并令流布世而已ノ寛永己巳（六年、一六二九）孟夏日」。

〔備考〕本文は定家の根源本系。後代書入れ者が、一丁表に墨筆で業平略伝を書き入れ、本文中にも詳細な書入れ注を施している。



6 真名伊勢物語

〔六〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕青灰色布目地表紙。〔外

題・内題〕表紙左上に青墨墨流しと金泥霞引きを施した題箋

（二九・一cm×三・六cm）貼付「真名伊勢物語 全」と墨書。

内題「真名伊勢物語 六條宮御撰」。表紙右上に「古写本」

と朱書。〔寸法〕二六・三cm×一九・〇cm。〔料紙〕楮斐漉

き混ぜ。〔体裁〕袋綴（五孔、後綴本）。一面八行。

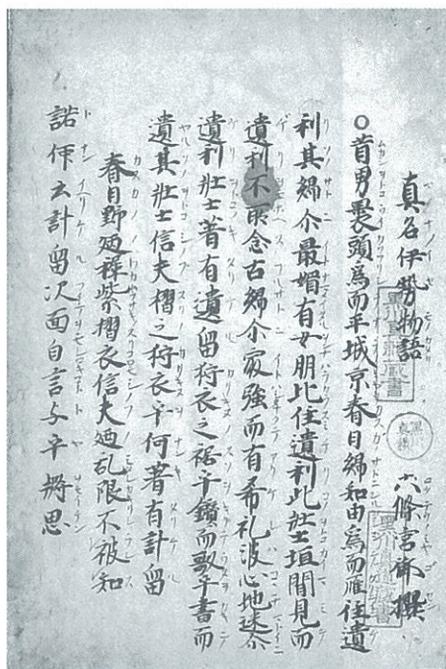
〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕各段冒頭は改行一字下げ、朱の「〇」印を冠す。和

歌は改行一字下げ一行書き。上巻は二五丁表の馬のはなむけの段まで。ウラを白紙にし、下巻は二六丁表から始まる。本

行は全文漢字表記で、傍らに朱筆による片仮名による振り仮名が加わる。



7 真名伊勢物語

〔七〕

版本、二巻、一冊（上下合綴）。〔表紙〕薄緑色無地表紙

（後補表紙）。〔寸法〕二六・二cm×一八・一cm。〔外題・内

題〕表紙「真名伊勢物語 全」と墨書。内題「真名伊勢物語

ろくてうのみやこせん
六條宮御撰」、版心「いせ」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴(四孔)。四周単郭。内郭二〇・二cm×一五・四cm。無界。一面八行。版心、上下に花口黒魚尾。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕末尾「寛永廿未癸(一六四三)歳九月吉日/二條通鶴屋町/澤田庄左衛門板行」。

〔備考〕各段冒頭は改行一字下げで、「○」印を冠す。和歌は改行一字下げ一行書き。本行は全文漢字表記。

8 真名伊勢物語

(八)

版本、二卷、二冊。〔表紙〕渋引き紙表紙。〔寸法〕

二七・二cm×一八・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題箋

(一七・七cm×三・一cm)貼付「真字伊勢物語 上(下)」。7『真

名伊勢物語』に同じ。〔本文料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴(五

孔)。四周単郭。内郭二〇・三cm×一五・四cm。〔印記〕各冊

巻頭卷末「賢木園文庫」(内藤広前)。一丁表「黒川真頼藏書」
「黒川/真頼(丸印)」。「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕第二
冊末尾「寛永廿未癸九月吉日/二條通/沢田庄左衛門板行」。



9 日本伊勢物語 建部綾足 (九a)

版本、二卷、二冊。〔表紙〕薄縹色地に茶色梅枝表紙。〔寸法〕

二七・〇cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙中央に複郭刷

題箋(二九・五cm×三・四cm)貼付「日本伊勢物語 上(下)」。

内題「伊勢物語上(下) 綾太理校訂」、尾題・版心「伊勢物

語。上冊表紙右上に「真頼書入本」と朱書。

〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴(五孔)。四周単郭、内郭二〇・五cm×一五・二cm。

版心の上黒魚尾、版心題を記載。

〔印記〕各冊一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒

川真道藏書」。

〔刊記〕「明和六年(二七六四) 初秋発行 風月莊左衛門」(下

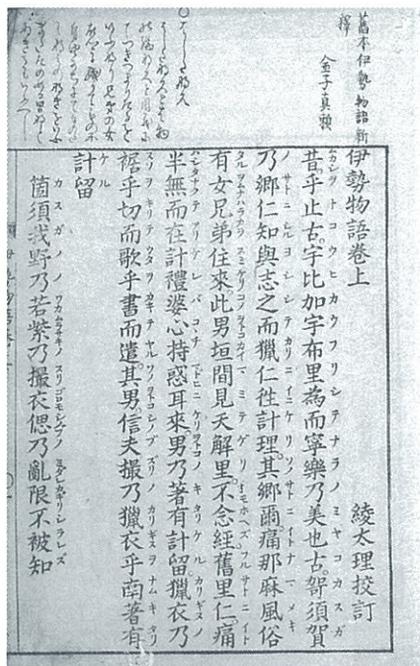
冊最終丁の匡郭外に新たな匡郭を補って印刻)。

〔識語〕上卷一丁表「日本伊勢物語新釈／金子真頼」上卷末

尾「嘉永三年(一八五〇) 八月廿三日／夜燈火書記畢」。下

卷裏表紙見返し「右者改建部綾足之校訂本之誤而校合補注畢
／真頼／あさりするいせをのあまのくたかみの／みたれこし
すちをとけわけてけり／嘉永三年(一八五〇) 九月八日書記
終」。

〔備考〕次の10〔九b〕と同一表紙。



10 旧本伊勢物語考異 建部綾足 (九b)

版本、一巻、一冊。〔表紙〕薄緑色地に茶色梅枝紙表紙。

〔寸法〕二七・一cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に題箋(一九・三cm×四・〇cm)貼付「旧本伊勢物語考異」。表紙中央に題箋の痕跡がある。内題「伊勢物語卷上(下)考異」、尾題「伊勢物語考異終」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴(五孔)。〔印記〕各冊一丁表「棘圍」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕末尾「明和六年巳丑初秋発行 風月庄左衛門」。

〔備考〕凡例に「こたひ新に彫れる冊子は旧本フルキタとして人のもてりし物なり得て／是を讀にそか中にはまさしに写したかへ或はかい落したりなど／見ゆる事いと多しよて世に真字マナ六条本ロクダウホといふ冊子を引あは／せてをちこちかうかへとりしものなりされと世の中に／いにしへをしのふ人は此考異によりてなほ本文モトツキのたかひめをも／正したまは、おのれらかさいはひなら

む」とある。本書には、文政一三年(一八三〇)九月に田中大秀が鈴屋翁(本居宣長)三三回忌祭にむけて、全国の読者に和歌と「古事記伝」に関する論文を募集した刷り物一枚が挟んである。

11 正本伊勢物語 (一〇)

写本、二巻、二冊。〔表紙〕白地に薄茶草花文様散らし表紙。

〔寸法〕二六・四cm×一八・一cm。〔外題・内題〕左上に題箋(一八・五cm×三・三cm)貼付「正本伊勢物語 乾(坤)」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九／七行。前遊紙一丁。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」。

〔奥書〕奥書・識語等なし。

〔備考〕文末の解説文に「此物かたりの本くさ／＼ありけり契沖抄は今のよになへてもてはやすかな本により岡部の翁はまな本によりてとかれきともにかたよりてわろし」とあり、

また岡部（賀茂）真淵の『伊勢物語古意』にも言及する。

12 異本伊勢物語

〔一〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

三二・六cm×二二・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に「異本

伊勢物語」と墨書。内題「伊勢物語」。〔料紙〕三桎紙。

〔体裁〕袋綴（五孔）。扉一丁。一面八行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川

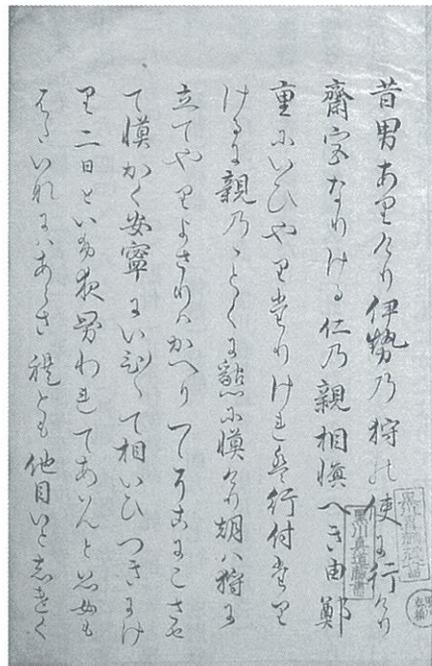
真道藏書」朱印。

〔奥書・識語〕なし。

〔備考〕底本は『伊勢物語絵巻』。但し詞書のみで絵は写していない。

〔参考〕片桐洋一『伊勢物語の研究 資料編』（昭和四四年

明治書院）に、東京国立博物館蔵『伊勢物語絵巻』の対校本として用いられた。



13 伊勢物語知頭集

〔一二〕

写本、三卷、一冊。〔表紙〕 洪引紙表紙。〔寸法〕

二六・六cm×一九・四cm。〔外題・内題〕 表紙左上に打付に

「伊勢物語／知頭集」と墨書。内題「知頭集」。表紙右上に「岸

本由豆流自筆写本」と墨書。また表紙左下に「金本」と朱書。

〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴一面二行。丁付〔一〕〜〔廿

二〕／〔二〕〜〔三十四〕／〔一〕〜〔三十五〕あり。

〔印記〕 一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔識語〕 表表紙見返し「この書は大納言経信卿のある人の間

にこたへられし詞を口伝／してそれをふみにかきつたへたる

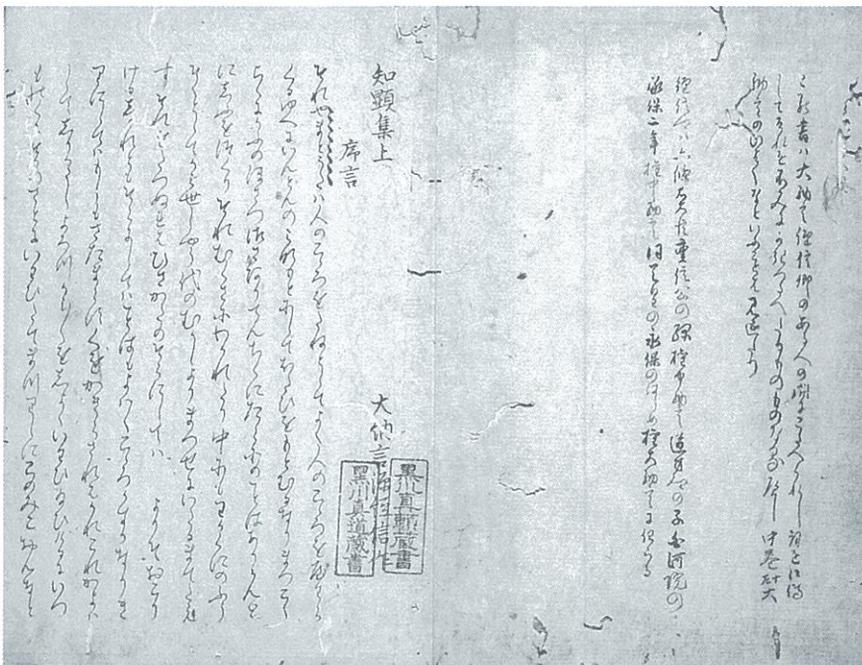
ものなるへし中巻対大／納言のいはくなどいふことは見へた

り／／経信卿は六条右大臣重信公の孫権中納言道方卿の子白

河院の／承保二年権中納言同天皇の永保のはしめ権大納言に

任らるる」(朱書)。

〔備考〕 本文は島原文庫本系。朱筆書人多し。



14 和歌知頭集

〔一三〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕香色無地紙表紙。〔寸法〕

二七・五cm×二〇・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に「和歌

知頭集 序詞言 卷二卷二正 全」と墨書、右上に別筆にて「伊勢物語注」

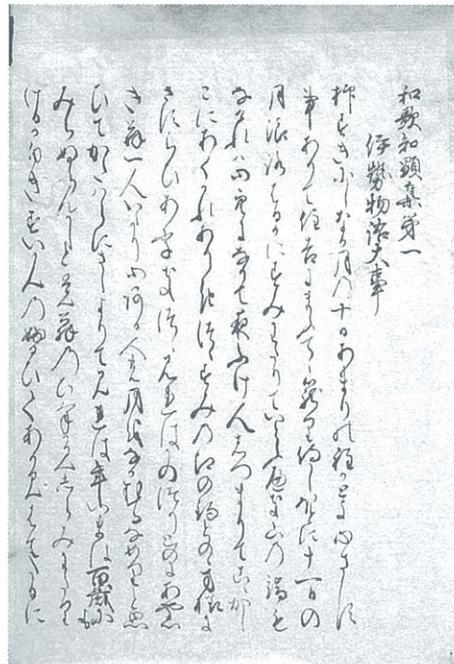
と墨書。〔料紙〕三桎紙。

〔体裁〕袋綴（五孔）。一面一二行。前遊紙一丁。

〔印記〕一丁表右下「黒川真道藏書」「真ノ道」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕本文は宮内庁書陵部藏伝為氏筆本系。但し同本が六巻までであるのに対して、該書は巻二まで。



15 伊勢物語抄

〔一四〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕灰色地に金砂子散らし装飾料紙。

〔寸法〕二二・九cm×一六・〇cm。〔外題〕表紙左上に「伊勢

物語抄」朱書し、右肩に「慶長五年写本」と朱書。

〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面八行。前後遊紙各二丁。〔印記〕一丁表

「黒川真道藏書」朱印。

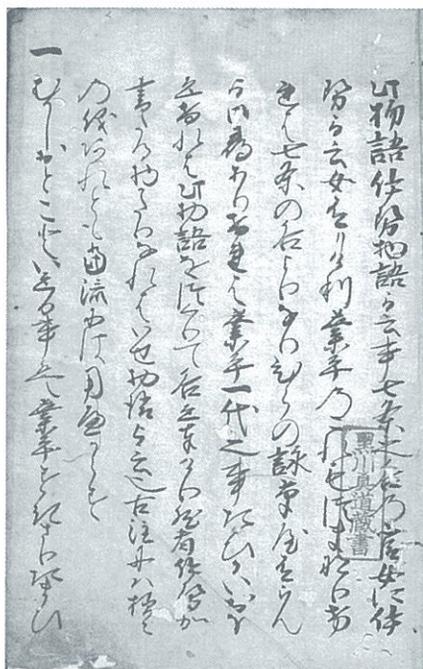
〔奥書・識語〕後遊紙一丁裏「右一品□（虫損）先本之書置候、

相違之所後見ノ之方御なをし可有者也」慶長五年（一六〇〇）

式月廿四日 正信」。

〔備考〕前遊紙二丁表に白無地付箋（寸法一五・七cm×四・〇cm）

貼付、「本多佐渡守正信筆」と墨書。



16 闕疑抄 細川幽齋著

〔一五〕

版本、五卷、五冊。〔表紙〕紺色菱撃ぎ地に草花型押表紙。

〔寸法〕二七・六cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に

子持ち野刷題簽（一五・八cm×三・八cm）貼付（但し第二・三・

五冊目のみ。一冊目は書題簽、四冊目は題簽無し）「闕疑抄」。

柱刻「闕疑一（一五）」。第一冊目表紙右上に「細川玄旨著」

と朱書。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴（五孔）。四周单边、内郭二二・六cm×一七・〇cm。

無界。一面一二行。

〔印記〕各冊表表紙見返し「同津天然寺中／宝樹院藏書記」（黒

印）。一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。各冊末

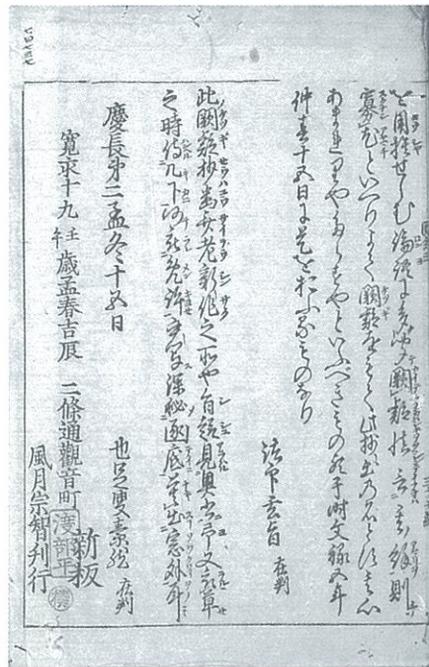
尾「渡部／藏書」「渡部平」朱印、「榛（墨丸印）」。

〔刊記〕「寛永十九年（一六四二）歳孟春吉辰 二条通観音町

／風月宗智刊行」。

〔備考〕第五冊末尾に文禄五年（一五九六）法印玄旨（細川幽齋）

奥書。慶長二年（一五九七）也足軒素然（九条種通）奥書。



17 惟清抄 清原宣賢著 (一六)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地紙表紙（補修済み）。

〔寸法〕二七・〇cm×二一・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に

打付に「惟清抄」と墨書。右上に「日」と墨書。

〔料紙〕楮斐漉き混ぜ（補修あり）。〔体裁〕袋綴。前遊紙一丁。

一面二行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼

（丸印）」「黒川真道藏書」。

〔備考〕前遊紙に「前大納言公条卿筆」と墨書した紙片を貼

付。全冊に朱点・朱合点・読みがなの朱書あり。本奥書とし

て、大永壬午曆（一五二二）堯空（三条西実隆）奥書、天

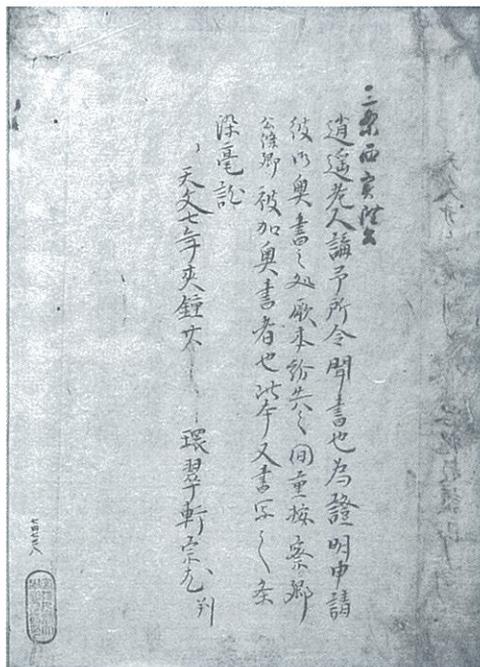
文六年（一五三七）悪槐都護郎（三条西公条）奥書のあと、

〔逍遙老人講予所令聞書也為証明申請／彼御奥書之処闕本紛

失之間重按察卿／公条卿被加奥書者也此本又書写之条／染毫訖

／天文七年夾鐘廿 環翠軒宗尤判」とある。宗尤は清原宣賢

の外祖父。



18 伊勢物語聞書

(一七)

写本、二卷、二冊。〔表紙〕紺無地紙表紙。〔寸法〕
 二六・五cm × 一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題箋
 (一五・一cm × 三・三cm) 貼付「伊勢物語聞書 上(下)」と墨

書。内題「伊勢物語聞書上(下)」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。〔奥書〕なし。〔印記〕各冊一

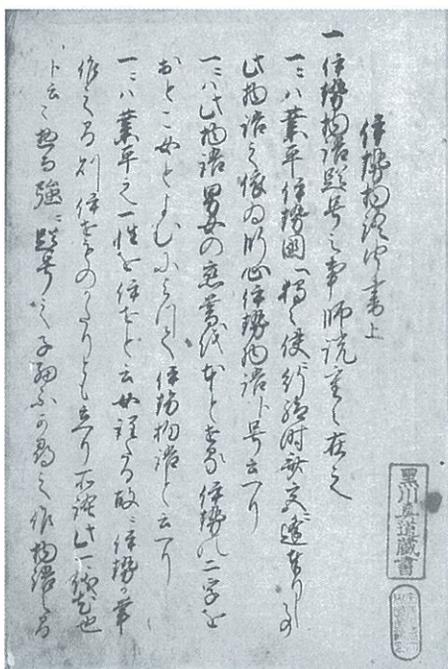
丁表「黒川真道藏書」朱印。〔備考〕題号の由来に關する

注記に、「…一には業平之一性を伊せと云女注たる故に伊勢

か筆／作之間則伊せものかたりとも云へり所詮此一儀尤也ト

云々惣而強に題号之子細不可尋之作物語之間」只大かたに可

心得也と師説如此也」(一〇ウ)とある。



版本、一一卷付一卷、三冊。〔表紙〕縹色菱繫地に草花型

押文様表紙。〔寸法〕二七・八cm×一八・六cm。〔外題 内題〕

表紙左上に子持ち罫刷題簽(一七・〇cm×三・八cm)貼付「伊

勢物語集注」。各冊刷題簽に「從一／至四」「從五／至八」「從

九／至十一止」と墨書。内題「伊勢物語集注」、柱刻「集注」。

第一冊目表紙右上「僧切臨編 承応版」と朱書。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴(五孔)。無郭無界。一面二一行。付一

巻のみ版心に巻序なし。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒

川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

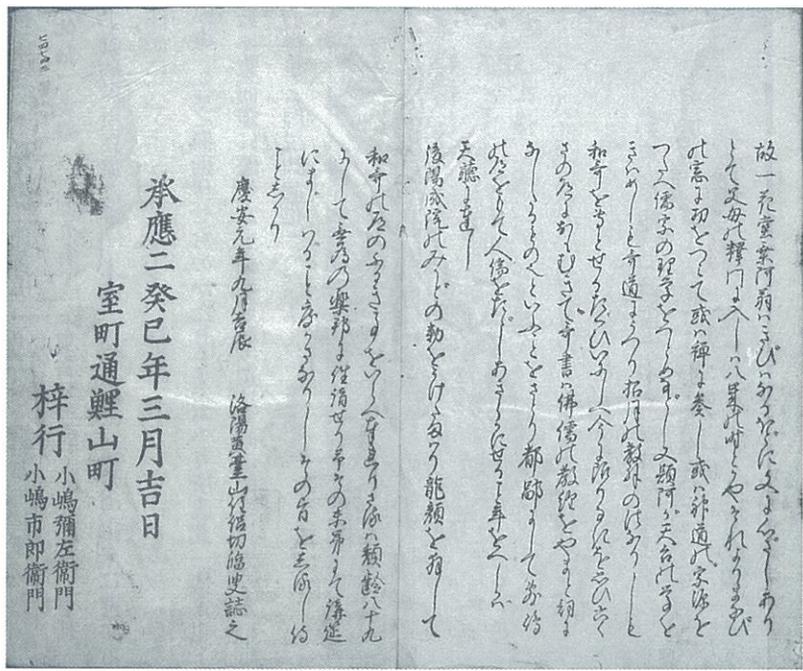
〔刊記〕第三冊末尾「承応二癸巳(一六五三)年三月吉日／

室町通鯉山町／梓行 小嶋彌左衛門／小嶋市郎衛門」。

〔備考〕慶安戊子(元年、一六四八)切臨自序・自跋。注釈

は巻十一半ばで終了、以下「天福本奥書」「伊勢物語系図」

を掲載し、最終巻に切臨説を叙す。



承應二癸巳年三月吉日

室町通鯉山町

梓行 小嶋彌左衛門
小嶋市郎衛門

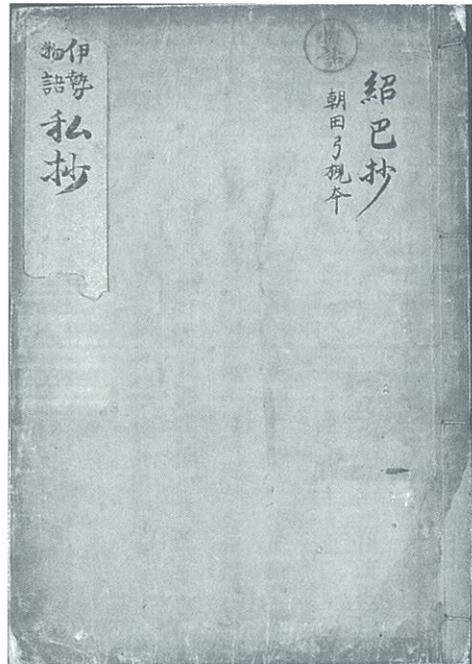
慶安元年九月管辰 洛陽蓬蓬山後切臨史誌之

故一花室案阿頼のこひひのうたはたよふとふとあり
とて又女代釋門よ入一八里のゆとやそれかりとび
れ志と切とつて疎の禪と奏一或は神道此宗法を
つて入佛宗の理をうつるまゝ又顯阿の云はれすと
ふらりといす道まうつり招月此教のほかりとい
和奇とせとせざるほひのみ一今もあつるををひひ
まのなまのむとてす書に佛傳の教説とやと相
れをとりて人傳と云一あまうとせざる年とふ
天徳と云一
後開感降れみのの勅とけりなる龍類と稱して

20 伊勢物語私抄

〔一九〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕
二七・三cm×一九・二cm。〔外題・内題〕 表紙左上に題簽貼
付（下部破損）「伊勢私抄」と墨書。表紙右上に「紹巴抄／淺
田弓槻本」と墨書。〔料紙〕 楮紙。
〔体裁〕 袋綴。一面一二行。
〔印記〕 一丁表・最終丁裏「黒川真道藏書」朱印。
〔奥書〕 なし。
〔備考〕 本奥書「元龜三年迄六百九十三年に成畢／良近式部
宇合之子孫也式家之初此宇合大力也／北家者忠仁公也于今榮
花也／永祿八林鐘朔立筆同晦及黄昏終功了／一授初秋朔午刻
／紹巴在判」慶長十癸丑年初秋廿六日終功了／慶純在判（但
し、慶長一〇年の干支は乙巳）。



21 山口記

〔二〇a〕

写本、一綴。〔料紙〕 三椋紙。
〔体裁〕 料紙右上を紙こよりで仮綴じ。〔備考〕 次に掲げる
版本（22 Ⅱ（二〇b））の一部を転写したもの。

22 山口記

〔110b〕

版本、三卷、一冊。〔表紙〕縹色無地紙表紙。〔寸法〕二六・四cm×一六・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽剥離の痕跡あり、その上に打付書「山口記 上中下」墨書。内題「山口記」。表紙右上に「宗祇法師著」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。四周单边。無界。一面一〇行。丁付あり〔一〽二〕／「又一〽又二」／「二〽十七」／「一〽



三十四終〕／「一〽三十五」。〔印記〕一丁表「阿波国文庫」
「不忍文庫」(屋代弘賢)「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱
印。裏表紙見返し「阿波国文庫」朱印。
〔刊記〕裏表紙見返し「寛文八年(一六六八)孟秋吉辰／中
野半兵衛刊行」。

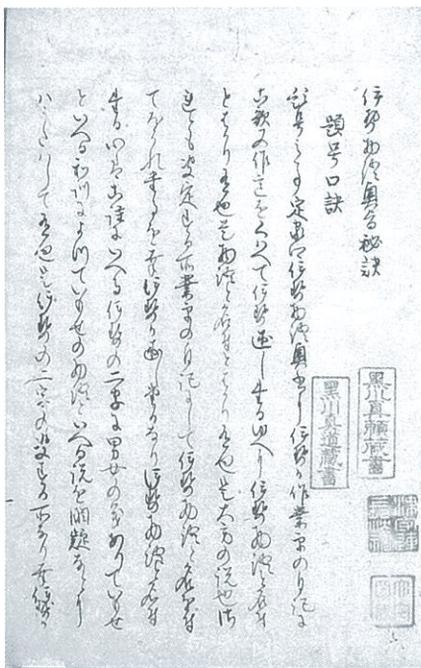
23 伊勢物語奥旨秘訣

〔二一〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕白地に緑で草花描画紙表紙。〔寸
法〕二七・〇cm×一九・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に「伊
勢物語の伝」と墨書、内題「伊勢物語奥旨秘訣」。表紙右上に「二
条家の伝」と朱書。〔料紙〕楮斐漉き混ぜ。全冊補修済み。
〔体裁〕袋綴。前遊紙一丁。一面一〇行。墨付一五丁。
〔印記〕一丁表「津宅連長□□」「大宅圀成」「黒川真頼藏書」
「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。
〔奥書〕「右伊勢物語秘訣の条、七箇の大事は二条家の／正説

誠秘中之秘也依年来之懇望嫡伝之趣不相／残授之訖如誓盟容易不可漏脱者也／慶安三年（一六四八）八月十六日 長頭丸在判」「右伊勢物語之口決之品々七箇大事者二条家之／正説而説先師明心居士伝授之趣也、於此道□為／年来深切伝来相承之条故不相残授之訖如誓盟／函底非堪其著者猶不可有漏脱者也／寛文八戊申（一六六八）歳二月廿二日 広沢隠士長孝在判」。

〔備考〕「題号口決」「極秘裏説条目口決」「極秘七箇大事」の三部よりなる。



24 後水尾天皇勢語御講抄 (二二)

写本、六卷中四卷、四冊存。〔表紙〕白色銀砂子散らし表紙、

天辺に緑色鳳凰等文様。〔寸法〕二二・八cm×一六・八cm。

〔外題・内題〕表紙中央に香色題箋（一六・二cm×三・〇cm）

貼付（第二冊目題箋剥落）。「後水尾天皇勢語御講抄 三 比

（六 御□頌 止）」と墨書、巻序のみ朱書。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。前遊紙一丁。一面二二行。

〔印記〕各冊二丁表「鳩」「閑雅文庫」（佐竹義路）「黒川真頼

蔵書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道蔵書」朱印。

〔奥書・識語〕「以飛鳥井一位之秘本写之／元禄十四年

（一七〇一）辛巳卯月十六日 随宜堂」「右此御講鈔は自ら都

に在し時やん／ことなき縁にしありてかりうけ拙き筆して

／写しまふけたりしか今己に齡八十歳に／成けるにみの、国

□引のさと内田氏／なる女性わりなくのそましく思はれ／け

るにより今はとて彼方へ送りあたへ／侍りし序に／此文をひ



らきて見ます折／＼に／おもひも出よ水くきのあと／享保十二（一七二七）末の秋文月 伊勢国八十瀬 随流／内田氏おり代雅女「延享元年（一七四四）多田三郎源義憲判」「明和七年（一七七〇）景儻」。

〔備考〕各冊の題籤、第一冊「後水尾天皇勢語御講抄 四」、第二冊「（同）五 雅」、第三冊「（同）六 御□頌 止」（第四冊目）。講釈日付、三冊目「第五度 七日」、四冊目「第七度 十一日」、五冊目「第九度 十九日」、第六冊目「第十一度 廿二日」。

25 伊勢物語拾穂抄 北村季吟 〔二三〕

版本、五卷、二冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二五・六cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題箋（一八・八cm×三・七cm）「伊勢物語拾穂抄 上（下）」。上下冊とも右肩に「真道本」と朱書。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。上册に卷一～二、下册に卷三～五を収載。四周単郭、無界。一面二二行。版心に丁付「二」～「二十四終」／「二」～「二十終」／「二」～「廿三終」／「二」～「廿六」／「二」～「八」あり。〔印記〕各冊一丁表「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕卷五末尾「延宝八庚申年仲秋吉辰／藤野九郎兵衛梓」。〔識語〕上卷末尾「大正三年十二月一読了、但少々諸説及愚考書入 黒川真道」（朱書）。下册卷四末・卷五卷頭、「大正五年十月一読聊加愚見了 黒川真道」（墨書）、「大正七年五月十五日更に再考を加へり 汲古学人」（朱書）。上册表表紙

見返しに「真道云予ノ書キ入レタルハ父真頼ノ説ト又予ノ考トナリ其ノ他ハ出典ヲノ記シオキタリ」と墨筆。

26 伊勢物語拾穂抄 北村季吟 (二一四)

版本、五卷、二冊。〔表紙〕若草色草花型押表紙。〔寸法〕

二六・八cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽

(二八・〇cm×三・三cm) 貼付「伊勢物語拾穂抄上(下)」。上

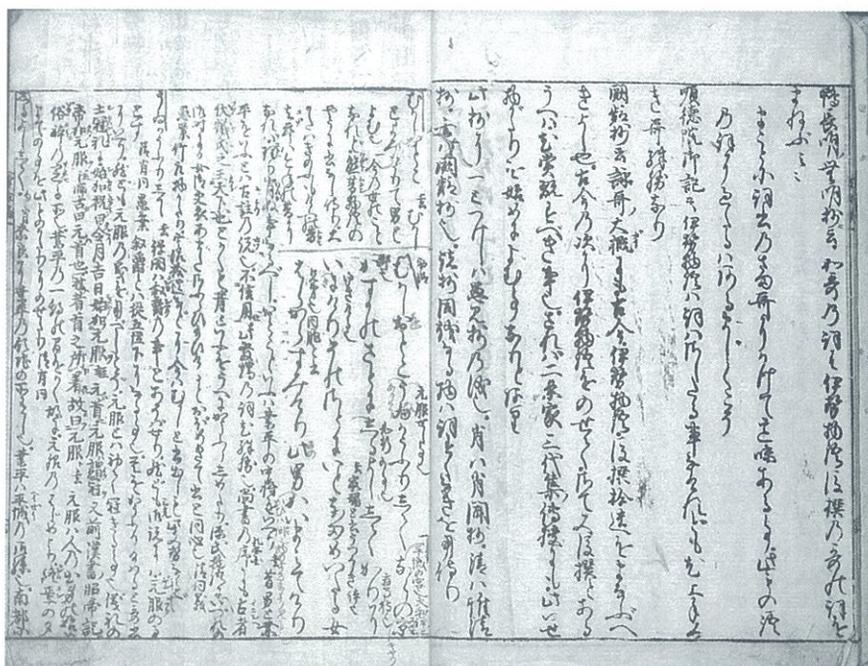
下巻とも右肩に「真道本」と朱書。

〔体裁〕前後見返し紙金箔散らし料紙。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川

真道藏書」朱印。

〔備考〕全冊に朱・茶・青・緑・墨色筆による書入や、付箋がある。



27 伊勢物語拾穂抄 北村季吟 (二五)

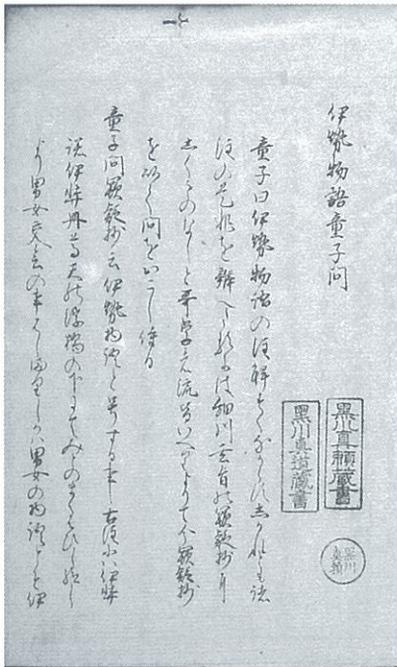
版本、五卷、一冊。〔表紙〕布目地卵色紙に上段に渋染め、下段に松葉と松ぼっくりを細画する。〔寸法〕二七・三cm × 一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付に「伊勢物語拾穂抄 全」と墨書。〔体裁〕袋綴（五孔）。内郭二二・二cm × 一七・三cm。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕卷五末尾「延宝八庚申年仲秋吉辰／長尾平兵衛門開刊」。

28 伊勢物語童子問 荷田春満 (二六)

写本、一三卷、一三冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕

二七・二cm × 一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付書「伊勢物語童子問 一（十三）」と墨書。第一冊目のみ右上に「荷田春満著」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。各冊とも剥がれた表紙見返し表に扉題を記す。一面九行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔備考〕「童子問」「答」形式で展開。第一三冊目最終「答」に、「荷田宿禰春満答」とある。



29 伊勢物語古意 賀茂真淵 (二七)

版本、六卷、六冊。〔表紙〕薄藍色布目地表紙（原裝）。

〔寸法〕二五・六cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙中央に

刷題箋（一七・九cm×三・四cm）貼付「伊勢物語古意 一（

六）」。第一冊目のみ、右肩に「賀茂翁著」（朱書）右下に「共

六冊／外善悪一冊添」（墨書）。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋

綴（五孔）。各冊前遊紙一丁（第二冊目を除く）。無郭・無界。

卷一―四六丁、卷二―三〇丁、卷三―三三二丁、卷四―三二丁、

卷五―三〇丁、卷六―三三二丁。上下二段（頭注形式）で、下

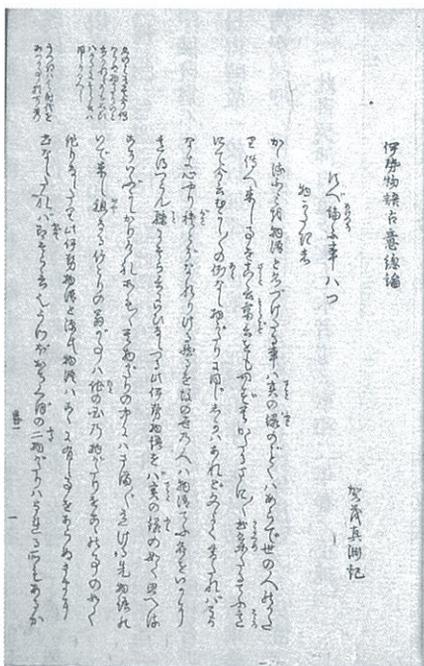
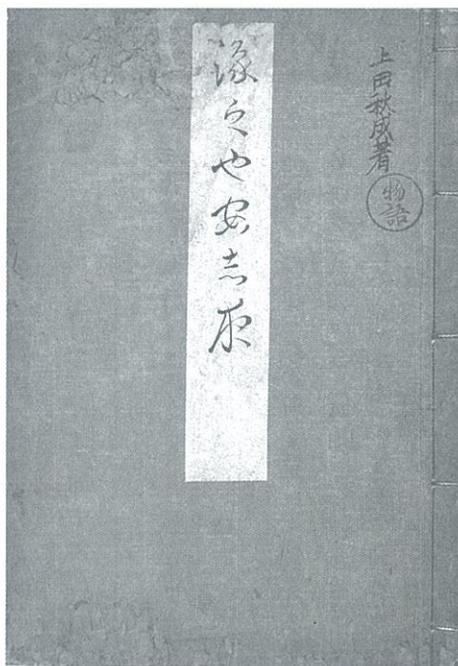
段の本文は一面一三行。〔印記〕各冊一丁表「萩家毛登」黒

川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔備考〕表紙裏反故に、役者絵めいた墨筆の戯書。表紙書入

れにいう「共六冊／外善悪一冊添」の「善悪一冊」とは、次

の30「二八」を指す。一具か。



30 よしやあしや 上田秋成

(二一八)

版本、一巻、一冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕二五・八cm×一八・二cm。〔外題〕表紙中央に刷題箋(一七・九cm×三・三cm)貼付「よしやあしや」。右上に「上田秋成著」と墨書。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴(五孔)。前遊紙一丁。無郭・無界。一面一三行。版心に版心略題「ヨ」と丁付「一(二二)」。

〔印記〕前遊紙一丁表「萩家毛登」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」。巻六末尾「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕後見返し「寛政五年癸丑秋九月／書肆／東都 西村源六／浪華 松村九兵衛／同 洪川與左衛門」。

〔備考〕装丁等、前項目29(二七)とほぼ一致。

31 勢語臆断 契沖

(二一九)

版本、四巻、四冊。〔表紙〕花菱繋ぎ型押し文様栗皮表紙。〔寸法〕二六・六cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題箋(一九・〇cm×三・七cm)貼付「勢語臆断 上之上(下之下)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。前遊紙一丁。無郭・無界。一面二行。版心には「〇」記号のみ。第四冊目奥に流布本奥書・業平卒伝を転載。〔印記〕各冊一丁表「黒川真道藏書」朱印。

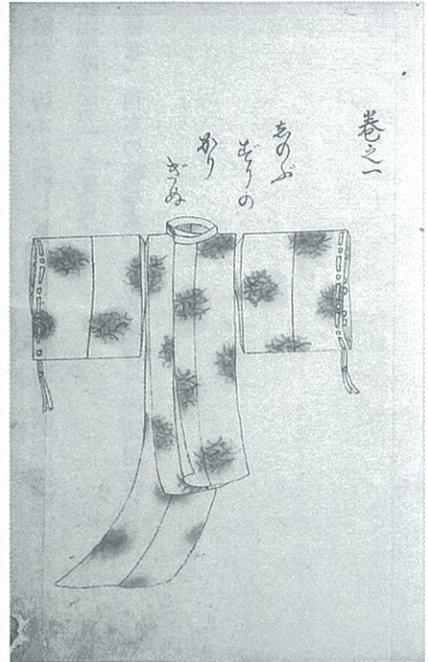
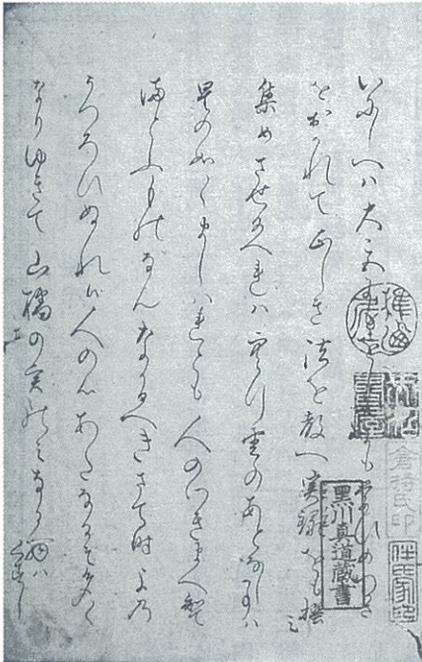
〔刊記〕巻四末尾「右此勢語臆断四巻先年艸之然其稿本甚汗穢自猶不得説仍去春誕老兄写彼稿本／然無閑暇不能校合近日得暇故一校以加改／正畢／元禄五年 季秋初三 密乘桑門釈契沖／再記仮名依日本紀万葉集和名鈔等後覽之人莫恠之矣」「此書契沖自筆之本上木者也／享和二年春／正純」。

33 勢語図抄 斎藤彦磨

〔三一〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕二六・四cm×一八・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に四周単郭題箋（二七・八cm×三・七cm）貼付「勢語図抄 卷之一」（三）と墨書。内題「勢語図抄 卷之一」（三）／藤原彦磨著。第一冊目のみ表紙右上に「彦磨翁自筆原本」、右下に「欠本 共三冊」と墨書。〔料紙〕第一・三冊、野紙箋（四周複郭、有界十行）。第二冊（絵図）、楮紙。〔体裁〕袋綴。一・面行数不定。〔印記〕各冊二丁表「廬之仮庵」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。第一冊五丁表「彦磨」朱印。〔奥書〕第二冊末尾「勢語図抄全部五卷の段毎にそふへき絵図を／こ、につとへて草稿とせり／享和の始のとしのやよひ智明改 彦麻呂／同二年名を改む」。

〔備考〕卷二は彩色絵図。印記「廬之仮庵」「彦磨」は斎藤彦磨の蔵書印。



34 伊勢物語考・日本紀の御局の考

賀茂真淵・藤井高尚 (三三)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕格子刷毛目縞銀砂子散らし表紙。

〔寸法〕一三・六cm×一六・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に

題箋(一五・六cm×三・四cm)貼付「伊勢物語考 賀茂翁考」

と墨書。その右に「藤井高尚考/日本紀乃御局の考 伴直方

自筆本」と墨書。〔料紙〕楮斐漉き混ぜ。

〔体裁〕袋綴。「伊勢物語考」は一面七行。「日本紀の御局の考」

は一面九行。

〔印記〕一丁表「椎通屋」「赤沼書屋」「倉持氏印」(緑印)「伴

氏家印」「黒川真道藏書」。

〔識語〕「：後人の説とは/甚こと也けり 賀茂真淵上」「文

化八年十一月十七日 長門守藤原宿禰高尚」。

35 参考伊勢物語 屋代弘賢 (三三)

版本、三巻、三冊。〔表紙〕薄縹色紙布目地表紙。〔寸法〕

二六・四cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙中央に単郭刷

題箋(一七・八cm×三・五cm)貼付「参考伊勢物語 上(下)」。

第一冊目のみ、表紙右上に「屋代弘賢著」と墨書。封面題「輪

池屋代先生著/参考伊勢物語并附録/発行慶元堂/文化十四

年丁丑新彫」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。無郭・無界、

一面一〇行。丁付(序一(二)一(四十九)/五十(

八十七)/□(九十八)あり。〔印記〕各冊一丁表「玉

川文庫」(石井至毅)「黒川真頼藏書」「黒川/真頼(丸印)」「黒

川真道藏書」朱印。〔刊記〕「文化十四年仲春刻成/製本弘

所/京都書林 堀川高辻上ル 植村藤右衛門/大坂書林 心

斎橋安堂寺町 秋田屋太右衛門/江戸書林 浅草新寺町 和

泉屋庄次郎/池端仲町 須原屋伊八/彫工 朝倉八右衛門」。

〔備考〕小口に「冠注伊勢 上(中・下)」と墨書。

文政元年戊寅九月彰成

奴豆能舎蔵板

製本取

京都
江戸
大坂

吉田四郎右衛門
植村藤右衛門
城戸市右衛門
和泉屋庄次郎
加賀屋弥助
河内屋儀助

七世父

三都

書林

京都寺町通佛光寺
江戸日本橋通童子目
同 武丁目
同 武丁目
同 武丁目
同 中橋廣小路
同 芝神明前
同 大傳馬町武丁目
大坂心齋橋筋博勞町角
河内屋藤四郎
須原屋茂兵衛
山城屋佐兵衛
須原屋新兵衛
西宮屋彌兵衛
岡田屋嘉七
丁子屋平兵衛
河内屋茂兵衛

坂心齋橋筋博勞町角 河内屋茂兵衛。

〔識語〕第六冊五四丁裏「慶応二年五月聊書添愚存畢 黒川真頼」(朱書)。

37 伊勢物語箋 橘守部

〔三五〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕水玉に金箔散らし小豆色紙表紙。

〔寸法〕二七・〇cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙中央に

布目地模様茶色題箋(一九・四cm×三・五cm) 貼付「伊勢物語

箋 下」(上冊は剥落)。内題「伊勢物語上 草稿」。尾題「伊

勢物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕大和綴。一面九行。頭

注形式。〔印記〕一丁表「黒川真頼蔵書」「黒川／真頼(丸

印)」「黒川真道蔵書」朱印。

〔奥書〕「菰舎のをちはいそちの人にて／これらの書をあまた

かきてゆつ／られぬ遠き世につたへて／まめなる心をかたり

つけなんとて／橘守部」。

伊勢物語

草稿



38 伊勢物語土台 岸本由豆流 (三六)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕 渋染め表紙。〔寸法〕 二三・九cm×一七・一cm。〔外題・内題〕 表紙左上「伊勢物語土台」右上「岸本弓槻稿本」と墨書。〔料紙〕 無地三極紙・黒野線紙(一面二行)・青野線紙(一面一〇行)の三種。

〔体裁〕 袋綴。一面行数は料紙により不定。〔印記〕 一丁表

「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

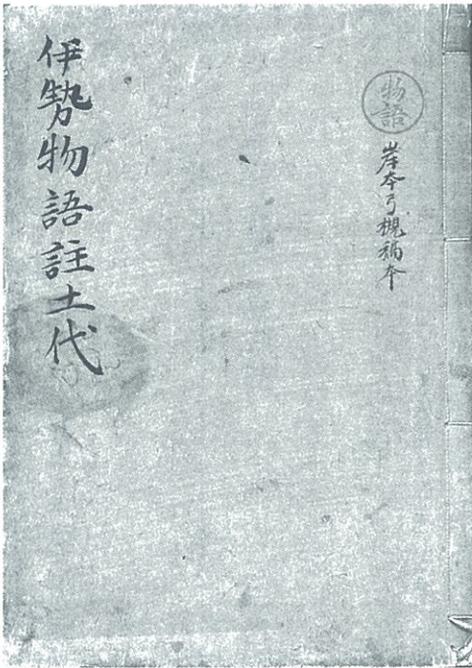
〔奥書〕 なし。

〔備考〕 次項39 Ⅱ(三七)と同一表紙。寛文八年中野半兵衛板「山

口記」抜粋のあと、「伊勢物語諸本之事」「伊勢物語抄物之沙

汰」「つくまの条」「あまのさかて」「白波」「きつにはめなて」

他の注記を諸文献より引用。



39 伊勢物語七ヶ口訣^并源氏物語三ヶ大事・

狭衣三ヶ大事口訣・葦手書の事 (三七)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕淡染め紙表紙。〔寸法〕

二三・八cm×一六・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に「伊勢

物語七ヶ口訣裏説／狭衣三ヶ大事口訣／葦手書の事」と墨書。

「伊勢……裏説」の下に「玄旨法印説」と朱書。〔料紙〕楮

紙。〔体裁〕袋綴。一面行数不定。〔印記〕二丁表「韻勝閣」

「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕伝授奥書に「……裏説と云は細川玄旨法印闕疑を撰ひ

給時によき説を残して廿何ヶ条の説なり是を裏説と云也闕疑

の趣と各別なり 長頭丸」「……右源氏物語三ヶ秘訣以相伝之

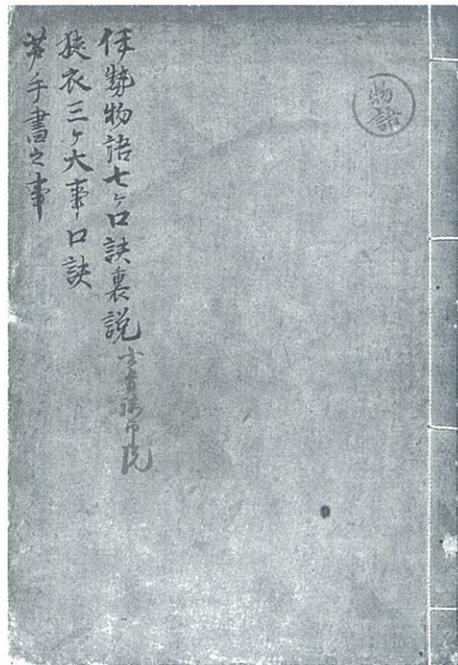
正説奉授禪定殿下訖被守此道之法度努々不可有漏脱者也 天

正二年四月廿日権大納言実隆在判 伝来 逍遙院殿 九条殿

貞徳 盤齋「……右三ヶ秘訣伝授之趣他見不可有漏脱者也」

とある。

〔識語〕「文政九年丙戌二月從芸窓師／伝授 韻勝閣」。

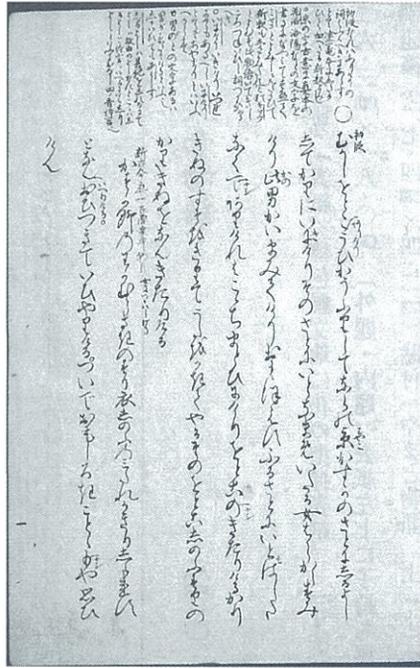


40 伊勢物語題号考 賀茂直兄 (三八)

版本、一卷、一冊。〔表紙〕香色手鞠模様入り紙表紙。

〔寸法〕二六・四cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央に

香色刷題箋（一九・四cm×四・〇cm）貼付「伊勢物語題号考」。



42 伊勢物語校本 三田葆光

〔四〇〕

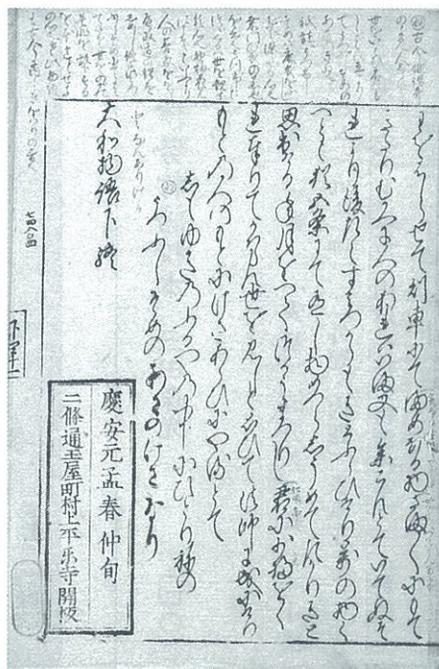
写本、一巻、一冊。〔表紙〕 渋引き表紙。〔寸法〕
 二七・〇cm×一九・二cm。〔外題・内題〕 表紙左上に「伊勢
 物語校本 完」と墨書。内題「伊勢物語校本」。〔料紙〕 三
 極紙。〔印記〕 一丁表「黒川真道藏書」朱印。〔備考〕 前

項41 〔三九〕の転写本。

43 大和物語

〔四一〕

版本、二巻、二冊。〔表紙〕 墨色羅文地に花の型押表紙。〔寸
 法〕 二五・九cm×一八・二cm。〔外題・内題〕 表紙左上に子
 持ち野刷題箋（一八・〇cm×三・七cm）貼付「やまと物語 上
 （下）」。巻首題「大和物語下」（上なし）。尾題「大和物語」。
 〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面一二行。〔印記〕 後見
 返し「親房藏書」朱印。各巻一丁表「字日子明」「黒川真頼
 藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。下巻表
 表紙見返し「字日子明」朱印。〔刊記〕 下巻末尾四一丁裏「慶
 安元孟春仲旬／二条通玉屋町村上平楽寺開版」。〔備考〕 切
 臨『大和物語首書』からの朱の抄出書人多し。〔参考〕 山
 崎正伸・上野英子「実践女子大学図書館蔵『大和物語』関係
 資料解題」（文芸資料研究所『年報』二〇号・二〇〇一年三月）。



44 大和物語

〔四二〕

〔表紙〕 縹色羅文地に花の型押表紙。〔寸法〕
 二六・三 cm × 一八・〇 cm
 〔外題・内題〕 表紙左上に子持ち野
 刷題箋（一七・四 cm × 四・二 cm）貼付「やまと物語 上（下）」

卷首題「大和物語下」（上なし）、尾題「大和物語」。

〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面二二行。〔印記〕 各冊
 一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真
 道藏書」朱印。〔刊記〕 下卷末尾「慶安元孟春仲旬／二条
 通玉屋町村上平楽寺開版」。

〔備考〕 全冊に朱の校合書き入れあり。43 〓〔四二〕と同版。

45 冠注大和物語 井上文雄

〔四三〕

〔表紙〕 薄縹色布目地表紙。〔寸法〕
 二六・三 cm × 一八・四 cm
 〔外題・内題〕 表紙中央に刷題箋
 （一八・九 cm × 四・〇 cm）貼付「冠注大和物語 上（下）」。
 〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面二〇行。頭注形式。
 〔印記〕 一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒
 川真道藏書」朱印。〔刊記〕 「校合／加藤千浪／草野御牧／
 横山由清／伊能預則／嘉永六年（一八五三）五月」。

あり。

〔参考〕「賀茂真淵全集」第一六卷（昭和五六年 続群書類従刊行会）所収「大和物語直解」の底本として採用。

47 大和物語首書 一華堂切臨 〔四五〕

版本、五卷、五冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

二二・三 cm × 一六・三 cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題箋

（二五・一 cm × 三・三 cm）貼付「大和物□」「やまと物かたり二

（五）」。序題・巻首題・尾題「大和物語」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一行。頭注形式。絵入本。〔印記〕一

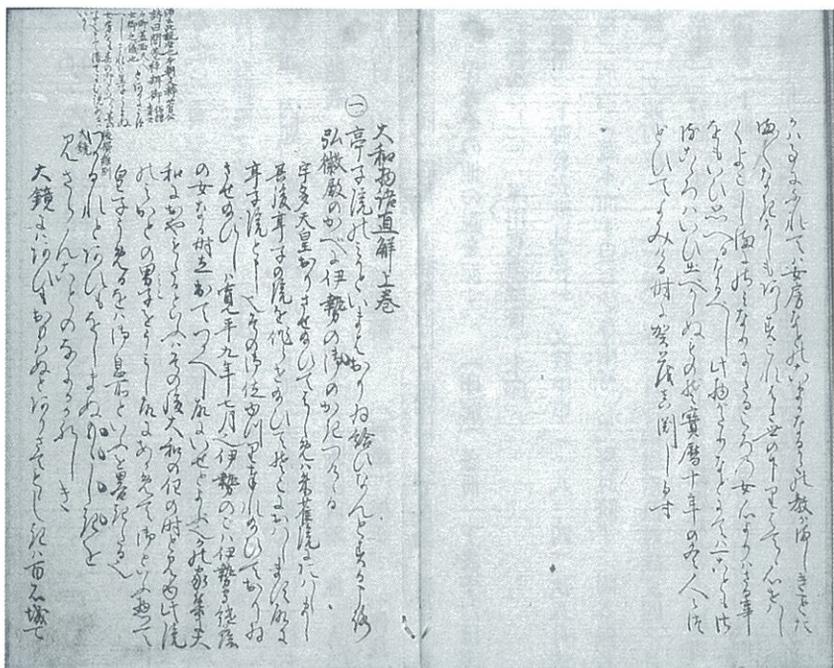
丁表各冊二丁表右下「戸田文庫」「黒川真頼藏書」「黒川／真

頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。各冊末尾「戸田文庫」朱印。

〔刊記〕五冊目末尾「明暦三丁酉（一六五七）季仲春吉辰／

谷岡七左衛門板行」。

〔識語〕五冊目末尾「大和物語抄六卷刊于承応二年先於此書



四年也」墨書。

〔備考〕上之一、三、下之一、二の五卷構成。

〔参考〕山崎正伸・上野英子「実践女子大学図書館蔵『大和物語』

関係資料解題」(文芸資料研究所『年報』二〇号・二〇〇一年三月)。



48 大和物語抄 北村季吟

〔四六〕

版本、六卷、六冊。〔表紙〕墨色菱繫地に唐花型押文様表紙。

〔寸法〕二六・三cm×一七・九cm。〔外題・内題〕第一冊のみ

表紙左上に打付書「大和物語抄 一」と墨書(他は外題無し)。

序題「大和物語抄序」、巻首題「大和物語之抄」。

〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面二一行。〔印記〕一丁表右下「濱□藏書」

「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕六冊目末尾「承応二癸巳仲夏吉日／中野小左衛門板

刊」。〔識語〕六冊目末尾「明治元年三月十六日一読了 真

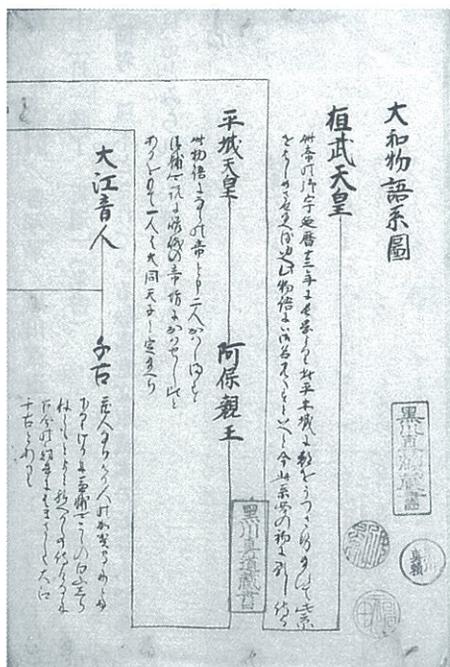
頼(朱書)。

〔参考〕山崎正伸・上野英子「実践女子大学図書館蔵『大和物語』

関係資料解題」(文芸資料研究所『年報』二〇号・二〇〇一年三月)。

50 大和物語系図・大和物語別勘并追考〔四八〕

写本、一卷、一冊（合綴本）。〔表紙〕渋引表紙（補修済み）。〔寸法〕二七・〇cm×二〇・一cm。〔外題・内題〕表紙左上に題箋（一九・二cm×三・五cm）貼付「大和ものかたり系図」と墨書。扉題「大和物語系図」「大和物語別勘并追考」。〔料



紙）楮紙。〔体裁〕袋綴。「系図」は行数不定。「別勘并追考」は二面二一行。〔印記〕二丁表「神田」印□「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書・識語〕なし。〔備考〕「大和物語別勘并追考」は北村季吟著「別勘」「追考」からの抄出取混ぜ。

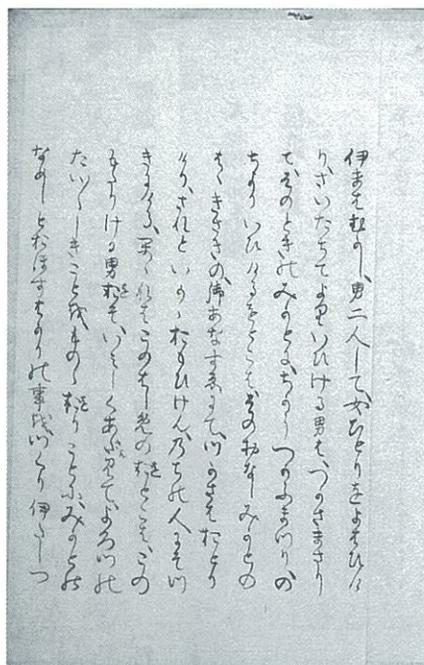
51 平仲物語

〔四九〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕二六・六cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に「平仲物語」と墨書。内題同。〔料紙〕扉のみ三極紙、他は楮（一丁四丁は銀砂子散らし）。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕扉表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。後見返し「筒井藏書」朱印。〔識語〕末尾「明治廿七年十二月九日以岩崎氏藏本冷泉為相

卿真跡本^{四半紙本及紙綴}／書写畢／黒川真道」（墨書）。「同三十六年十二月一読了 真道」（朱書）。

〔備考〕孤本とされている静嘉堂文庫蔵本の転写本である。真道とみられる朱筆書入れあり。



52 宇津保物語

〔五〇〕

版本、二〇巻、二〇冊。〔表紙〕縹色無地表紙。但し裏表

紙は薄緑色。〔寸法〕二六・七cm×一八・八cm。〔外題・内題〕

表紙中央に黄色地書題箋（二六・八cm×三・六cm）貼付「宇津

保物語 二 藤原〔拾冊欠〕（第一冊目）などと墨書（元題

箋なし）。帙題箋「黒川本／宇津保物語〔山岡浚明自筆校合

書入本／延宝五年刊〕乾〔坤〕帙。内題なし。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一行。絵入本。〔印記〕第一丁表「愛岳

麓藏書」（大久保西山）「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」

「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」。最終丁「宝玲文庫」「月明

荘」朱印。〔刊記〕国譲下の巻最終丁「延宝五訂年／初春吉

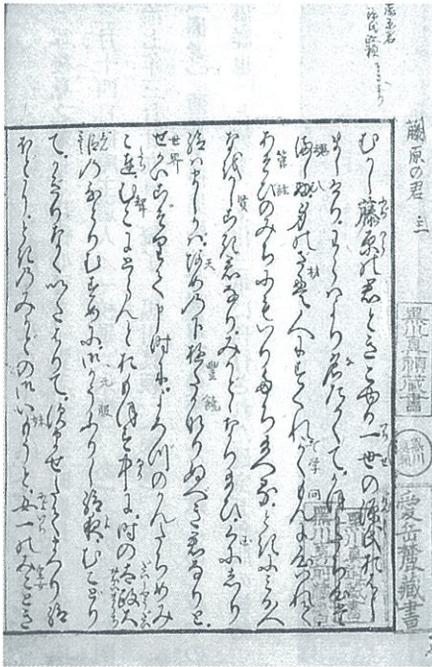
辰開板」。〔識語〕藤原の君巻最終丁「宝曆十二年壬午閏四

月廿八日古筆^{三筆}一畢」（青墨）。梅の花笠巻の最終丁に「右

一帖宝曆壬午年^{月日遺失}以古本校比一返畢 浚明」（青墨）。祭

使巻の後見返しに「宝曆十三年癸未六月廿日以古本一校畢／

宿禰浚明」(青墨)。吹上の下巻の後見返しに「宝曆十三年癸未十月十九日於燈下以古本校比報／半夜鐘声之時卒業畢／伴宿禰浚明」(青墨)。菊の宴巻の最終丁に「宝曆十三年癸未八月廿九日夜於燈下比書一返畢」(青墨)藏閣下巻の最終丁に「第十六帖國讓巻下宝曆壬辛二月廿六日再校比一返了以青／注異同畢」(青墨)。(備考)山岡俊明自筆校合書入本。書題箋には巻序や巻名をめぐって朱・青・薄墨で書入訂正の跡が多い。菊の宴の巻最終丁に「今案菊宴為第十六卷歟／あてみやの事詳也」と刻す。



53 うつほ物語

(五二)

版本、三〇巻、三〇冊。〔表紙〕紺色無地表紙。

〔寸法〕二五・八cm×一八・〇cm。

〔外題・内題〕表紙左上に刷題箋(二〇・六cm×三・四cm)貼付「うつほ物語 俊蔭 二止 今板本十六の巻ノ二／古本一の巻」等とある。なお題には玉琴年立以下複数の種類の巻序

が朱書されている。内題〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一行。絵入本。

〔印記〕一丁表「(神代文字)」(契沖)「郁子園蔵」(長島尉信)「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」

／「真頼」朱印。

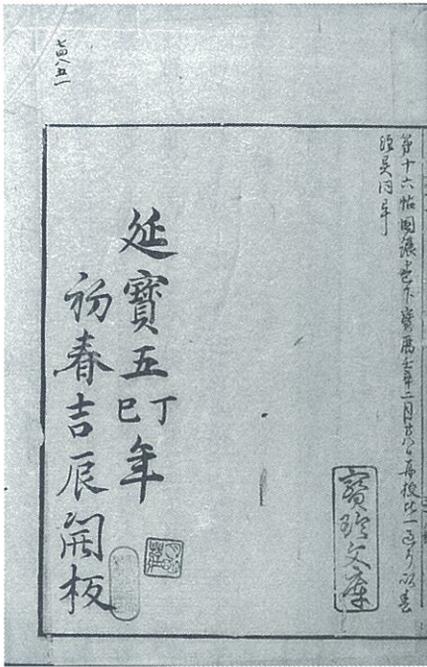
〔刊記〕國讓下の最終丁「延宝五丁巳／初春吉辰開板」「補刻／文化三年(一八〇六)丙寅春三月吉旦／書林大坂本町四丁目屋長兵衛板(入木)」。

〔識語〕俊蔭二の後見返し「写本奥書／此一冊言葉つ、き手

爾於葉飯名つかひ／等何も不審多しといへとも本之ま、令書

／写後見之輩右之以得心可有一覽者也／于時慶長十五年庚戌三月十四日簡庵主道人／一校畢」(朱書)。あて宮の巻末に「明治七年三月廿九日一読了 黒川真頼」(朱書)。

〔備考〕菊宴下冊奥に「今案菊宴為第十六卷歟／あてみやの事詳也」と刻す。文化三年に刊行された延宝五年版の補刻。



54 宇津保物語

〔追補〕

写本、二〇冊。〔表紙〕黄土色植物文様型押表紙。〔寸法〕

二七・〇cm×一八・六cm。〔外題・内題〕表紙左肩打付に、

「としかけ 一」「藤原の君 二」「たゝこそ 三」「梅の花笠

一名春日詣 四」「さかのゐん 蔵ひらき下巻 五」「さかの

院 吹上ノ上 六」「ふきあげ 中 七」「ふきあげ 下 八」

「祭のつかひ 九」「菊の宴 十」「あてみや 十一」「はつ秋

おきつ白波 十二」「たつのむら鳥 十三」「蔵ひらき上巻

十四」「蔵ひらき中巻 十五」「たかとのゝ上 十六」「たか

とのゝ上 下終 十七」「国ゆつり 上 十八」「国ゆつり

中 十九」「国ゆつり 下 二十」と墨書。一冊め右端に「浜

臣本」「共二拾」と朱書。〔料紙〕斐紙。〔体裁〕袋綴。

一面九行。一一九三丁、二一七二丁、三一四〇丁、四一三〇丁、

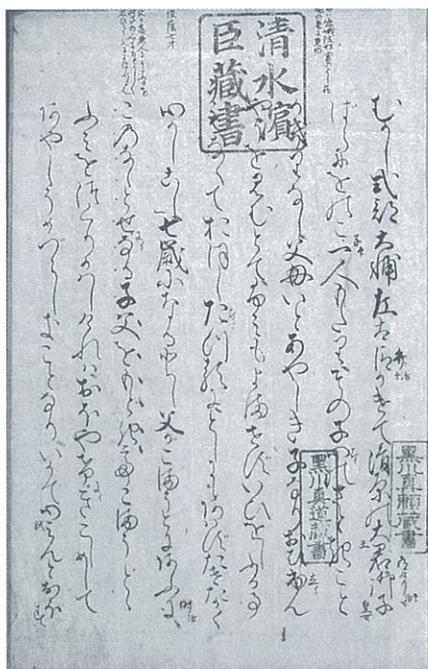
五一一七三丁、六一二九丁、七一五五丁、八一二九丁、九一

五七丁、十一八三丁、十一一三六丁、十二一一一六丁、十三

一三九丁、十四一―一九丁、十五―六九丁、十六―一〇三丁、十七―七三丁、十八―九四丁、十九―九〇丁、二十一―七二丁。
 「印記」一丁表に「清水浜／臣藏書」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」、最終丁裏に「泊舎藏」（清水浜臣）「月明荘」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕墨・青・朱の書き込み、押紙多し。



55 宇津保物語「俊蔭」

〔五二〕

古活字版、二巻、二冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

二七・二cm × 一七・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭題

籤（二六・八cm × 二・八cm）貼付「宇津保物語 上（下）」と墨書。

内題「うつほものかたり」。尾題「うつほ物語」。〔料紙〕楮紙。

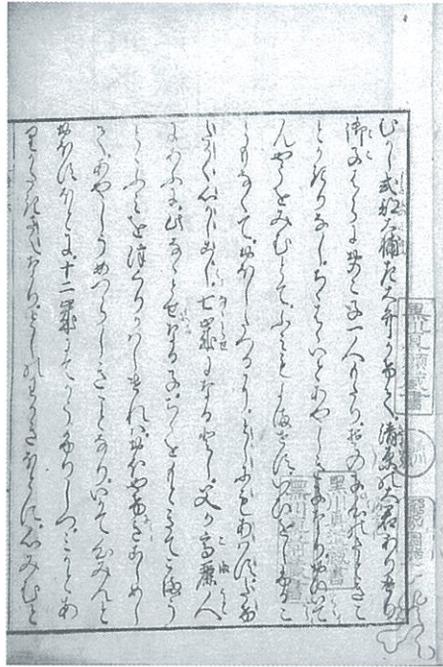
〔体裁〕袋綴。一面一一行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「温故堂文庫」（塙家）「黒川

真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。

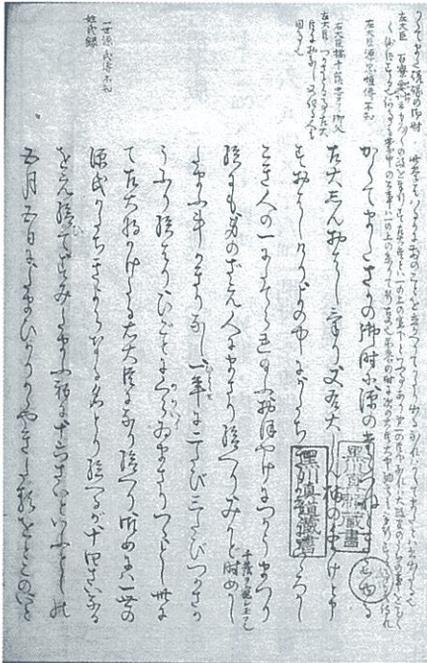
〔備考〕物語の首巻「俊蔭」巻のみの刊行。

〔参考〕川瀬一馬『古活字版之研究』五一―一頁にある元和寛永中刊行の本に該当する。



56 うつほ物語「た、こそ」 (五三)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕縹色金泥霞流し模様入り後補表紙。
 〔寸法〕二七・二cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙中央に
 題簽(一八・四cm×三・四cm)貼付「うつほ物語 た、こそ



〔三〕(卷序)「三」を朱で見せけち。内題なし。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面二一行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」

「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書・識語〕卷末に「右た、こそこの巻古来の校本もてかきうつさしめをへぬるは／文政の三とせといふとしの五月十五日 龍彦(花押)／垣子書」(墨筆)、「明治十五年九月廿日夜一校了 黒川真頼」(茶墨)。

〔備考〕本文行間および料紙上辺に設けた余白欄に、墨・朱墨・茶墨等で注を書入れ。龍彦・真頼の書人あり。

57 空穂物語玉琴 細井貞雄 (五四)

版本、二巻、二冊。〔表紙〕縹色布目地表紙。〔寸法〕

二七・二cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に金泥霞

流し銀砂子散らし題簽(二一・九cm×四・四cm)貼付「空穂物

語玉琴 本(末)」と墨書。内題「空物語玉琴」。〔料紙〕

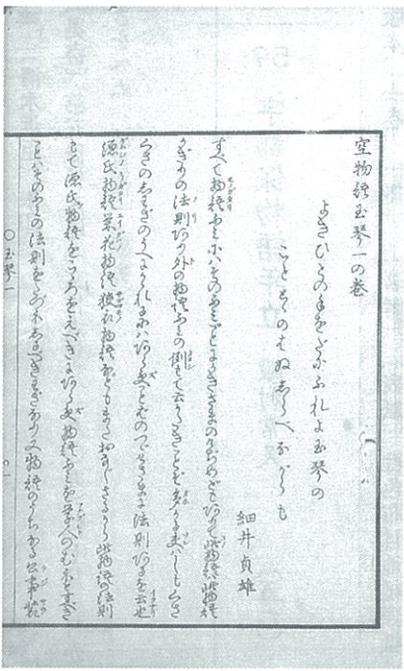
楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕一丁表「高天

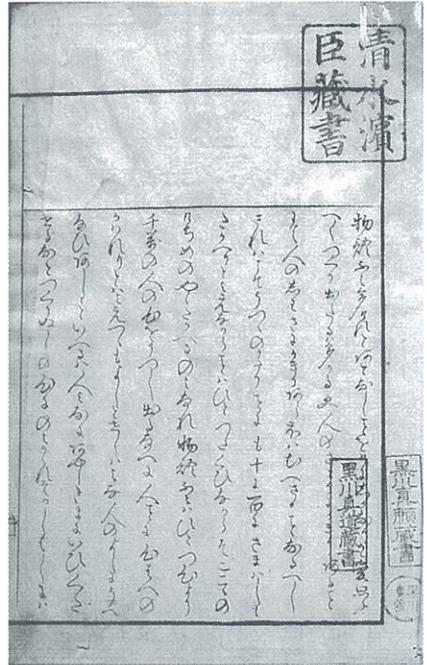
神孫」「稲垣大業家藏記」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」「黒

川／真頼」「藤枝文庫」朱印。

〔刊記〕「詞花堂藏板」「文化十二年乙亥(一八一五)七月／製本所 江戸中橋広小路 西宮彌兵衛」。

〔備考〕卷首題「空物語玉琴一の巻／よきひとの手をだにふれよ玉琴の／ことと、のはぬしらべながらも／細井貞雄」色墨二種(朱・茶色)の書き入れあり。





58 五松 源貞憶

〔五五〕

写本、五卷、五冊。〔表紙〕練色布目地表紙。〔寸法〕二七・二cm書題簽(一八・四cm×三・五cm)貼付「玉松 第一(二・四・五)」と墨書。なお第三冊目の題簽が剥落し、そこに第二冊目の題簽を押す。巻首題・尾題「玉まつ」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。頭注形式。

〔印記〕一丁表右上「清水濱臣藏書」。同右下「黒川真頼藏書」黒

川／真頼(丸印)。「黒川真道藏書」朱印。各冊末尾「泊泊舎藏」(清水浜臣)朱印。

〔奥書〕第五冊目末尾「文化六年(一八〇九)巳七月三日かきをへぬ 源貞憶」(墨書)

59 宇都保物語年立 殿村常久

〔五六〕

版本、一卷、一冊。〔著者〕〔表紙〕縹色布目地紙表紙。

〔寸法〕二二・四cm×一五・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に

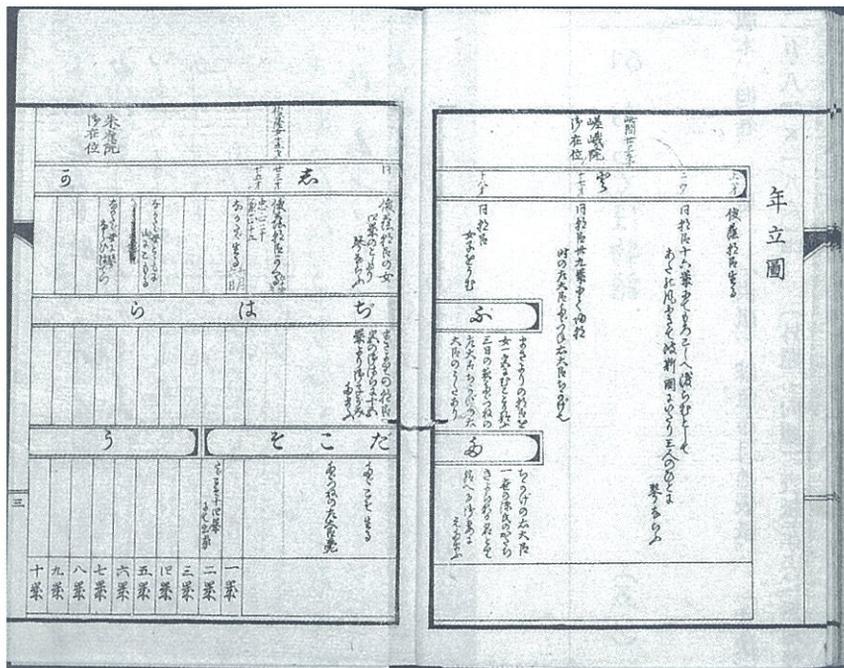
単郭白地刷題簽(一六・四cm×三・五cm)貼付「宇都保物語年立」、巻首題「宇都保物語年立」〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕「巖軒藏板」。

〔備考〕文政三年十二月三日本居大平序(三丁)、清水濱臣序

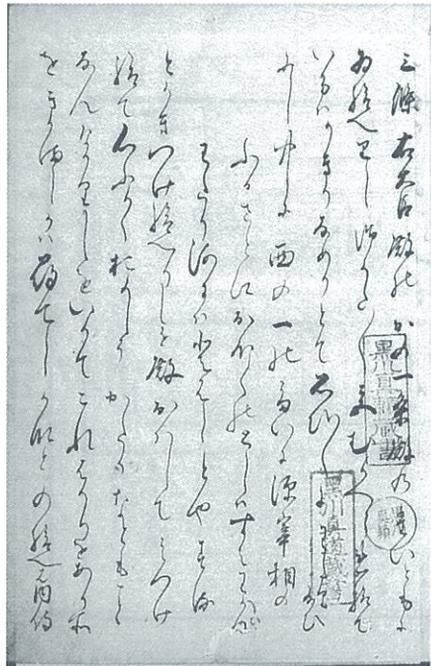
(二丁)、文政二年卯年十二月の自序(二丁)。



60 かやくき物語

〔五七〕

写本、二巻、二冊。〔表紙〕利休鼠色龍丸散らし文様表紙。
 〔寸法〕二二・八cm×一六・一cm。〔外題・内題〕表紙左上に
 題簽（一七・八cm×三・七cm）貼付「かやくき物語 上（下）」
 と墨書。内題「かやくき物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。
 一面一〇行。〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／
 真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。
 〔奥書〕なし
 〔備考〕上冊前見返しに付箋を貼付し「かやくき物語八字津
 保物かたりの／様の上の上下なり」と朱書する。



61 おちくぼ物語

〔五八〕

版本、四卷、三冊。〔表紙〕練色布目地表紙。〔寸法〕二五・八cm×一八・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に無地後補題簽（二八・六cm×四・〇cm）貼付「おちく本もの話 一ノ

上下（二ノ上下／三四）。内題「おちくぼ物語」「落窪物語」

等の表記あり。各冊題簽下に「一」「二」「三大尾」と朱書。

また第一冊目表紙右上に「四本／校合本」と朱書、右下隅に「共三冊」と墨書。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」朱印。

〔刊記〕寛政十一年（一七九九）己未仲春日／書林 京都 額

田正三郎／江戸 須原茂兵衛／同 西村源七／同 同宗七／

大坂 葛城長兵衛。

〔識語〕一冊目表表紙見返し「此一卷令利一校合了」（墨書）。

三冊目末尾「享和二（一八〇二）仲冬一校了 濱臣／文化紀

元（一八〇四）孟夏至同孟冬以村田翁所藏／本対校了（朱書）

〔同年孟冬至季冬以小倉侯所藏繪巻物／比校更対中村文字蔵

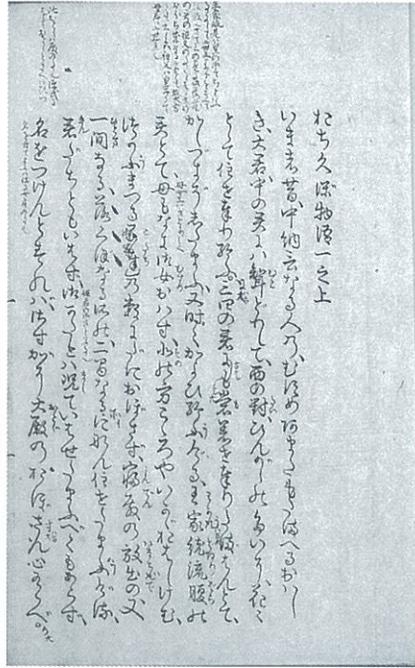
本記異同了（朱書）」「文化元年（一八〇四）夏日一過了 真

澄（墨書）」「文化九年（二八二二）六月中旬慶業同年十二月

下旬校了以清水濱臣校合本／一過了内二卷使藤原利一校合余

以余力正考 美毛比磨（墨書）」。

〔備考〕上田秋成序（六丁）。

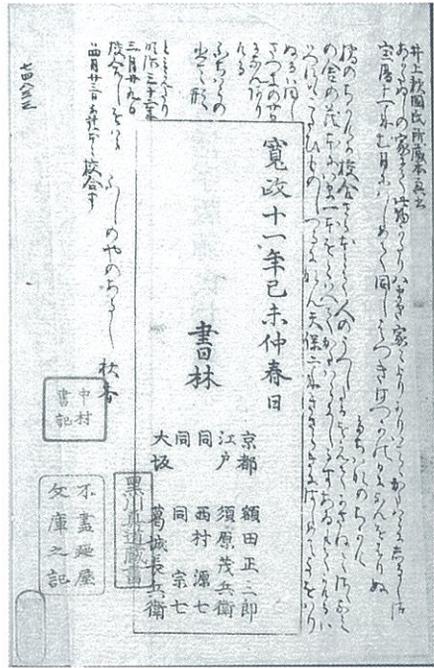


62 おちくぼ物語

〔五九〕

版本、四巻、四冊。〔表紙〕練色布目地表紙。〔寸法〕二六・二cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題箋（二八・六cm×四・〇cm）貼付「落久保物かたり 一（〜四）」。「於地久保物語」「お知久富物可多理」「湊知玖煩物語」等の

表記あり。内題も同様。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕各冊一丁表「中村藏書」「たか春の花のしをりにしの／はれんわかわけ／くらすけふの山／ふみ中村秋香」「黒川真道藏書」朱印。四冊目末尾「中村／書記」「不盡廬屋／文庫之記」（中村秋香）「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕「寛政十一年（一七九九）己未仲春日／書林 京都 額田正三郎／江戸 須原茂兵衛／同 西村源七／同 同宗七／大坂 葛城長兵衛」。〔識語〕四冊目末尾「宝曆十一年（一七六一）冬授畢ぬ 真ふち（墨筆）」、「くはん政六つのとし（一七九四）神無月初三日（朱筆）」、「小中村氏藏本奥書（墨書）／享和二（一八〇二）仲冬一校了 浜臣（朱書）」、「文化紀元（一八〇四）孟夏至同孟冬以村田翁所藏本対校／同年孟冬至季冬以小倉候所藏繪巻物比較／更対中村文字藏本記異同了 濱臣再識（朱書）」、「明治廿四年（一八九一）十一月廿六日□ 第三関／不二のやのあるし（朱書）」。四冊目末尾「明治三十二年（一八九九）三月廿九日／校合しをハる ふしのやのあるし秋香／同四月廿三日千蔭本と校合す」（墨書）。〔備考〕墨・朱・青墨にて中村秋香他の校合・注記等書入れ多し。



64 源氏物語好聞抄

〔六一〕

写本、五四卷、五三冊存（須磨欠）。〔表紙〕縹色無地紙表紙。

〔寸法〕二九・〇cm × 二一・六cm。〔外題・内題〕表紙中央

銀箔書題箋（一九・二cm × 三・五cm）貼付「桐壺 好聞 一（

三十七）」と墨書。但し補写一五冊は山吹色題箋に巻名と巻序（前者とは別筆）のみを記す。〔料紙〕楮斐漉き混ぜ。

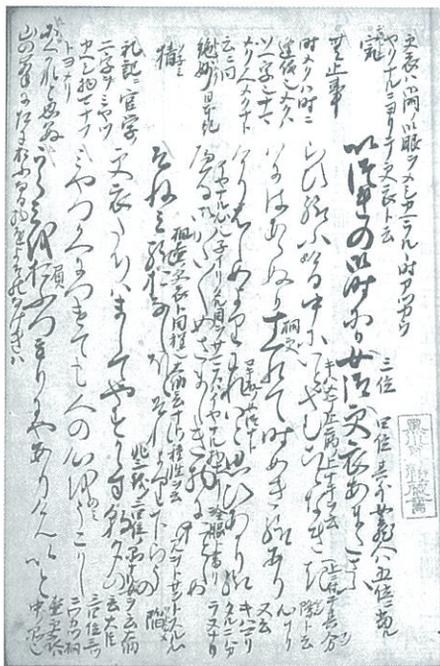
〔体裁〕袋綴。一面九行。〔印記〕一丁表「和学講談所」「温故堂文庫」（塙家）「塙忠〇（宝）歟」図書印」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」（朱印）等

〔奥書〕「夢浮橋」（補写本）巻末に「絵入源氏物語」より転写したとみられる「永正九稔七月日 台嶺末学権僧正在判」の奥書がある。

〔識語〕第一冊目前見返しに「本書も世間知る人少なく且書物も稀なり去年書肆文行堂にて／一覽せし其の本ハ欠本にて虫喰本なり 大正四年十二月 真道」（朱書）

〔備考〕書人多数。補写本は「夕きり・みのり・まほろし・匂宮・たけ川・はし姫・しぬかもと・角まき・さわらひ・屋とり木・あつまや・浮ふね・かけろふ・手ならひ・夢の浮はし」

〔参考〕伊井春樹編『源氏物語 注釈書・享受史事典』（平成一三年 東京堂出版）。



65 古活字版源氏物語

〔六一〕

古活字版、五四卷中五三卷存、五三冊（蓬生欠）。〔表紙〕
 香色菱繋地に草花散らし型押文様表紙。〔寸法〕二五・六cm

×二〇・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に打曇り題簽（二七・八

cm×四・八cm）貼付「桐壺 一（五十四終）」と墨書。一冊

目表紙右肩の付箋に「活字版 元和活字本／源氏物語全部
 五十四帖／右之内巻の十五蓬生もしほたれつ、云々／之まき
 一冊缺ス」と墨書。〔料紙〕楮斐漉き混ぜ。〔体裁〕袋綴。

一面一〇行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼

（丸印）」「黒川真道藏書」（朱印）〔刊記〕なし。

〔識語〕一冊目末尾「源有長書入す」（墨書）。

〔備考〕川瀬一馬氏によって、源氏物語ではじめて刊行され
 た本と紹介され、現在は龍門文庫本と国会図書館本と該書の
 同版三本だけが確認されている稀観本。他の二本に比して該
 書は、補写冊が無い、化粧裁ちにより背が低くなっている、「薄

雲」「少女」の後補表紙の裏反故に顕如版「御文章」を用いる、

「柏木」は十五丁のみの脱落本である等の特色を有する。

〔参考〕川瀬一馬「増補古活字版の研究」（一九六八年）・阿

部秋生・上野英子「古活字版源氏物語 五三冊」（文芸資料

研究所『年報』四〇五、一九八五～六年三月）。上野英子「黒

川文庫蔵『古活字版源氏物語』桐壺巻解題拾遺（同『年報』

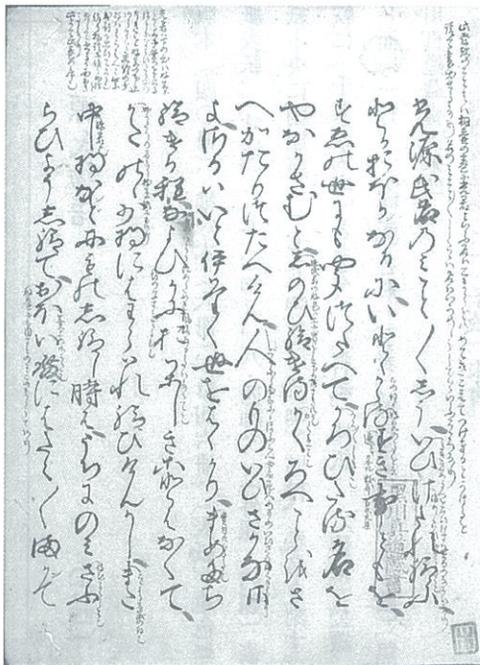
二二号、二〇〇三年三月）



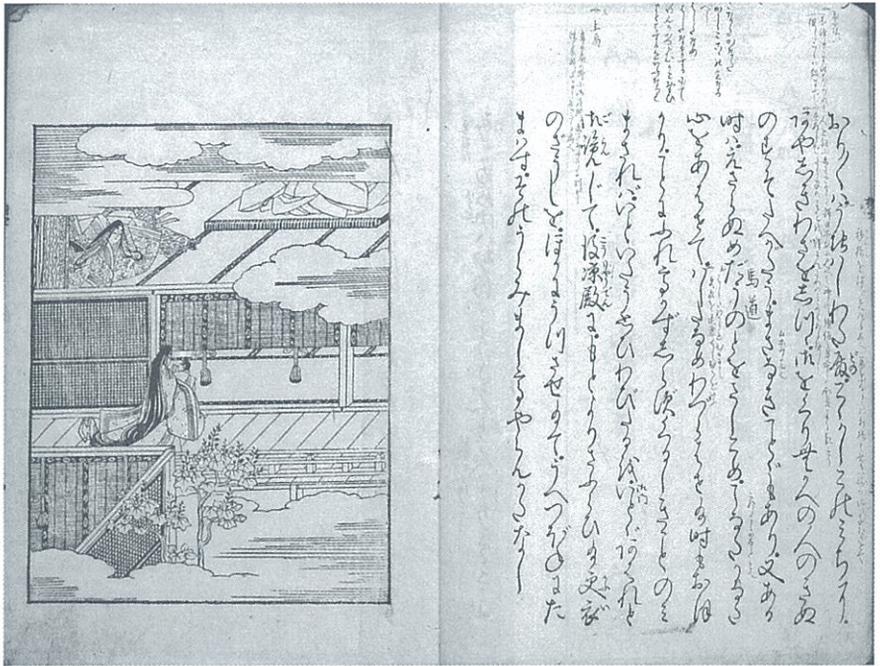
66 絵入源氏物語 山本春正

〔六三〕

版本、三四冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二六・八
 cm × 一八・八 cm。〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽（一七・〇



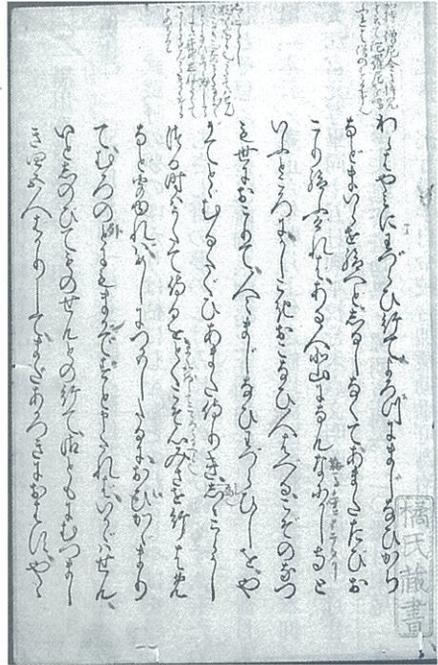
cm × 三・五 cm) 貼付「うつせみ 歌を名とせり」(第三冊目)等。
 〔料紙〕楮紙。
 〔体裁〕袋綴。一面一一行。絵入本。〔印記〕「黒川真頼藏書」
 「黒川／真頼(丸印)」 「黒川真道藏書」朱印。
 〔識語〕「桐壺」表紙見返し「墨書 黒川真頼書入」(墨書)。
 〔備考〕承応三年版絵入源氏物語。「桐壺」〜「藤裏葉」の
 三三三冊に「源氏系図」を加えた三十四冊。



67 源氏物語

〔六四〕

版本（四〇冊）、補写本（六冊）、計四六冊。〔表紙〕紺色無紙表紙。〔寸法〕二七・〇cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽（一七・八cm×三・二cm）貼付、巻名を刻す。帙に「千蔭書人本」とある。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一一行。〔印記〕各冊一丁表「橘氏藏書」（加藤千蔭）「黒川真道藏書」朱印。〔識語〕桐壺後見返しに「千蔭」朱書。〔備考〕補写本は「桐壺・夕顔・手ならひ・夢の浮橋」の四冊。また「帚木・空蟬・梅枝・若菜上・若菜下・椎本・総角・浮舟」の八冊を欠く。「龍眼木」（賢木）「赤石」（明石）「水衝石」（瀝標）等、刷題簽の用字法から推して無刊記本か。加藤千蔭自筆書人本。



68 源氏和秘抄・付源氏論義 一条兼良 (六五)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕共紙表紙。〔寸法〕二三・六

cm×一六・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に朱筆で匡郭を引
き「源氏和秘抄」と墨書。内題「源氏和秘抄 一禅の御作」源

氏論義」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕仮綴じ。「源氏和秘抄」(一

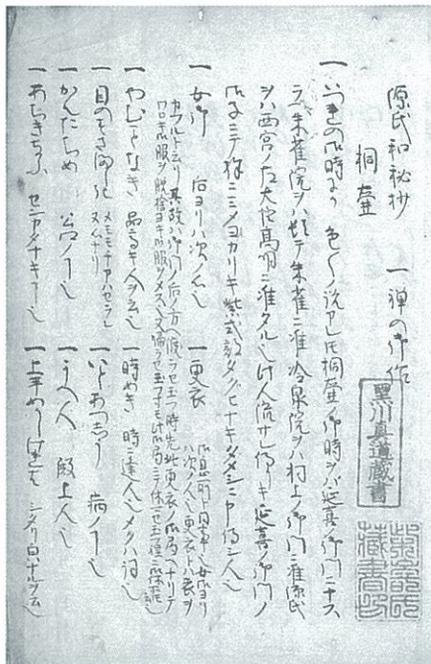
丁表〜二〇丁表)は二段組で一面二二行。「源氏論義」(二一

丁表〜二四丁裏)は一段組で一面二二行。〔印記〕「菊□氏

藏書印」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕「雅世卿の本一字たかへす」(源氏論義)。

〔備考〕「源氏和秘抄」「源氏論義」共に抄出本。



69 河海抄 四辻善成

〔六六〕

版本、二〇卷、二〇冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕

二三・四 cm × 一六・四 cm。〔外題・内題〕表紙中央に題簽

（二七・〇 cm × 三・四 cm）貼付「河海抄」（桐つほ／全部貳拾卷）一（

廿）〔朱〕と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一二行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「完山

□」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕一〇冊目末尾「法名喜阿／散位基重在判 与阿／喜

阿 武蔵野の夢のゆかりは枯にしをもとのねさしやはを尋ら

む／与阿 むさし野の夢のしけみに紫のおひゆくすゑもため

しとそ思ふ／是已前御系図略之在判相伝者也」。一九冊目末

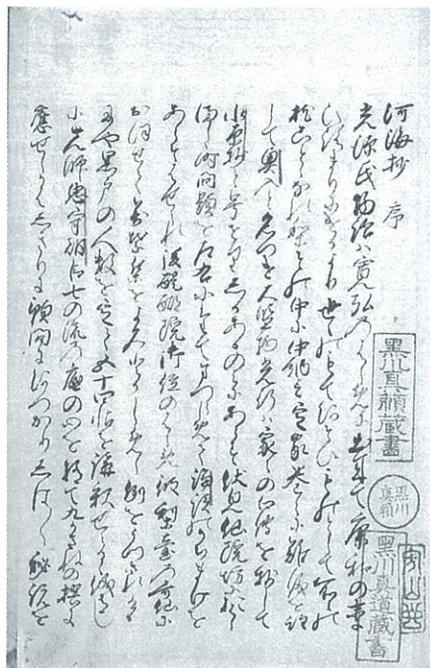
尾「本云／寛正六年卯月上旬之候以洞院亜相公教卿家本仰／

大江富元写畢同十五日兩本校合朱点文明四年壬辰／三月廿二

日辰下尅立筆未尅終書功畢／源朝臣判」。二〇冊目末尾「本

云／此抄一部廿卷手自令校合加覆勘畢可為治定之／証本焉／

儀同三司源判」「□貳兩本校合了」「寛正六年孟夏下旬之候終一部之写功了／洞院大納言公教卿家本并室町殿局本彼是見合了／春本者中書之本洞本者覆勘之本也仍彼是不同事／有之料紙左道右筆比興也堅可禁外見穴賢云々」「文明四年三月廿二日未下記立筆翌日申尅終書写之功也／一校畢」墨書。



70 花鳥余情 一条兼良

(六七)

写本、一五卷、一五冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕

二三・四 cm × 一六・六 cm。〔外題・内題〕表紙中央に題簽

(一七・〇 cm × 三・四 cm) 貼付「花鳥余情 製本 一(一)十五(朱

書)」と墨書。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一二行。〔印記〕一丁表「完山□」「黒

川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書・識語〕なし。

〔備考〕68 〓 六六と69 〓 六七は装丁・筆跡・印記が一致する。

また該書最終冊の後見返しの反故紙に、花鳥余情少女巻の注の書き損じを使用。該書の当該欄と比較すると、項目と注釈の内容が異なっている。

花鳥余情第一 桐壺

一 桐壺

九十五丁の巻名は空のまゝ一丁に四とあり二丁を
二丁に四とあり二丁に四とあり二丁に四とあり二丁に四とあり
天を打敷く中諦の佐同あり一有内三空門三亦有亦空門
亦有亦空門七一切は言敷く中諦の佐同あり二有内三空門
立派に教りて言敷く中諦の佐同あり二有内三空門
細とあり二有内三空門
一初めはあり二有内三空門

71 紹巴抄 里村紹巴

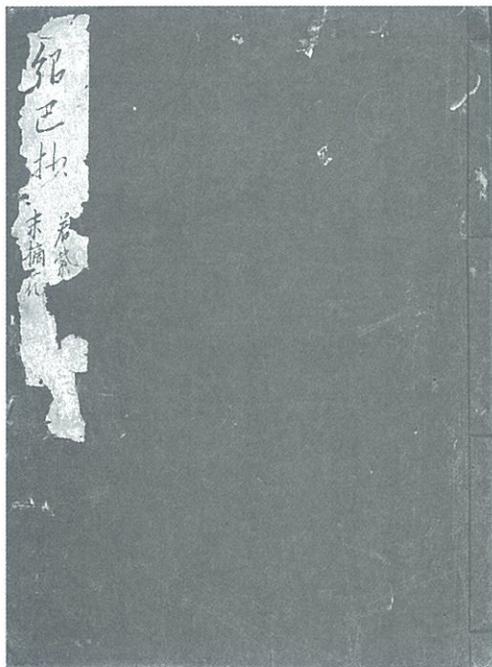
(六八)

版本、二〇卷中一七卷存、一七冊。〔表紙〕栗皮色無地表紙。

〔寸法〕二七・八 cm × 二〇・六 cm 〔外題・内題〕表紙左上に題

簽(一八・八 cm × 三・三 cm) 貼付「紹巴抄 紅雲賞花 四」(第四

冊目)と墨書。目次題「源氏物語抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一一行。〔印記〕一丁表「黒川真道蔵書」「黒川真前蔵書」朱印。



72 明星抄 三条西公条

〔六九〕

版本、二一〇卷、二一〇冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二六・八cm×二七・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち野刷題簽(一七・八cm×三・八cm)貼付「明星抄」〔首卷／きりつほ〕。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一一行。〔印記〕「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」朱印。〔刊記〕なし。〔備考〕第一冊目表紙右肩に「西三条実澄公著」と朱書する。一冊目末尾「大永戊子(八年、一五二八)夏五下旬候」、二〇冊目末尾「天文甲午曆(三年、一五三四)千秋佳節」の本奥書あり。



73 孟津抄 九条植通

〔七〇〕

写本、三二冊。〔表紙〕無地紙表紙。〔寸法〕二六・六cm × 一九・八cm〔外題・内題〕表紙左肩に横縞地黄色書題籤（二七・八cm × 四・〇cm）貼付「孟信〔信〕ミセケチ「津」朱の傍書抄 一 九条植通公著」と墨書。〔料紙〕斐紙。〔体

裁〕袋綴。一面九行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕夕顔卷末尾「此抄九条禅閣御聞書也以御自筆書写之校合畢／御本從桐壺至夕顔紙數百十七丁為一冊被閉之者也／右之紙數者百十九丁也／天正廿辰壬（一五九二）十二月二日。

関屋卷末尾「此御抄先年より依御許可令書／写之処去正月に禅閣九条殿八十三にして／薨し給ひぬなき跡までの事依被仰／

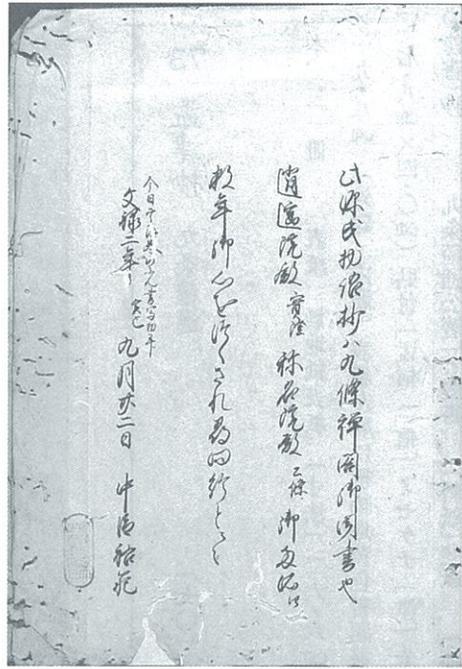
置御息前殿下兼孝公へ治部少輔祐／繁致懇望申出物也／文禄三年甲（一五九四）卯月十二日書写之／祐範」。夢浮橋卷末尾「此

源氏物語抄八九条禅閣御聞書也／逍遙院殿實際称名院殿公条御両所江／數年御心をつくされ尋問給と云々今日治部卷の九書写功筆文禄二一年己亥

（一五九三）九月廿二日 中臣祐範」。

〔備考〕書陵部藏中臣祐範自筆本（古本系）と近似するが、同本で中断している「若菜上」後半部を有する。

〔参考〕平井仁子「孟津抄」（文芸資料研究所『年報』五号、一九八六年三月）、野村精一・平井仁子「孟津抄」「若菜上」翻刻 一〜二（同『年報』六〜七号、一九八七〜八年三月）。



74 岷江入楚 中院通勝

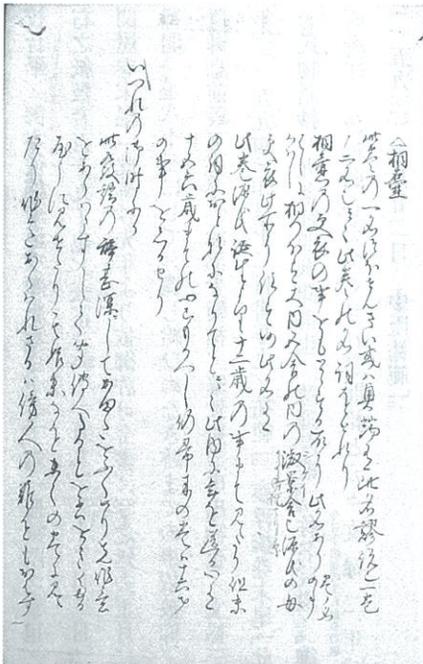
〔七一〕

写本、五五卷、五五冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕 二七・四 cm × 一九・二 cm。〔外題・内題〕 表紙中央に題籤 (一九・七 cm × 四・一 cm) 貼付「岷江入楚 一桐壺」(五十四

夢浮橋／大尾)」と墨書。

〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面一五行。〔印記〕 各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔備考〕 慶長三年の通勝自序(仮名文)と慶長三年七夕の細川幽齋跋(漢文)あり。



75 源氏小鏡

(七二)

版本、三卷、一冊。〔表紙〕紺色菱繫地に唐草型押文様表紙。

〔寸法〕二七・四cm×一八・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に

青墨と金泥の霞流し料紙題簽(一一・五cm×三・〇cm)貼付「源

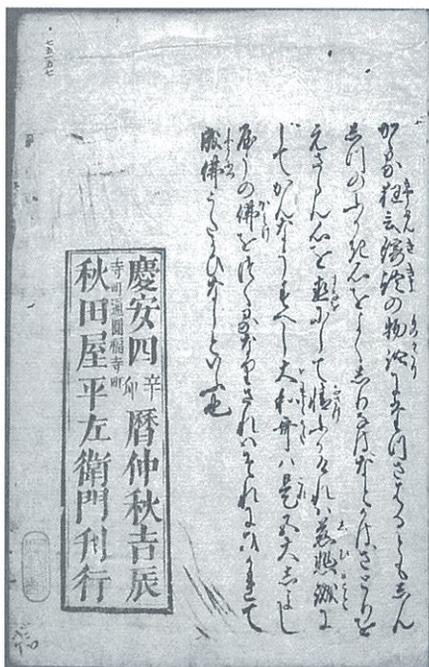
氏小鏡 上中下 全」と墨書。柱刻「小鏡」、尾題「小鑑」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二一行。〔印記〕一丁

表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕裏表紙見返し「慶安四辛卯曆仲秋吉辰／秋田屋平左衛門

刊行」。



76 仙原抄 長慶天皇

〔七三〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色桐文様型押表紙。〔寸法〕

二六・四cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「仙

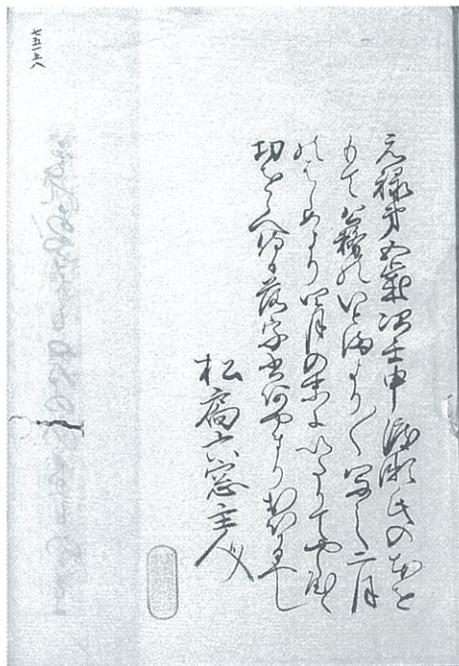
原抄」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面七行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕「応永第三（一三九六）のきさらきの末つかた柴の庵の／しはしのつれ／もやなくさむとてふる文ひらき／みるつゝてに先人の遺毫此御草本何か／かたのこたく清書の心さしをのふさためて／筆のあやまりも心得のひか事ものかるま／しう侍るらんなれと……此ま、ひたふるにしみの巢になさん事は念なくこそ」「元禄第五歳次壬申（一六九二）渡瀬氏の本を／もて公務のいとまより／写之二月／のはしめより四月の末にいたりてやうやく／功を、へ侍る落字書あやまarioおほかるへし／松扇六窓主人」。

〔参考〕渡辺道子「黒川文庫本『仙原抄』」（文芸資料研究所『年

報』一四号、一九九五年三月）。



77 源氏物語湖月抄 北村季吟 [追補15]

版本、五九冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二七・四

cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽貼付。外

題は各冊により異なる。内題は各冊により異なる。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。各冊丁数省略。四周单边。

〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒

川真道藏書」「黒川真前藏書」「郁子園藏」朱印。

〔刊記〕五九冊目巻尾に「書林 林和泉／村上勘兵衛／吉田

四郎右衛門／村上勘左衛門」。

〔識語〕五九冊めに識語数点あり。「宝暦十三年癸未二月十七

日一本校合終業 本居宣長（花押）／明和九年壬辰五月十六

日又一本本頭書校合終 以朱識別之／右／寛政十年戊午夏五月气得

鈴屋大人之本 於勢州／松坂旅館校合 起五月二日至六月

廿三日 全部終業／富田元泰（花押）（後見返し）墨書。「享

和元辛酉年十二月十三日抄書終業 服部普雄」と墨書した押

紙あり。最終丁に「明治三年七月一読了 黒川真頼」と朱書。

また「桐壺」巻見返しに「本書々入／一 本居宣長本校合／

一 富田元泰本／一 服部普雄書入／一 黒川真頼書入／右之

外予また書入候 真道識」、同じく「桐壺」巻末尾三二丁裏

に「本書は亡父真頼年来研究せし書入なれば大切／に保存す

へきはいふもさらなり整理して世に伝ふへき／ものなり／明

治四十年十二月 黒川真道識」と墨書。

〔備考〕本書を収める箱の蓋裏に識語あり。「書の上にもおの

かさちく／こそあれ此湖月抄は／万治のむかしよりさしもあ

らすといひつ、今におこなはる、／事世に二つなしかれはや

くより摺つふれて近き比となり／てはをさく／もしの消うせ

さるもあらざるを此巻やめつらしきまで／あきらかなり又其

かき人もなほ人のわざとは見えすいせの海の／なみく／なら

ぬ人世に鳴ひ、きし鈴屋をちのかたへにありて／よく其説こ

とを聞えて書くはへさまにそ見ゆるあはれ／後の世のたか

らともなりぬへければ家にひめ伝へてみたりに／かしうせさ

るこ、ろ用ひありなんものそかし／天保十三年九月 橘守部

識」。全体に墨や朱の書き入れ、付箋多し。

説間亦一二管見隨其處而附鳴呼
 門人小子見此物語者源丞相所謂
 君臣之交仁義之道風雅之媒善提
 之緣因此鉅而有知之則庶幾教學
 之一助云余
 延寶元年冬至月
 北村氏李陽
 林 和泉
 村上勤兵衛
 書林
 村上勤兵衛
 村上勤兵衛

寶曆十三年癸未三月十七日一本校合終葉 本居宣長
 昭和九年 壬辰五月十六日又一本校書 校合終 以末綴別之
 寛政十年 戊午夏五月元晴 發屋天人之本 於野列
 松坡旅館校合 起五月二日至六月廿三日全部終葉
 富田元春和

78 源注拾遺 契沖

(七四)

桐壺
 一、
 〇、
 幸、
 後、
 の、
 の、
 付、
 の、

写本、七卷、七冊。〔表紙〕芥子色布目地表紙。〔寸法〕
 二六・八cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に白地に
 銀泥題簽（一七・八cm×三・六cm）貼付「源注拾遺 一（一七）」
 と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二行。〔印〕
 記）一丁表「藏原祐庸」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」

「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕七冊目末尾「右源語拾遺七卷一覽湖月抄之次率爾／
註愚意以備他日授考者也／後加大意一卷共八卷全／元祿九年
七月一九日 密乘沙門契沖」(朱書)。

79 浅略抄

〔七五〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕共紙表紙。〔寸法〕二六・六

cm×二〇・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央打付書に「浅略抄

權」と墨書。〔料紙〕鳥の子紙。〔体裁〕仮綴。一面不定行。

墨付き二四丁。〔印記〕表紙「黒川真道藏書」朱印。一丁

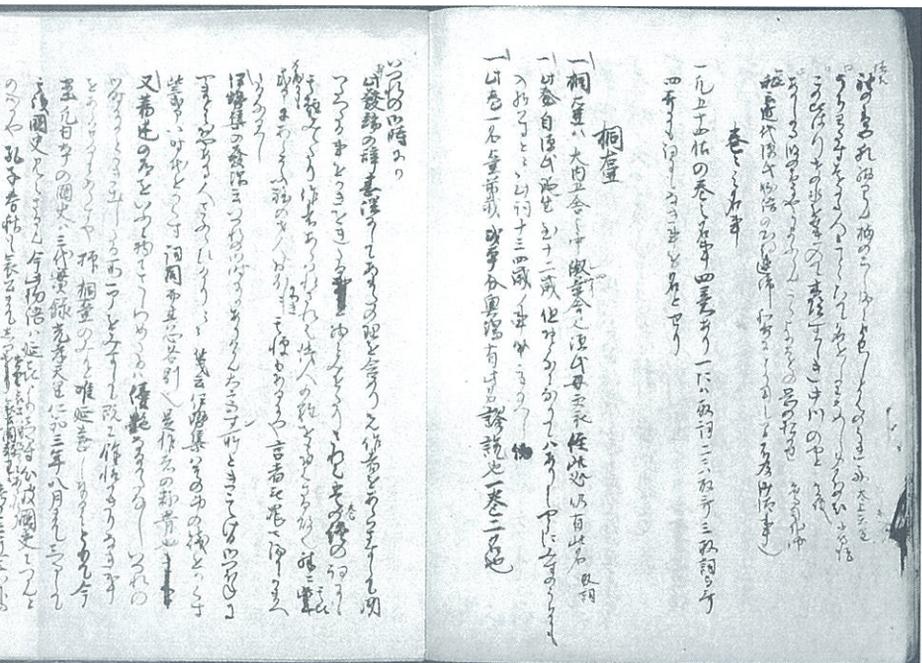
表右下「黒川真頼藏書」朱印。〔奥書・識語〕なし。

〔備考〕冒頭は、「〇勘蚩卷云」として源氏物語から玉鬘と源

氏の物語論のくだりを引用し、以下料簡と桐壺の注(「大う

ちき」項まで)を記す。草稿本。

〔参考〕『国書総目録』(補遺)に単独書として掲載。



80 清風抄 拓植知清説・中原廣明記 (七六)

写本、一〇卷、一〇冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕

二三・二cm×一六・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に單郭題

籤(一六・八cm×二・八cm)貼付「清風抄」と墨書。内題「清

風抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。二面一行。〔印

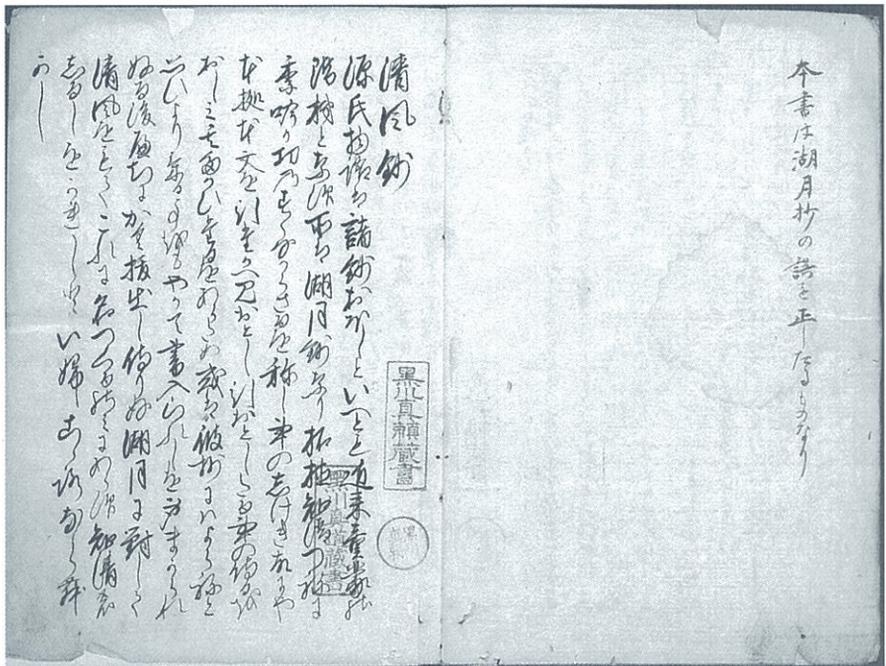
記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒

川真道藏書」朱印。

〔奥書〕最終冊裏表紙見返し「右清風抄十卷未訂考／可憚外
見者也／廣明」(墨書)。

〔識語〕一冊目表表紙見返し「本書は湖月抄の誤を正したる
ものなり」(朱書)。

〔備考〕自序「源氏物語は諸抄おほしといへとも近來童蒙の
／階梯となす所は湖月抄なり拓植知清つねに／季吟か功のす
くなからざるを称し事のしげき故にや／本拠本文を引たかへ
見おとし引おとしたる事の侍るを／おしみ其たかひたるをあ



本書は湖月抄の誤を正したるものなり

清風抄

黒川真頼藏書



源氏物語の諸抄おほしといへとも近來童蒙の
階梯となす所は湖月抄なり拓植知清つねに
季吟か功のすくなからざるを称し事のしげき故にや
本拠本文を引たかへ見おとし引おとしたる事の侍るを
おしみ其たかひたるをあ

らため或は彼抄にはよらねと／思ひよりける事をもやかて書
入られしを身まかられ／ぬる後へちにかく抜出し侍りぬ湖月
に対して／清風をもてこれに名つくるのみにあらず知清の／
しるしをかれしといふこゝろならむ／かし』凡これは知清叟
思ひ得るにしたかひてか、れしま、／なればたかへる事も有
へし本文本歌本書のうち引合／られし事もあらため見まほ
しけれともいまた其義に存す／後日よく訂正すへし／凡朱に
て書入られしは朱としるし墨にて書にて書入られしは／墨と
しるし侍りた、便にしたかひてか、れしなるへし／朱と墨と
書分られたるにこゝろはなしと見え侍れとその／ま、にたか
へしとてかくしるし侍るなり若紫巻以下は／点を以墨の
字にかへ、点を以朱の字にかへたり／凡平仮名片仮名みな
書入のま、にしるし侍りこれも／わざとの事とは見えす』凡
類語を引合たる事おほし類語を引合すれば／解する便となる
ものなり、^予多年此物語の類語を／類聚せんと思ひ侍れともい
またはたさす／凡いさ、か^予のおもひよりし事ともは廣明云
と／しるし侍りこれはなを相違おほかるへきにや／延享二年
〔二七四五〕書之 中原廣明。自跋「知清云北村季吟か湖月

抄の跋に源丞相所謂／君臣之交仁義之道風雅之媒菩提之縁
云々／此源丞相と書たるもいか、にや又風雅之媒といへるも
／いか、とおほえ侍る也見る人あちはひて可否をしるへし。

81 源氏物語玉の小櫛 本居宣長 (七七)

版本、九卷、九冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕

二五・六cm×一七・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に黄色単

郭刷題簽（一九・三cm×三・七cm）貼付「玉能小櫛」。卷首題「源

氏物語玉の小櫛一の巻／そのかみのこゝろたづねてみだれた

る／すぢときわくる玉のをぐしぞ／本居宣長」。柱刻「玉の

小櫛」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕

一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」

朱印。〔刊記〕九冊目裏表紙見返し「本居翁著述製本所／

書林／勢州松阪日野町／文海堂 柏屋兵助」。

〔備考〕「総論」（第一～二冊目）「年立」（第三冊目）「異同」

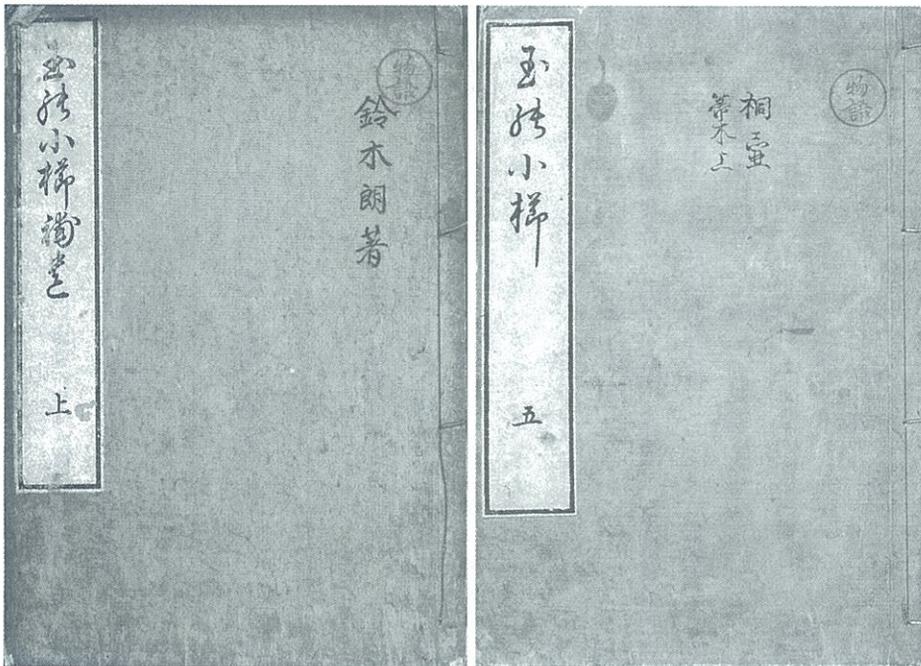
〔第四冊目〕以下、各巻注釈の構成。藤井高尚序〔四丁〕あり。表紙装丁、次項82Ⅱ〔七八〕と同一。

82 玉の小櫛補遺 鈴木朗

〔七八〕

版本、二巻、一冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕二六・四cm×一八・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭刷題簽（一九・〇cm×三・七cm）貼付「玉の小櫛補遺 上（下）」。内題「源氏物語玉小櫛補遺」。柱刻「玉のをくし補遺」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。上下合綴。〔印記〕一丁表「伊藤文庫」「太閤通小伝馬三丁目／中尾幸三郎藏書記」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕下冊二七丁裏「文政三年庚辰春／新刻／尾張 波奈例屋藏板」。

〔備考〕文政四年酔月園森嘉基序（二丁）、文末に自跋（二丁）あり。表紙装丁、前項81Ⅱ〔七七〕と同一。



83 源註余滴 石川雅望

〔七九〕

写本、二四卷、二四冊。〔表紙〕萌葱色花菱型押表紙。

〔寸法〕二六・一cm×一八・二cm 〔外題・内題〕表紙左上に子

持ち野題簽（一八・〇cm×三・六cm）貼付「源註余滴 自い至や 一」（第一冊目）と墨書。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。目録一面一〇行、注釈一面一五行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

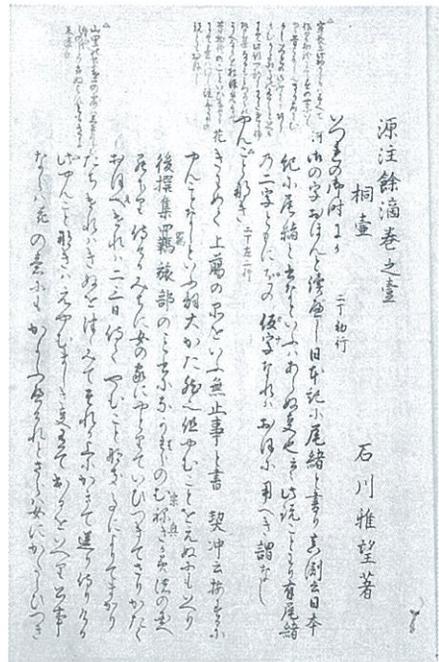
〔識語〕第一冊目前見返し貼付の付箋「井上頼国氏蔵本源注余滴八字治十帖ナシ」（朱書）。

〔備考〕一・二冊目は目録（いろは順の索引）。三冊目以下が注釈。朱筆書入れ多し。

源註余滴卷之壹

桐壺

石川雅望著



84 源註余滴目録 石川雅望

〔八〇〕

写本、二卷、二冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕

二三・六cm×一六・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に「源註

余滴目録 上（下）」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一〇行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川光隆藏

86 源氏物語提要 今川範政

(八二)

写本、七卷、七冊。〔表紙〕木賊色龍丸散らし型押表紙。

〔寸法〕二五・九cm×一七・九cm。〔外題・内題〕表紙左肩に

白地書題簽(一七・六cm×三・五cm)貼付「源氏物語提要 一(七止)」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱書。

〔識語〕最終冊奥に「慶応三卯年(一八六七) 一二月日 藤沢英規」(朱書)。

〔備考〕永享四年の範政の跋あり。流布本とは本文にかなりの異同がある。

87 源氏彙事 藤原盛雄

(八三)

写本、一七卷、一七冊。〔表紙〕薄標色無地表紙。〔寸法〕

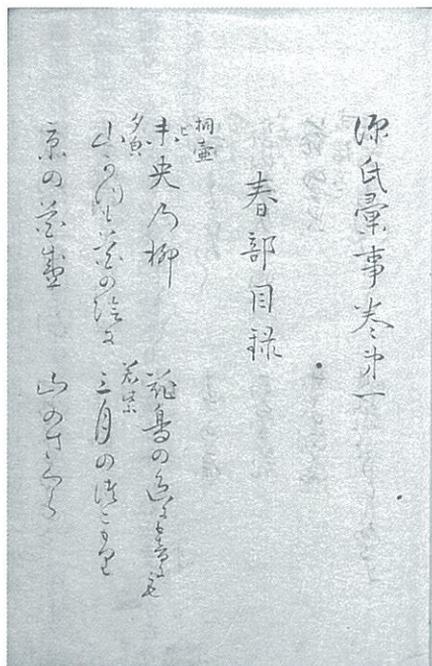
一九・二cm×一三・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に雲紙料

紙の題簽(二二・六cm×二・七cm)貼付「源氏彙事一」(第一冊目)と墨書。巻首題「源氏彙事巻第一(廿)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面七行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「堀田文庫」(堀田正敦)「黒川真道藏書」朱印。

〔備考〕源氏物語の用例用語を引き、これを二十四の部立毎に分類した事典。各冊表紙中央に当該冊収載の部立を墨書した付紙を貼付。次項88(八四)と同一装丁。

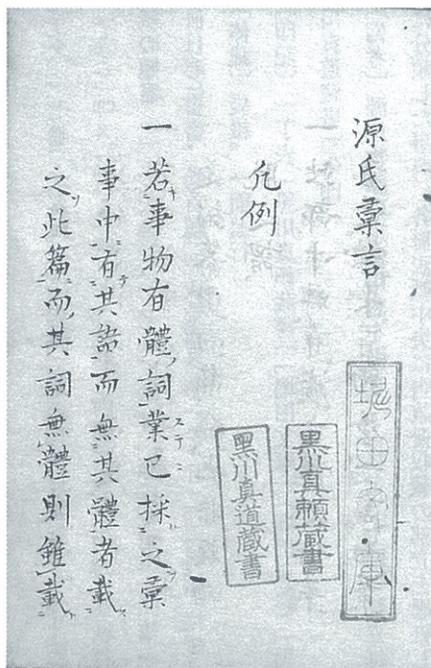
た付紙を貼付。次項88(八四)と同一装丁。



88 源氏彙言 藤原盛雄

〔八四〕

写本、五卷、三冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕一九・〇cm × 一三・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に雲紙料紙の題簽（二・六cm × 二・七cm）貼付「源氏彙言 一（二三／四五）」と墨書。〔料紙〕楮紙。



〔体裁〕袋綴。一面七行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「堀田文庫」「黒川真道藏書」朱印。

〔備考〕「源氏彙言」不採の文例をいろは順に分類した用例集。前項87「（八三）」と同一装丁。

89 源氏外伝 熊沢蕃山

(八五)

写本、四卷、四冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕

二三・六cm×一五・六cm。〔外題・内題〕 表紙左上打付に「源

氏外伝 春(夏・秋・冬)」と墨書。〔料紙〕 三椏紙。〔体

裁〕 袋綴。一面二〇行。〔印記〕 扉「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書・識語〕 四冊目四五丁表「吾源氏外伝はしめよりわか

なの下にわたる／大関括囊翁藏本をもてかたはら朱書の／校

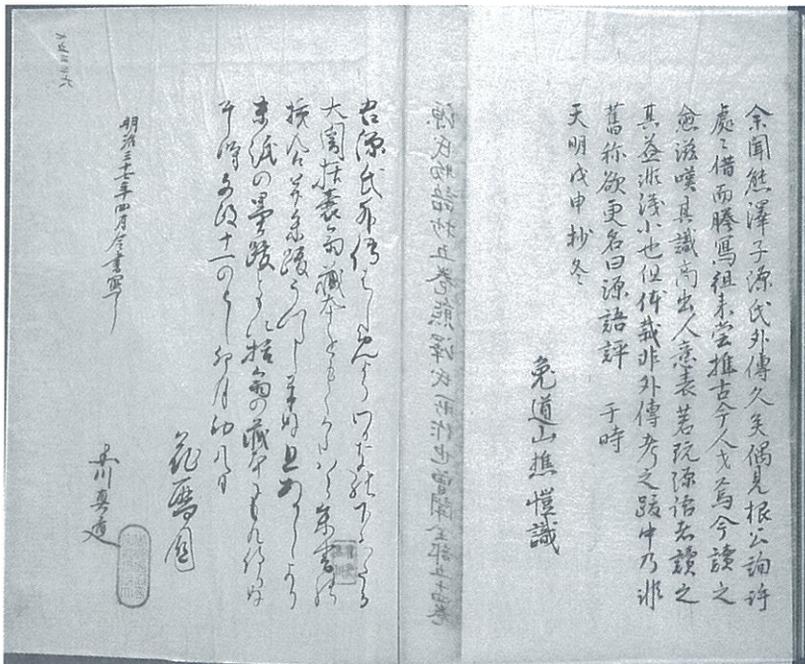
合并朱跋うつし畢ぬ且あかしより／末紙の墨跋ともに括翁の

藏本にもれ侍りぬ／于時文政十一のとし(一八二八) 卯月初

八日／花鴈園(墨書)「明治三十七年(一九〇四) 四月令書

写了 黒川真道(朱書)。

〔備考〕 底本は内閣文庫本か。朱筆の校合書入あり。



90 箒木別注 飯尾宗祇

〔八六〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕薄緑色檀紙表紙。〔寸法〕

二七・二cm×一九・一cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち

罫題簽（二部破損）貼付「箒木別注 宗祇法師著 全」と墨

書。内「箒木別注」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一〇行。巻末に「光源氏物語 定家の本

河内本の分別の事」（二丁）を加える。〔印記〕一丁表「稲

廻舎藏書」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道

藏書」朱印。

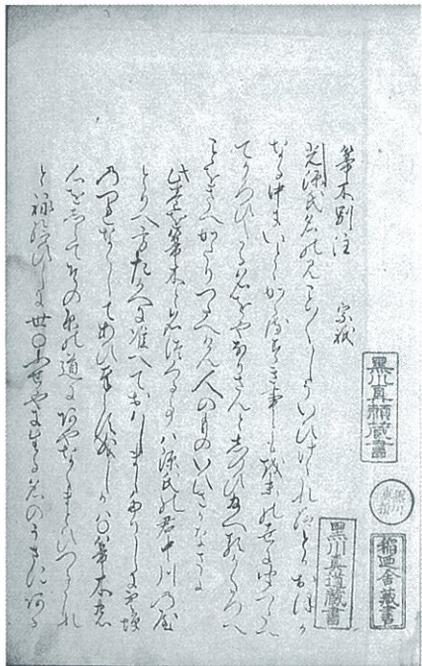
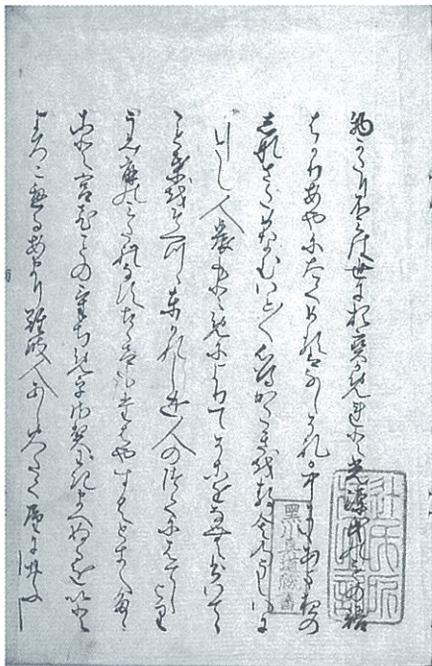
〔奥書〕巻末「分別の事」奥書「條々御尋候旅行之事候間本

なと不致／所持候間諳にしろし申候不可有御承引／候也／鳥

嘴庵殿参」。

〔備考〕「雨夜談抄」とも。巻末に附録を付ける点は東北大学

図書館本（「源氏之秘抄」と同一）。



91 雨夜物語だみことば 加藤宇万伎 (八七)

版本、二巻、二冊。〔表紙〕縹色布目地表紙。〔寸法〕

二六・五cm×一八・六cm。〔外題・内題〕表紙中央に黄色地

刷題簽(一八・二cm×四・二cm)貼付「雨夜物語だみことば

上(下)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。序は一面八行、

附言は一面一〇行、他は一面七行で頭注形式。〔印記〕一丁

表「辻氏所蔵之記」「黒川真道蔵書」朱印。

〔刊記〕下冊裏表紙見返し「京師三条通升屋町／御書物所

出雲寺和泉掾」。

〔識語〕下冊巻末「浪速 高載陽写」。

〔備考〕安永四年(一七七五)上田秋成序(二丁)、明和六年

(一七六九)自序序(二丁)あり。

92 少女巻抄注 鈴木朗 (八八)

版本、一巻、一冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕

二五・三cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭刷

題簽(一八・四cm×二・九cm)貼付「少女巻抄注」。内題・柱刻「少

女巻抄注」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。本論部は一面

一一行。序跋系図は不定。〔印記〕一丁表「黒川真頼蔵書」

「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道蔵書」朱印。

〔刊記〕裏表紙見返し「文政十三年寅春／出雲寺文治郎／吉

田四郎衛門／風月莊左衛門」。

〔備考〕千村伸雄序と文政七年自序、本居大平跋と中山美石

跋あり。自序中に「源氏物語をとめの巻の内夕霧君の入学寮

試／の事を書たる所におもひよりたることとものあ／るをい

はんとて先湖月抄の文を大かた書とりて其／中になるくふよ

うなる事ともは皆はふきしてさ／て師の玉小櫛とおのか今案

とをを書いて此一巻／になん物しつるこは藤の垣内の本居

大平主のすゝめによりてなり／文政七年（一八二四）甲十一月／はなれ屋／鈴木のあきら（花押）」とある。

93 紫女七論 安藤為章

〔八九〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕白地に青唐草表紙。〔寸法〕

二六・二cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭題

簽（二五・六cm×三・二cm）貼付「紫女七論」と墨書。内題「七

論」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面九行。（四孔・白糸）。前遊紙なし。無郭・

無界、一面九行。〔印記〕二丁表「恂齋図書」「黒川真頼藏

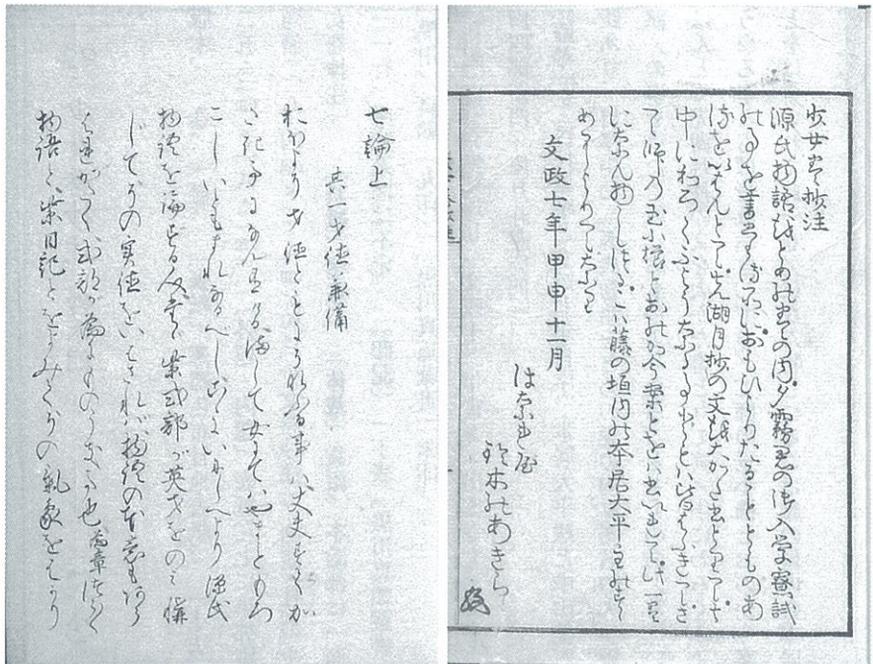
書」「黒川真道藏書」朱印。

〔備考〕元禄十六年自跋・伴資矩跋・藤原治之跋あり。自跋

中に「時に元禄十六年重陽の日武州小石川の寓居／にしてし

るしをはり侍りぬ」とある。青墨にて句点・合点・濁点・本

文校訂等の書入れあり。



94 すみれ草 北村久備

〔九〇〕

版本、三卷中二卷存（中巻欠）、二冊。〔表紙〕香色無地後

補表紙。〔寸法〕二六・一cm×一八・二cm。〔外題・内題〕

表紙中央に打付「すみれくさ 上（下）」と墨書。封面題「北

村久備翁編源氏物語系圖年立すみれ草江戸中橋広小路町 西宮彌兵衛板。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。序は一面七行、系図・凡例、

行数不定。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「鶴文

庫」「黒川真道藏書」朱印。上冊二丁目表、下冊一丁目表「菊

池氏図書記」朱印。

〔刊記〕下冊最終丁裏「文化十二乙亥年七月／京都書林／京都

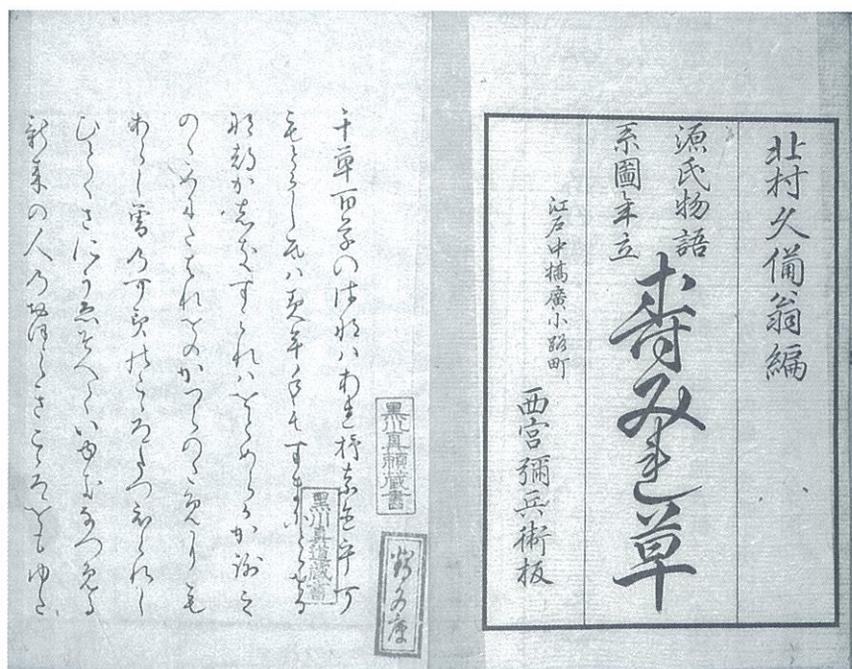
二条富小路東工入町吉田四郎右衛門／同二条衣ノ棚角風月庄左衛門

／同三条高倉東工入町出雲寺文治郎／江戸書林／江戸橋四日市松本

平助／日本橋新右衛門町前川六左衛門／中橋広小路西宮彌兵衛／山

下町万屋太次右衛門」。

〔備考〕上冊は、沙弥源昌序（二丁）・文化九年平田篤胤序（四



丁・自序(二丁)・源氏物語系図凡例(三丁)のあと、源氏物語の各種系図あり。該書は中巻(系図後半部)を欠き、下冊は全冊年立。

95 源氏物語忍草 北村湖春 [九二]

版本、五巻、五冊。〔表紙〕布目地に青色朽木雲文様表紙。

〔寸法〕二五・二cm×一七・九cm。〔外題・内題〕表紙中央に

朱色刷題簽(一七・四cm×三・〇cm)貼付「源氏物語忍草」一

(五)」。封面題「源氏物語忍草」。目錄題「源語忍草」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。序と目錄は一面八行、本論部

(各巻梗概)は二面一〇行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」

「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。

〔備考〕一冊目に天保五年成島司直序(篠木信定書。二丁)、

五冊目末尾に昌城跋文(笹田誠山筆。一丁)「金花堂藏板目

録(日本橋南通四丁目 須原屋佐助)」(六丁)あり。



96 やま路の露・系図 [九二]

版本、一巻、一冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

一五・四cm×一〇・九cm。〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽

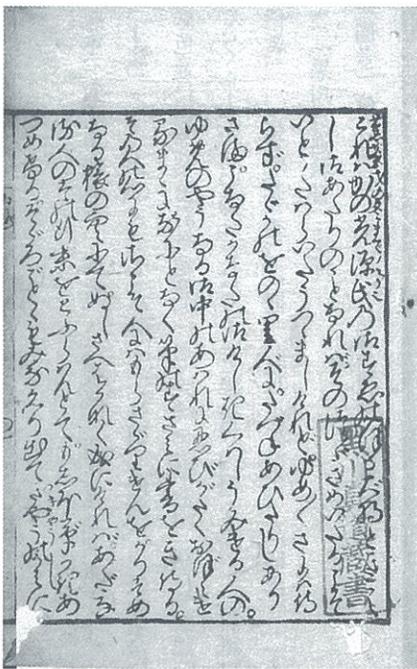
(一〇・二cm×四・〇cm)貼付「やま地の露/系図」。〔料紙〕

楮〔体裁〕袋綴。一面二一行。〔系図〕は行数不定。〔印記〕

一丁表「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔備考〕絵入源氏物語(無刊記小本)の端本。表表紙見返しに「本書ハ夢の浮橋の巻を書き続きたるものにて／世尊寺伊行の作なりといふ」と墨書する。



97 雲隠六帖

〔九三〕

版本、六卷中四卷存、四冊。〔表紙〕紺色無地表紙。

〔寸法〕二六・六cm×一七・八cm。〔外題・内題〕表紙中央に

朱色地に銀泥裝飾料紙題簽(一七・六cm×三・七cm)貼付「雲隠」

「さくら人」「法の師」「ひはり子」と墨書。内題なし。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。絵入本。〔印記〕一丁

表「黒川真道藏書」朱印。

〔備考〕第二冊目「菓守」と第六冊目「八橋」欠。

98 手 枕 本居宣長

〔九四〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕紺色檀紙表紙。

〔寸法〕二六・七cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に

題簽(一八・〇cm×三・五cm)貼付「たまくら」と墨書。内題「手枕」。

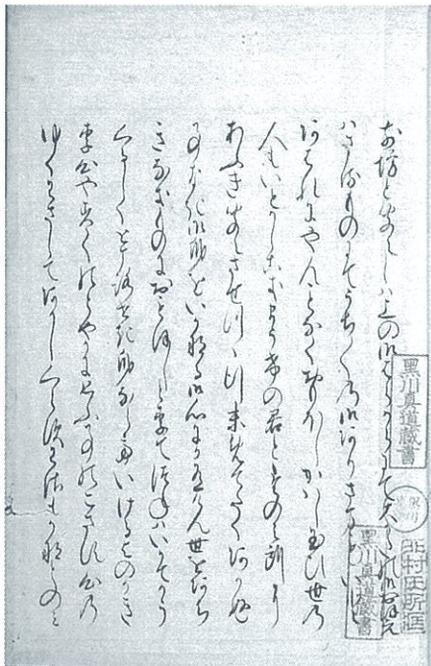
〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付一四丁。

〔印記〕一丁表「北村氏所藏」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真

道藏書」朱印。一三丁裏「佐野氏所持」朱印。

〔奥書〕末尾「寛政六年甲寅(二七九四)仲春写之」。

〔備考〕上辺余白に引歌の注記(墨筆)あり。



99 栄花物語〔絵入版本〕

〔九五〕

版本、九卷、九冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二七・五cm×一九・二cm。

〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽

（一九・〇cm×六・七cm）貼付。一冊目「栄花物語目錄并系図」。

二冊目以降「栄花物語」一（八）（卷名）（九冊目題簽破損）。

「栄花物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一二行。

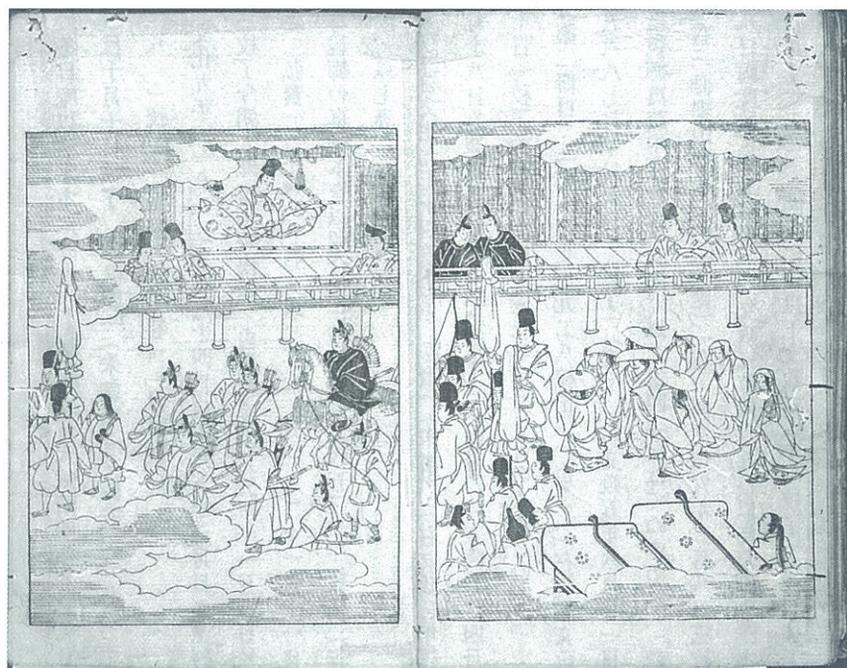
絵入本。〔印記〕一冊目二丁表「黒川真頼藏書」。二冊目以

降二丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道

藏書」朱印。六・八冊目二丁表「温古堂文庫」（塙家）朱印。

〔刊記〕なし。〔識語〕一冊目表表紙見返し「祖父春村の書

入あり 真道識」（朱書）。



100 栄花物語

〔九六〕

写本、四〇巻、一〇冊。〔表紙〕第一〜九冊目、花・紅葉散らし文様表紙。第一〇冊目、松葉散らし文様表紙。〔寸法〕二五・〇cm×一七・八cm。〔外題・内題〕表紙中央に題簽（一六・九cm×三・〇cm）貼付「栄花物語 一之三（四之五・七之九・十之十四・十五之十八・十九之廿四・廿五之廿八・廿九之三十二・三十三之三十六・三十七之四十止）」と墨書（外題は全冊同筆）。扉題「栄花物語巻第一（〜四十）」。各冊表紙右肩には当該冊に収載した巻名を朱書する。一冊目のみ表紙右端に「屋代弘賢校合本」と墨書する。〔料紙〕三楹紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。全冊に朱・青・墨筆を用いての校合・注記・校訂等、屋代弘賢の書入れ多く、各巻に校合奥書がある。〔印記〕題簽・扉表「不忍文庫」。扉表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。一〇冊裏表紙見返し「筒井藏書」。〔奥書・識語〕（第一冊目）「文化八年（二八一）十一月

於冬日庵以活字本／一校了 冬至翌日天氣晴朗如春／首廿二枚十月十日校了 源弘賢」（朱書）、「文政五（二八二）二八 一校了」（青墨、以上卷一「月宴」）。

「文化九年（二八一）正月十四日自天元五年三月日／至終一校了今朝大風雪午時快晴／自卷首至天元五年十一月八日校之 弘賢」（朱書）、「右文政二年（二八一）十一月十一日為親卿の真跡本を以校合了」（墨書）、「文政五三十一校了」（青墨、以上卷二「花山」）。

「右二巻文化九正十四校正了 弘賢」（朱書）、「右文政三年正月十八日為親卿真跡本を以校正了」（墨書）、「文政五年四月十日一校了」（青墨、以上卷三「さま〜のよろこひ」）。

（第二冊目）「右一卷文化九二八校正了」（朱）・「右一卷文政五六八七^七月十日^{秋山}兩日一校了」（青）、「右文政五年六月廿一日為親卿真跡本校合也」（墨、以上卷四「見はてぬゆめ」）。

「右二冊課山本氏いの」（墨）「右一冊文化九年二月八日三月八日兩度校正了」（朱）、「文政三年四月九日以為親卿真跡本校正了」（墨）、「四月には以下文政六正十一校了」（青、以上卷五「うらくのわかれ」）。

「右一冊借皆川庸郡主手」(墨)、「文化九年三月八日校正了」(朱)、「右文政三年四月十日以為親卿真跡本校合了」(墨)、「文政六正十一校了」(青墨、以上卷六「か、やく藤壺」)。

(第三冊目) 「右一冊借川口氏友女ノ手」(墨)、「文化九年三月八日一校了」(朱)、「文政四年五月二日以為親卿真跡之校本一校了」(墨)、「首廿二枚文政六三十校了／至終同年四十校了」(青、以上卷七「とりへ野」)。

「此一冊以万松院等貴之筆跡校合了」高親王子松五山之中相国寺僧也／文

政二年九月重陽後日一校了／同三年二月廿一日余寒澶冽雨雪撲窓日以官府為親卿真跡本／源朝臣正路／右文政四年八月廿七日校正了」(墨、付箋)、「初六枚文政六年四月十日校了／至三十五枚六月廿六日校了 秋山亭／至五十三枚七廿六日校了 桑山亭／至七十五枚九月十日校了 同上／至終九月廿六日校了 同上」(青、以上卷八「はつ花」)。

「文化九年五月八日一校了」(朱)、「至六張文政六年九月廿六日校了 桑／十月廿六日校了 桑」(青)、「文政十年六月五」(五)「ミセケチ」(四)「カ」日以為親卿真跡之／校本一校了」(朱、以上卷九「石蔭」)。

(第四冊目) 「文化九年五月八日一校了」(朱)、「文政五年十月十八日以為親卿真跡本再校了」(朱書)、「初五張文政六十六一校了 桑／次八張十一月廿六日一校了 桑／至終文政七正十校了 桑」(青墨、以上卷十「日かけのかすら」)。

「文政七二廿六一校了 桑」(青墨)・「文政八「八」ミセケチ」(十)と傍書)廿六以為親真跡一校了」(朱書、以上卷十一「つほみ花」)。

「至廿一張文政七五廿六一校了 桑／至終同年六月廿六日校了 同上」(青墨)、「文政十^多年十一月朔日以為親真跡一校了」(朱書、以上卷十二「玉村菊」)。

「文政十一一十四以為親真跡一校了／前二十枚六月廿六日校了／後十枚八月八日校了」(朱書)、「至十七枚文政七七廿六日校了／至十四枚同八廿六校了」(青墨、以上卷十三「木綿四手」)。

「文政十年十二月朔日為親真跡一校了」(朱書)、「右一冊文化九年八月八日校了」(朱書)、「至十七張文政七十廿六一校了／至終十一月廿六日校了」(青墨、以上卷十四「あさみとり」)。(第五冊目) 「初九枚文化九八八校了至終九月八日／校了」

(朱書)、「初十二枚文政八正十一校了／至終文政八三廿六一校了」(青墨、以上卷十五「疑」)。

「首三十六枚文化九九八一校了／至終同年十八一校了」(朱書)、「文政六年六月為親卿等も畢／校合了」(朱書)、「至廿三張文政八四廿六一校了／至終同年五晦一校了」(青墨、以上卷十六「本のしつく」)。

「右一冊文化九十八一校了」(朱書)、「文政八年六月以為親卿筆本校合了」(至十四張文政八六廿六一校了 宅／至廿一張七廿六一校了 宅／至終八廿六一校了)(青墨、以上卷十七「音楽」)。

「右一冊文化九十八一校了」(朱書)、「文政八年乙酉七月十二日以為親本一校了」(朱書)、「至六張文政八年八月廿六日一校了／至終同年十一月廿六日校了」(青墨、以上卷十八「玉台」)。

(第六冊目)「右一卷十一月八日校了」(朱書)、「至十張文政九二廿六一校了／至終四月廿六日一校了」(青墨、以上卷十九「御着裳」)。

「右一卷文化九年十一月八日校了」(朱書)、「文政八^酉年八月

十七日以為親真跡一校了」(朱書)、「文政九七廿六一校了」(青墨、以上卷二十「御賀」)。

「右一卷文化九十一八校了」(朱書)、「右一卷文政九八廿六一校了」(青墨、以上卷二十一「後悔大将」)。

「文化九十一八校了」(朱書)、「至年安頭文政九年春／至爾此同十年閏六月八日校了」(青墨、以上卷二十二「とりのまひ」)。

「文化九十二十六一校了」(朱書)、「文政十九廿一校了」(青墨、以上卷二十三「こまくらへ」)。

「文化九十二十六一校了」(朱書)、「文政八十廿五以為親真跡一校了」(朱書)、「至終文政十十一八一校了」(青墨、以上卷二十四「わか枝」)。

(第七冊目)「文化九十二十六一校了」(朱書)、「至七張文政十一年正月八日一校了／至廿二張同十二年正月八日一校了／至終二月廿六日一校了」(墨書、以上卷二十五「嶺月」)。

「首十一張文化九十二十六校了／自十二張至終同十正十四校了」(朱書)、「文政八十二廿六為親卿以真跡校了」(朱書)、「文政十二九八一校了」(青墨、以上卷二十六「楚王の夢」)。

「文化十正十四一校了」(朱書、卷二十七「衣珠」)、「文化

十二八一校了」(朱書)、「文政九四廿以為親卿真跡一校了」(朱書、以上卷二十八「わかみつ」)。

〔第八冊目〕「文化十二八一校了」(朱書、卷二十九「玉のかさり」)、「文化十二八一校了」(朱書)、「文政九六廿七以為親真跡一校了」(朱書、以上卷三十「つるのはやし」)。

〔首廿枚文化十二八一校了〕(朱書)、「至終三月廿日校了已牌表寿閑書桜／花臺開雨雪霏々余寒難忍清明前二日」(朱書)、「文政十三八二」(墨書、以上卷三十一「殿上花見」)。

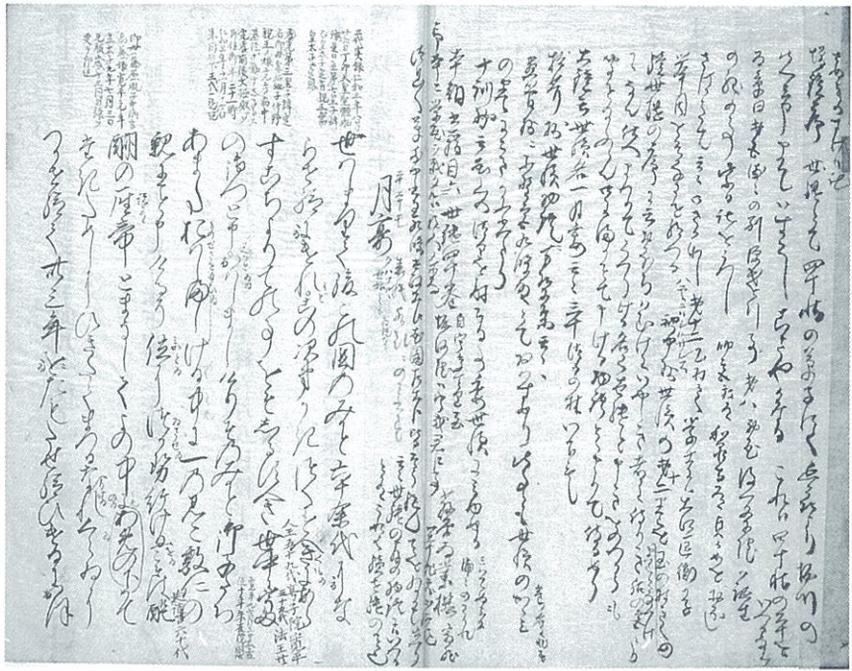
〔右一冊文化十三廿午時雨雪紛々天一校了〕(朱書、卷三十二「歌合」)。

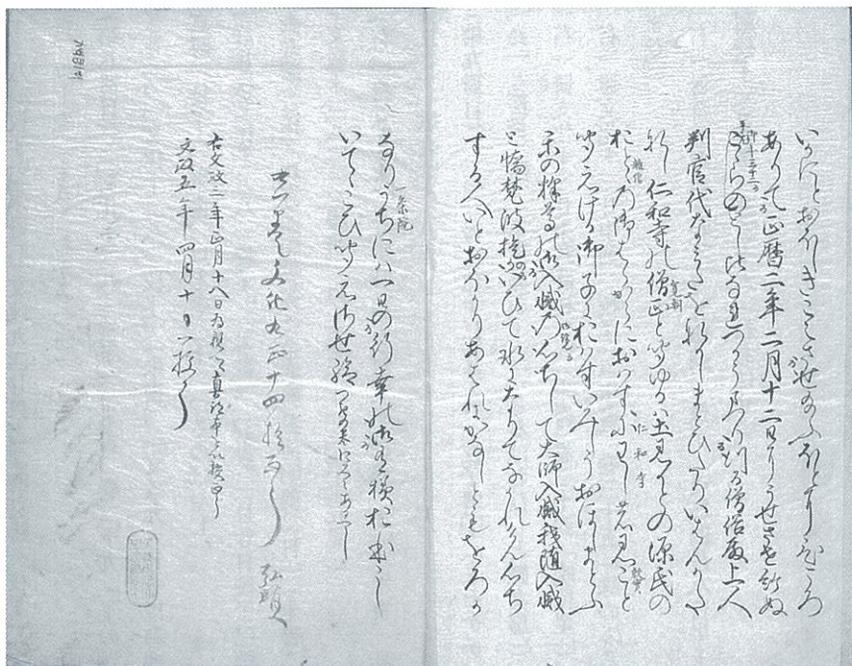
〔第九冊目〕「右一冊文化十三廿午終一校了雪田」(ミセケチ、「為」と傍書)晴」(朱書、卷三十三「さるはわひしと歎女房」)。

〔右二冊文化十三廿未時許校了〕(朱書、卷三十四「晩待星」)。

〔右二冊文化十三廿申刻一校了〕(朱書、卷三十五「蜘蛛のふるまひ」)。

〔右二冊首廿四枚文化十三廿申刻一校了／至終四月八日午上刻校了〕(朱書、卷三十六「ねあはせ」)。





いらし、おれきことせあふりし、かろ
 ありて正暦二年二月十二日、せをせぬ
 御^みま^まの^ごはるまうらり、おれは傍^{はら}佐^さ藤^{とう}上^{じやう}人^{にん}
 判^{はん}官^{くわん}代^{だい}な^のま^まと^とお^おり^りま^まと^とい^いん^んり^り
 外^げ仁^{にん}和^わ寺^じ傍^{はら}佐^さ藤^{とう}上^{じやう}人^{にん}の^の係^{けい}氏^し
 木^きの^の内^の所^のと^とわ^わら^らに^にお^おり^りす^す、^まま^まと^とい^いん^んり^り
 せ^せえ^えけ^けり^りお^おり^りす^す、^まま^まと^とい^いん^んり^り
 示^しの^の標^{ひょう}を^をし^しぬ^ぬ、^まま^まと^とい^いん^んり^り
 三^{さん}橋^{はし}梵^{ぼん}波^は挽^{まき}ひ^ひて^て水^{みづ}を^をり^りて^てお^おり^りん^んり^り
 す^す、^まま^まと^とい^いん^んり^り、^まま^まと^とい^いん^んり^り

ろり、^一茶^{ぢや}院^{いん}に^にい^いひ^ひの^の行^{ぎやう}章^{ぢやう}此^{こゝ}に^に換^かね^ねか^かし^し
 いて、^まま^まと^とい^いん^んり^り、^まま^まと^とい^いん^んり^り

まつよしふ化女むかひめのの後ごすす

古文政三年四月十八日、後々、真頼寺に換ねり
 文政五年四月十一日、後々

〔第十冊目〕「右一冊文化十四八二校了」(朱書、卷三十七「煙後」)。

「右二冊文化十四八一校了未下刻」(朱書、卷三十八「松のしつえ」)。

「首八枚文化十四八一校了／至終六月八日校了」(朱書、卷三十九「ぬのひき滝」)。

「右一卷文化十六八校正了」(朱書)、「天保三三二二校了」(墨書、以上卷四十「むらさき野」)。

101 栄花物語

〔九七〕

写本、零本一冊。〔表紙〕白地に藍色散らし文様表紙。

〔寸法〕二五・〇cm×一七・八cm。〔外題・内題〕表紙中央に

金箔散らし題簽(一六・八cm×三・〇cm)貼付「栄花物語 一

之三」と墨書。〔料紙〕三椽紙。〔体裁〕袋綴。一面二〇行。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。後見

返し「筒井藏書」朱印。

〔奥書〕 卷末「文化八年五月上旬課門人春子書写」。

〔識語〕 卷一月宴末尾「文政五二八一校了」。卷二花山の奥

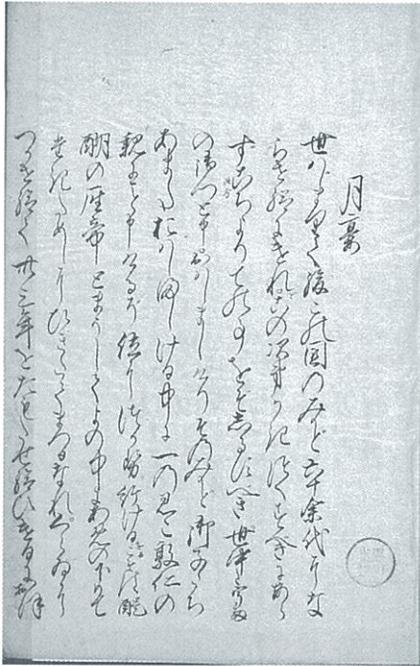
「右文政二年十一月十一日為親卿真跡本を以校合了／文政

五三十一校了」。〔備考〕 内容は榮花物語卷一から三まで。

本行部分は前項100 〓〔九六〕と同一書写者によるもので、内

容も弘賢書入部分以外はほぼ一致する。屋代弘賢書入本第一

冊目と親本が共通するか。



102 榮花物語

〔九八〕

写本、零本一冊。〔表紙〕 薄緑色亀甲繫ぎ型押文様表紙。

〔寸法〕 二八・〇cm×一九・四cm。〔外題・内題〕 表紙左上に

支子色題簽（二七・六cm×三・三cm）貼付「榮花物語 月宴／

花山／さま／のよろこひ／見はてぬゆめ」と墨書。内題「榮

花物語」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面一二行。〔印記〕

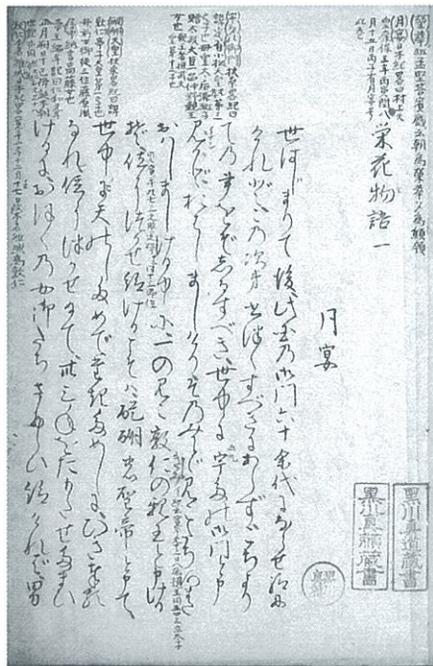
一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」

朱印。

〔奥書・識語〕 なし。〔備考〕 99 〓〔九五〕 絵入版本の本文や、

100 〓〔九六〕（屋代弘賢書入写本）等、複数の本文からの抄出か。

朱・青・墨筆による書き入れ多数。



103

栄花物語考・世継物語考・枕草紙抄

安藤為章・伊勢貞丈 (九九)

写本、一冊（合綴本）。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕

二七・一 cm × 一九・二 cm。〔外題・内題〕 表紙左肩に題簽

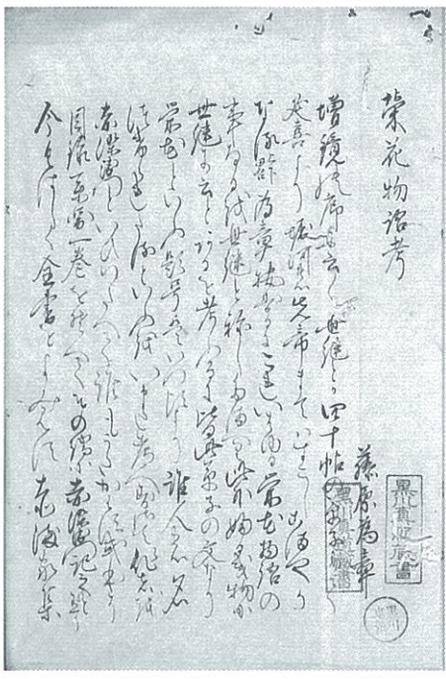
（一八・八 cm × 三・八 cm）貼付「栄花物語考 東丈考（貞丈考）」

ミセケチ「為章考」と傍書」と墨書。表紙右上打付に「世継物語考 平貞丈／枕草子考（抄）同」と墨書。内題はそれぞれ「栄花物語考 為章」「世継物語考 平貞丈述」「枕草紙抄 伊勢貞丈考訂」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。「栄花物語考」は二面一二行。「世継物語考」「枕草子抄」一面一〇行。「印記」一丁表「伴氏家印」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕「栄花物語考」末に「正徳三年癸巳（二七二三）正月二十八日武州小石川水戸藩邸彰／考館にてしるしをはりぬ年山人為章」（墨書）。系図・江記・袋草紙引用の後に「右此書ハ長谷川氏藤良主年来ひめ置せたまふ一帖也えにしありて一日其館まうて侍り／ける時ねもころに乞求て老眼のおほろなるを堪へ忍ひて燈火に寛かに保き三のとしの／夏汗をのこひく／して一夜二夜の程にうつしとり畢ぬ末に系図江記袋草紙等を／書加侍る後人予かあやまりを糺したまへ 于時行年六十歳 桑門義淵」「文化十一戊季十一月十二日使人書写訖 伴直方」。

『世継物語考』自跋「近き世の人栄花物語すなはち世継物語

なる事を／知らず或は大鏡を世継なりといひ或は今世継絶て／なしといひ或は今も世継あれども甚まれにして得／がたしなどいふ人おほかり皆栄花と世継はことなる／ものとおもひまどへるなめりさるによりて証拠を／引て栄花と世継はひとつ物にてその名はふたつある／事をするして人のまどひをとかんとてなんかくは／かきあつめぬ／安永六年丁酉(二七七七)七月日 伊勢平藏貞丈書(花押)。「枕草子抄」なし。



104 栄花物語考 安藤為章 (一〇〇)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕洪染紙表紙。〔寸法〕二七・六cm×一九・五cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽(約一七・六cm×三・一cm。一部破損)貼付「栄花物語 為章考」と墨書。内題「栄花物語考」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一二行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」。

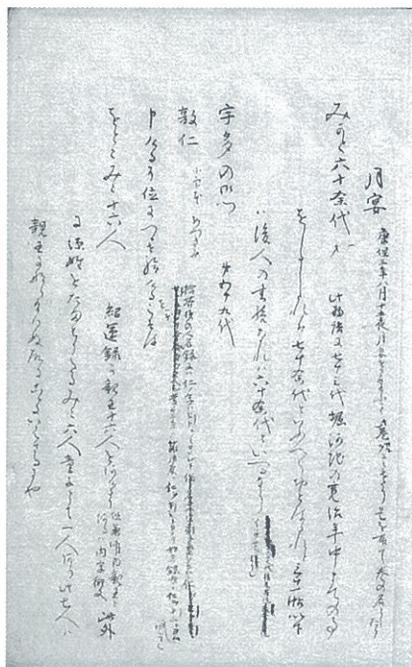
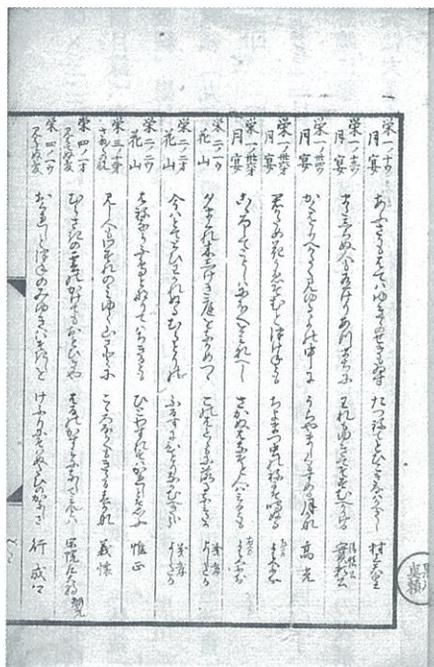
〔奥書〕文末に「正徳三年癸巳(一七一三)正月二十八日武州小石川水戸／藩邸彰考館にてしるしをはりぬ」(墨書)。

〔備考〕前掲103「(九九)所収の「栄花物語考」と同じ。但し為章奥書のあとの系図や追勘なく、跋文あり。

106 栄花物語抄〔草稿〕 岡本保孝 (二〇二)

写本、九卷、九冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕 二三・三cm × 一六・〇cm。〔外題・内題〕 表紙左上に子持野刷題簽(一五・三cm × 三・五cm)「栄花物語抄 一(一〇九)」と墨書。内題なし。〔料紙〕 楮紙。〔奥書〕 なし。〔備考〕 著者岡本保孝による草稿本。推敲の過程が読み取れる資料である。

〔体裁〕 袋綴。一面一〇行書。〔印記〕 一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕 なし。〔備考〕 岡本保孝による草稿。推敲の過程が読み取れる資料である。



107 栄花物語歌抄書〔栄花物語歌集〕〔一〇三〕

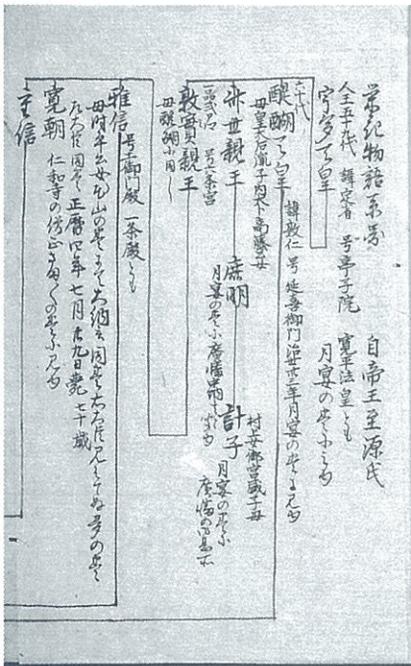
写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色表紙。〔寸法〕二三・七
 cm×一六・七cm。〔外題・内題〕表紙左上打付墨書「栄花物
 語歌集」。内題一丁表「栄花物語歌抄書／六百廿四首」。〔料
 紙〕一丁のみ楮の素紙、二丁目より一面一一行膳脂色罫線の
 罫紙、全二九丁。〔体裁〕袋綴。〔印記〕内題用紙右下、

ノド近くに「黒川／真頼（丸印）」。
 〔奥書〕なし。

108 栄花物語系図〔一〇四〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色亀甲繋ぎ文様表紙。〔寸法〕
 二四・二cm×一六・五cm。〔外題・内題〕表紙左上題簽（一七・八

cm×三・三cm）に墨書「栄花物語歌集」。内題一丁表「栄花物
 語目録」、六丁表「栄花物語系図」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕
 袋綴。墨付三六丁。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／
 真頼（丸印）」「愛岳麓藏書」（大久保西山）「黒川真道藏書」
 朱印。〔奥書〕なし。
 〔備考〕「目録」一〜五丁、一面一六行書。「系図」六〜四〇丁、
 罫線に墨・朱・黄墨を使う。見返し紙が剥がれ、表裏の表紙
 裏に大きく「系図」の朱書が見える。



109 栄花物語目録

〔一〇五〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕香色菱繋ぎ文様表紙。〔寸法〕

二四・五cm×一八・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上題簽（一七・四cm×三・七cm）に墨書「栄花物語目録□□完」。内題なし。

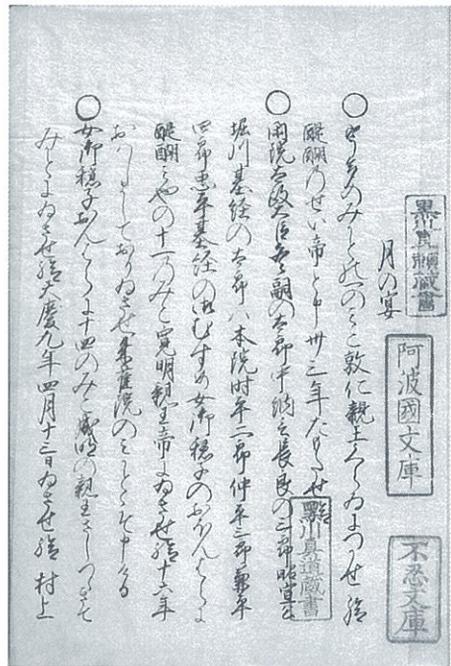
〔料紙〕斐紙。〔体裁〕袋綴。表裏遊紙各一丁。墨付八二丁。

〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「阿波國文庫（子持野）」「不忍文庫（子持野）」「黒川真道藏書」朱印。卷末八二丁裏にも

「阿波國文庫」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕表紙題簽右脇に旧蔵書票が貼付されている。



110 栄花物語目録（金沢文庫本）〔一〇六〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕素鼠色蜀江錦文様唐紙表紙。〔寸

法〕二七・二cm×一九・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に打

付書「栄花物語目録 金沢文庫本」、右端に「天徳哥合／秋萩帖」

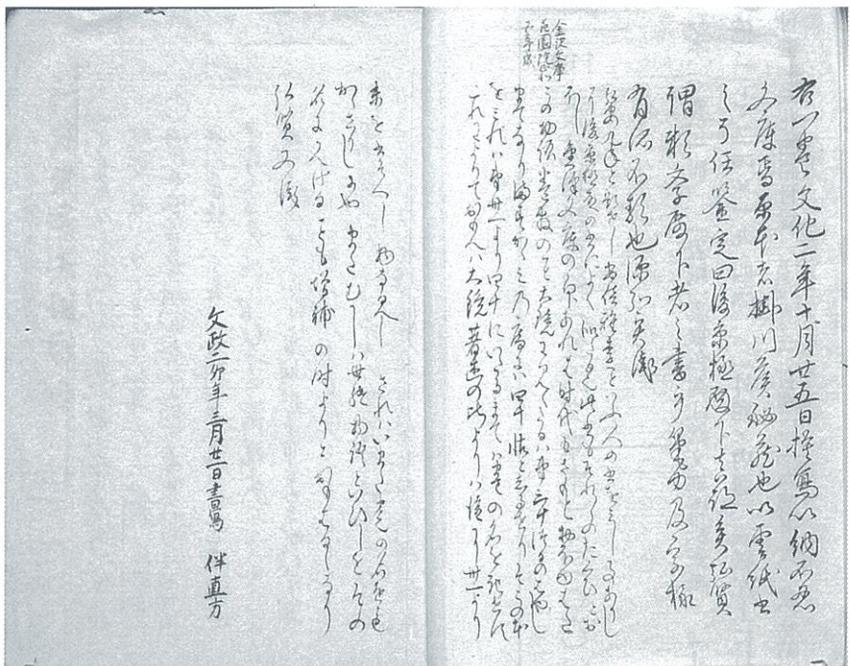
と墨書。その下に「伴直方写本」と朱書。内題「榮花物語目録」**金沢文庫**。「金沢文庫」は手写。「料紙」。

〔体裁〕袋綴。一面行数不定。墨付三三丁。〔印記〕一丁表右端「黒川真道藏書」「黒川／真頼(丸印)」「伴氏家印」「黒川真頼藏書」朱印。

〔奥書〕一一丁表「文政二卯年三月廿一日書写 伴直方」墨書。二二丁裏「^{秋萩}秋萩帖奥書／帖之真本藏于府下清光僧院相伝小野内蔵頭道風の書雖無明徴而／筆法之妙高攀二王卓絶無倫奮伝蓋不謬也往歳吾社交長者就院／攀摺用心周密幾無毫差遂鐫以布焉距今已三紀中間有故／鏤版散逸歎惜者久矣乃者篆工虚舟請旧準鈎再図不朽則／刻就而覽之精巧実有加云／天明乙巳秋 大坂府中井積善識」

末尾三三丁裏「一本／右二十二首脱文凡十六字衍文凡二字未逸其半／文政四とせ十二月狛緒成の本もて写しぬ／伴直(花押)」。

〔備考〕表表紙見返し右端に「安幾破起帖 一帖 府下清光僧院蔵／小野道風の仮字なり和哥二十二首のうち脱文十六字衍字^文二字あり／奥のうた下句を脱せり 天明五年十月前川虚

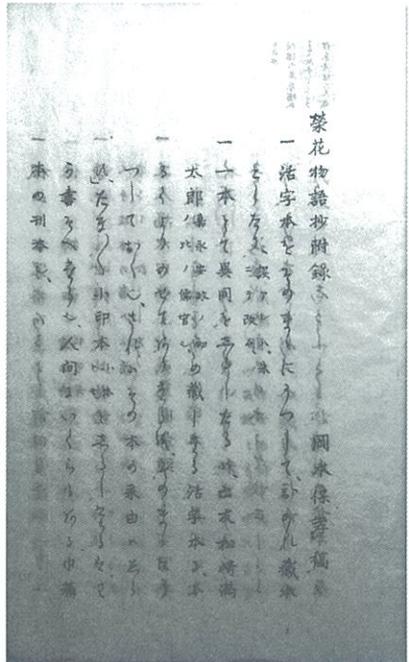


110 榮花物語目録(金沢文庫本)

舟家に刻」と墨書。またザラ紙が挟んであり「榮花物語目録
 一冊本^{二冊本} (一) / 金沢文庫本を伴直方が文政四年 / に書写したも
 の。」とペン書。一二丁表〜二〇丁表「行成卿書天徳歌合」、
 二二三丁表〜三三丁裏「秋萩帖」。

111 榮花物語抄付録 岡本保孝 (一〇七)

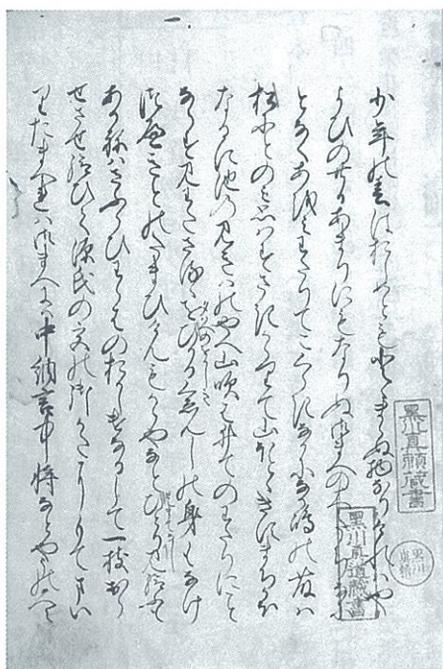
写本、一巻、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕
 二四・二cm × 一六・五cm。〔外題・内題〕表紙左上題簽に墨
 書「榮花物語抄附録」。内題「榮花物語抄附録」。〔料紙〕斐紙。
 〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」
 「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。
 〔備考〕106 = 「一〇二」と同一装丁。



112 さころも (一〇八)

写本、四巻、一二冊。〔表紙〕松葉色雷文繫ぎに草花散ら
 し文様表紙。〔寸法〕二六・八cm × 四九・二cm。〔外題・内題〕
 表紙左上に朱色題簽(十五・五cm × 三・一cm) 貼付「さころも」

一（十二）と墨書。一冊目のみ表紙右下に「共十二冊」と朱書。内題なし。〔料紙〕楮斐混ぜ漉き。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕各冊一丁表右端「黒川真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」朱印。〔奥書〕なし。



113 狭衣〔古活字版〕 〔二〇九〕

古活字版、八卷、八冊。〔表紙〕〔寸法〕二八・〇cm × 二〇・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽（一七・六cm × 三・五cm）貼付「狭衣 卷第一上（第四下）」。内題「狭衣」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一二行。〔印記〕各冊一丁表右端「黒川真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔参考〕川瀬一馬『古活字本之研究』の「元和中無刊記本（口種）」と同版。上野英子「実践女子大学図書館蔵『狭衣物語』諸本書誌」（実践女子大学文学芸資料研究所『年報』一八号、一九九九年三月）、実践女子大学所蔵優品二『古活字版 好色本 赤本 歌舞伎雑の部』（文芸芸資料研究所、二〇一〇年四月）。

狭衣卷第一之上

少幸乃春ハ新ハめともやう感らぬ物介わけ違ハ
やうハの正目原ももゆもなぬぬあハ味方らなま
となくあはえりわつてまらくき中ノ一ハ中時ハ
ハぬふとろくももりハきやうくつて山ハやうま
まらあかあはま池ハ竹ハ八重山吹ハ舟ハもりわ
ま小あとなくハえりわささゆくタリハ乃移ハさ
ひとりえ竹もあうぬハまらハまらハこのむ
きなふして「極おくを路で源茂のさのりくつり
かてぬりなまうまらハまらハ中ハ中ハ中ハ中
やうハんてまらハまらハまらハまらハまらハ
うまらハまらハまらハまらハまらハまらハ

黒川真道蔵

表紙

黒川真道蔵

114 狭衣〔古活字版〕〔追補1〕

古活字本、四卷、四冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕
二七・二cm×一九・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に書題簽
「狭衣 一（四）」。一冊目表紙右端「源道別校合本 共四

冊〕墨書、「活字本」〔朱書〕。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。
一面二行。〔印記〕一冊目二丁表「新宮城書藏」「朝田家
藏書」「岸本家藏書」「黒川真道藏書」〔全て朱印〕。全冊巻尾
に「月明荘」「平乃由豆流」〔朱印〕。

〔奥書・識語〕無刊記。「文化十年歲次癸酉（一八一三）三月
七日校合畢」（墨）、「元和九年（一六二三）五月中旬 心也
開版ノ右ハ古活字一本（村尾氏ノ藏本）ニ此ノ如ク年号及心
なり開版ノ字アリ此ノ本ノ版ハ同シクシテ殖ヤウ異ナリ 故
ニ活字一本ト記ス」（朱）、「源道別（花押）」（青墨）。

〔備考〕一橋家に仕えた信夫顕祖（源道別）の書入本。墨・朱・
青墨の書入多く、殆ど胡粉で抹消した上にさらに墨・朱の書
入を施す。印記によれば岸本由豆流・水野忠央を経て黒川家
に記したことが分かる。〔参考〕川瀬一馬『増補 古活字
版之研究』の「元和中無刊記本（口）種」と同版。上野英子
「実践女子大学図書館蔵『狭衣物語』諸本書誌」（実践女子大
学文学資料研究所『年報』一八号、一九九九年三月）。

版本、九卷、五冊（一冊、下紐）。〔表紙〕 香色菊唐草文様

表紙。〔寸法〕一三・四cm×一五・四cm。〔外題・内題〕第

一冊は表紙左上に題簽剥離の痕、「狭衣物語」と墨書。二冊目以下は表紙左上に刷題簽（一三・九cm×三・六cm）貼付「さ

ころも 二〔二〕ミセケチ「壺」と傍書」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面二行。〔印記〕各冊一丁表右端「黒川

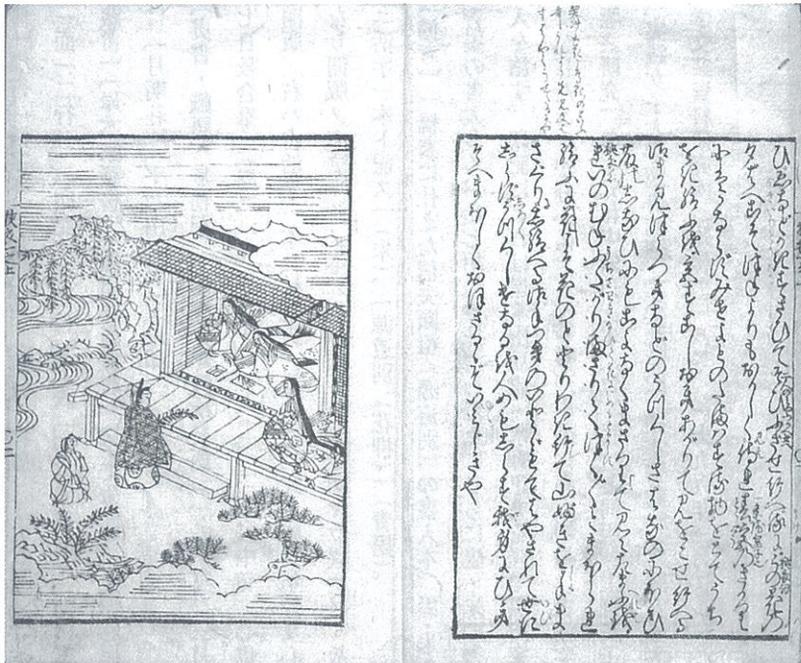
真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」朱印。

〔刊記〕第四冊末尾「寛政十二年己未ノ秋ノ寺町二条下ル丁

ノ親信改名ノ三木安兵衛ノ承応三甲午歳季秋吉辰ノ烏丸通二条上ル二丁目ノ三木氏親信梓行」。

〔識語〕一冊目表表紙見返し「中村秋香校本」（朱書）、第四冊五十六丁裏「右中村秋香校本也明治四十三年十二月廿六日ノ購求す 真道」と朱書。〔備考〕旧目録は「写本」と誤植。

本文八卷四冊。表紙は国文学研究資料館蔵「八代集抄」天和



二年版（函架番号ア二一一）と同一。

116 狭衣〔真頼書入本〕（二一一）

版本、一〇卷、一〇冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二二・六cm×一五・六cm。〔外題・内題〕第一・二冊題簽剝離。第三冊刷題簽（二六・八cm×二・七cm）貼付「さころも 二之上」。一冊目表紙右上「書入本／真頼書入本」と朱書。同右下「共十冊」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一一行。〔印記〕各冊一丁表右端「黒川真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」朱印。〔刊記〕なし。

〔識語〕第一冊「古トアルハ古本也屋代弘賢カ校合本ニモ此ノ古本ヲ比較シタリ」（墨）、第二冊「古トアルハ古本也屋代弘賢カ比較セルモ此ノ古本ナリ」（墨）、第八冊「四卷為家卿筆」（朱）、第一〇冊「寛政五とせ（一七九三）十一月古本もて考へしるせり 平春海／明治十年十一月一読了 黒川真頼

／同 十七年八月以家藏古写本比較了 真頼」と朱書。旧目錄は「写本」と誤植。

〔参考〕上野英子「実践女子大学図書館蔵『狭衣物語』諸本書誌」（実践女子大学文芸資料研究所『年報』一八号、一九九九年三月）。

117 狭衣（二一二）

版本、一〇卷、一〇冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二二・三cm×一六・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽（二五・三cm×二・八cm）貼付「さころも 一之上（四之下）」。第一冊のみ表紙右上に「書入本」、右下に「共十冊」と朱書する。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一十一行。単辺無界。絵入本。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真道藏書」「黒川真頼藏書」朱印。〔刊記〕なし。

〔備考〕承応三年版の後刷。

〔参考〕上野英子「実践女子大学図書館蔵『狭衣物語』諸本書誌」
〔実践女子大学文芸資料研究所『年報』一八号、一九九九年三月〕。

118 狭衣下紐 里村紹巴

〔一一三〕

版本、四卷、四冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

二二・七cm×一五・八cm。〔外題・内題〕表紙左上刷題簽「下

ひも一（二三／四）」下ひも 系図／逍遙院殿御作（朱書）。

内題「狭衣下紐」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。単辺単郭。

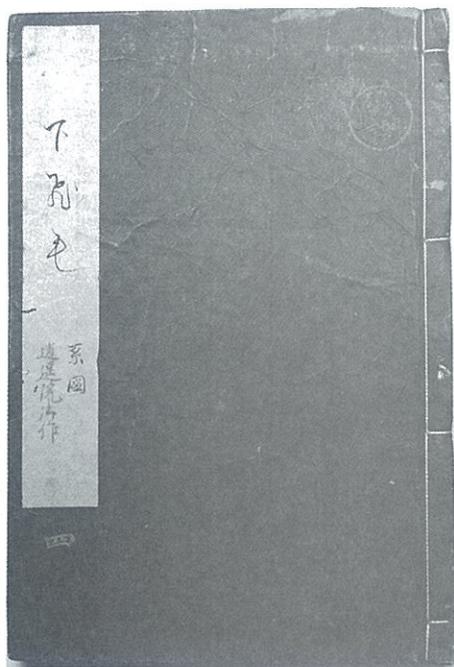
一面二行。〔印記〕

〔刊記〕第三冊一八丁裏「承応三甲午歳季秋吉辰／烏丸通二
条上ル二町目／三木氏親之部梓行」。

〔識語〕第三冊裏見返し「斯さころもの系譜は西三条逍遙院
入道堯空尊者の御作云々尤精／撰なるへしこのころ他本をあ

つめ校合するに展転書写のあやまりに／損落の文字又前後の
錯乱ありて是非をわきまへかたきところく／本書に考合て聖
書せしめ畢于時承応甲午歳仲夏日東京黄／台山釈野切臨叟誌
之／承応三甲午歳季秋吉辰／谷岡七左衛門板行」（朱書）。

〔参考〕上野英子「実践女子大学図書館蔵『狭衣物語』諸本書誌」
〔実践女子大学文芸資料研究所『年報』一八号、一九九九年三月〕。



119 狭衣下紐 里村紹巴

〔追補2〕

版本、一冊零本。〔表紙〕藍色無地表紙。〔寸法〕

二二・四cm×一六・一cm。〔外題・内題〕表紙中央上部に題

簽（二五・二cm×二・五cm）「下ひも」。右下に「欠本」と朱書。

内題「狭衣下紐第一」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一

面一一行。七七丁。四周単辺。〔印記〕一丁表に「黒川真

頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。

〔備考〕承応三年版。下卷欠本。

120 さころも〔舞の本〕

〔一一四〕

版本、一巻、一冊。〔表紙〕香色斜刷毛引表紙。〔寸法〕

二三・八cm×一六・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち

野刷題簽（二五・八cm×一六・七cm）貼付「さころも 舞双紙

全」。右上に「舞ノ草昏」と朱書。内題「さころも」。〔料紙〕

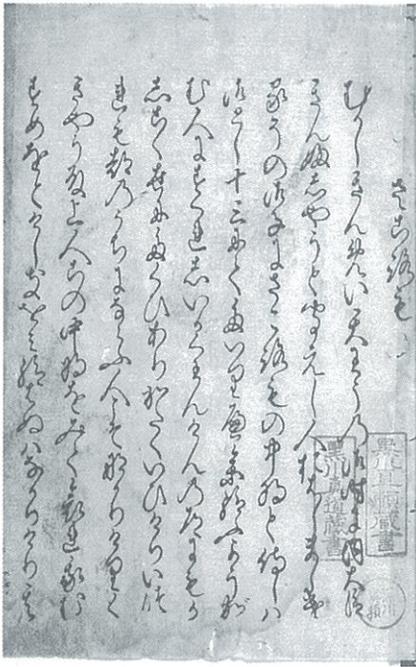
楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。全四一丁。絵入本。

〔印記〕一丁表右端「黒川真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒

川真頼藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔備考〕挿絵一五図、彩色あり。



121 狭衣系図

〔一一五〕

版本、一卷、一冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

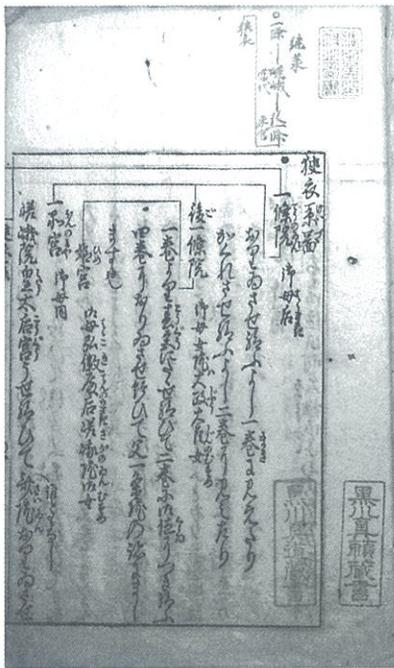
二四・〇cm×一五・四cm。〔外題・内題〕表紙中央に刷題簽

（二四・五cm×二・五cm）「狭衣系図」。表紙右上に「承応三年版」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一七丁。

〔印記〕一丁表右上「濱田侯公／府之図書」（浜田藩松平家）

朱印、同右下「黒川真道藏書」「黒川真頼藏書」朱印。

〔刊記〕末尾「承応三甲午歳季秋吉辰／谷岡七左衛門板行」。



122 夜のねさめ

〔一一六〕

写本、五卷、五冊。〔表紙〕薄紅色布目地に刷毛引き表紙。

〔寸法〕二六・六cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に

刷題簽（単郭四隅に「萱／窗／叢／書」と刻す）に「よるのねさめ」墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。二面一二三行。

〔印記〕各冊一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒

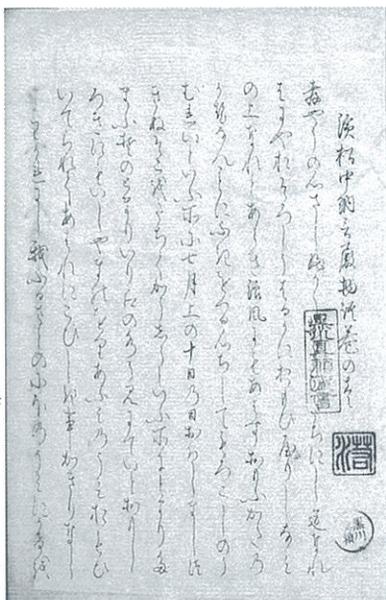
川真道藏書」朱印。

〔識語〕第三冊（改卷五）「明治三十六年十月一読之際故横山由清之説ニ從テ順序改正ス本文誤脱ハ他日善本ヲ得テ校正ヲ期セン／黒川真道」（朱書）。

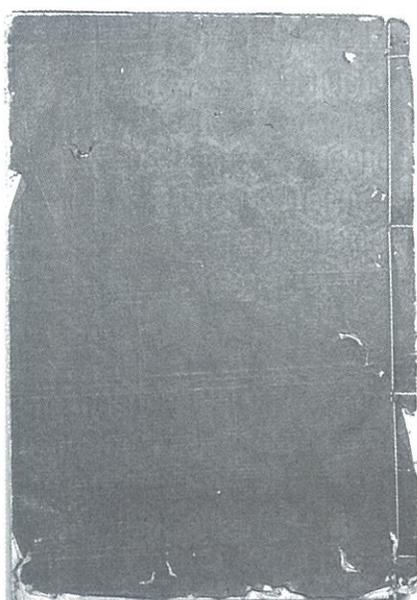
〔備考〕本文・書体等松平文庫本と相似する事実は左の諸論考に指摘がある。卷序に錯乱があるのも諸本に同じ。

〔参考〕大野木克豊『寢覚物語解題及考略』（関根慶子・小松登美『寢覚物語全釈』学燈社、一九六〇年）、野口元大『夜の寢覚研究』（笠間書院、一九九〇年五月）Ⅰの第一章「諸

123 『浜松中納言物語』



124 『堤中納言物語』



124 堤中納言物語

〔二一八〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕紺色花文二重亀甲繫ぎ文様表

紙。〔寸法〕二四・〇cm×一六・九cm。〔外題・内題〕表紙

左上に打付書「堤中納言物語」朱書。〔料紙〕楮紙。〔体

裁〕袋綴。一面一〇行。墨付七五丁。前後に遊紙各二丁。

〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」〔愛

岳麓藏書〕「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕表紙は108 Ⅱ〔一〇四〕『榮花物語系図』と同じ。〔愛

岳麓藏書〕印も同様。二六丁表〔むしめつるひめ君〕末尾

左下に「本書八行三十五枚」と墨書。「はな桜をおる少将」

二丁表～二二丁表、「むしめつるひめ君」一二丁裏～二六丁

表、「あふさかこゑん中納言」二六丁裏～三四丁表、「かひあ

はせ」三四丁裏～四二丁裏、「おもはぬかたにとまりする少将」

四二丁表～五一丁表、「はなたの女御」五一丁裏～六〇丁裏、

「はいすみ」六二丁表〜七〇丁表、「よしなしこと」七〇丁裏
〜七五丁裏。

125 とりかへばや (一一九)

写本、三巻、三冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二七・二cm × 一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題籤

(一七・九cm × 三・〇cm)に「とりかへばや(朱印)一(一三)の巻」と墨書。印記は「竹/南淵」(二・三cm × 二・三cm)。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。二面二行。墨付、一―六七丁、

二―三五丁、三―四五丁。〔印記〕各冊一丁表「篁園文庫」

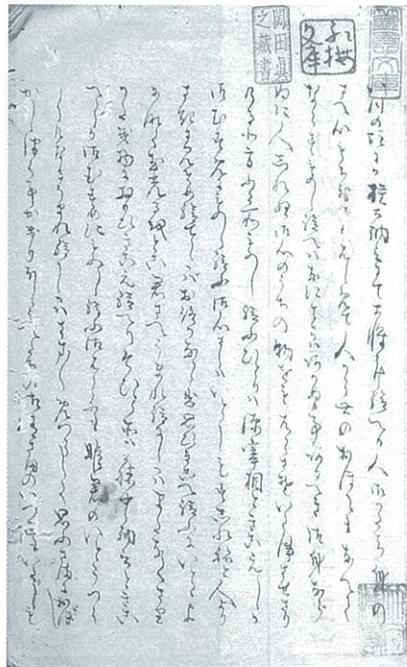
「紅梅文庫」「岡田真/之藏書」「竹内/南淵印」朱印。

〔識語〕第一冊表紙見返し右端「竹内南淵之手写也」。第三

冊四四丁裏「右とりかへばや四巻は蓬萊氏の本をかりて/写しとり校合をへぬ/天明五年乙巳正月十日 本居宣長/右鈴

屋大人の御本もてうつつしぬ 藤原磯足」、同四五丁表「右可

以北為南物語者無極楼主人/所藏之書也一日借以騰写畢矣/蓋有魯魚及脱漏具現者辨焉/文政第五壬午曆冬十月念々/編之/竹内弥左衛門(花押)。〔備考〕竹内弥左衛門(恭通。南淵と号す)は伊勢桑名の国学者。嘉永五年(一八五二)没。



126 とりかへばや物語

〔二一〇〕

写本、四卷、三冊。〔表紙〕木賊色水玉に竹葉文様表紙。〔寸

法〕二六・九cm×一八・五cm。〔外題・内題〕題簽、第一冊

のみ表紙中央「とりかへばや物語 一二」。第二・三冊、左上

「とりかへばや物語 三(〜四終)」。各冊表紙右上に「磯足本」

と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二四行。墨付、

第一冊一五九丁、第二冊一四九丁、第三冊一四七丁。〔印記〕

各冊一丁表「岡田真／之藏書」「紅梅／文庫」(前田善子)「黒

川真頼藏書」「黒川真道藏書」「肥島原藩／坂本氏藏」(朱印)。

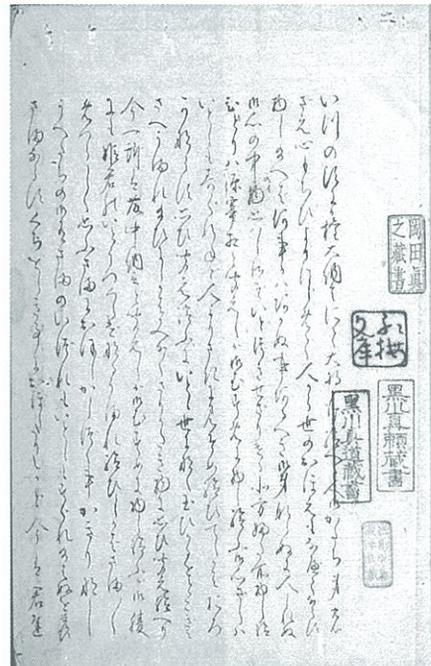
各冊末尾「月明／莊」朱印。

〔奥書〕第三冊末尾四七丁裏「天保七年(一八三六) 水無月

かきうつしぬ／梅の屋保足」墨書。

〔備考〕加藤磯足の自筆本。磯足は尾張の国学者。文化六年

(一八〇九) 没。



127 とりかへばや物語

〔二一一〕

写本、四卷、四冊。〔表紙〕縹色無地表紙。第一・三冊、裏

表紙灰色無地。〔寸法〕二五・四cm×二八・二cm。〔外題・

内題〕表紙左上に題簽「とりかへばや物語 一(〜三)」「取

換者也ものかたり 四」。内題なし。第一冊のみ表紙右上に「校

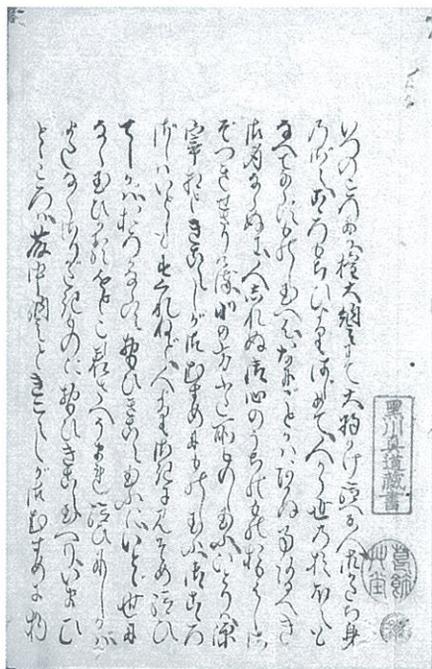
本」右下に「共四」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一二行。墨付、卷一―五六丁、卷二―三〇丁、卷三―六三丁、卷四―六二丁。〔印記〕各冊一丁表「黒川真道藏書」

「葛飾艸庄」「中川氏藏」（中川得楼）朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕題簽、子持野の刷題簽（一九・〇cm×四・〇cm。記載無）の上に楮紙を貼付し、更にその上に題簽（一八・六cm×三・六cm）を貼付する。朱の書入あり。



128 とりかへばや

〔一二三〕

写本、四卷、四冊。〔表紙〕丁子色布目表紙。〔寸法〕

二五・四cm×二〇・三cm。〔外題・内題〕表紙左上打付書」と

りかへばや 一（〜四）。内題「とりかへばや 一（〜四）」。

第一冊表紙右下「共四冊」と墨書。〔料紙〕斐紙。〔体裁〕

袋綴。一面一〇行書。墨付、一―六五丁（前後遊紙各二丁）、

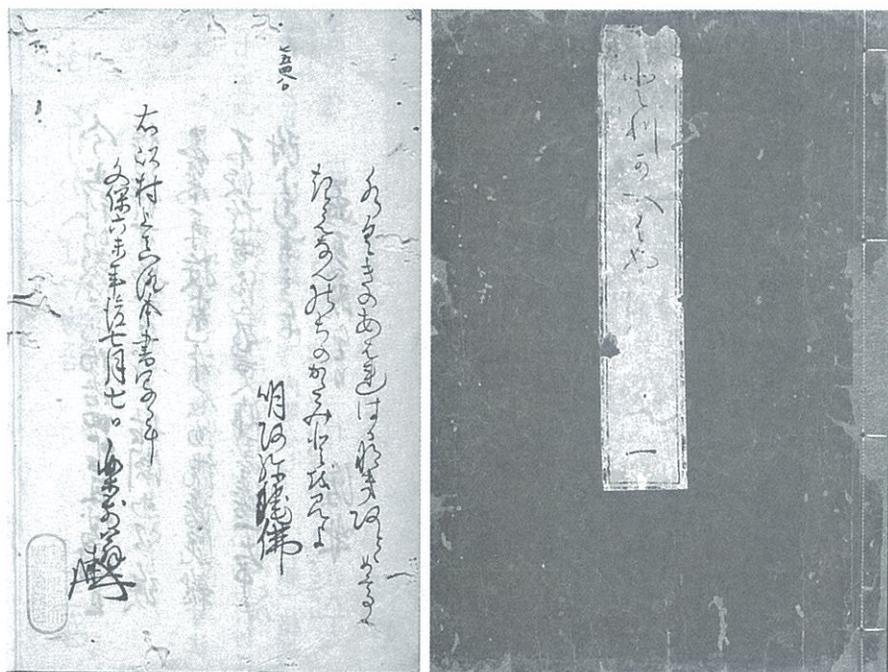
二―四〇丁（前後遊紙各二）、三―七九丁（前後遊紙二）、四―

九二丁（前遊紙二）。〔印記〕各冊一丁表右下と巻末左下に「黒

川真道藏書」朱印。各冊巻末に「和楽／斎」朱印。第四冊裏

見返し左下に「筒井藏書」朱印。

〔奥書〕なし。



130 登利可遍婆也物語(とりかへばや物語)(一・二四)

写本、七冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕一九・六cm

×一六・四cm。〔外題・内題〕表紙左上題簽(一五・〇cm×二・

七cm)「登利可遍婆也物語 一(七七)」。内題なし。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面六行。墨付、第一冊一〇七丁、

第二冊一七二丁、第三冊一七〇丁、第四冊一九三丁、第五冊

一八七丁、第六冊一九三丁、第七冊一七九丁。〔印記〕各

冊第二丁表右下「黒川／真頼(丸印)」「黒川真頼藏書」「黒

川真道藏書」朱印(第一冊のみ表表紙左下に「黒川真道藏書」

朱印)。第一冊のみ末尾に「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕第七冊末尾七九丁裏「水くきのあはれはかなきあと、

めて／きえなんのちのかたみとを見よ／明阿弥陀仏」「右以

村上真澄本書写畢／文保六年 年後七月七日 楽前翁(花

押)」。〔備考〕頭書、行間の注釈・校異の書入(ほとんど墨書、

一部朱書)多し。

131 とりかへばや物語

〔一二五〕

写本、一冊零本。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二七・五cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付に墨書「とりかへばや物語 下」。内題なし。〔料紙〕楮紙。補修済み。〔体裁〕袋綴。一面二行。墨付、一五八丁。



〔印記〕第二丁表上部中央に「清水浜／臣藏書」朱印。右下に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。末尾二五八丁表「泊酒舎藏」朱印。〔奥書〕なし。

〔備考〕細字頭書・傍記の墨書あり。表紙右上に「浜臣本」、右下に「上巻欠（墨書）／零本（朱書）」。

132 多武峯少将物語

〔一二六〕

版本、一巻、一冊。〔表紙〕香色七宝繫文様型押表紙。〔寸法〕二七・三cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽（一九・二cm×三・三cm）に「多武峯少将物語」。内題「多武峯少将物語考証」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二行。〔印記〕一丁表右上下に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」。「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。

133 あまのかるも

〔一二七〕

写本、四卷、二冊。〔表紙〕香色横刷毛目文様表紙。〔寸

法〕二七・三 cm × 一八・三 cm。〔外題・内題〕表紙中央に題

簽（一六・九 cm × 三・六 cm）に墨書「阿万の可累物 一二」「海

士農荊藻 三四」。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一一行。墨付、第一冊一四〇丁、第二冊一三五丁。遊紙、

前後各一丁。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」

「會田家藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。

134 苔の衣〔黒川春村書入本〕 〔一二八〕

写本、五卷、五冊。〔表紙〕薄縹色絹目地表紙。〔寸法〕

二七・三 cm × 一八・八 cm。〔外題・内題〕表紙中央紙題簽（青

墨流）一八・八 cm × 四・一 cm。「苔衣 一（五）」「こけころも

二（一四）」。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一〇行書。墨付、各五四・四八・五四・四一・三九丁。〔印

記〕各冊一丁表右下に「黒川真頼藏書」「黒川光隆」「黒川真

道藏書」朱印。〔奥書〕第五冊三九丁表の左上端に貼紙「校

合本／埴氏藏書奥書／右四冊正敷元本令借之／写之畢不可有

他見者也／天和元年仲秋吉日」と校合本奥書を記す。各冊

末尾にその冊内の歌数を記す。第一冊五一丁表「歌員十九

首」、第二冊四七丁表「歌員十七首」、第三冊六二丁裏「歌員

三十六首」、第四冊四一丁裏「歌員十一首」、第五冊四〇丁表

「歌員十六首／惣計九十九首」と細字で記す。

〔備考〕第一冊一丁表に春村の序、一丁裏から二丁裏にかけ

て系図を付す。系図末尾に「右は一読のついでに對外をしる

せるなれば猶不審のすち／おほかり他日なほ再考／芳蘭

（花押）」（芳蘭は春村の号）とある。本文は前田本系統。

〔参考〕横井孝「実践女子大学図書館蔵『苔の衣』（五本）」（実

踐女子大学文芸資料研究所『年報』一一号（一九九二年三月）。



135

苔の衣〔黒川四冊本〕

〔二二九〕

写本、四卷、四冊。〔表紙〕第一・二冊は打曇に唐獅子・石橋文、「石橋」の散らし文字。第三冊は打曇に千鳥・若松文様表紙。第四冊は打曇に菊花・桜花並び文様表紙。〔寸法〕二六・〇cm×一九・五cm。〔外題・内題〕中央に金銀箔散らし題簽（一三・六cm×三・一cm）「こけ乃衣 一（一四）」。内題なし。「異本」と朱書する。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、各五二・四八・五九・七〇丁。

〔印記〕各冊一丁表右上下に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印、「黒川／真頼（丸印）」朱印。第四冊裏表紙見返し左下に「筒井藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕朱筆の書入僅かにあり、墨筆の書入多し。ほとんどは本文の修正。また小紙片を本文の脇に貼付して修正箇所を示す。本文は穂久邇文庫本に近似。

〔参考〕横井孝「実践女子大学図書館蔵『苔の衣』（五本）」（実践女子大学文芸資料研究所『年報』一一号（一九九二年三月））。

136 岩清水物語

〔一三〇〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕白緑色絹目地唐草型押表紙。

〔寸法〕二七・〇cm×一八・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に

題籤（一八・〇cm×三・四cm）墨書「岩清水物語 上下全」。内

題「岩清水物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一四行。

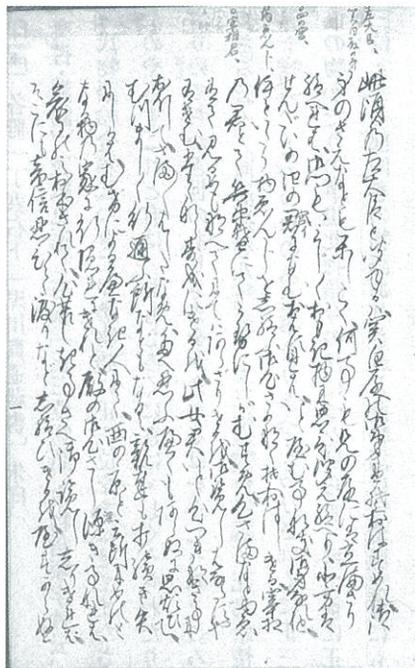
墨付、五七丁。〔印記〕一丁表右下、末尾五七丁裏に「黒

川真道藏書」朱印。

〔奥書・識語〕表紙見返し右端に「本居宣長翁本書を正三位物語とおもひて寛政六年八月十一日かへりよみたるよし記されたる／はよくも考さりしなり正三位物語と岩清水物語とは別物なりしこと予か祖父春村の古／物語類字抄に弁せり」と細字で朱書。末尾五七丁裏「文政元寅年書写畢 真綽」（以

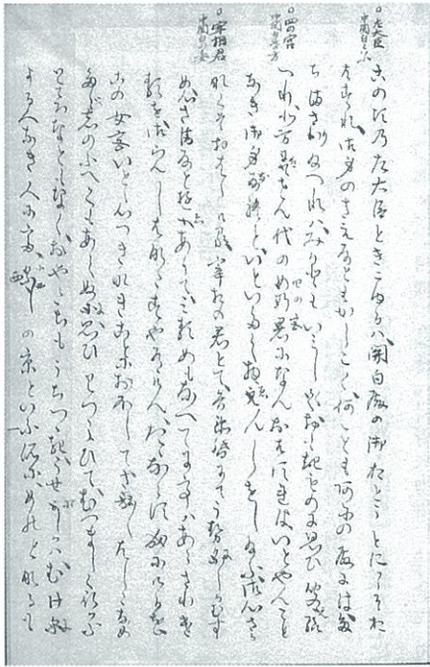
上墨書）「帝國図書館本奥書／正三位ものかたり柴田常昭の本をかりてうつさせたる一かへりよみ／あはせた、しつ／寛政六年八月十一日／本居宣長／明治三十七年十一月十三日帝國図書館本の（謄―補入）写本によりよみ畢ぬ于時征露／の王師旅順を囲み沙河大戦後の報新聞紙上に連載しつ、ある頃なり／黒川真道」（以上細字朱書）。

〔備考〕表紙右上に「真道校本」と朱書。朱・墨の書人多し。次項「正三位物語」二冊と表紙装丁・題籤筆跡ともに同じ。



137 正三位物語(岩清水物語) (一三一)

〔表紙〕白緑色絹目地唐草型押表紙。〔寸法〕二七・〇cm×一八・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽(一八・〇cm×三・四cm)に墨書「正三位物語 上(下)」。内題「正三位物語 上(下)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。



〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書・識語〕表紙見返し右端「正三位物語、古物語類字抄云、源氏物語絵合巻云つきに伊勢物語に正三位をあはせてまたさためやらすこれと有は／おもしろくにきは、しくうちわたりよりめてちかき世のありさまをかきたるはをかしうみところまざる云々／河海抄巻八巻合云、上三位古物語本上は正典／花鳥余情巻十巻合云、よのつねのあた事をひきつころひされるに正三位の物かたりの事也此物語今の代につたはらす／按に世に正三位として全部四巻の物語ありされと此物語は色葉風葉等にも載て見えねはいと既くより散失して伝はら／さめれはいふかしくてよく読考へしにあらぬ石清水物語なりきさるを其本の奥書云正三位物語柴田常昭の本をかりてう／つさせたる一かへりよみてあはせた、しつ寛政六年八月廿一日本居宣長とあり此翁も名のめつらかなるま、に深くも考へ訂されすして／倉卒に写されしなるへし幼学まことの正三位となおもひそ云々」と細字朱書。下巻末尾「正三位物かたり柴田常始(朱でミセケチ「昭」と朱傍書)か本をかりてうつさせたる一かへりよみ／あはせた、しつ／寛政六年八月十一日 本居宣

「長」墨書。「明治三十七年一月以帝國図書館本謄寫了寫字尤拙他日可加訂正／黒川真道」朱書。

〔備考〕「筒井文庫」藏書票（藤脂色罫線、四・四cm×上底八・四cm×下底一〇・六cmの台形）が挟み込まれる。

138 しのはね物語

〔一三二〕

写本、二卷、二冊。〔表紙〕縹色表紙。〔寸法〕二七・二

cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一九・四

cm×三・七cm）に「しのはね物語 上（下）」（上巻「しのは

ね物語」。内題「しのはね物かたり」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕

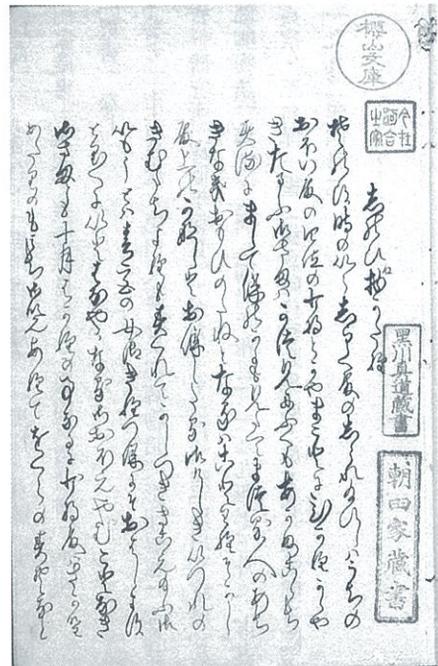
袋綴。一面二行。墨付、上一三八丁（遊紙、前二後二丁）、

下一三二丁。〔印記〕各冊一丁表右端「櫻山文庫（丸印）」（鹿

島則文）「今杜／酒合／之家」「黒川真頼藏書」「浅田家藏書」

以上朱印。下卷末尾三二丁裏左下「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。



139 なよ竹物語

〔一三三〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二三・二cm×一六・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽「な

よ竹物語 一名鴨門中將」墨書。右端「熊野紀行増基／伴直方自筆

付いぬほし

校本」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面八行。

墨付二四丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真前藏書」「黒川真

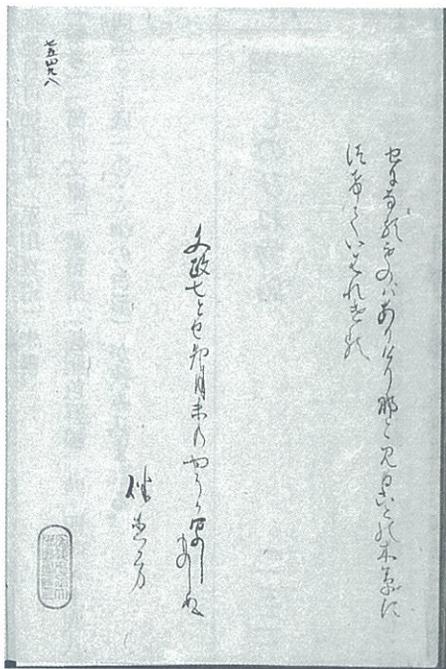
頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕二四丁裏「文政七とせ卯月末のやうか写しものしぬ

／伴直方」墨書。

〔備考〕「なよ竹物語」一二丁、「熊野紀行」一二丁。両作品

の間に遊紙一丁。墨の頭書、朱点あり。



140 兵部卿物語〔岸本由豆流稿本〕〔一三四〕

写本、二卷、一冊。〔表紙〕白緑色に繋ぎ文様表紙。〔寸

法〕二七・四cm×一八・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に題

簽貼付「兵部卿物語 上下」と墨書。表紙右端に「岸本由豆

流稿本」と朱書。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「朝

田家藏書」朱印。表表紙見返し「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

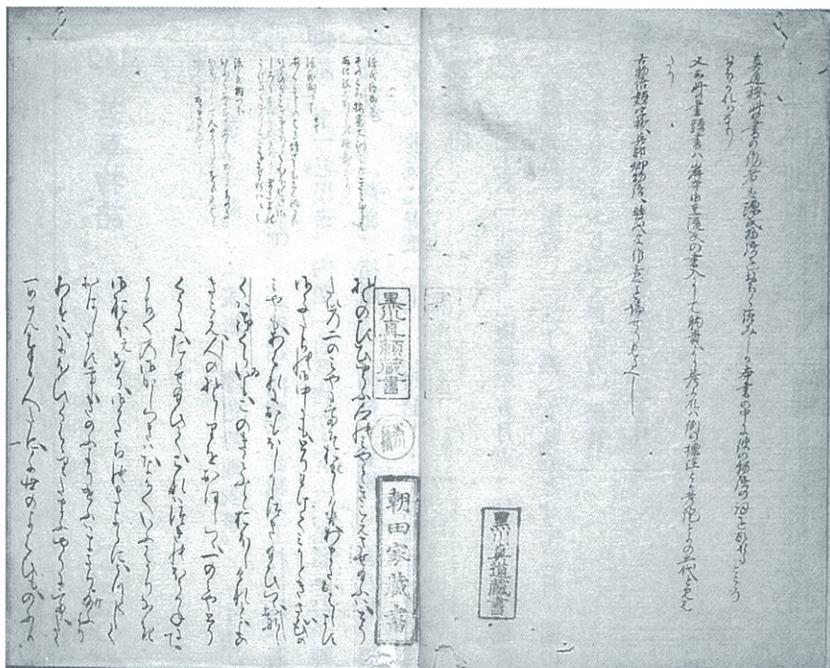
〔参考〕市古貞次「黒川文庫『兵部卿物語』影印解題」（文芸

資料研究所『別冊年報Ⅱ』一九九二年三月）、同「黒川文庫蔵『兵

部卿物語』翻刻」（同『別冊年報Ⅲ』一九九四年三月）、市古

貞次・三角洋一編『鎌倉時代物語集成・第五卷』（笠間書院、

一九九二年四月）。



此は飛鳥大しやうそうし、唐草装飾題簽を貼付「飛鳥井大しやうそうし」と墨書。表紙
 右上に紙片を貼付その上に「物語」丸印を捺す。「料紙」
 楮紙。「体裁」袋綴。一面一〇行。「印記」一丁表右下「黒
 川真道藏書」朱印。末尾「黒川真道藏書」「五辻／十里」朱印。

唐草装飾題簽を貼付「飛鳥井大しやうそうし」と墨書。表紙
 右上に紙片を貼付その上に「物語」丸印を捺す。「料紙」
 楮紙。「体裁」袋綴。一面一〇行。「印記」一丁表右下「黒
 川真道藏書」朱印。末尾「黒川真道藏書」「五辻／十里」朱印。

黒川真道藏書

朝田家藏書

繪

黒川真道藏書

此は飛鳥大しやうそうし、唐草装飾題簽を貼付「飛鳥井大しやうそうし」と墨書。表紙
 右上に紙片を貼付その上に「物語」丸印を捺す。「料紙」
 楮紙。「体裁」袋綴。一面一〇行。「印記」一丁表右下「黒
 川真道藏書」朱印。末尾「黒川真道藏書」「五辻／十里」朱印。

此は飛鳥大しやうそうし、唐草装飾題簽を貼付「飛鳥井大しやうそうし」と墨書。表紙
 右上に紙片を貼付その上に「物語」丸印を捺す。「料紙」
 楮紙。「体裁」袋綴。一面一〇行。「印記」一丁表右下「黒
 川真道藏書」朱印。末尾「黒川真道藏書」「五辻／十里」朱印。

141 飛鳥井大しやうそうし〔狭衣中将物語〕〔二三五〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕山吹色無地表紙。〔寸法〕

二四・三cm×一七・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に支子色

唐草装飾題簽を貼付「飛鳥井大しやうそうし」と墨書。表紙

右上に紙片を貼付その上に「物語」丸印を捺す。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕一丁表右下「黒

川真道藏書」朱印。末尾「黒川真道藏書」「五辻／十里」朱印。

〔奥書〕末尾「飛鳥井大しやうそうし／あすかひ大じやうの

物語／まつ屋／せいひやうへ（花押）／承応參歳／午二月吉

日／右は 大坂京橋松屋／清兵衛（花押）。

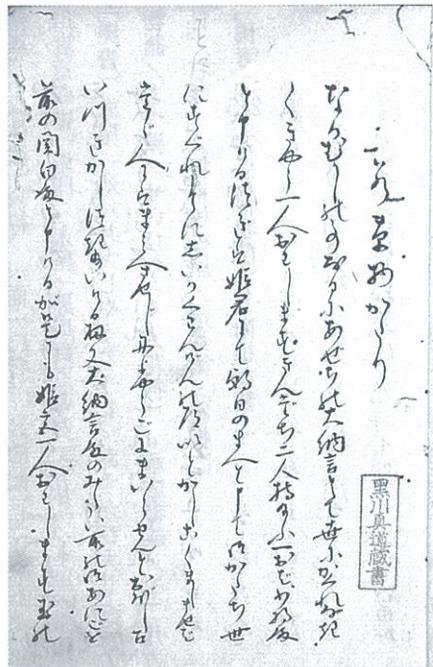
〔備考〕245『伊曾保物語』と同様な装丁。

142 若草物語

〔一三六〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二六・六cm×一八・六cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「若草物語 全」と墨書。内題「若草物かたり」。尾題「わか艸物かたり」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面八行。墨付三五丁。前後に遊紙一丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕一二丁表「元禄十三庚辰年五月末一日／円珠広藏書写之／藤原光英」墨書。一二丁裏「文政五とせ十二月・園のぬしの／本もてうつつしぬ／伴直方」墨書。〔備考〕「筒井文庫」藏書票が挟み込まれる。



143 松浦の宮〔月屋升芳本〕

〔一三七〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕砥粉色無地表紙。〔寸法〕二四・〇cm×一八・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央に朱色金泥装飾料紙の題簽（二五・三cm×三・〇cm）「松浦の宮上（下）」

と墨書。題簽右脇に「月屋升芳本」と墨書。内題なし。〔料紙〕

斐紙。〔体裁〕もと列帖装。現在は二箇所で紙縫綴。〔印

記〕各冊前遊紙表右下に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸形)」

「黒川真道藏書」「黒川真前」朱印。

〔奥書〕下巻末尾「天保八年丁酉季冬一読畢／月の屋主人升

芳(花押)」と朱書。

〔備考〕後光厳院本系の一本。中・下巻、見返し紙が表紙よ

りの剥がれた痕、右上ノド近くに「松浦宮中(下)」と青

墨で記す。中巻前遊紙表に「拾遺恋一しのふれといろに出に

けり／己か恋はものやおもふと人のとふまで／といふ哥を本

哥としてかけるところ／ありこの哥は平兼盛の歌也兼盛／は

天曆の御時の人なり因ておもふに／このものかたりは天曆よ

り後の作なること／いちしるし」と朱書する紙片を貼付する。

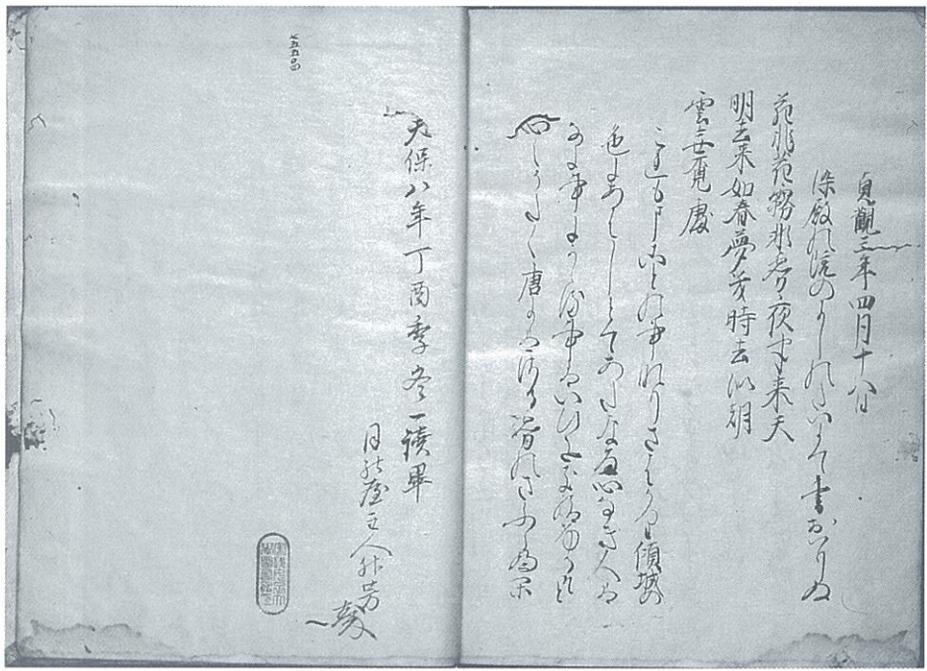
〔参考〕持田早百合「松浦宮物語(常磐松文庫所蔵本 二本

／黒川文庫所蔵本 三本)」「実践女子大学文芸資料研究所『年

報』五号、一九八六年三月)。平井仁子「実践女子大学図書

館所蔵『松浦宮物語』(五種)解題」(実践女子大学文芸資料

研究所『年報』一七号、一九九八年三月)。



144 松浦の宮〔春村校本〕

〔一三八〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二七・三cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央に墨流文

様料紙の題簽（二九・〇cm×四・〇cm）「松浦之宮 上」「まつ

らのみや 中」「松浦乃宮 下」と墨書。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上卷―三三丁、中卷―四二丁、

下卷―二八丁。〔印記〕上卷一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕下卷二八丁表「天保十三年正月以子写本令一校了

黒河春村」と細字墨書。〔備考〕後光嚴院本系の一本。全

体にわたって、朱による句点、校異の書入あり。

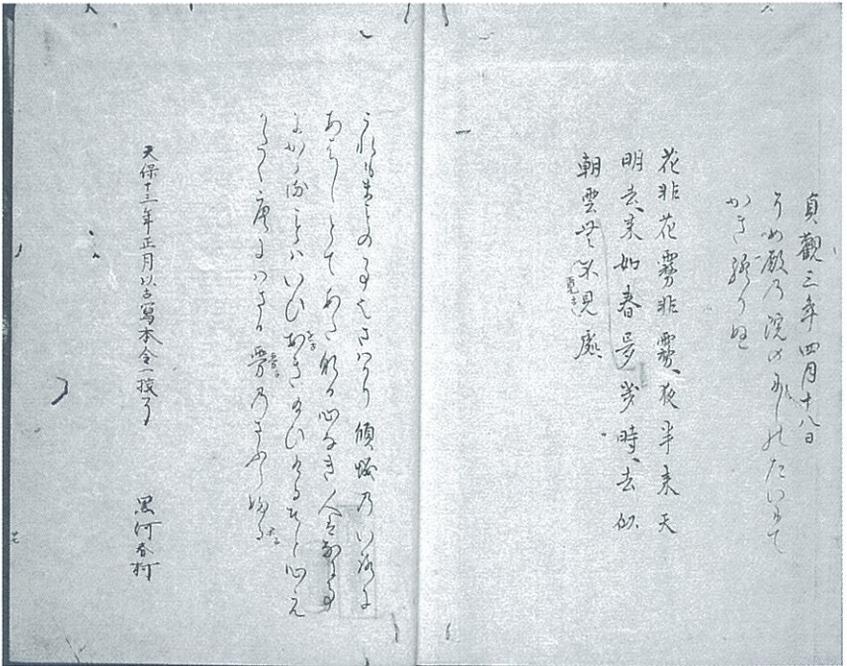
〔参考〕持田早百合「松浦宮物語」〔常磐松文庫所蔵本 二本

／黒川文庫所蔵本 三本〕〔実践女子大学文芸資料研究所『年

報』五号、一九八六年三月）。平井仁子「実践女子大学図書

館所蔵『松浦宮物語』（五種）解題」（実践女子大学文芸資料

研究所『年報』一七号、一九九八年三月）。



145 松浦宮物語〔本居大平本〕 〔一三九〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕香色横刷毛目文様表紙。〔寸法〕

二六・〇cm × 一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

（一八・二cm × 三・七cm）「松浦宮物語」名正三位 上」「万津良乃

宮物語 中」「奈浦宮母のかた里 下」と墨書。各冊右端に「本

居大平本」と墨書。内題、上巻見返し右上「松浦宮物語上」或

云正三位」、中下巻見返し右上「松浦宮物語中（下）」。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上―三六丁、中

―四六丁、下―三二丁。〔印記〕各冊表紙見返し左下に「黒

川真道藏書」朱印、「藤垣／内印」黒印。各冊一丁表右下「黒

川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「本居藏書」朱印。〔奥書〕

なし。〔備考〕後光厳院本系の一本。見返しの「藤垣／内印」

の黒印は本居大平、「本居藏書」は本居内藤の藏書印。

〔参考〕持田早百合「松浦宮物語」〈常磐松文庫所蔵本 二本

／黒川文庫所蔵本 三本〉（実践女子大学文芸資料研究所『年

報』五号、一九八六年三月）。平井仁子「実践女子大学図書館所蔵『松浦宮物語』（五種）解題」（実践女子大学文芸資料研究所『年報』一七号、一九九八年三月）。

146 松浦宮物語考 〔一四〇〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二六・六cm × 一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

（二七・九cm × 三・三cm）に墨書「松浦宮物語考 与清著」。内

題「松浦宮物語考」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面

一〇行。墨付一二丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真道藏書」

朱印。〔奥書〕末尾一二丁表「松浦宮物語考文政十二年八

月十六日依_テ阿州侯之命_ニ所_モ撰_ル上_ニ也」。明治三十七年五月

一日読了 黒川真道」（細字朱書）。一二丁裏「明治三十七年

五月以帝國図書館廻本令書寫了 黒川真道」（細字墨書）。

貞觀三年四月十八日

北の辰乃院のけりのもひし

りてとてうぬ

北の辰乃院のけりのもひし

明去来如春夢幾時去似烟

雲益不見處

こゝにまゝのてんくさばくり傾城乃

いろしありしそけいふるんがまふ人

なまのりよわゆるそけいひとまたせん

さるるてしんえいしく唐よはさる

空の

よわゆる

(本居大平本『松浦の宮』)

の三手集として記して、龜山院。女冠、年
り成せり著二國母といへり、大宮院、妖子所
事、り、前太政大臣、鎌倉氏第一女、後醍醐天皇
所、後醍醐天皇、龜山院、之所、母、後醍醐天皇、三手
六月三日、丙午、年、十月十日、女、所、同、年、八月
九日、中、院、宝、治、二、年、六月、十八日、院、号、也、
女、冠、九年、二月、廿三日、院、号、也、
月、九日、黃、八、十、一、代、要、花、歷、代、皇、化、平
戸、記、增、號、五、代、帝、王、物、津、帝、王、編、年、記、公、卿
補、任、信、運、要、藤、園、太、曆、女、院、小、行、後、官、略

付貴女抄。女院記などの歌は元由下録抄
子所を妖子とあらは揚之。さて序文中
も。そのたあまの下のもの女とあままこと
あまとおもひし。中宮院、城の南化よ。目玉太
左宮院の官人、補、る書也。

松浦宮物語考文政十二年八月十日
阿波侯之命所授上池

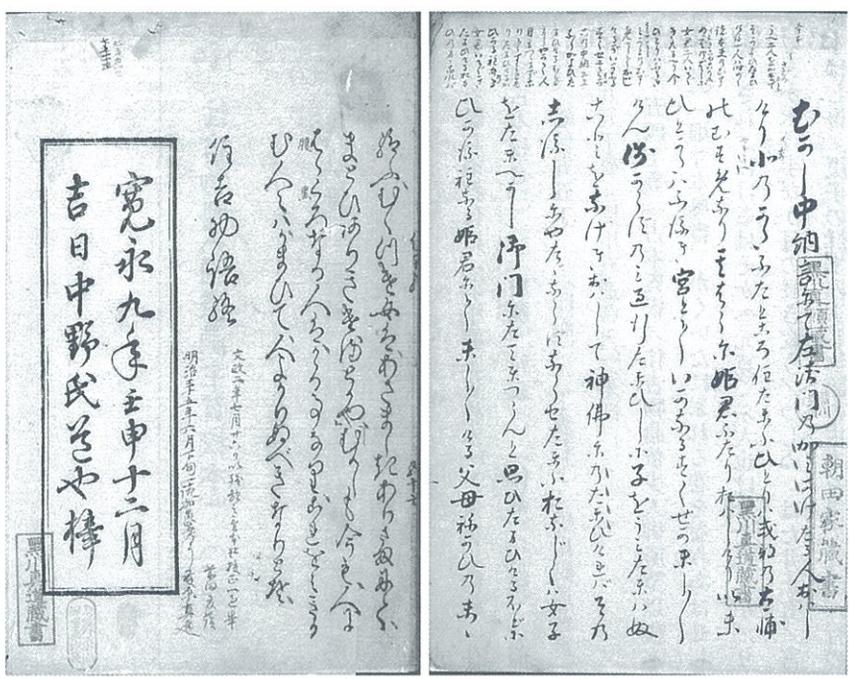
明治壬午五月一日

木村喜造

(松浦宮物語考)

147 すみよし物語〔契沖校本〕 (一四一)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕二七・一cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙中央に題簽(一八・八cm×四・一cm)に墨で枠を書き「すみよし物語 契沖校本」と墨書。右端に打付に「由豆流校合」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。墨付六一丁。前後に遊紙各一丁。〔印記〕一丁表右端「黒川真頼藏書」「浅田家藏書」「黒川真道藏書」朱印。末尾遊紙表に「筒井藏書」朱印。〔奥書〕なし。



朝田家藏書

文政七年七月十八日
明治五年六月下旬
筒井藏書

寛永九年壬申十二月
吉日中野氏道也様

版本、一巻、一冊。〔表紙〕 香色横刷毛目文様表紙。〔寸法〕 二一・九cm × 一七・九cm。〔外題・内題〕 表紙中央に縹色裝飾料紙の題簽（一八・二cm × 三・六cm）貼付「須美与志物語」と墨書。表紙右上「前田夏蔭校本／宗固本比較／真道本」と墨書。内題「すみよし物語」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面二行。墨付五七丁。前遊紙二丁。〔印記〕 一丁表右上「関竜／堂藏」朱印。右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕 五七丁裏、刊記「（子持ち野内）寛永九年壬申十二月／吉日中野氏道也梓」。識語「文政二年七月廿六日以殘飲之重本^上校正一通筆／前田夏蔭」（朱書）。〔明治三十五年六月下旬一読加愚考了藤原真道』（青墨）。〔備考〕 一丁表頭書「朱書、夏／蔭ノ考也」「イ、萩原宗固藏本／ヲ以テ比較セル本也／類従本、羣書類／従本^{三百十}」以上青墨。表紙見返し、前遊紙表裏に青墨で真道の考証を記

載する。

149 住吉物語〔羽根満主賀校本〕〔一四二〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕 白緑色亀甲繋型押文様表紙。〔寸法〕 二六・八cm × 一九・〇cm。〔外題・内題〕 表紙左上に題簽（一八・〇cm × 三・〇cm）貼付「住吉物語 古本校合」と墨書。表紙右端打付に「羽根満主賀校本」と朱書。内題「住吉物語古本校合^社」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面一〇行。墨付五五丁。〔印記〕 一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。五五丁裏「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕 五四丁表「古本奥書／住吉物語依少人御所望以秘本奥行也」「畑井本奥書／かくいたにゑれる巻をなみあはせし ておほされ／にけるはそかへ元寛てふ人也けりそれをか／りえてあか水は手なか月の長き夜う／つしぬ はた井正有／宮司本はし書／庚子の焮すみよし物語の古本を得て此印／行の

150 住吉物語

〔一四四〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二六・八cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「住吉物語 校合」と墨書。右上に「羽根満主賀校本」と朱書。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付五四丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書・識語〕五三丁表～五四丁表（古本奥書／宮司本はし書／羽根満主賀の識語、省略）。五四丁裏「世につたはれる住吉物語絵飲本にはあれとも詞つかひはなはた／ことなるところあり比較すへし 墨水萬里」朱書。〔備考〕前項149 Ⅱ〔二四三〕「羽根満主賀校本」の影写本。

151 住吉物語

〔一四五〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕布目地渋引き格子文様表紙。〔寸法〕二六・八cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央打付に「住吉物語 古本校合」と墨書。内題「住吉物語古本校合上下」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付五四丁。〔印記〕一丁表右下「杉園藏」（小杉楳邨）「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕五三丁表～五四丁表（古本奥書／宮司本はし書／羽根満主賀の識語、省略）。

152 七よころも

〔一四六〕

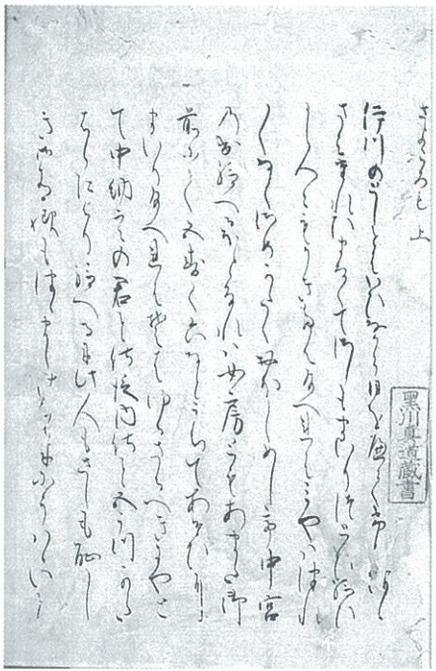
写本、三巻、三冊。〔表紙〕薄香色檀紙表紙。〔寸法〕二五・八cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

(一七・八cm×三・五cm) 貼付「さよころ毛上」「小夜衣中」「さ
世古呂毛下」と墨書。内題「さよころも」など様々な表記。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上巻一六一丁、
中巻一六〇丁、下巻一五二丁。〔印記〕各巻一丁表右下「黒
川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕一部破損、補修済み。



153 和泉式部物語

〔二四七〕

版本、三巻、三冊。〔表紙〕紺色菊唐草型押文様表紙。〔寸法〕

二五・九cm×一八・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

(一六・四cm×三・六cm) 貼付「和泉式部物語 上(下)」墨

書。内題「和泉式部物語」〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一〇行。絵入本。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真道

藏書」朱印。

〔刊記〕下巻「写本云〳此一冊借〳右中便兼秀本〳從去月十四
日〳染筆今日終功畢〳享祿二年五月朔日」。



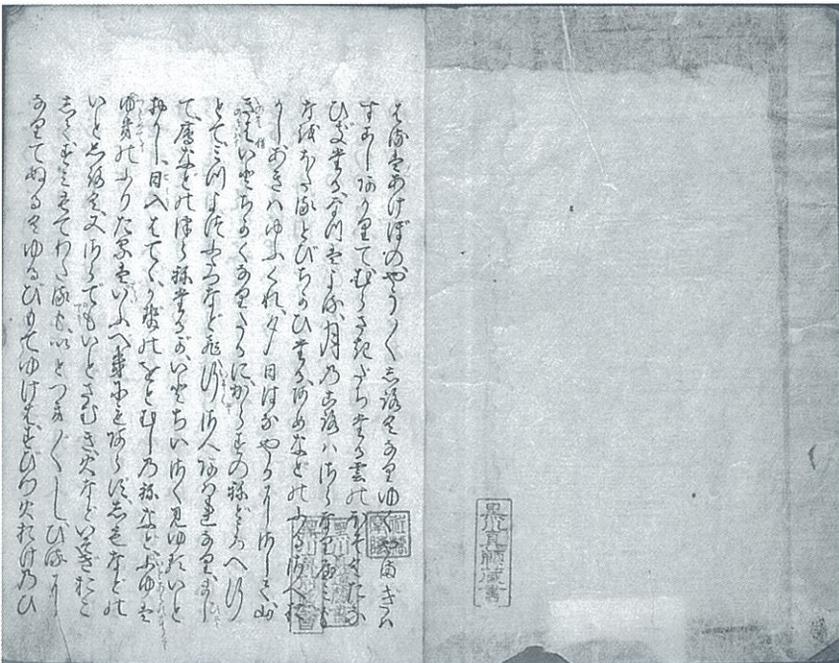
あつはにさきぬがら〜さあつた
りし丁にさあにわし下ちさけるいお
はとさささめ海〜て海し〜よわおそろ
〜さゆ〜ことばゆめさことのあく
るし〜と入り入すひぬぼ〜ちをたふ
らたれし〜いひるさきのとろひらさ
〜くおをぬま〜のりちあぬまのふか
〜わや〜〜さ〜
あつはにさきぬがら
向きのあつたさきぬがら

II 日記・隨筆の部

154 枕草子〔古活字版〕

〔二四八〕

版本、五卷、五冊。〔表紙〕丹色雷文整型押文様表紙。〔寸法〕
 二七・五cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「枕
 草子 一（〜五終）」と墨書。第一巻右上に「全五冊」墨書、「物
 語（丸印）」を挟んで下に「活字本」と墨書。尾題「清少納言」。
 〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二三行。一一四二丁、
 二一五三丁、三一五三丁、四一三七丁、五一二四丁。〔印記〕
 各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」社橋／案陰「黒川真道藏書」
 「黒川真前」朱印。第一冊のみ裏表紙見返し左下に「筒井藏書」
 朱印。〔刊記〕なし。
 〔備考〕表紙は原装。



155 枕草子

〔追補3〕

版本、七卷、七冊。〔表紙〕藍色巾繫草花散らし文様型押

表紙。〔寸法〕二六・〇cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表

紙左肩に刷題簽（一八・三cm×三・三cm）貼付「清少納言 一

（七七）」。一卷に「異本 慶安二年版 共七冊」、一卷から七

卷にそれぞれ「春曙抄二二（十一十二）」と朱書。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二行。一―三八丁、二―四八

丁、三―三五丁、四―三〇丁、五―三〇丁、六―四四丁、七

―二八丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏

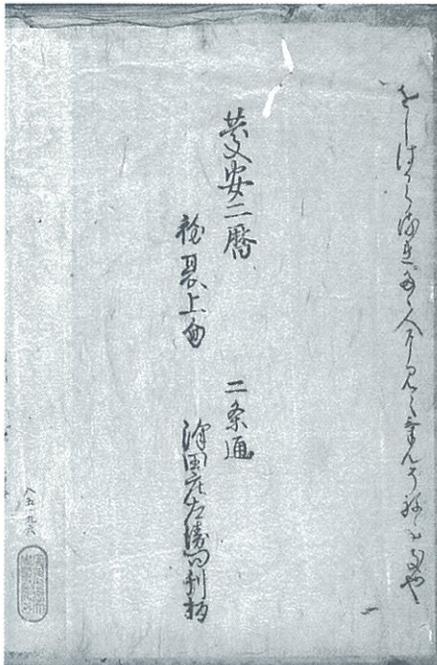
書」「黒川真前藏書」朱印。

〔刊記〕「慶安二曆／初夏初旬 二条通 澤田庄左衛門刊板」。

〔備考〕一卷見返しに「慶安板（黒川家伝来）／清少納言（枕

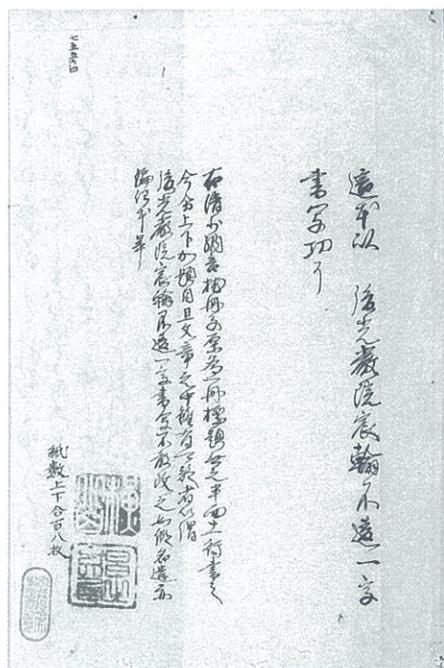
草子異本）全七冊／昭和二二・二三 於浅倉屋」と記した押

紙を貼付する。



156 枕草紙〔後光嚴院宸翰本〕 〔一四九〕

写本、二卷、二冊。〔表紙〕浅缥色無地表紙。〔寸法〕二六・六cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に金切箔散らし料紙の題簽（一八・一cm×三・〇cm）を貼付「枕草紙 後光嚴院宸翰本写 上（下）」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上一五三丁、下一五六丁。〔印記〕前遊紙右下に「正木園文庫」朱印。各冊一丁表右端「黒川真道藏書」横／流「昌土／之印」朱印。上卷末尾五三三丁裏「黒川真道藏書」朱印。下卷末尾五六丁裏「横／流」「昌山／充印」朱印。後遊紙裏左下に「正木園文庫」「横／流」「昌山／充印」朱印。〔奥書〕下卷五六丁裏「這本以 後光嚴院宸翰不違一字／書写功了」「右清少納言枕冊子原各一冊標題無之半面十一行書之／今分上下加題目且文帝之中雖有可疑者以謂／後光嚴院宸翰不違一字書写不敢改之如假名遣亦／偏任本畢」（印記）「紙数上下合百八枚」以上墨書。



157 清少納言枕草紙 〔一五〇〕

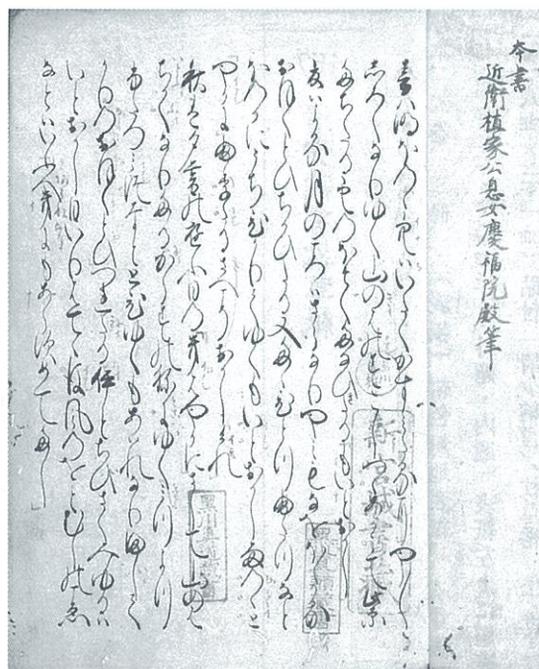
写本、二卷、二冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二七・四cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一三・八cm×三・一cm）貼付「清少納言／枕草紙 上（下）」

と墨書。上巻右上に「異本」墨書、「物語」朱印を挟んで下に「異本」朱書。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一三行。上巻六六丁、下巻五三丁。〔印記〕各冊表紙右下に「新宮城蔵書」朱印。各冊右端「新宮城蔵書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」朱印。〔奥書〕なし。上巻見返し左端に「本書／近衛植（種の誤りか）家公息女慶福院殿筆」と朱書する。

〔備考〕堺本系統の本文。「新宮城蔵書」は水野忠央の蔵印。

158 清少納言万歳抄 加藤盤斎著 (一五二)

版本、一五巻、一五冊。〔表紙〕〔寸法〕紺色無地表紙。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽（一九・四cm×四・〇cm）貼付「清少納言万歳抄 一（十五終）」（子持ち罫）。表紙右端に「濱臣蔵本」と朱書。内題「清少納言枕草子抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一八行（頭書二三行）。一一三三丁、二一



六五丁、三一四〇丁、四一四九丁、五一四〇丁、六一四三丁、七一二九丁、八一三四丁、九一三三丁、一〇一三〇丁、一一一四三丁、一二一三八丁、一三一二九丁、一四一三九丁、一五一二三丁。
〔印記〕各冊一丁表右上「清水濱／臣藏書」朱印。右下「黒川真頼藏書」「阿羅／為氏」「黒川真道藏書」朱印。各冊末尾に「泊泊舎藏」朱印。

〔刊記〕第一五卷末尾二三丁裏「延宝二年五月日 油小路下立売下ル町 田中権兵衛版」。

〔備考〕第一巻見返しに『日本古今往生略伝』の「加藤盤斎」記した青色の紙を貼付する。



159 清少納言校本

〔二五二〕

写本、一二巻、六冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕

二七・〇cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央打付に「清

少納言校本 一之二（十一之十二）」と墨書。第一冊のみ右端に「光嚴院宸翰本校合」と墨書。〔料紙〕斐紙。〔体

裁〕袋綴。一面六行（書き込みのために行間を空ける）。墨付、

一一一〇三丁、二一〇七丁、三一九二丁、四一九八丁、五

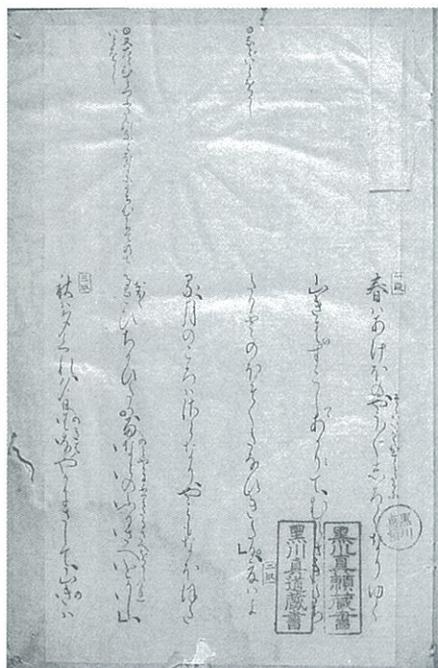
一九八丁、六一七八丁。〔印記〕各冊二丁表右下「黒川／

真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」「本居藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕本文は堺本系統。第一冊に「堺本なり。鈴鹿三七氏と同じ／但し鈴鹿本の奥の文なし。山」とペン書する紙片を

挟む。



160 枕草子春曙抄 北村季吟 (一五三)

版本、一二卷、六冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二八・〇cm × 一八・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

(二八・九cm × 三・九cm) 貼付「枕草子春曙抄真頼本一二」

十一十二」と墨書。第一冊のみ右上に「真頼本」と墨書。尾題「春曙抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。一―七九丁、二―六二丁、三―五二丁、四―五四丁、五―五八丁、六―一五〇丁。〔印記〕各冊二丁表右下「黒川真頼(丸印)」「會田家蔵書」(會田芳園)「黒川真道蔵書」朱印。各冊末尾に「黒川真頼蔵書」朱印。

〔刊記〕「装束撮要抄」一七丁裏「皇都 四条通京極西入町／享保十四年己酉卯月下旬 上坂勘兵衛源兼勝梓」。第六冊末尾(卷十二・二四丁裏)「清少納言枕草子者中古之遺風和語之俊(峻力) 烈也／并美於紫女源氏物語尤當閱翫之者也然未有／選其義按其部考其辞者惜乎蓋有之未見之／予自蚤歲好誦無數志為訓釈故平日覽古集／每有意會則引事題書就思傍訊・宣意義／遂手自書写以成十二卷以春曙抄為名猶有／疑而闕如之者惟夥更待之博洽不強鑿說焉／今也治隆俗美風雅盛起幸過此時命工彫梓／広流伝于市井也庶幾便和哥之人倣其詞花／効其風流云爾／延宝二年甲寅七月十七日 北村季吟書」。

〔識語〕第一冊末尾(卷二・二八丁裏)「本書は亡父真頼年來研究の書入なれば大切に保存／すへきはいふもさらなり整理

して世に伝ふへきものなり／ 明治四十年十二月 黒川真道
 識」と墨書。第六冊裏表紙見返しに「此朱或墨書入者／文化
 五戊辰年七月以清水濱臣藏本写之畢／長尾景寬（花押）」「安
 政元甲寅年十一月鈴木直道藏本／にて写之畢／會田安昌（以
 上墨書）」明治十二年八月加愚意了／黒川真頼（以上朱書）」明
 治十三年一月以青墨加愚説了／墨水萬里」（以上青墨）。

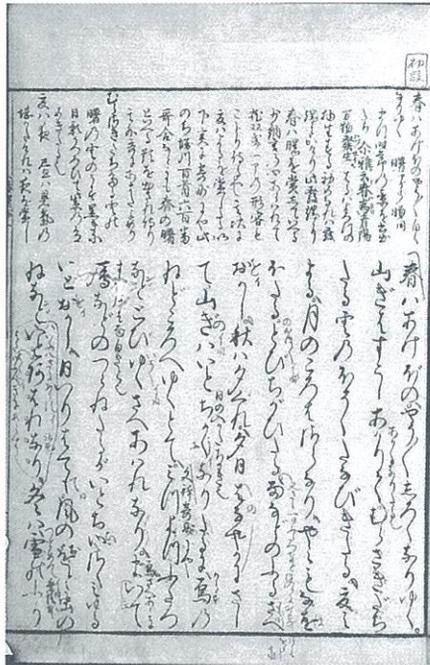
〔備考〕第一冊冒頭に「清少納言枕草子装束撮要抄」を台綴。
 第一冊に「春曙抄」冒頭部の写本断簡四枚を挟む。断簡には
 一枚目右下に「黒川真道藏書」「黒川／真頼（丸印）」「會田
 家藏書」の朱印。墨朱の書入・付箋はなほだ多し。

清少納言枕草子者中古之遺風和語之俊烈也
 并羨於家女源氏物語也當園然之者也然亦有
 選其義按其部考其辭者惜乎蓋有之未見之
 耳自書案好讀意致志為訓釋故平日覽古集
 亦有意會則引筆題書枕思傍訃察宣意或
 遂自自出字以歲十二事以春曙抄為名猶有
 疑而闕如之者惟勅更待後之博洽不強堅託委
 今也法隆俗為風雅感起幸過時命之形持
 庶流傳于市井也庶幾便和奇之人做且詞兒
 効之風流云々
 延寶二年甲寅七月十七日
 黒川真道藏書
 墨書

此朱或墨書入者
 文化五戊辰年七月以清水濱臣藏本写之畢
 長尾景寬

安政元甲寅年十一月鈴木直道藏本
 小く字之年
 會田安昌

明治十二年八月加愚意了
 五川
 明治十三年一月以青墨加愚説了
 墨水萬里



161 枕草子春曙抄 北村季吟 (一五四)

版本、一二巻、一二冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二七・二cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(二八・三cm×四・二cm)貼付「枕草子春曙抄 一(一〇二終)」。

第一冊のみ右上に「浜臣本／春村校本」と朱書。内題・尾題

「春曙抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。

〔識語〕第一二冊末尾二四丁裏「明治二十五年十二月校考了□□しるす」(朱書)、裏表紙見返し右下「此朱或墨書入者／文化五戊辰年七月以清水濱臣藏本写之畢／長尾景寛(花押)」墨書。

〔備考〕第一冊冒頭二丁補写。

162 枕草子春曙抄 北村季吟著 (一五五)

版本、一二巻、六冊。〔表紙〕山吹色無地表紙。〔寸法〕二六・五cm×一九・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(二八・五cm×四・一cm)貼付「枕草子春曙抄 一二(一〇二)」。封面題「枕草子春曙抄^{十三冊板}」。内題・尾題「春曙抄」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。〔印記〕各冊

一丁表右下「黒川真道藏書」「黒川真頼藏書」朱印。

〔刊記〕第一冊・第六冊末尾「寛政六甲寅年七月購版／江戸浅草寺茅町二丁目／須原屋伊八／明治二十年九月求版主／東京南葛飾郡寺嶋邨／千百十七番地／橋本幸藏」。卷一二末尾（北村季吟の跋文省略）。「装束撮要抄」末尾に刊記「寛政元己戌年初冬」。

〔備考〕第六冊末尾に「清少納言枕草子装束撮要抄」を合綴。

163 清少納言旁註 岡西惟中 〔一五六〕

版本、一〇巻、一〇冊。〔表紙〕山鳩色無地表紙。〔寸法〕

二六・五cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽

（一九・一cm×四・〇cm）「清少納言旁註 一（一十）」貼付。

内題「清少納言旁註」。表紙右上に打付「一時軒／岡西惟中著」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印

記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔備考〕第一冊、表紙右下に「共十冊」と朱書。第一冊題簽破損し、二冊目以降を参照した。第一〇冊、裏表紙剥離。

164 清少納言図式 岡西惟中 〔一五七〕

版本、一巻、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

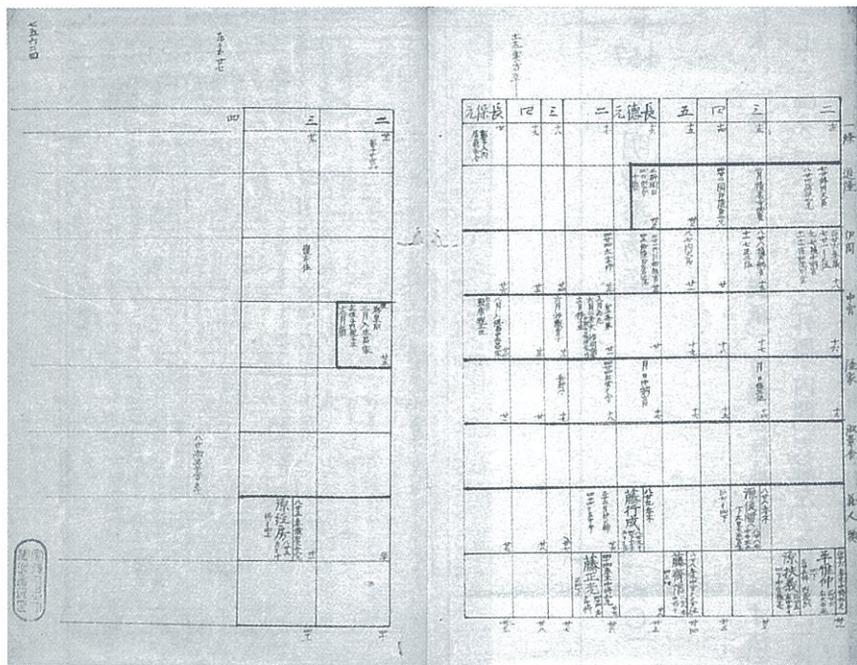
二五・五cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

（一九・三cm×四・〇cm）貼付「清少納言図式 全」と墨書。〔料

紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面行数不定。全一四丁。〔印

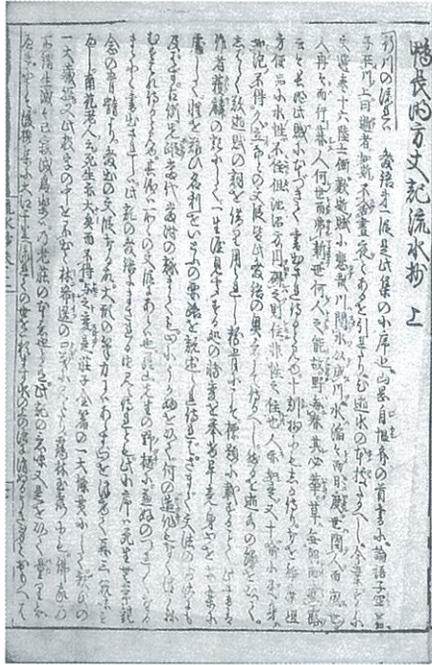
記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。

〔備考〕表紙右下に「共十二冊」とあるがツレは163＝〔一五六〕か。惟中の序文二丁の後、「清少納言旁註凡例」二丁、「枕双帯段分目録」四丁、以下「四脚門」から「長臂長股」の図版七丁。



嶋昭武注」と朱書傍記)。題簽下部に「上下」と朱書。右端に「棋嶋昭武注(墨書) 享保四年版(朱書)」と記す。内題「鴨長明方丈記流水抄」。「料紙」楮紙。「体裁」袋綴。本文一面一〇行。頭書欄二〇行。五五丁。〔印記〕一丁表右下に「黒川真頼(丸印)」「祠乗坊/図書印」「行方家蔵書」「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」朱印。
 〔刊記〕末尾五五丁表「享保四年己亥仲秋穀旦//大坂心齋橋通南本町/河内屋儀助」。
 〔備考〕前遊紙表右端に「棋嶋昭武ハ江戸ノ人ニテ書言字考ノ作者ナリ」と墨書。「行方家蔵書」「祠乗坊/図書印」は「流水抄」下卷一丁表・末尾にも見えるがいずれも「行方家蔵書」印を墨で消している。朱筆の書人あり、末尾には方丈記の注釈についての押紙がある。

長明四季物語



167 長明四季物語

(一六〇)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕薄縹色無地表紙。〔寸法〕二七・二cm×一八・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付に「長明四季物語」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面

一二行。墨付三八丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」

「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕三七丁裏「日野山陰長明（蓮胤イ）と傍記」書／右

一部十二卷者鴨長明所撰之四季物語也日々／月々雖求被秘于箱中被封於藏裏無入手裏偶／依懇望自官庫潛取出之写之畢今

度之撰中之規／模実用有之而已右可秘者也／応安元年戊申十一月十六日 藤原為定写之／長明四季物語十二卷我家之袖玉不

可越之者也／尤永可伝授秘本也／永享十年九月下旬 中納言藤原雅世、三八丁表「南大路長明四季物語十二冊自仁和寺

御門主依／御恩拜写之又他日以官本令校合備并写者也我／文窓之重財不可如之案長明之筆痕多是写清紫／之二女貫業二仙

之詞花者歎疑是可謂神哲骨焉／雖然詞源章段書所不祥請之如失途短学補之最／多幸焉云爾／永祿元年十二月上旬 三好伯陽軒長慶書写」。

三八丁表「此書世に流布せる印行の書は誤り多たのみにあらず偽書も同じ今書写／せる此書は誠の正本疑なきもの也于時

享保十九寅年九月十七日自師家借りて／写もの也墨付三拾五

牧〔枚〕か也／市川久□□藤原佳豊書之」。

長明四季物語 卷之九 野山隱長明書

右三冊出三卷者鳴長明所撰之中季物語也日々
月々雜本之從秘巾箱中密封於藏裏無入手裏偶
依德望自官庫潛取出之寫之畢今度之撰中之規
模實用有之而已右可秘者也

應永元年十一月廿六日藤家為定寫之

長明四季物語十二卷我家之袖玉不可越之者也
右承可傳秘本也

永享十年九月下旬 御恩拜寫之又他日以官本令校合備兼寫者也我
南大路長明四季物語十二冊自仁和寺御門主依
文德之重財不可知之葉長明之筆痕多是寫清案
之二才實素二仙之詞花者歟疑是可謂神哲牙番
雖然詞源章段書所不詳詰之知失速短字補之數
多幸焉云爾

永保元年十二月上旬 三好伯陽野長慶書寫

書中「長年」なるもの書は「長年」の「長」は「長」を用いし書字
「長」は「長」の「長」を「長」の「長」に代へし書字
「長」の「長」は「長」の「長」に代へし書字
「長」の「長」は「長」の「長」に代へし書字

168 長明四季物語 [二六一]

写本、一二卷、四冊。〔表紙〕 香色横刷毛目文様表紙。〔寸
法〕 二六・八cm × 一八・〇cm。〔外題・内題〕 表紙中央に題

簽（一九・五cm × 三・三cm）貼付「長明四季物語 春一二三（
冬十一十二）」と墨書。内題なし。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕

袋綴。一面八行。〔印記〕 各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」

「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕 第四冊末尾一九丁表（長明／為定／雅世／長慶の本
奥書省略）。

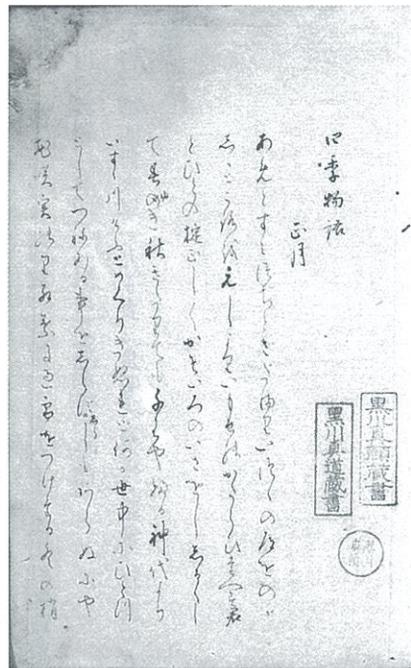
169 四季物語

〔一六二〕

写本、二卷、二冊。〔表紙〕栗色無地表紙。〔寸法〕二六・八cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付に「四季物語 上(下)」と墨書。上巻のみ右上に「校本」と朱書。内題「四季物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。墨付、一―三四丁、二―三〇丁。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕下巻末尾(長明／為定／雅世／長慶の本奥書省略)。

下巻二九丁裏「丙午仲夏八日借高木忠昌士盛子之／藏本校合一遍畢云」朱書。三〇丁表「鴨長明四季物語とて世にあまたおこなわれし本有／予其書をうつし得しに誤字衍文と覚しき／所もあまたはんへるにこたひ善国寺日徴の／秘本をよひ得て顛倒請置せんとせしかと世にある／校本の四季物語とは異にして月々を分ち文章も大に／かわれり仍て後学のためにもなるへきかと文政九の／戌とし文月の二日になんうつし終ぬ

／源基とを」。



170 四季物語(春村本)

〔一六三〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色正繋ぎ唐花散らし文様表紙。〔寸法〕二六・八cm×一九・八cm。〔外題・内題〕表紙中央打付に「四季物語 二種 一八歌集四季物語」と墨書。右上に「春村

本」と墨書。内題、一丁表「歌林四季物語」朱書。三二丁表

〔四季物語二丁表〕「四季物語」墨書。〔料紙〕楮斐混漉。

〔体裁〕袋綴。「歌林四季物語」一面一四行、「四季物語」一

面一〇行。墨付八七丁（各丁付あり、「歌林」三〇丁、「四季物語」五七丁）。

〔印記〕各冊二丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」

「黒川真道藏書」朱印。四季物語二丁表・末尾五七丁裏に「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕「歌林」末尾三〇丁表（本奥書）「三月下浣 桑門蓮胤／県主権禰宜正冬殿」。「四季物語」末尾五四丁表（五五丁

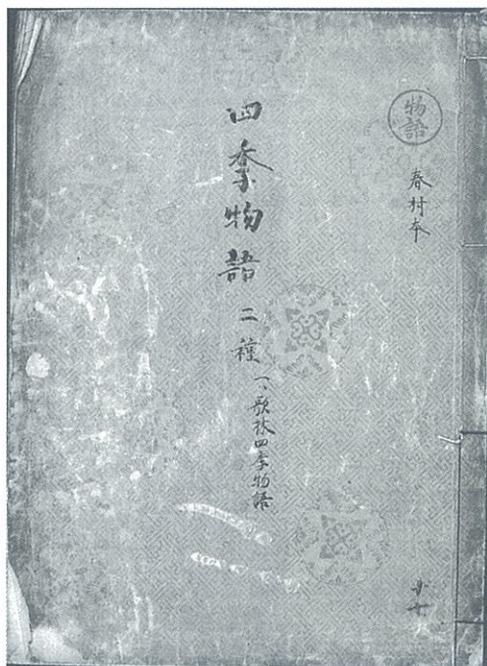
表（長明／為定／雅世／長慶の本奥書省略）。五五丁裏「這箇之四季物語希世書也茲環氏弘業好古記／以多年覓之今乙亥

夏不慮或得文窓之秘書写／之僕好古記是以垂恩惠密授此秘書為我老身／慰其志至切也故喜以走禿筆写之以永欲伝改／光家

藏云」宝曆五乙亥年八月十一日 鶴鶴軒藤原敷淵書」。

〔備考〕末尾、敷淵の跋の後「鴨長明」略伝を引いた後、五七丁表「右弘業の添書也コ、ニ写し置也」とし、『徒然草

参考』より鴨長明の略伝を引く。



171 歌林四季物語（鴨長明四季物語）（一六四）

版本、五卷、一冊。〔表紙〕薄縹色に鼠色格子刷毛目文様表紙。

〔寸法〕一三・二cm×一五・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に

題簽（一四・七cm×二・七cm）貼付「鴨長明／四季物語 完」

と墨書。表紙右上に「歌林四季物語」と朱書。内題なし。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。全五〇丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕五〇丁表「間之町通御池上ル丁／林権兵衛」。

〔備考〕冒頭に「鴨御祖社系図」一丁、「やまとうたは云々」の序文、二～三丁。

172 ねざめの記 一条兼良 (一六五)

版本、六卷、三冊。〔表紙〕山鳩色無地表紙。〔寸法〕

二八・〇cm × 一七・八cm。〔外題・内題〕表紙中央刷題簽

(二六・七cm × 三・五cm) 貼付「ねざめの記 一二(五六)

／一条太閤兼良公(子持ち野)」。第二・三冊「一条太閤兼良公」なし。第一冊のみ表紙右上に「承応二年版」と墨書。内

題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。一

五四丁、二一四二丁、三一五六丁。〔印記〕各冊一丁表「黒



川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「古屋策」「福田文庫」(福田敬同)「黒川真道藏書」「尚齋」朱印。第三冊五六丁裏刊記の下に「福田文庫」朱印。

〔刊記〕第三冊五六丁裏「承応三年三月中旬」。

173 徒然草〔古活字版〕

〔一六六〕

版本、二卷、二冊。〔表紙〕栗皮表紙。〔寸法〕二八・〇

cm × 二〇・〇 cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（二八・五

cm × 三・五 cm）貼付「徒然草 上（下）」と墨書。上巻のみ表

紙右上に「活字板」、右下に「共二」と朱書。内題なし。〔料紙〕

鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面二二行。〔印記〕各冊一丁表

右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。各冊末尾に「黒

川真道藏書」朱印。

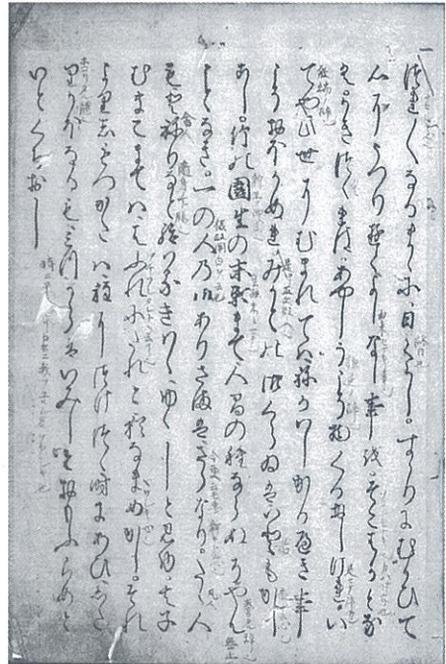
〔刊記〕なし。

〔備考〕各冊、前遊紙裏左下に「貞久」と朱書。旧蔵者の署名か。

表紙は原裝。原題簽は剥落し、現在の書題簽が貼付されてい

る。

〔参考〕『古活字版之研究』八九三頁。



174 徒然草

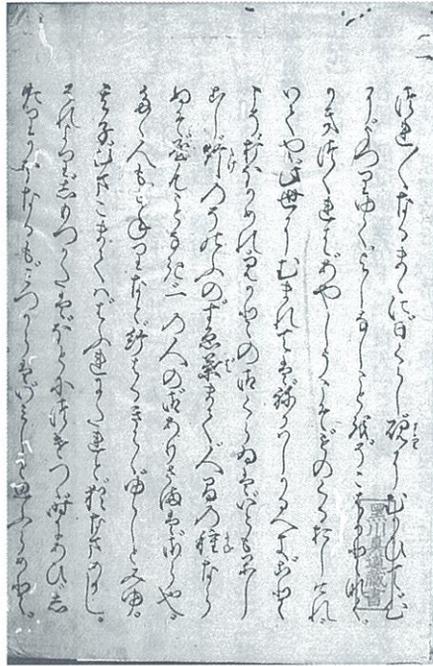
〔一六七〕

版本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二七・一 cm × 一九・三 cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽

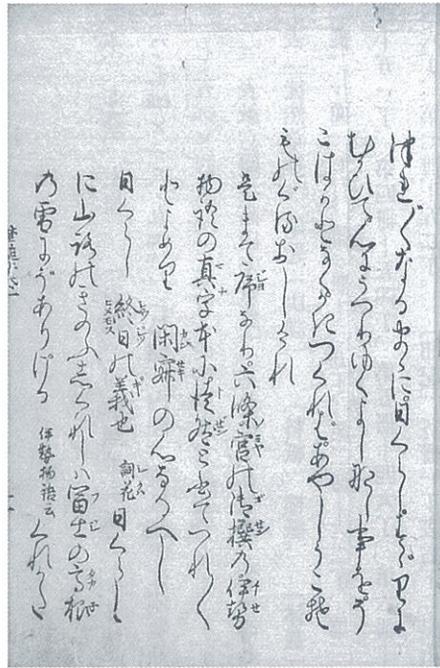
貼付。虫損と破損でほとんど剥離しかけているがかるうじて

「徒然草」と判読できる。右上に「古版」と朱書。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面一一行。一二〇丁。〔印記〕一丁表・一二〇丁裏に「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。



175 徒然野槌 林道春 (一六八)

版本、一四卷、一三冊。〔表紙〕栗色無地表紙。〔寸法〕二六・八cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙中央に子持ち罫の刷題簽（二八・〇cm×三・五cm）貼付「徒然野槌 全十三卷 上ノ一（下ノ五六終）」と墨書。表紙右上に「十三之内」、左下に「巻壹（十三）」と墨書。第一冊のみ「林道春著」と朱書。柱刻「桮植」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。第一三冊末尾に道春の跋文。〔備考〕原題簽全て剥落し、第一冊のみ書題簽を押したが他は剥離痕に打付に墨書。第二冊のみ「野づち 上ノ二」とするが、以下は「徒然野槌 上ノ三」の如く墨書。



176 徒然草句解 高階揚順 (一六九)

版本、七卷、七冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二七・三 cm × 一九・二 cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(一八・三 cm × 三・五 cm) 貼付「徒然草句解 一 (〜七七止)」(子

持ち罫)。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。第

一冊―四一丁、第二冊―三四丁、第三冊―三六丁、第四冊―

三九丁、第五冊―三六丁、第六冊―四〇丁、第七冊―三七丁。〔印記〕各冊一丁右下「中河」「黒川真道藏書」朱印。末尾「黒川真道藏書」。

〔刊記〕第七冊三七丁裏「寛文元辛丑年十二月吉旦／洛二条通松屋町／山屋治右衛門板行」。

177 徒然草文段抄 北村季吟 (一七〇)

版本、七卷、七冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二七・二 cm × 一九・〇 cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(一八・八 cm × 四・二 cm) 貼付「徒然草文段抄 一 (〜七七)」(子持ち罫)。表紙右上打付に「北村季吟著」と朱書。内題「徒然草文段抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一四行。第一冊―五二丁、第二冊―六〇丁、第三冊―六一丁、第四冊

一六八丁、第五冊一五四丁、第六冊一五三丁、第七冊一五〇丁。

〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕第七卷五〇丁裏「寛文七年十二月吉日 板行」。

〔備考〕旧目録には「五冊（七卷本中五・七欠）」とあるが、その後整理の過程で欠巻部が発見され七冊完備している。

178 徒然草大全 高田宗賢

〔一七一〕

版本、七卷、七冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

二六・七cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽

（一七・五cm×四・〇cm）貼付「徒然草大全諸巻^抄紙^綴上^紙一（下

三）」。表紙右端「高田宗賢著」「共七冊」と朱書。第一冊七

丁表「徒然草抄」。尾題「決談」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕

袋綴。一面一七行。第一冊一三五丁、第二冊一六二丁、第三

冊一五一丁、第四冊一五四丁、第五冊一四六丁、第六冊一

四六丁、第七冊一五二丁。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川

真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕第七冊五二丁裏「延宝五年／丁巳九月吉日」。

〔備考〕上四卷、下三卷。

179 徒然草諺解 南部宗寿

〔一七二〕

版本、五卷、三冊。〔表紙〕松葉色無地表紙。〔寸法〕

二六・〇cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽痕

跡（一八・五cm×四・〇cm程度）。三冊とも剥落。内題・尾題

「徒然草諺解」とあるによる。第一冊表紙右端に「南部宗寿

著」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面〔印記〕

各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕第三冊四二丁裏「延宝五丁巳年吉辰／中村七兵衛

板行」。

〔備考〕題簽・外題を欠き、内題によって書名を表記した。

180 増補鉄槌 山岡元隣

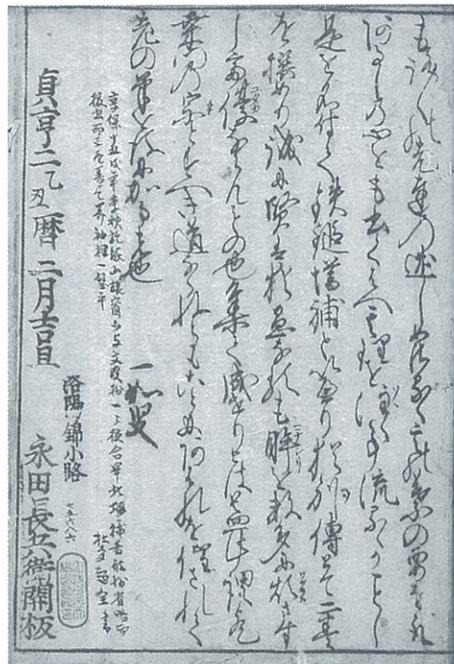
(一七三)

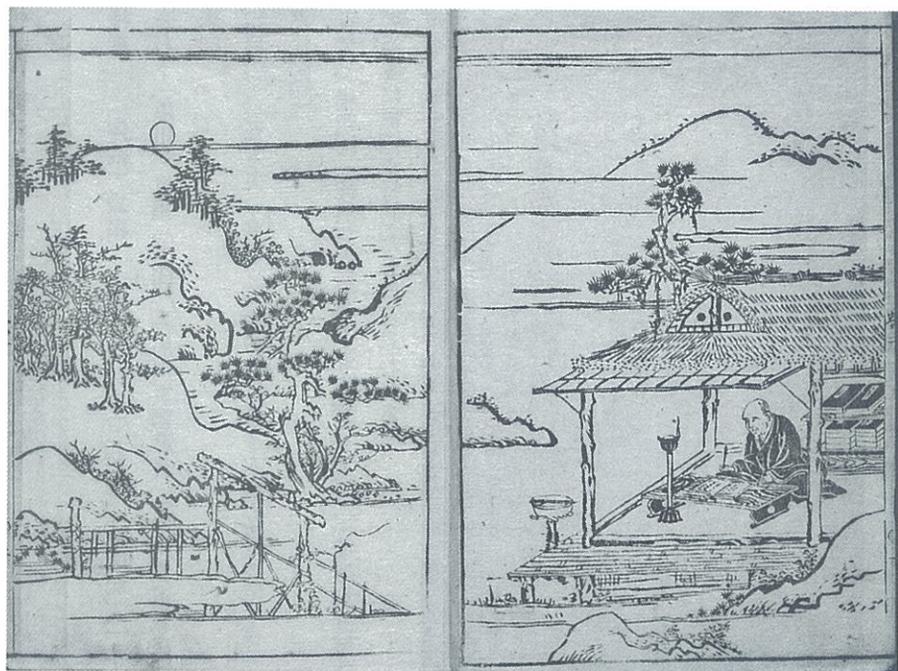
版本、六卷、六冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二六・二cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(二七・八cm×三・八cm)貼付「増補鉄槌 上之一(下之三)」。表紙右端に「山岡元隣著」と朱書。柱刻「増鉄槌」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。上下二段に分ち、上段細字頭書二二行、下段本文二一行。第一冊一二八丁、第二冊一三八丁、第三冊一三七丁、第四冊一四四丁、第五冊一二二丁、第六冊一五二丁、第七冊一五二丁。〔印記〕各冊一丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕第七冊五一丁裏「貞享二乙丑曆二月吉旦 洛陽錦小路／永田長兵衛開板」。〔識語〕第七冊五二丁裏「享保十五戌年季秋於縁山旅窓与文段抄一々校合畢北〔此〕か」増補者彼抄省略而／抜書而已卷善か美袖裡一壁乎 杜多超全書」墨書。〔備考〕六卷の内訳は上三卷、下三卷。

181 首書絵入徒然草吟和抄 (一七四)

版本、五卷、五冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕二五・九cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(一八・八cm×三・五cm)貼付「首書絵入徒然草吟和私抄」。右端





に「元禄三年版」と朱書。内題「頭書徒然草絵抄」。〔料紙〕
 楮紙。〔体裁〕袋綴。上下二段に分ち、上段頭書二五行、
 下段本文一五行。第一冊―二四丁、第二冊―一九丁、第三冊
 ―二三丁、第四冊―二四丁、第五冊―二三丁。〔印記〕各
 冊一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕第五冊「元禄三^庚午歳孟陽日／京五条橋通万寿寺町
 川勝五郎右衛門／大坂中嶋肥後鳴町 帯屋甚右衛門」。

〔備考〕絵入本。第一冊―一四図、第二冊―六四図、第三冊―七四図、
 第四冊―六四図、第五冊―四四図。

182 寂寥草一部諸系図并器物之図（一七五）

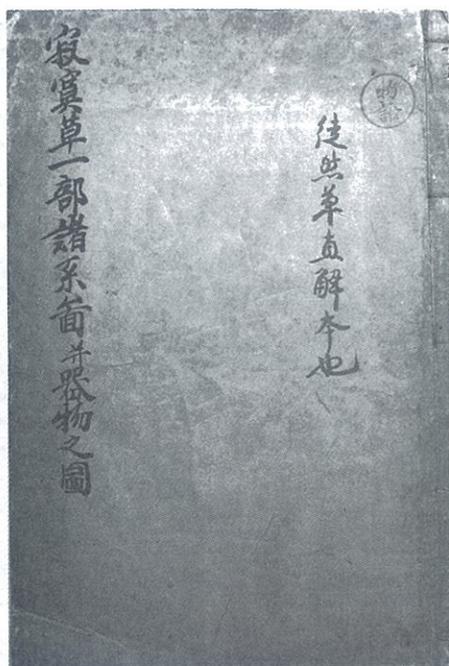
版本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕
 二七・〇cm×一八・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付書「寂
 寥草一部諸系図并器物之図」と墨書、右端に「徒然草直解本
 也」と朱書。尾題「つれ／＼直解」柱刻「徒然直解」。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一四行。二五丁。〔印記〕一丁

表右下「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕二五丁裏「貞享三西曆初秋吉旦／大坂心齋橋筋／書林平兵衛行」。

〔備考〕尾題に「徒然草直解卷下五諸系閣」とあり、〔徒然草直解〕の端本に標題を付したものとされる。



183 徒然草三箇之大事 松永逍遙軒明心〔一七六〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二六・七cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上打付書「徒

然草三箇之大事」と墨書。右端に「松永逍遙軒明心著」と墨書。

〔料紙〕鳥の子紙。〔体裁〕袋綴。一面八行。墨付一四丁。〔印

記〕表表紙見返し「黒川真道藏書」朱印。一丁表右下「黒川

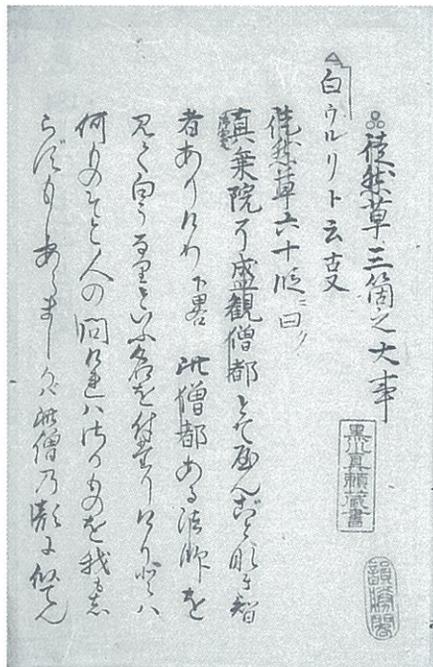
真頼藏書」「韻勝閣（楳円陽刻）」朱印。

〔奥書〕「這一卷依懇望北鷺見迪知英文授与之／全他見漏脱令

禁止訖／正徳二初冬吉辰／不遠齋」（墨書）、後見返しに「文

政九年丙戌初秋従芸窓師借写／韻勝閣主人」（墨書）。

〔備考〕挿図に彩色あり。



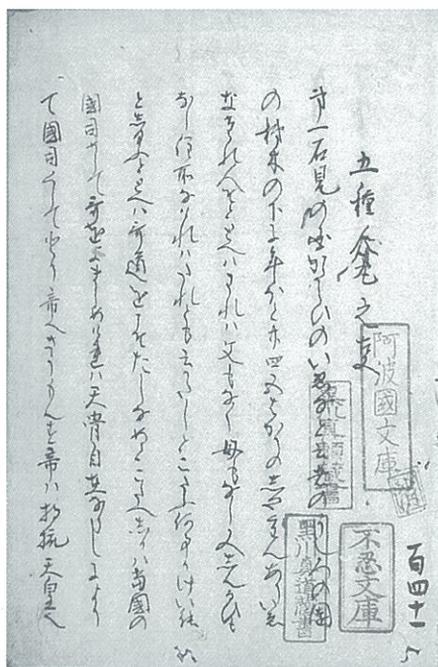
184 五種人丸・徒然三箇大事 松永逍遙軒明心(一七七)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕香色丸瓦型押文様表紙。〔寸法〕

二六・七cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち

罫刷題簽(二七・〇cm×三・七cm) 貼付「五種人丸／徒然三箇

大事／全」墨書。右端に「松永逍遙軒明心著」と墨書。内題
五種人丸之事」「徒然草三箇之大事」。〔料紙〕楮紙。〔体
裁〕袋綴。一面八行。墨付一六丁。〔印記〕一丁表右下「阿
波國文庫」「消」印あり。「不忍文庫」「黒川真頼藏書」「黒
川真道藏書」朱印。一六丁裏「不遠斎印」「阿波國文庫」朱印。
〔奥書〕末尾一六丁裏に徒然三箇大事の伝授奥書「右徒然草
三箇之大事者松永逍遙軒／明心居士依見識所顯世也雖然註釈
／有参差今公道之明師正事跡者也／敢雖非歌道之要訣為伝子
孫清書／以加奥書而已」不遠斎／長隣印／宝永庚寅歲孟春」。



徒然草三事口伝 松永道遙軒明心〔一七八〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕練色秋草瑞穂文様表紙。〔寸法〕

二七・〇cm×一九・五cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「徒

然草三事口伝」と墨書。右上に「松永道遙軒明心著」と墨書。

〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面七行。墨付一四丁。

〔印記〕

〔奥書〕184 Ⅱ〔一七七〕と同文。

Ⅲ 説話の部

186

今昔物語

〔一七九〕

写本、三一巻中二六巻存、二六冊。〔表紙〕支子色雷文
繋ぎ龍丸散らし型押し文様表紙。〔寸法〕二九・六cm×
二〇・九cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「今昔物語 一
（三十）」と墨書。第一巻のみ表紙右上に「共二十六」と朱書、
〔昌平御庫本校合／狩谷掖斎本校合／鈴木安覚本校合〕と墨
書。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面九行。〔印記〕
各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒
川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕宣命書。但し巻二十六以降は通常のカタカナ交じり

文体。第一冊表紙見返しに紙片（二五・八cm×一・六cm）貼付
し「八 十八 廿一 廿三（廿二）欠本」と墨書（「廿二」
鉛筆書で挿入）。各巻前後に遊紙一丁あり（巻十五のみ後遊
紙なし）。墨付、巻一―八一丁、巻二―四六丁、巻三―六九丁、
巻四―七〇丁、巻五―七三丁、巻六―五八丁、巻七―六一丁、
巻九―七二丁、巻一〇―七九丁、巻一一―一五五丁、巻二―
一八五丁、巻三―一六九丁、巻四―一七三丁、巻一五―七八丁、
巻一六―九四丁、巻一七―七〇丁、巻一九―九三丁、巻二〇―
七二丁、巻二二―二〇丁、巻二四―一五六丁、巻二五―四九
丁、巻二六―一四五丁、巻二七―七五丁、巻二八―九四丁、
巻二九―九二丁、巻三〇―四一丁。

〔参考〕阿部秋生・小嶋仁子「今昔物語二三冊」（文芸資料研
究所『年報』第二号（一九八三年三月））。

釋迦如來人衆宿給語第一

今昔釋迦如來未多佛不成治時釋迦菩薩
申免學天ノ内院ト云所ニ住給ケル而ニ觸浮提ニ下
生ト云思ヒテ時ニ五衰ヲ現ヘ給フ共五衰ト云ハ一ニ天ノ
眼瞤ノ事元ノ眼瞤ヲラニニ天ノ頭ノ上ノ花鬘ハ
萎事元ニ萎メ三ニ天ノ衣ニ塵居ル事元ニ塵垢
受ツ四ニ天ノ汗ヲ止事元ニ脇下ヨリ行出タヌ五ニ
天人ハ我カ斧ノ座ラ不替サルニ座ラ不末ニテ當
所ノ居ヌ其時ニ諸ノ天人菩薩此相ヲ現シ給フ見性テ

大織冠垢賜藤原姓語第一

今ハハレ皇抱天皇トシテ女帝ノ御

御子ノ天智天皇春宮トシテ御

其時一人ノ大臣有藤原ノ蝦威

乃大臣此子ハ蝦威年未云仕

臨あり我身ハ老蒼トシテ殊

ハ能進後子入床トシテ代

ハ能代云ハ申一竹葉陰ト

入床也ト恐一ハ天下ト云

事同天智天皇後御子ト

朝田家藏書

藤原家藏書

- 写本、三一卷中一五卷存、一五冊。〔表紙〕藍色水玉文様表紙。
- 〔寸法〕二八・〇cm×二〇・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一六・九cm×三・五cm）貼付「今昔物語卷第一（一）冊一本朝付」墨書。表紙右上「共十五」と朱書。内題なし。
- 〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。
- 〔印記〕各冊一丁表右下「黒川／真頼（丸印）」朝田家藏書「福田文庫」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。各冊本文一丁目「朝田家藏書」朱印。右下各冊末尾「福田文庫」朱印。
- 〔奥書〕なし。
- 〔備考〕「卷一（一）卷二十二本朝」「卷第十一本朝付仏法」「卷第十二本朝付仏法」「卷第十三本朝付仏法」「卷第十四本朝付仏法」「卷第十五本朝付仏法」「卷第十六本朝付仏法」「卷第十七本朝付世俗」「卷第十八本朝付世俗」「卷第十九本朝付世俗」「卷第二十本朝付世俗」「卷第二十一本朝付世俗」「卷第二十二本朝付世俗」「卷第二十三本朝付世俗」「卷第二十四本朝付世俗」「卷第二十五本朝付世俗」「卷第二十六本朝付世俗」「卷第二十七本朝付世俗」「卷第二十八本朝付世俗」「卷第二十九本朝付世俗」「卷第三十本朝付世俗」

187 今昔物語

〔一八〇〕

九本朝付悪行」「卷第三十本朝付雜事」「卷第卅一本朝付雜事」の一五卷存。「朝田家藏書」は岸本由豆流、「福田文庫」は福田敬同の藏書印。

188 今昔物語

(一八一)

写本、零本、三冊。〔表紙〕練色無地表紙。〔寸法〕二七・三cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽の剥離痕あり、そこに打付書「今昔物語 十(十二/十四)」と墨書。卷十のみ表紙右上に「共三冊」と朱書。内題「今昔物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二行。墨付、卷十一七二丁、卷十二一八四丁、卷十四一八二丁。

〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川/真頼(丸印)」

〔黒川真道藏書〕朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕「卷第十震旦付国史」「卷第十二本朝付仏法」「卷第

十四本朝付仏法」の三卷存。

189 今昔物語

(一八二)

写本、零本、四冊。〔表紙〕渋引無地表紙。〔寸法〕二七・六cm×二〇・一cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽(一八・〇cm×三・三cm)貼付「今昔物語 一」墨書。内題「今昔物語集」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。墨付、卷一―八二丁、卷二―四七丁、卷三―七一丁、卷四―七一丁。

〔印記〕各冊一丁表右下「黒川/真頼(丸印)」

「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕「卷第一天竺」「二天竺」「三天竺」「四天竺付仏法」の四卷存。(一八三)『今昔物語問答』と同装丁。

190 今昔物語問答

(一八三)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕栗色無地表紙。〔寸法〕二六・五cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上題簽(一七・五cm×三・〇cm)貼付「今昔物語問答 全」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付一四丁(前後遊紙各一丁)。〔印記〕一丁表右下「黒川／真頼(丸印)」「最上屋形藏書」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。〔備考〕188 Ⅱ(一八二)『今昔物語』その他と同装丁。

191 今昔物語集部類

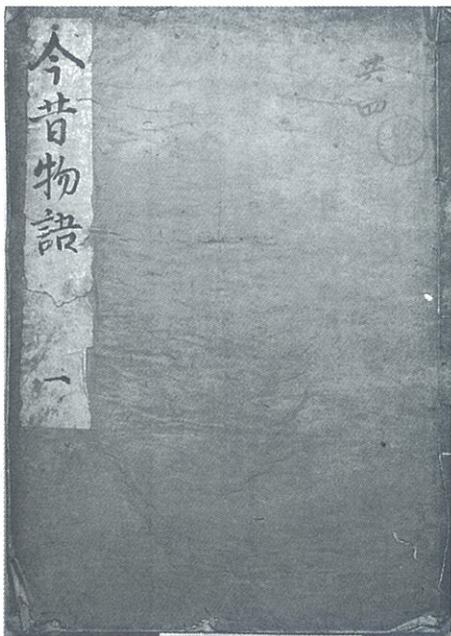
(一八四)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕布目地に渋の刷毛引き文様表紙。〔寸法〕二六・六cm×一八・七cm。〔外題・内題〕表紙左上子持ち野題簽(一八・一cm×三・七cm)貼付し「今昔物語集部類 完」と墨書。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面一一行。墨付六五丁。〔印記〕表紙見返し右下に「虚」朱印。一丁表右下に「柳生藏書(陰刻)」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

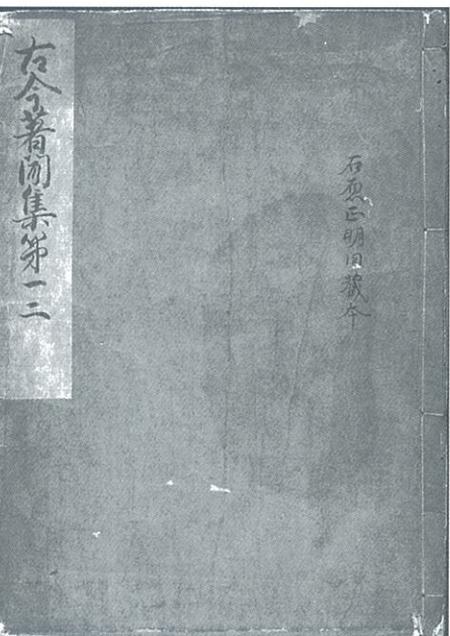
〔奥書〕六五丁表「此書(出)典は榎島先生これかれ書出しおかれたるを／種としておもひ出るたひ／くに書加へおく也天竺／唐山の出処とみにしられぬもの多し博識に尋／ぬへし御国の出処はいかにたつねても此書にのみのこ／れるも多かるへければ十か十みなからはしられぬなるへし／乙未陽月廿二日 岡孝識」「丁酉のとし四月廿五日友人伴氏直方より此物語の／出処かけるものをかりけるに此榎島先生のかきおか



190
【今昔物語問答】



189
【今昔物語】



199
【古今著聞集】



198
【十訓抄】

れし／目録とまた、おなしく出処は本願の所にいたりては殊に／もれたるかおほしさては此出処はやく考出したる／もの有て先生そを種として出処をしるされたるの』（以下、六五丁裏）ならんそのうへにおのれまたつき／しるしいるれは／伴氏のもたれるのより出処のしられる事おほき／也孝又識」。

〔備考〕表紙の「物語」丸印は右上に紙片を貼付し、そこに押印している。オモテ表紙の見返し紙が剥離し、綴じのノド上部に「今昔物語集□□」と墨書してあるのが見える。また、『今昔』巻三一の標題目録が二枚挟まれている。

192 日本今昔物語読法・土佐日記付言

小山田与清・三田葆光（一八五）

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色布目地表紙。〔寸法〕二三・三cm×一五・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（二八・〇cm×三・三cm）貼付「日本今昔物語読法 与清／土

佐日記附言 葆光」と墨書。〔料紙〕『今昔読法』は一面

二〇字×一〇行の「黒川書齋」（版心に印刷）専用の用箋。『土佐付言』は函郭・縦罫（茶色）のみの「珪月堂製」用箋。

〔体裁〕袋綴。一面一〇行。二種の用箋、各二〇・一一（うち一丁は遊紙として使用する）、計三二丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕『土佐付言』末尾に「おなしとし十月十七日・即夜写 光氏」。

舊本今昔物語讀									
事	邊	元	虛	叛	甲	ハ	テ	ソ	ツ
事	邊	元	戲	菜	小	キ	テ	ツ	セ
共	力	疎	目	辺	血	ユ	ハ	ア	マ
失	事	豚	目	邊	血	ユ	ツ	ト	計
								歎	歎

版本、一五卷、一五冊。〔表紙〕紺色無地表紙。〔寸法〕

二一・二cm × 一四・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

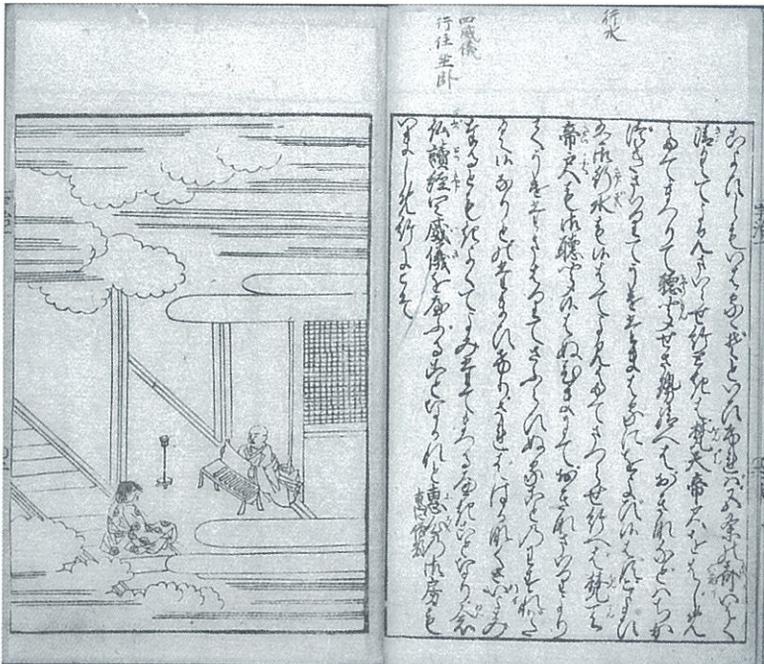
(二四・九cm × 二・五cm) 貼付。第一卷のみ書題簽「宇治拾遺

物語 一」。第二卷以下は刷題簽(一四・九cm × 二・七cm)「宇

治拾遺物語」貼付。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面

一行。絵入本。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」

「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。



194 宇治大納言物語

〔一八七〕

版本、三卷、三冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二二・〇cm×一五・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭刷

題簽（二六・九cm×三・六cm）貼付「宇治大納言物語 上（中

／下）。内題「宇治大納言物語」。上巻のみ表紙右上「一名

世継物語」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面

一行。上―一九丁、中―一三丁、下―一九丁。〔印記〕

各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒

川真道藏書」朱印。〔刊記〕下巻末尾「天明六年丙午春求版

校正／大坂書坊 河内屋八兵衛」。裏表紙見返し「天保六乙未

年／大坂書林／心齋橋通南久太郎町南入／秋田屋市五郎」。

〔備考〕「筒井文庫」蔵書票あり。上巻に挟み込まれている。

上巻裏表紙見返しに「尾州名古屋本町通七丁目 永楽屋東四

郎／江戸日本橋通本銀町二丁目 同（永楽屋） 出店」の「大

日本国郡全図」の広告刷を貼付する。

天明六年丙午春求版校正

大坂書坊

河内屋八兵衛

民間備荒録

全二冊

清徳建部先生著
天保六乙未年
心齋橋通南久太郎町南入
秋田屋市五郎

大坂書林

秋田屋市五郎

195 宇治大納言物語

〔一八八〕

版本、一巻、一冊。〔表紙〕薄香色獅子丸散らし型押し文様表紙。〔寸法〕二六・七cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙中央に打曇料紙の題簽（一九・四cm×四・〇cm）貼付「宇治大納言物語 称小世継物語」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。五〇丁。〔印記〕二丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」「暢（陰刻）」朱印。

〔刊記〕五〇丁裏「大坂書房／心齋橋南久宝寺町／河内屋八兵衛／同 彦兵衛」。刊年不記。

196 世継物語

〔一八九〕

版本、一巻、一冊。〔表紙〕薄香色横刷毛目文様布目地表紙。〔寸法〕二五・二cm×一七・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に金箔散らし題簽（二七・五cm×三・七cm）貼付「世継物語 全」と墨書。右上に「校本」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。五〇丁。〔印記〕二丁表右上「藤館奥藏書／安政年間改之」「東園文庫」等、右下「林氏／図書」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」、いずれも朱印。五〇丁裏「林厚徳」「月明荘」「黒川真道藏書」等朱印。

〔刊記〕五〇丁裏「大阪書房／心齋橋南久宝寺町／河内屋八兵衛」。

〔識語〕五〇丁裏「宇治大納言物語に对照して朱書校正す／明治二十年十月十六日『林厚徳（印）』」朱書。

〔備考〕「東園文庫」「林氏／図書」「林厚徳」印は林東園（一八二八～一八九〇）の蔵書印。阿波徳島藩士から浜松県

令などを歴任し『東園集』『東園隨筆』などの著のある歌人。

「藤館與藏書／安政年間改之」は鈴木成夔せいゑの藏書印。

197 十訓抄

〔一九〇〕

版本、一〇巻、一〇冊。〔表紙〕縹色布目地表紙。〔寸法〕

二二・五cm×一五・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち

罽刷題簽（二四・九cm×三・三cm）貼付「十訓抄 一（十終）」。

第一巻右上「建長四年集／掖斎校合本」と墨書。右下「共十

冊」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

第二冊一二八丁、第二冊一三〇丁、第三冊一三三丁、第四冊

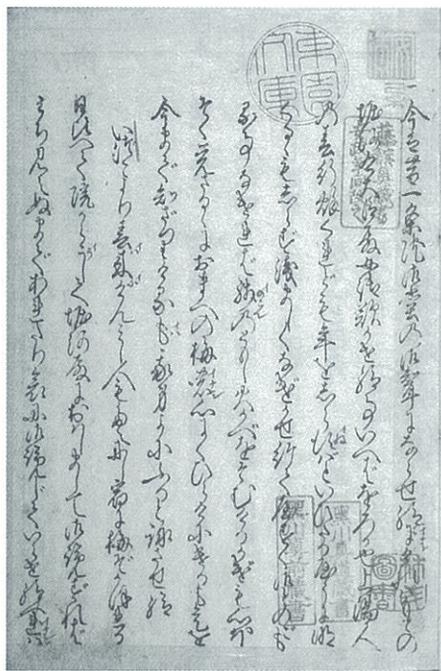
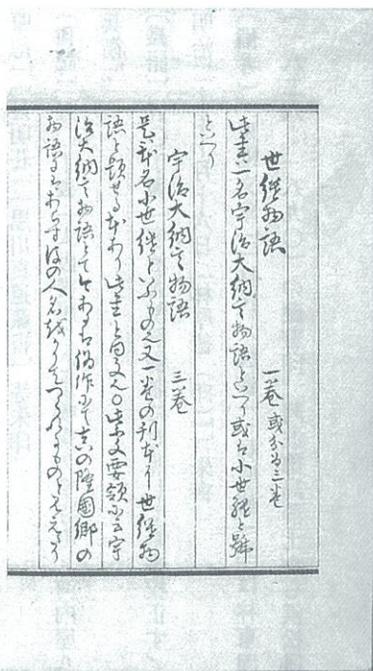
一二二丁、第五冊一七丁、第六冊一二五丁、第七冊一二二丁、

第八冊一九丁、第九冊一三二丁、第一〇冊一三二丁。〔印

記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒

川真道藏書」朱印。

〔刊記〕第一〇冊三〇丁裏「享保六辛丑歳首夏吉辰／撰陽



書堂磯野氏藏版」。同三一丁表「文化二乙丑年発行／書林大坂心齋橋通北第八街／河内屋吉兵衛」。

〔識語〕第一〇冊三〇丁裏（享保刊記の前の余白）「明治十三年五月一読了

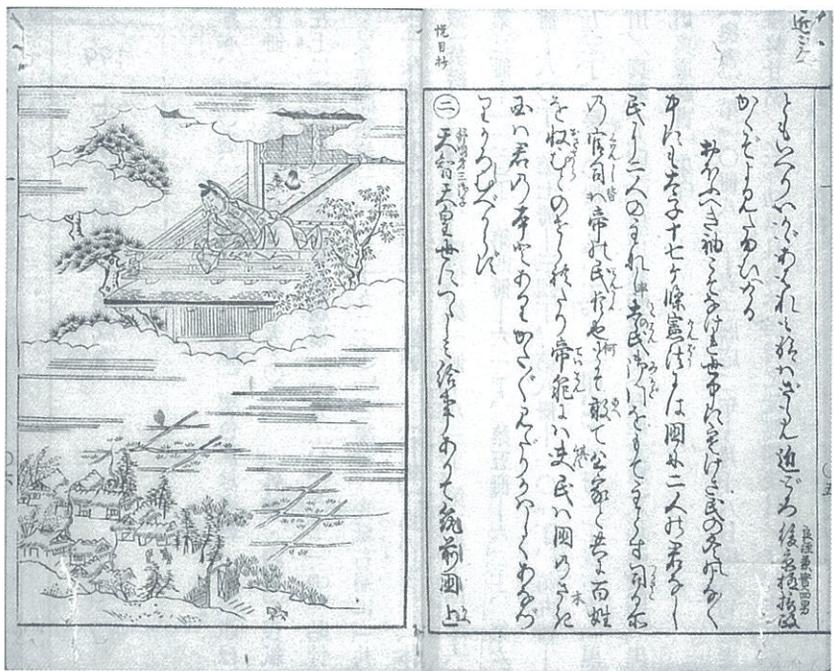
黒川真頼」墨書。「以家藏古鈔本校合畢／享和二年九月五日狩谷望之」朱書。同丁（享保刊記の後の余白）「明治三十三年六月以掖斎翁自筆校本中川氏所藏令書寫了／黒川真道」朱書。「掖

斎翁自筆本今東京帝国大学図書館藏本なり／明治四十一年七月十三日觀 真道」墨書。

〔備考〕各冊見返と遊紙に説話標目を細字で墨書する。第十冊三〇丁表、本文の余白左端一行分あり、そこに「十訓抄下

妙覚寺本／或人云六波羅二藤左衛門入道作云々 長時々茂等奉書」と朱書がある。絵入本。各冊挿絵あり、第一冊一四図、第二冊一五図、第三冊一四図、第四冊一三図、第五冊一三図、第六冊一八図、第七冊一八図、第八冊一四図、第九冊一六図、第一〇冊一四図。

第一〇冊一四図。



(196) 『十訓抄』

198 十訓抄

〔一九一〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕栗色無地表紙。〔寸法〕二七・七cm×二〇・四cm。〔外題・内題〕上卷、表紙左上に題簽剥落の痕跡あり、そこに「十訓抄卷上」と墨書。中・下巻は表紙左上に子持ち罫書題簽（二二・五cm×二〇・四cm）貼付「十訓抄卷中（下）」と墨書。内題「十訓抄」。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面二一行。墨付、上巻―八八丁、中巻―五三丁、下巻―四二丁。〔印記〕各巻二丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「観涛閣」（松平頼寛）「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。〔備考〕189『今昔物語』『古今著聞集』など同一の索引表紙を使用。一六九頁図版参照。

199 古今著聞集 橘成季

〔一九二〕

写本、二〇巻、一〇冊。〔表紙〕栗色無地表紙。裏表紙は各冊〔寸法〕二五・七cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に浅黄色草花裝飾料紙題簽（一五・六cm×三・一cm）貼付「古今著聞集第一二（十九二十）」と墨書。表紙右端に「共十」朱書、「石原正明旧藏本」墨書。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面九行。墨付、第一冊―八三丁、第二冊―四六丁、第三冊―二〇丁、第四冊―六一丁、第五冊―六二丁、第六冊―八〇丁、第七冊―三四丁、第八冊―一〇二丁、第九冊―五三丁、第一〇冊―八一丁。〔印記〕各冊二丁表右下「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼藏書」「石原文庫」（那須資明）「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕第一〇冊八一丁表「暦応二年十月十八日染六旬之老筆終甘帖／之写功畢且為体當時之徒然備後日／才学也可秘藏々々／老桑門 在判」。

〔備考〕「筒井文庫」蔵書票が挟み込まれている。「今昔物語」
「十訓抄」などと同じの渋引表紙を使用。一六九頁図版参照。

200

古今著聞集 橘成季

〔一九三〕

写本、二〇卷中一六卷、八冊存。

〔表紙〕香色無地表紙。

〔寸法〕一九・八cm×一四・三cm。〔外題・内題〕表紙左上打

付に墨書「古今著聞第三ノ三ノ四ノ政道忠臣」。内題「古今

著聞集」。表遊紙右下一冊目（第三）右上「一二ナシノ三

政道 忠臣ノ事ノ四 文学」と墨書。右下に「壹式五六ノ

十七十八ノ六冊無之」と朱書。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕

袋綴。一面一〇行。現存第一冊一四〇丁、第二冊一六五丁、

第三冊一三二丁、第四冊一四〇丁、第五冊一三二丁、第六冊

一三四丁、第七冊一六二丁、第八冊一七二丁。〔印記〕各

冊一丁表「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」朱印。各冊末尾「伊

藤ノ蔵書（陰刻）」朱印。

〔奥書〕第八冊末尾「從建長六年至文政五年凡五百七十四
年也（朱書）ノ建長六年十月十七日宴後朝右筆記之ノ当時棟
雲片々青嵐漠々満籬之殘菊ノ黄紫交色引砌之小泉鶯鶯双翅閑
庭之物足動我情者也（墨書）」。「從曆応二年至文政五_{壬午}年
凡〇〇（虫損）四百八十四年也（朱書）ノ曆応二年十月十八
日染六句之老筆ノ終二十帖之写功畢且為休當時之徒然ノ且為
備後日之才覚也可秘藏云々ノ老桑門 在判（墨書）ノ伊藤弘
篤『伊藤蔵書（朱印）』（朱書）」。

〔備考〕全冊焼損の補修済み。第一冊（第三ノ卷三・四）、第
二冊（第十四ノ十四）ミセケチノ卷六・七）、第三冊（第十
ノ卷十）、第四冊（第十二ノ卷十二）、第五冊（第十三ノ卷
十三・十四）、第六冊（第十五ノ卷十五）、第七冊（第十六ノ
卷十六）、第八冊（第二十ノ卷十九・廿）。第二冊表紙右上「五
ナシ」、第四冊「十一ナシ」、第八冊「十七ノ十八ナシ」と墨
書、第二冊以降「共九」と朱書あり。第八冊外題「古今著聞
第二十魚虫禽獸」の右脇「大尾」と朱書。

建長六年十月十七日宴後胡右筆記之
 尚時煉雲行く青嵐滌・滿籠之殘菊
 黃紫交色引砌承泉鶯鶯雙翅閑庭之
 物足動花情者也

曆應三年十月十八日涼六旬之老筆
 終二十帖之寫切早且為体為時之送也
 且為後後日之芳光也可執卷之

老筆門 在刺
 伊藤弘筆



七五九八

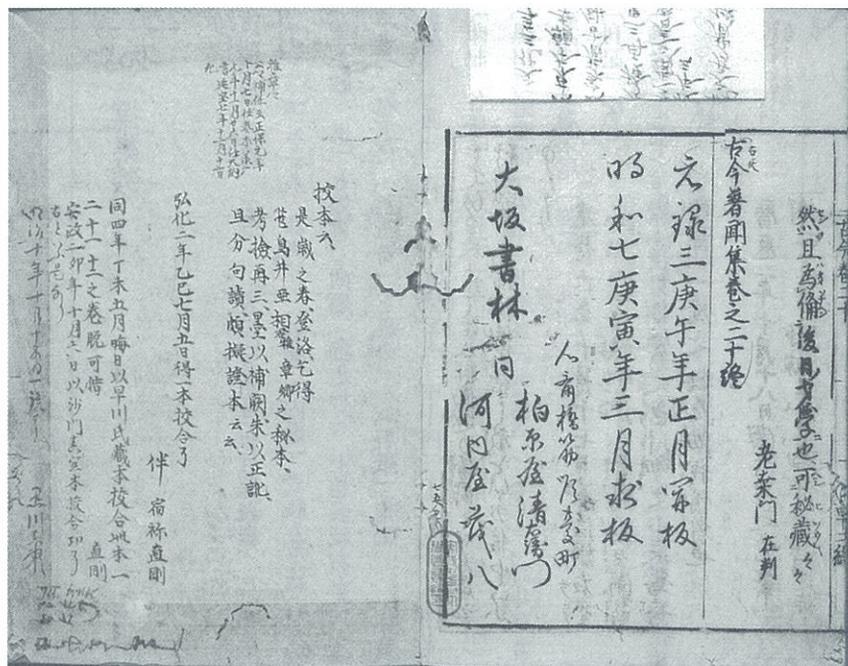
201 古今著聞集 橘成季

〔一九四〕

版本、二〇卷、八冊。〔表紙〕縹色布目地表紙。〔寸法〕
 二・七cm×一六・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち
 野刷題簽（一五・一cm×三・四cm）貼付「古今著聞集 二三（
 廿八九）」。内題「古今著聞集」。一冊目表紙右上「校合本／橘
 成季撰／神祇／釈教」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋
 綴。一面一〇行。第一冊一六五丁、第二冊一三三丁、第三冊
 一六四丁、第四冊一八四丁、第五冊一七二丁、第六冊一六〇
 丁、第七冊一〇三丁、第八冊一八一丁。〔印記〕各冊一
 丁表「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。第一冊四丁表・
 同冊末尾「伴文庫」朱印。〔刊記〕第八冊八一丁裏「元祿
 三庚午年正月開板／明和七庚寅年三月求板／大坂書林／心齋
 橋筋道慶町／柏原屋清右衛門／同／河内屋茂八」。
 〔識語〕第一冊卷二四四丁裏「安政二卯年以古写本校合此古
 写本僧信空之本也希代物也（朱書）」。第二冊裏表紙見返し「安

政二卯年七月（朱書）。第四冊卷六・四〇丁裏「未正月廿五日校合畢（青墨）」。「卯九月十日校合了（朱書）」。第五冊裏表紙見返し「卯九月十一日校合了（朱書）」。第六冊裏表紙見返し「卯九月十二日校合了（朱書）」。第七冊「安政二卯年十月校合了（朱書）」。第八冊裏表紙見返し「弘化二年乙巳七月五日得一本校合了／伴宿祢直剛（朱書）」。「同四年丁未五月晦日以早川氏藏本校合此本一／二十一十二之卷脱可惜 直剛（青墨）」。「安政二卯年十月六日以沙門真空本校合了／古といふ是なり／明治十年十月十五日一読了 黒川真頼（朱書）」。

〔備考〕第一冊（卷一・二）、第二冊（卷三・四）、第三冊（卷五）、第四冊（卷六・七・八）、第五冊（卷九・十・十一）、第六冊（卷十二・十三・十四）、第七冊（卷十五・十六・十七）、第八冊（卷十八・十九・廿）。第六冊の題簽「二十四」と誤る。第八冊刊記の上に付箋「大槻文彦藏狩谷掖斎自筆校合本奥書」以下七行の写しを貼付する。絵入本。各冊挿絵あり、第一冊―四図、第二冊―四図、第三冊―三図、第四冊―四図、第五冊―一〇図、第六冊―五図、第七冊―七図、第八冊―九図。なお、第三冊二九丁目、第八冊八丁目、それぞれ補写。



202 今ものがたり

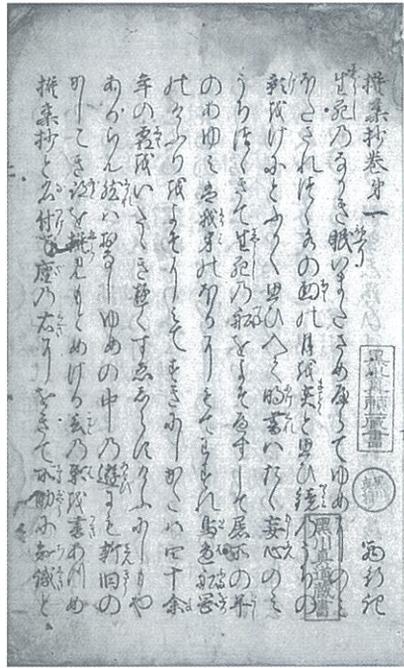
(一九五)

古活字版、一巻、一冊。〔表紙〕鶯色草花散らし文様表紙。
〔寸法〕二六・四cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に
刷題簽(一七・〇cm×三・八cm)貼付「今ものかたり」。表紙
右上「伴直方書入本(墨書)／活字本(朱書)」と打付書。
内題なし。〔料紙〕鳥の子。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。
匡郭あり。全四八丁。〔印記〕各冊二丁表右下「黒川真頼
藏書」「黒川／真頼(丸印)」「伴氏家印」「黒川真道藏書」朱印。
〔刊記〕四八丁裏「文化十酉稔十月 輪台藏」。
〔備考〕裏表紙見返し左下に「筒井藏書」朱印。さらに「筒
井文庫」蔵書票が挟み込まれている。表表紙見返しに「今
物語」の考証の墨書書入、本文中には朱の書人多し。なお、
表紙文様は不詳。樹下文隆・竹下義人「表紙模様集成続稿
(一) 植物篇(国文学研究資料館『調査研究報告』第二二号、
一九九一年三月) 173参照。

203 撰集鈔

(一九六)

古活字版、三巻、三冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕
二八・二cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付書
「撰集鈔 上」と墨書。内題「撰集抄」。上巻表紙右上に「活
字本」、右下に「共三冊」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕
袋綴。一面二一行。上一四〇丁、中一四三丁、下一三四丁。
〔印記〕各冊二丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「
黒川真道藏書」朱印。上巻裏表紙見返し左下に「筒井藏書」
朱印。下巻末尾「善籠(丸印)」朱印。
〔刊記〕なし。
〔備考〕上巻二丁表「撰集抄巻第一」とするが尾題は「撰集
抄巻第上終」、下巻尾題「撰集抄巻第下終」。



204

撰集抄〔嵯峨本〕

〔追補4〕

版本、三卷、三冊。〔表紙〕雲母引草花文様表紙。〔寸法〕二七・八cm×二〇・三cm。〔外題・内題〕左肩に題簽（一六・七cm×三・四cm）貼付（擦れのため文字は消失）。上巻に「角倉本」と朱書、「共三冊」と墨書。各冊左下に「上（中・下）」と墨

書。内題「撰集抄卷第一」。〔料紙〕楮紙。雲母引。〔体裁〕

袋綴。一面九行。上―五八丁、中―六五丁、下―五〇丁。

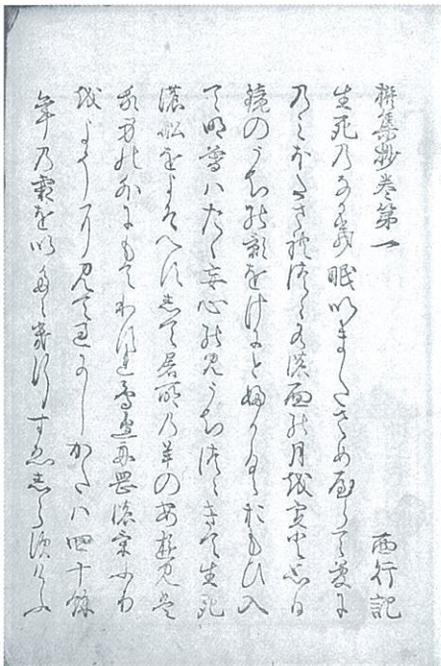
〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒

川真道藏書」「小汀氏藏書」、最終丁裏に「月明莊」朱印。

〔刊記〕なし。

〔備考〕慶長頃刊。上巻見返しに貼付した紙片に、「光悦本、

黒川家伝来／撰集抄全三冊／昭和二十一年六月五日 於弘文莊」と墨書。



205 撰集鈔

(一九七)

版本、三卷、三冊。〔表紙〕紺色正繫ぎ地に草花型押文様。

〔寸法〕二六・七cm×一八・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に

刷題簽(一九・一cm×三・七cm)貼付〔新板撰集鈔 一(一三)大終〕。

表紙右端「慶安四年版」「共三冊」と朱書。第二・三卷、題簽

の下に「九卷之内」と打付に墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕

袋綴。一面二一行。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」

「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕下巻末尾「慶安四年重陽吉／村上平樂寺刊行」。

〔備考〕下巻末尾「慶安辛卯歳八月中澣 桑門無名子題」の

日付の跋文あり。さらに「此書有広略二本共行于世矣然而舛

謬／甚多今依広本聚數本加校讐以銀諸梓／間有風葉之可拾猶

是足為正矣」の一文を付す。



206 沙石集

(一九八)

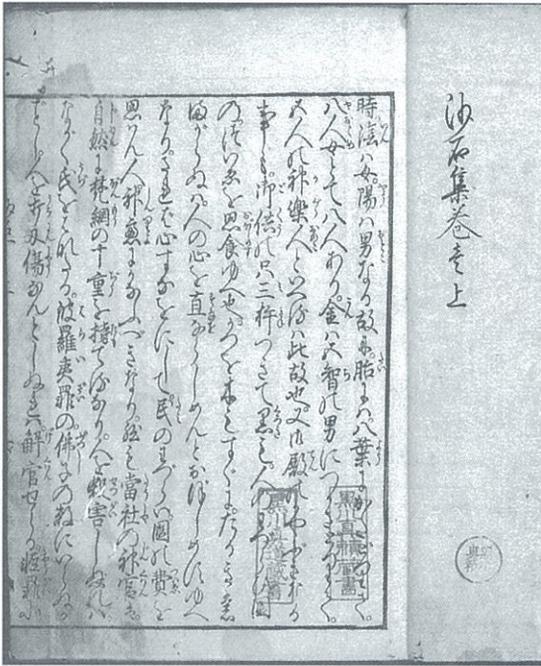
版本、五卷、五冊。〔表紙〕麻紙表紙。〔寸法〕二五・八

cm×一七・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽(一六・三

cm×三・六cm)貼付「沙石集卷 卷上下(一五上下)」と墨書。

第一冊表紙右下に「共五冊」と朱書。内題「沙石集」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。二面一一行。〔印記〕各冊一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕なし。〔備考〕一〇巻五冊本形態の流布本。



207 宝物集

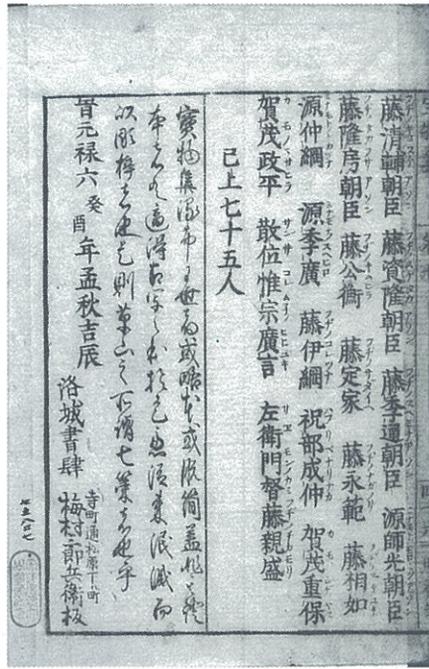
〔一九九〕

版本、三巻中二巻存、一冊。〔表紙〕墨色雷文繫ぎ型押文様表紙。〔寸法〕二七・二cm×一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽剥落の痕跡あり、中央に「宝物集 自上至中合冊」と墨書。表紙右上「絵入本」右下「下巻欠」と朱書。内題「宝物集」。柱刻「宝物」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一五行。上巻二二丁、中巻二〇丁、全四二丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔備考〕三巻本系統。絵入本。表紙見返しに深草元政の伝を引き「此本ハ元政ノ編スル所ノ刊行ノ本ナルベシ」と書入あり。全体に汚損した本で、裏表紙剥落。

〔備考〕七卷本系統。卷一〜四・七の版心に「時齋筆」と見える（巻五・六欠）。



209 閑居友

〔1101〕

版本、一巻、一冊。〔表紙〕紺色唐草地に草花型押紙表紙。

〔寸法〕二六・三cm × 一九・〇cm。

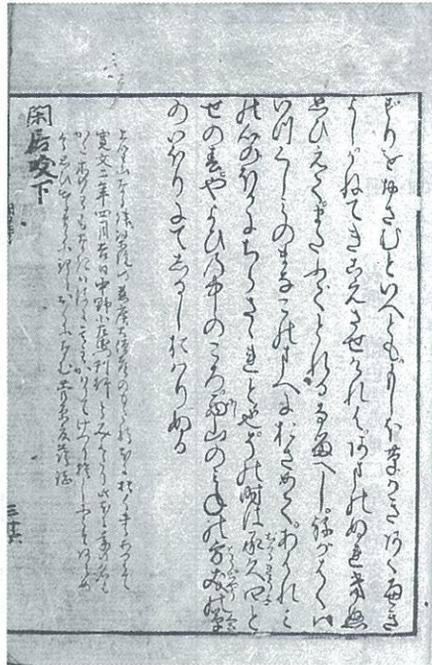
〔外題・内題〕表紙左肩に白地複郭刷題箋（一七・〇cm × 三・七cm）貼付「閑居友 上（下）」。目録題「閑居友」。尾題「閑居」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁・内容〕袋綴。一面十一行。本論部分では各譚冒頭に〇印を冠して当該譚の題名を入れる。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（朱印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔識語〕下冊最終丁に「上野山なる清梁院の慈廣大僧都のもたる本におく書ありて／寛文二年（一六六二）四月吉日中野小左衛門刊行とみえたり此本に年の名も／かた木の主もなきは後に其主かはりてけつり捨しにこそあらめ／今思ひ出るまゝに記しおくになむ昔原夏蔭誌」（朱書）。

〔備考〕藤原夏蔭書入本。夏蔭は契沖説を受けて編者を慶政とする自説を述べる。



210

唐鏡

藤原成範

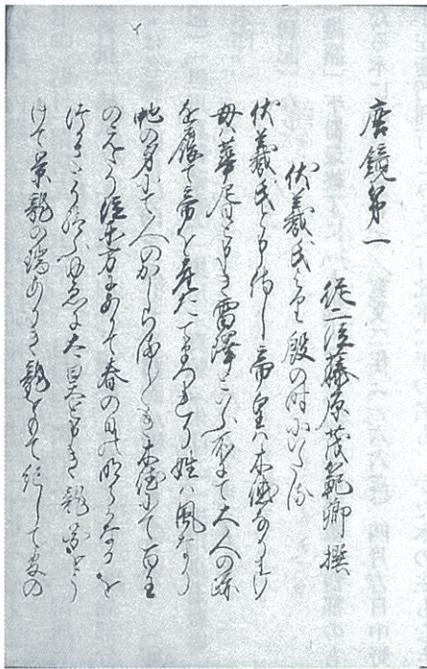
(二〇二)

写本、五卷、五冊。〔表紙〕洪引き紙表紙。〔寸法〕

二七・二cm × 一九・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に「唐鏡

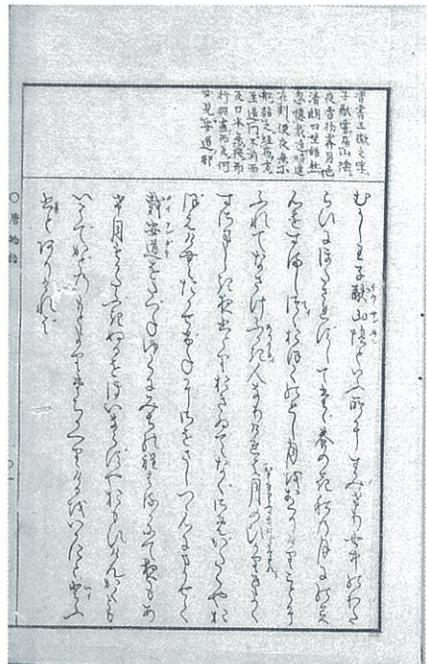
一(〜五尾)」と墨書。巻首題「唐鏡第一 従二位藤原成範卿撰」

「唐鏡第二(〜第五)、尾題」唐鏡第一(第二、第三、第五終)。「料紙」楮(体裁)袋綴。一面一〇行。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(朱印)」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。〔備考〕中国古代史を仮名文でまとめたもの。各冊の内容は、第一冊目から順に「伏羲氏より殷の時にいたる」「周の始より秦にいたる」「漢高祖より景帝にいたる」「漢武帝より更始にいたる」「後漢光武より献帝にいたる」。



211 唐物語 橘千蔭・賀茂季鷹校訂 (二〇三)

版本、二卷、二冊。「表紙」香色地に二葉葵散らし文様紙表紙。
 「寸法」二六・四cm×一八・七cm。「外題・内題」表紙中央に
 単郭刷題簽(二七・五cm×三・八cm)貼付「唐ものかたり 本
 (末)」。版心題「唐物語」。「料紙」楮紙。「体裁」袋綴。
 一面一〇行、頭注形式。「印記」「黒川真頼藏書」「黒川／
 真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。
 「刊記」下冊後見返し「文化六年(一八〇九)己巳春三月／
 皇都書林／錦小路通室町西え入北側中程／恵比須屋市右衛門」。
 「備考」文化三年(一八〇六)橘千蔭序、文化四年賀茂季鷹序、
 文化戊辰(五年、一八〇八)雀山畑維龍題辭の他、朋学堂の
 蔵版和書目録等も掲載。序文によれば、本書は牘庫(内藤風
 虎)旧蔵の西行自筆本を得た季鷹が千蔭とともに校訂したと
 ある。下巻五八丁裏に本奥書「元本云／文安元年(一四四四)
 八月十七日盛得之」。



212 唐物語提要 清水洪臣 (二〇四)

版本、一卷、一冊。「表紙」青灰色無地紙表紙。「寸法」
 二六・二cm×一八・〇cm。「外題・内題」表紙中央に題簽
 (二六・五cm×三・七cm)貼付「唐物語提要」と墨書。巻首題「唐
 物語提要」扉題「からものかたり」尾題「唐物語」。「料紙」

楮紙。〔体裁〕袋綴。提要は一面一〇行。物語本文は一面一〇行、頭注形式。頭注部分に各譚序数も記入。

〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕後見返し「江門書肆／神田通鍋町 英平吉／通本石町十軒店 奥田彌三郎」

〔備考〕冒頭の文化六年清水濱臣の提要(八丁)に「十とせはかりむかし西行上人のかきおかれたる／をうつせりといふ本もて又うつしおけるを後に或人の／もたる古抄本をかりえてむかへかうかへてたかへること／ありしをはかたへにしつつけつるを近き比吾黨／岸本弓弦かもたる漢故事和歌集をかり得てうつし／おくついで歌の異同をは又いさゝかそへたるになん」。



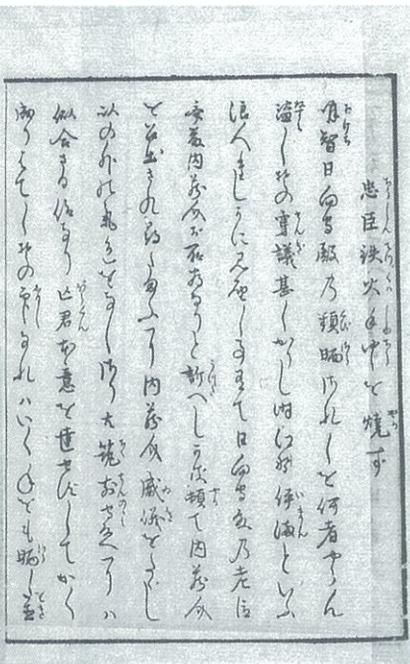
IV 中世・近世小説の部

213 新著聞集

(二一〇五)

版本、八卷、八冊。〔表紙〕丹色布目地表紙。〔寸法〕二五・〇cm×一七・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち野刷題簽（一八・三cm×三・九cm）貼付「新著聞集 卷（一）（八止）」（第八冊目巻序の「止」は書入）。封面題「此書はいと古くより世に行はる、草紙にしてありとあらゆる珍説奇談を集め尤実録なれば集中人物の／＼姓名居所且年歴を詳に顕し候は古今未曾有の珍書也／＼新著聞集全部十八冊浪華群鳳堂梓」。目録題・巻首題「新著聞集」、尾題「新著聞集大尾」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。〔印記〕一丁表「木村氏図書記」

〔黒川真道蔵書〕朱印。



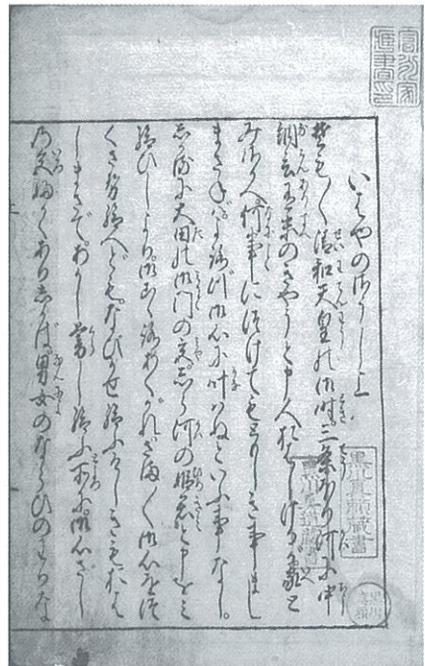
〔刊記〕第八冊目最終丁裏「寛延貳記三月吉旦」。書林／京都寺町通仏光寺 河内屋藤四郎／江戸日本橋通老丁目 須原屋茂兵衛／同 貳丁目 山城屋佐兵衛／同 貳丁目 須原屋新兵衛／同 南伝馬町老丁目 山城屋政吉／同 下谷御成道 英文蔵／同大伝馬町 貳丁目 丁字屋平兵衛／同 芝明神前 岡田屋嘉七／同 和泉屋吉兵衛／大阪心齋橋筋本角 河内屋藤兵衛／大阪心齋橋筋博労町角 河内屋茂兵衛版」。

版本、一巻、一冊。〔表紙〕藍色無地表紙。〔寸法〕二七・二cm×一八・二cm 〔外題・内題〕表紙左上に無地書題箋（二七・〇cm×四・〇cm）貼付「いはやのさうし 上下」と墨書。巻首題「いはやのさうし 上（下）」。「料紙」楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。絵入り。〔印記〕一丁表「富永家藏書印」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

上冊二五丁、下冊二〇丁。序跋等はなく、本論部分のみ。

〔識語〕表表紙見返し「按するに此の書風葉集に見えたる岩屋物語とは異なりそは風葉集に見えたる岩屋／物語の歌と此の草紙の歌とは異なればなり（朱書）」「又云統群書類従五百七に収めたる岩屋の草紙とは大体に於ては同じけれと詞つかひ異同／ありて全く別本なり」（墨書）。

版本、三巻、三冊。〔表紙〕薄墨色卍繫地に唐草型押表紙。〔寸法〕二六・八cm×一七・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち罫題箋（一六・三cm×三・八cm）貼付「新板一本きく 上（中・下）」。巻首題「一本菊 上（中・下）」。「料紙」楮〔体裁〕袋綴。一面一二行。絵入り。上冊一七丁。



中冊一九丁。下冊一九丁。〔印記〕一丁表ほか「不羈齋圖書記」（秋山不羈）「富永家藏書印」「東京師範学校図書印」「師範学校拂下之印」「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕下冊最終丁「万治三子版（二六六〇）臯月吉辰／野田庄右衛門」。

〔備考〕下巻最終丁に「真道一読」（朱書）とあり、本文中に真道による朱の書入れあり。



216 松帆浦物語

〔二〇八〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕

二五・九cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

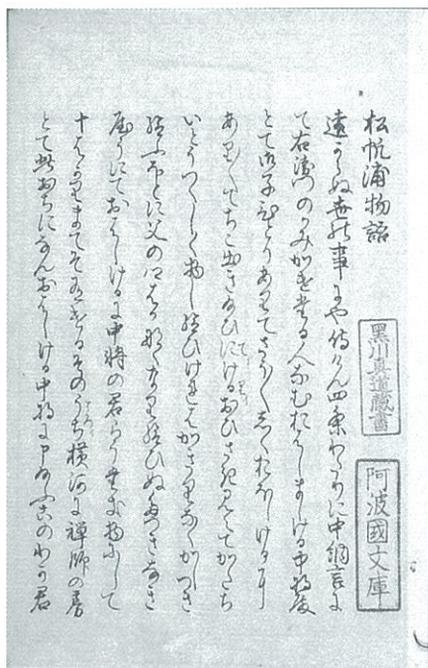
（一八・四cm×三・八cm）貼付「松帆浦物語」と墨書。内題「松

帆浦物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

一七丁。〔印記〕一丁表右下「黒川真道藏書」「阿波國文庫」

朱印。末尾「阿波國文庫」朱印。

〔備考〕物語の末尾に「：今年十六に成給ふかたちはつほめ／花山のは出る月のさまし給へる御くしをなく／そり／おとして墨の衣にやつしぬるもゆめのやうなり／うらめしきものは此世成けりとそおほゆる伊よ法師／も墨の袖いと、色ふかくなしつ、ともなひ奉りて／高野山のかたへや行けむ後はしらす／兼載在判」とある。校合の朱筆書入あり。



217 松帆浦物語

(二〇九)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕薄縹色布目地表紙。〔寸法〕二七・〇cm×一九・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付に「松帆物語 全」と墨書。内題「松帆浦物語」。〔料紙〕楮斐漉き混ぜ。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付一七丁。〔印記〕

一丁表「伴氏家印」「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔備考〕表紙右上に「影写本」と朱書。なお216 〔二〇八〕番と比較するに、本文は殆ど同じ（字母は異なる箇所があるが、字詰め・行詰めは一致）。また〔二〇八〕に書入された異文表記（朱筆）とも、一部一致した箇所がある。

218 嵯峨物語

(二一〇)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕銀鼠色唐草型押文様表紙。〔寸法〕二六・八cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一八・三cm×三・三cm）貼付「嵯峨物語」と墨書。内題「嵯峨物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一一行。一六丁。〔印記〕一丁表「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕「右嵯峨物語一卷百華庵所藏也因松本生而借鈔焉／安永戊戌歲（一七七八）後七月十三日 南畝主人誌」。〔識語〕「明治三十七年四月初旬一読了 真道」と朱書。

〔備考〕扉に「古物語類字抄、嵯峨物語 時代の考見えたり
見るへし」と朱書。本文中に朱の書き込みあり。

219 六人さんげ物語

〔二二一〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕藍色雷文繫雲形文様型押表紙。

〔寸法〕一三・四cm×一七・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に

金色の題簽（下部剥落）貼付「六人さんげ」と墨書。内題「六

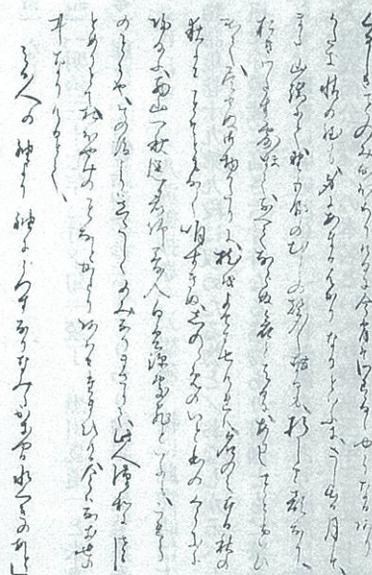
人さんげ物語（朱書）／六人さんげ物語（墨書）。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。五七丁。前後見返しは

金銀切箔ちらし。〔印記〕一丁表「黒川真道藏書」「黒川真

前藏書」（朱印）。

〔奥書〕なし。



右の神は、神の御方、今有る神の御方、
左の神は、神の御方、今有る神の御方、
右の神は、神の御方、今有る神の御方、
左の神は、神の御方、今有る神の御方、
右の神は、神の御方、今有る神の御方、
左の神は、神の御方、今有る神の御方、
右の神は、神の御方、今有る神の御方、
左の神は、神の御方、今有る神の御方、
右の神は、神の御方、今有る神の御方、
左の神は、神の御方、今有る神の御方、

右嵯峨物語一卷百筆、菴可藏也、因私本生而借鈔焉
安永戊戌歲後七月十三日南畝主人誌
明治三十一年四月廿九日序 真道藏



(219) 『六人さんげ物語』

220 硯 破

(一一一)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕銀鼠色布目地に唐草型押文様表紙。

〔寸法〕二六・八cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に

題簽（一八・三cm×三・四cm）貼付「硯破物語」と墨書。内

題「硯破」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

二六丁。〔印記〕一丁表「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔識語〕「明治三十七年三月下旬一読了 黒川真道」と朱書。

〔備考〕扉に「古物語類字抄云すゞりわり物語、色葉集卷三

物語すゞりわり、／八雲御抄卷一云硯破、按に此物語は古本

今昔物語集卷十九第九段に収めたる物と／おなじかるべし又

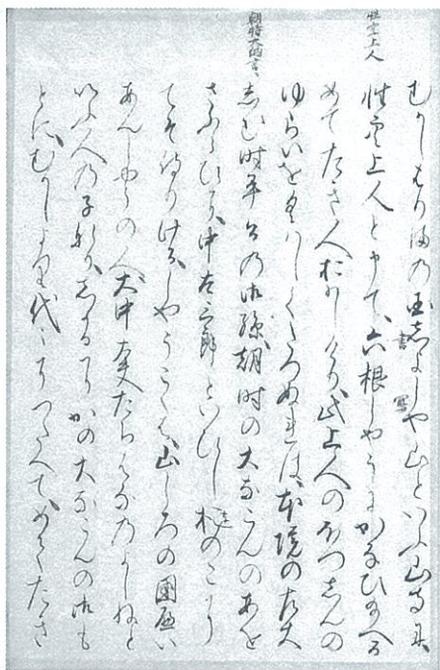
内藤撰津守殿蔵に高さ六寸許なる巻物あり書画ともに筆者／

詳ならず、奥書に明応四年十一月日源義高とあり義高は常德

院内大臣義尚公義尚改考の本名といへり長享三年三月二十六日

薨去ありき、たゞし此絵巻の趣意は古本とはいさ、／か異な

り／再按、義尚公には非ず法住院義澄公の本名也足利家官位記に見えたり十七歳の時の／真蹟也」と真道の朱書あり。本文中に朱の書き込みあり。



221 西行物語

(二一三)

版本、二巻中一冊存。〔表紙〕朱色正繁唐草型押文様紙。

〔寸法〕二七・六cm×一七・六cm。〔外題・内題〕表紙左上

に刷題簽(一六・九cm×三・五cm)貼付「西行物語 下」〔中

の字は墨書〕。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二一行。

三〇丁。〔印記〕各冊一丁表「黒川真頼藏書」「黒川／真頼

(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。また見返しに「花廼家文庫」

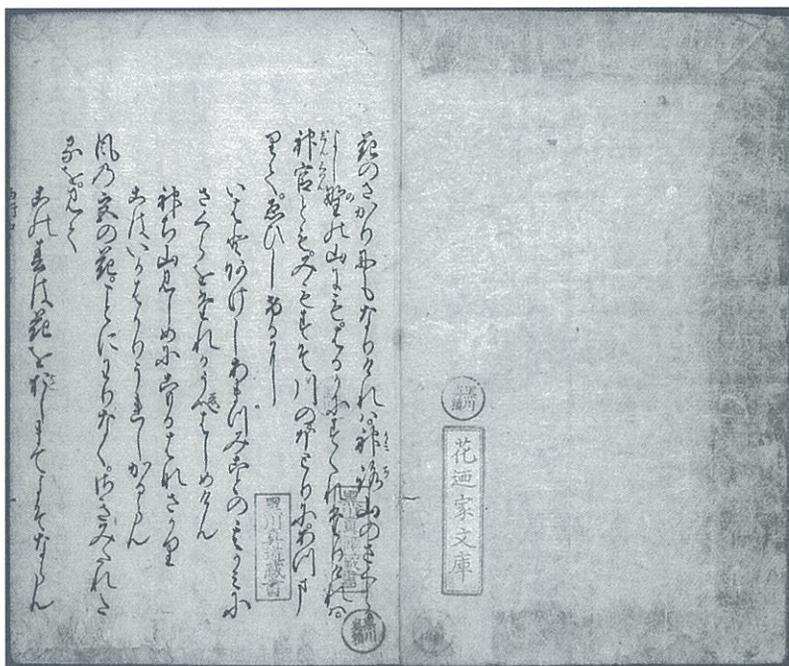
(堀直格) 印を切り取ったものを貼付。

〔刊記〕「正保第三^{成丙}朱明日 木村次郎兵衛刊行」。

〔識語〕「明治三十六年十二月一読了 黒川真道」と朱書。

〔備考〕正保三年版二巻二冊のうち下巻のみ所蔵。朱の書き

込みあり。



222 小督物語

〔二二四〕

写本、一冊零本。〔表紙〕本文共紙表紙。

〔寸法〕二四・四cm×一六・六cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「小督物語」と墨書。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕

仮綴。一面六行。一五丁。〔印記〕一丁表「黒川真道蔵書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔識語〕「此の小督物語ハ上巻はかりなり 零本といへとも／写しおきぬ 他日全本を得たらん時ハまた参／考ともならんとおもへはなり／大正六年五月 黒川真道識」と墨書。

〔備考〕黒川真道自筆写本。上巻のみ所蔵。

〔参考〕山岸徳平「中世文学文献報告（実践女子大学図書館の黒川本）」（『中世文学学会会報』一九五七年六月）。

おりの人のいけれとてをさやけんのこのかたに
けいひのひかりさき……かしの風、西のまゆむく
かひくさきいひめきこまふけ、さそひしるかえ
ふ川さき中におもさきさるかとはいませぬしよる
川、西ののまうてあひこころふあ……おくあいを
にからうさあさんま……さそひさるや、りやたり
なほさるりたり

元和四年正月吉日
五月の

右元和四年吉字本、以三河國
室版郡新城町三系屋、校書、つ、家本
写す

于時弘化元年七月下旬

遠江國引佐郡將家村
峯野江原左衛門
峯隆

224 四十二物諍考証 山本明清 (二一六)

版本、一巻、一冊。〔表紙〕香色植物文様型押表紙。〔寸法〕二六・六cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭刷題簽(一八・五cm×三・九cm)貼付「四十二物諍考証 完」。表紙右端に「山本明清著」(墨書)「文政版(朱書)」と打付書する。内題「四十二のものあらそひ提要」(凡例)、「四十二のものあらそひ」(巻首)。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九く一六丁。三五丁。四周単辺。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」「黒川/真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。

226 藤袋草紙

〔二一八〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地紙表紙。〔寸法〕

二四・〇cm×一五・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

（一五・六cm×三・〇cm）貼付「藤袋草紙 全」と墨書。表紙

右上に「真道写本」と朱書。内題「藤袋草紙」。〔料紙〕楮

紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。墨付八丁。〔印記〕一丁表

「黒川真道藏書」朱印。

〔識語〕「明治三十七年三月以某家秘藏本書写了 真道」と墨書。

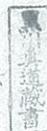
〔備考〕真道自筆書写本。「増補考古画譜卷十云、藤袋双紙、

一卷、倭錦云、土佐光信、藤袋草紙」と真道の朱書あり。本

文中に朱の書き入れあり。挿絵挿入部分には「絵」の文字の

み記し、絵は省略する。

藤袋草紙



いすは切りあはりの園ある山ささすみ作らねる花も花
めけまりのやくものりてこころゆれはかたうてり作りぬら
うあるはふひつゆよみくことすてらおまてりみんたえん
こころはくすえやう世かのさるまおひけるハの年事
予ちかりいさまうもひりていんえんやいひあていとお
むひてわらふこころ入ていんえんあふとほきんち
ていんえんていんえん
結

227 浦島物語

〔二一九〕

写本、一冊。〔表紙〕緑色地唐草金欄布表紙。〔寸法〕

二三・五cm×一七・三cm。〔外題・内題〕表紙中央上部に金

切箔散らし題簽（一六・五cm×三・四cm）貼付「浦島物語 全」

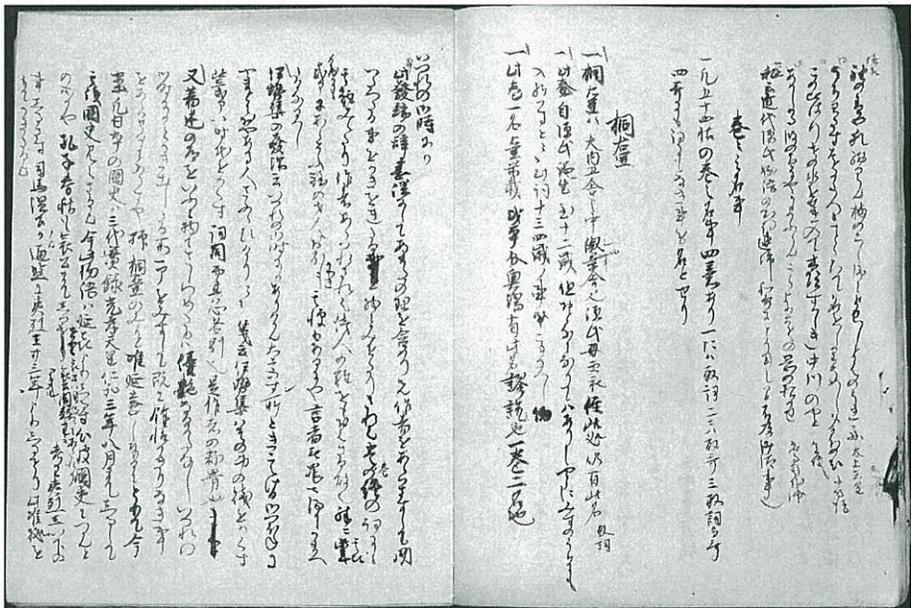
と墨書。〔料紙〕鳥の子紙金泥下絵。〔体裁〕列帖装。一

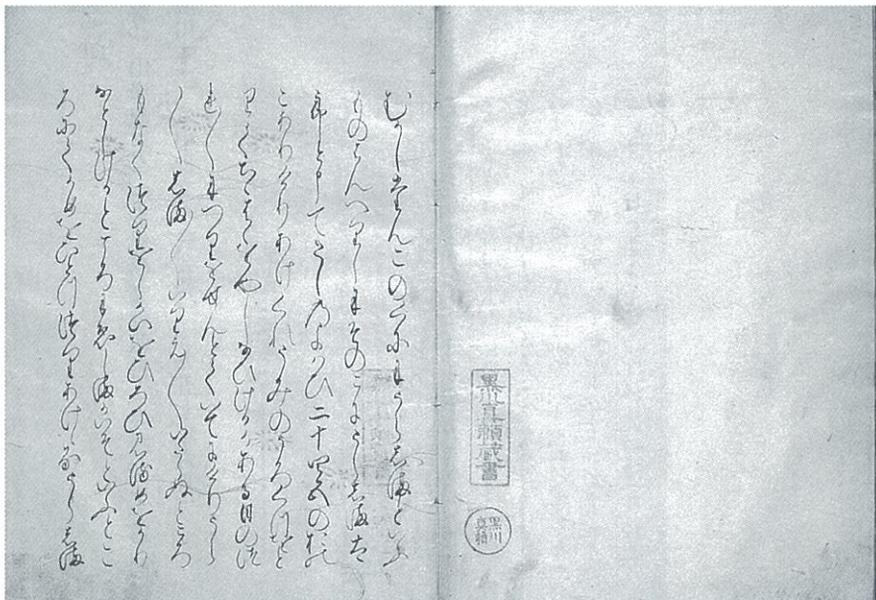
正誤表

79 浅略抄 [75]

黒川文庫目録「新版」におきまして、一部誤りがございました。資料をご提供いただきました大学関係者の方や発行を心待ちいただいた方々に、大変なご迷惑をお掛けいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

誤り箇所は、冊子本体 P75 の画像が一部断裁されており下記画像が正しいトリミング位置となっております。





面一〇行。墨付一八丁。見返し全面に金箔を置く。〔印記〕
 「黒川真頼蔵書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道蔵書」朱印。
 〔奥書〕なし。

228 天稚彦物語・大納言物語 〔三〇〕

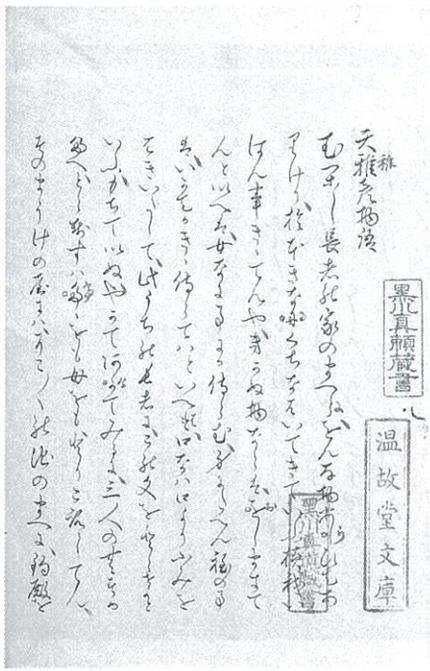
写本、一巻、一冊。〔表紙〕練色地香色刷毛目表紙。〔寸法〕
 二五・六cm×一八・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「天
 稚彦物語／大納言物語」と墨書。内題「天稚彦物語」（一才、
 「雅」の字を朱で「稚」に訂正、「大納言物語」（九才）。
 〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。二四丁（天稚彦
 物語一八丁、大納言物語一六丁）。〔印記〕一丁表「黒川
 真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「温故堂文庫」朱印。表紙右下「又
 続」朱印。

〔識語〕「明治廿七年三月一読了 黒川真道」と墨書。

〔備考〕真道による朱の書き入れあり。「温故堂文庫」は塙家

の蔵書印。

〔参考〕 山岸徳平「中世文学文献報告（実践女子大学図書館の黒川本）」（『中世文学学会会報』一九五七年六月）。



229 長谷雄卿物語・野宮草紙・袋法師

・病草紙・在五中将物語 (二二二)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕 香色布目型押表紙。〔寸法〕

二六・九cm×一九・八cm。〔外題・内題〕 表紙上部打付に「長

谷雄卿物語／野宮草紙／袋法師／病草紙／在五中将物語」と

墨書。右上に「春村纂」と朱書。内題「長谷雄卿物語」「野

宮草紙」「袋法師」「病冊子」「在五中将物語」。〔料紙〕 楮紙。

版本風の匡郭と柱刻の刷られた用紙。〔体裁〕 袋綴。一面

一〇行。墨付三三丁。〔印記〕 「黒川真頼蔵書」「黒川真道

蔵書」朱印。

〔奥書〕 「長谷雄卿物語」「此粟田口桂羽直起蔵本摹文政二年

四月二日卒業／仰古亭主人」「板谷桂舟曰 此画卷雖有説々

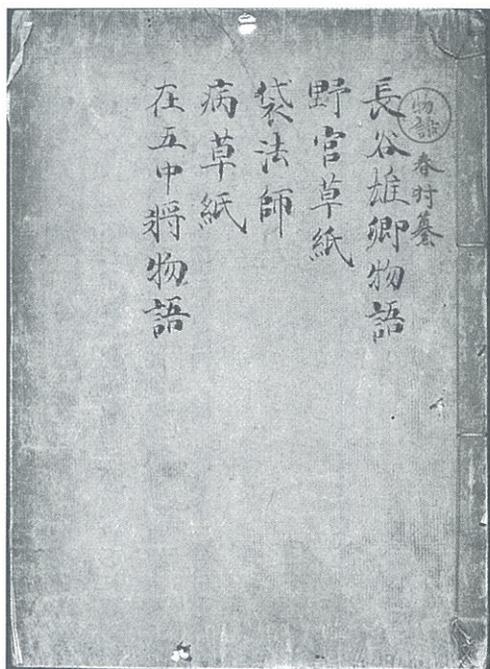
画能以荏柄天神縁起／矣行長筆歟」「此物語の詞のやうかな

らす近むかしの物とみえたりされと／筆つかひハいにしへに

はちすしていひしとすめてたしこハ／山崎知雄が摹本をかり

得て絵ハ村田宗園かもとに／うつさせ詞ハわかかたに写し

と、めつ／天保九年三月 海石榴園(花押)。「野宮草紙」右
 以山崎武陵所藏摹本謄写之 蓋雖為其圖画希有難堪／筆力默
 止畢／天保乙亥晚夏孔魯郷夫(花押)。「袋法師」「こは吉水
 僧正の筆すさひとかつたへいへれとまことにやあらむ／い
 か、あらむ絵も詞もいたく荒涼なるものからさすかにふかき
 ／世の筆つかひとみえてをしけれハふるき巻物より写し／も
 のしつれとおのれ絵をうつすへきちからなければいさゝか／



詞を書くはへてその絵にハかへつるなりかし／天保十一年七
 月 椎かもと(花押)。「病草紙」「こは光長絵と聞えたれと
 例のうつし得ねハ詞もて／かへたり此さうし異本もありとき
 けハ得たらむほとに書そへつへし／天保十一年仲秋 崑崙服
 夫(花押)。「在五中将物語」「右一卷以中院大納言書画一筆
 之巻軸謄写了」。

〔備考〕標題の各種絵巻詞書きの写し。朱の書き入れ、押紙
 あり。

230 八幡の本地

〔三三三〕

版本、三巻、一冊。〔表紙〕藍色布目型押表紙。〔寸法〕
 二五・九cm×一八・五cm。〔外題・内題〕表紙左上に子持ち
 野刷題簽(二六・〇cm×三・七cm)貼付「八幡之本地」。内題「八
 幡の御本地 上(中・下)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。
 一面一〇行。四四丁。四周単辺。〔印記〕一丁表「黒川真

道藏書」朱印。

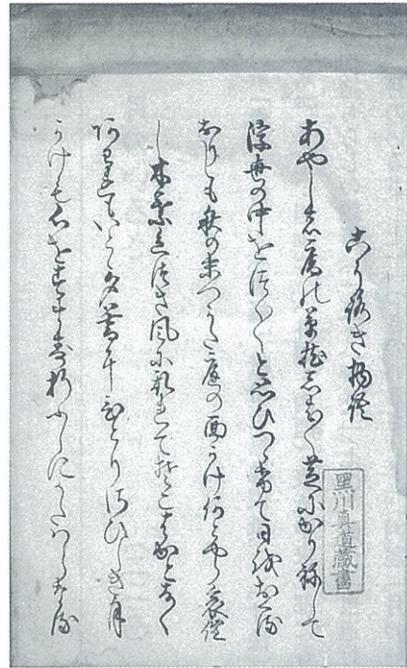
〔刊記〕「承応二癸巳曆（一六五三）季春上旬／山本長兵衛板」。
〔備考〕絵入り。承応二年版の明治覆刻。後見返しに覆刻時の刊記「和漢書籍専売古本買入所／発売書林 東京市神田区仲町二丁目六番地 武田伝右衛門／同 浅草区三好町七番地 大川錠吉」。

231 こうろき物語

〔二三三〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕黄色松皮菱繋型押表紙。〔寸法〕二三・六cm×一六・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（二七・〇cm×三・二cm）貼付「こうろき物語」と墨書。内題「こうろき物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕紙綴綴。一面七〜一〇行。二二丁。〔印記〕一丁表「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。〔備考〕「こうろき物語」と、花鳥虫に関する和歌版本の一部を合綴。

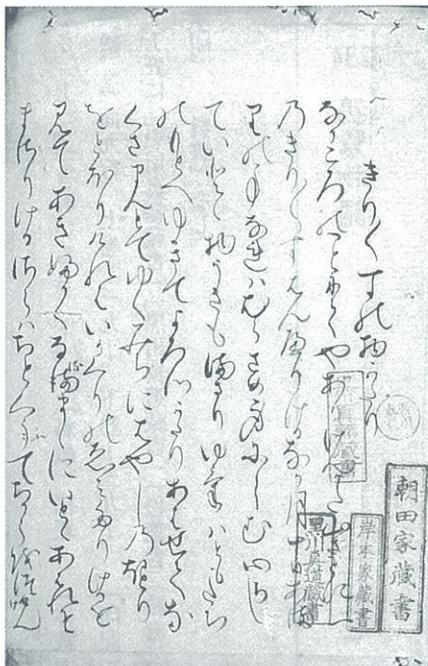




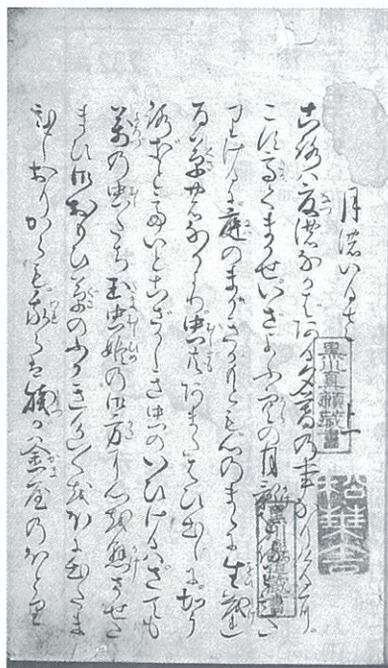
232

きりきりす物語・玉虫ものかたり (二三四)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕薄香色地に渋色横刷毛目文様表紙。
 〔寸法〕二七・四cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙中央上部に朱色卍繫草花散らし文様の題簽(一九・一cm×三・八cm)貼付「きり／＼す物語／玉虫ものかたり」と墨書。右上に「由



「豆流校本」と朱書。内題「きり／＼す物語」「たまむし物かたり」。
 〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。一九丁。
 〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」
 「朝田家藏書」「岸本家藏書」朱印。
 〔奥書〕「葦玉虫物語二帖以後土御門院／勾当内侍真跡本臨摹
 雖然／仮名誤謬在多故今別写一通／覽正校訂一通早／明和元年
 甲申三月晦於燈下押／筆半夜鐘声既編及卒業乎」と墨書。
 〔備考〕岸本由豆流校合本。朱書および押紙あり。「朝田家藏書」
 「岸本家藏書」は岸本由豆流の藏書印。



233

月のいるさ

〔二二五〕

写本、二巻、二冊。〔表紙〕砥粉色無地表紙。〔寸法〕二五・六cm×一六・四cm。〔外題・内題〕表紙中央上部に香色金切箔ちらしの題簽（二五・八cm×二・七cm）貼付「虫道行物語 月のいるさ 上」「つきのいるさ 下」。内題「月のい

るさ 上」「つきのいるさ 下」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕

袋綴。一面九行。上巻―三九丁、下巻―三九丁。〔印記〕

一丁表に「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「松葉舎（陰刻）」

朱印。〔奥書〕なし。

234

鴉鷺物語

〔二二六〕

写本、二巻、一冊。〔表紙〕縹色地青色横刷毛目文様表紙。

〔寸法〕二七・〇cm×一九・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に

香色金切箔ちらしの題簽（一八・七cm×三・三cm）貼付「鴉鷺

物語 上下」と墨書。右に「活字本校合」と墨書。内題「鴉

鷺物語 上（下）」（扉）、「鴉鷺記上（下）」（巻首）、「鴉鷺合

戦物語」（巻尾）。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。

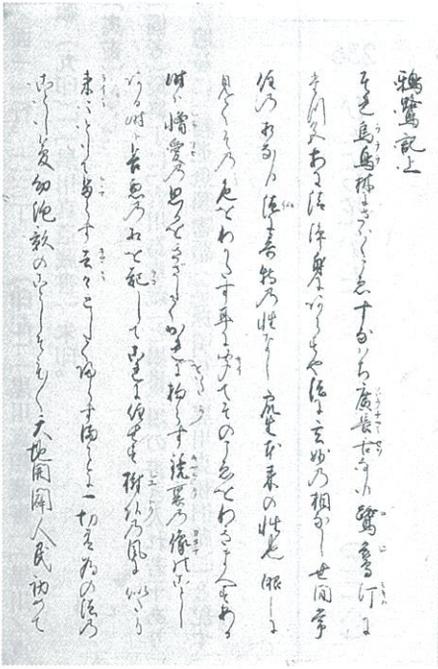
一〇六丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼蔵書」「黒川／真頼

（丸印）」「黒川真道蔵書」。また「墨阪十／一代主／写蔵記」（朱

方印）印を切り取ったものを貼付する。

〔識語〕上巻扉裏に「朱 活字板ノ本ヲ以校正了但活本ハ一二三四ト別チ／タリトミユレト三巻迄アリテ四巻メ十三ノ次第ハ／高野山仏法僧牒狀ノ条マテアリテソノ末欠タリ／全クソノ末ハ一卷ニナリテ四巻メナリツランヲ今見ル所ノ本三巻メ迄ナリ後日四巻メヲ得タラハ令校正／天保九年二月十七日」と朱書。

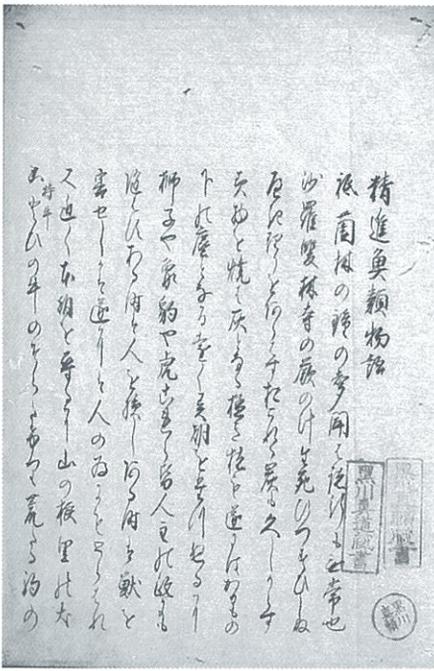
〔備考〕朱の書き入れあり。「墨阪十／一代主／写蔵記」は堀直格の写蔵印。



235 精進魚類物語

〔二二七〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色亀甲繫梅文様型押表紙。〔寸法〕二七・〇cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一八・九cm×三・八cm）貼付「精進魚類物語」と墨書。表紙右上に「珍本」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。



一面二一行。二三丁。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕最終丁に「吉川為章藏」と墨書。墨の書き入れ若干あり。帙題簽に「精進魚類物語〈享保頃写／黒川真頼旧藏〉」と記す。

236 ひたち花かた

〔二二八〕

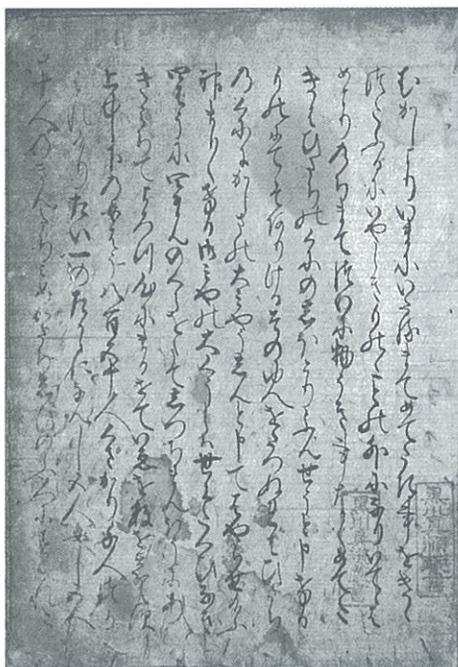
写本、一卷、一冊。〔表紙〕鼠色布目植物文様型押表紙。〔寸

法〕二六・一 cm × 一九・八 cm。〔外題・内題〕表紙左上に鏤

色題簽（一八・五 cm × 三・七 cm）貼付「ひたち花かた 全」と墨書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。四二丁。

〔印記〕表表紙見返し左下に「結城／印」「亀」の黒印。一丁表右下に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。〔備考〕表表紙見返しに「ひたちはなかた文正物語の異本歟一考すへし」と墨書。

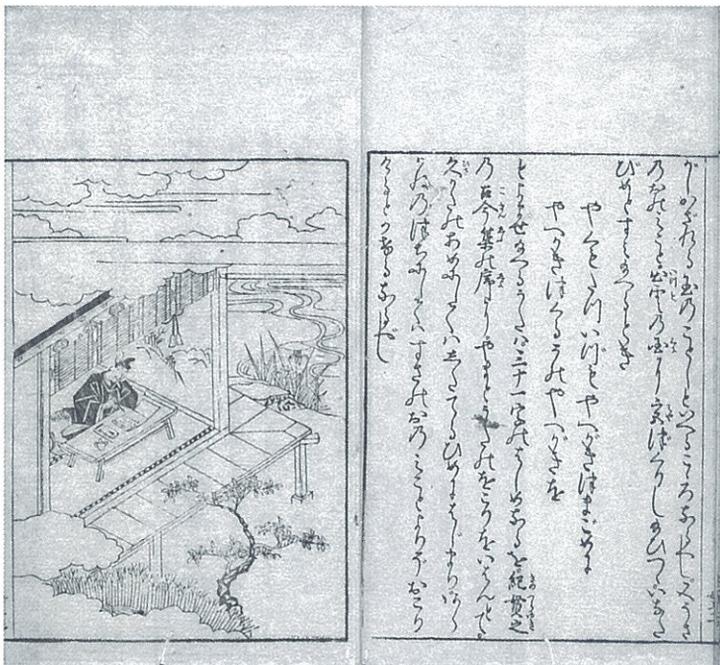


237 女郎花物語

〔二二九〕

版本、三卷、三冊。〔表紙〕青鈍色止繫唐草文様型押表紙。

〔寸法〕二六・一 cm × 一五・八 cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽（一七・六 cm × 三・三 cm）貼付「女郎花物語 上（中・下）」。



けいさくをのりこしとてあつちろあしとてう
 のたれとておなやのまへへまはけりしあひつらさ
 ひめすもつしき
 やんといひいれとやんをさけまこめ
 やんをさけまこめやんをさ
 とよせまつうらな一はれうちあつと紀世
 乃今集序よりやんをさけまこめをいんべ
 久しれあひつらまはさつてひめすもつしき
 らぬはらみまはさつたれならとてふりちこり
 くらむあはれ

上巻に「万治四年版」と朱書。内題「をみなへし上(中・下)」。
 「料紙」楮紙。「体裁」袋綴。一面一〇行。上―三六丁、中
 ―三八丁、下―四一丁。四周単辺。「印記」一丁表に「黒
 川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。
 「刊記」「万治四年辛丑初春吉日／中野小左衛門板行」。
 「備考」見返しに「此書足利氏ころの作なるへし しかいふ
 ゆゑハちかきころ瓜生判官か／老たる母の云云とあるを見る
 へし」と墨書。

238 たけまとの蛭

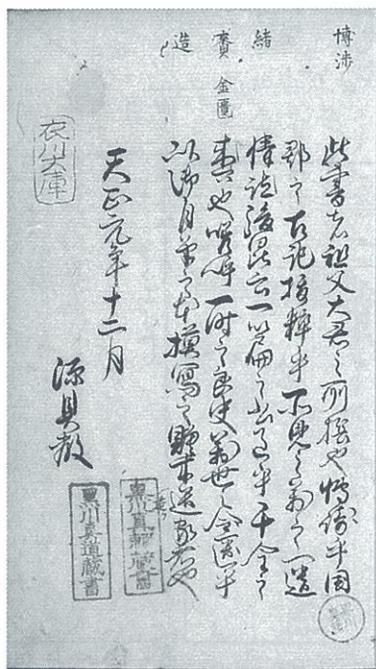
〔三三〇〕

写本、一巻、一冊。「表紙」香色草花丸散らし文様型押表紙。
 「寸法」二五・八cm×一五・九cm。「外題・内題」表紙中央打
 付に「たけまとの蛭 完」と朱書。その左脇に「伊勢国古事
 集ナリ」と墨書。右上に「校本」と朱書。「料紙」楮紙。「体裁」
 袋綴。一面一〇行。二四丁。「印記」一丁表に「黒川真頼藏書」

「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」□□□□／藏書記」朱印。「衣川文庫」印を朱で手写する。

〔奥書〕「嘉永元戊申年九月廿九日写畢之朱字／校合等唯随原本 秦常則識」。

〔備考〕朱の書き入れあり。



239 たけ窓のほたる

(二三一)

写本、一冊。〔表紙〕玉子色地茶刷毛目文様表紙。〔寸法〕

二四・〇cm×一六・九cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「た

け窓のほたる」と墨書。内題「多気窓蛩巻の上」。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。二四丁。〔印記〕一丁

表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」

「井上／氏」「不羈斎／図書記」「橘乃屋（横印）」朱印。

〔奥書〕「享和二壬戌年十月写之 秦元寧」と墨書。

〔識語〕後見返しに押紙を貼付して、「此書名たゝる人たちの

しるせし／ことめつらしきものならんされと／文字の誤れる

所稀々見ゆよき／本たつね得てたくさんまた云国司／の御名

村親と有己もてるものに材親／とすとも野史のまゝなればた

のみかた／くおもほゆ 文政八年八月六日 粕谷重鑑」と墨

書。

写本、三卷、一冊。〔表紙〕鼠色地濃鼠刷毛目文様表紙。〔寸

法〕二七・六cm×一九・六cm。〔外題・内題〕表紙左上に玉

子色金切箔ちらし題簽（一八・二cm×三・三cm）貼付「月刈藻

集 全」と墨書。内題「月刈藻集上」。〔料紙〕楮紙。〔体

裁〕袋綴。一面一一行。六六丁。〔印記〕一丁表に「黒川

真頼藏書」「黒川真道藏書」、最終丁裏に「天保十二辛／丑年

写藏」朱印。また「花廼家文庫」「墨阪十／一代主／写藏記」

朱印を押捺した紙片を貼付する。

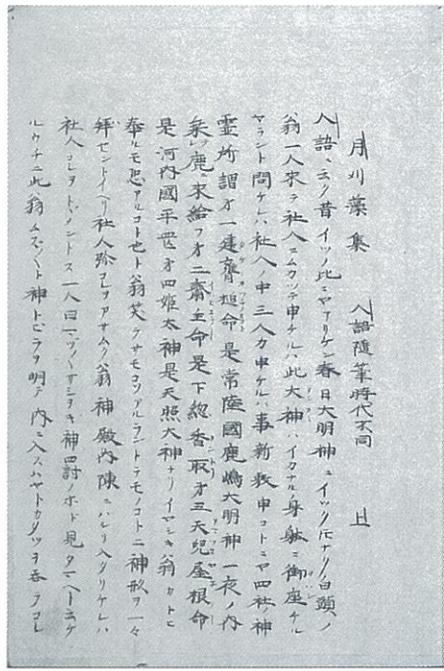
〔識語〕扉に「于時宝永庚寅春書写之 件本寛永午春トアリ

所々後人追加アリ 可考」と墨書。

〔備考〕朱の書き入れ・訂正あり。「花廼家文庫」「墨阪十／

一代主／写藏記」「天保十二辛／丑年写藏」印は堀直格の藏

書印・写藏印。



241 嵯峨野物語

写本、二卷、一冊。〔表紙〕松葉色網代地に桜花散らし型

押文様表紙。〔寸法〕二六・四cm×一七・九cm。〔外題・内

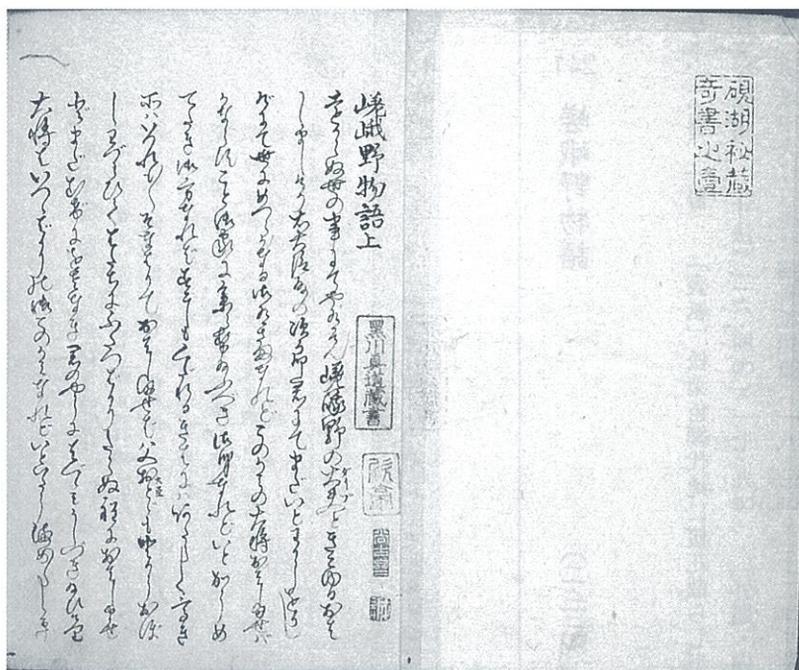
題〕表紙中央に打曇裝飾紙題簽（一八・〇cm×三・二cm）貼

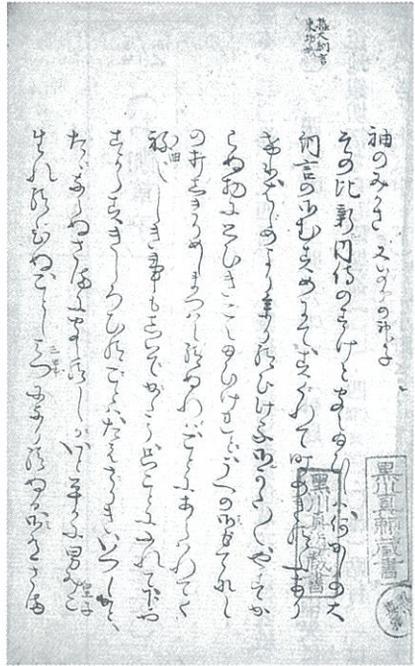
付「嵯峨野物語」と墨書。内題「嵯峨野物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁裁〕袋綴。一面一〇行。墨付六七丁。〔印記〕見返し右上に「硯湖秘藏／奇書之壹」、一丁表「黒川真道藏書」「近亭」「尚古齋」「誠」、後見返し「尚古堂」「誠」朱印。〔識語〕「天保十五甲辰年文月の筆すさひ」と墨書。「硯湖秘藏：」「尚古堂」は佐藤硯湖の藏書印。

242 袖のみかさ

〔三三四〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二三・六cm×一五・九cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「袖のみかさ」と墨書。右上に「岸本由豆伎本 自筆本」と朱書。内題「袖のみかさ 又いのりの神子」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。五丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。〔備考〕岸本由豆伎自筆本。墨・朱の書き込みあり。





243

〔お伽草子〕

〔二三五〕

写本、九卷、二二冊。〔表紙〕紺地草花文様等金泥下絵表紙。〔寸法〕一五・九cm×二二・七cm。〔外題・内題〕表紙中央に朱色草花文様金泥下絵題簽（一一・六cm×三・一cm）貼付。「ふん正 上（下）」、「さ、やきたけ 上（中・下）」、「つ

き嶋 上（中・下）」（縹色草花文様金泥下絵、下巻は白色）、
 「つるのさうし 上（下）」、「ほうらい山 上（下）」、「こわ
 たきつね 上（下）」、「むはかわ」、「いは屋 上（中・下）」、
 「中将姫 上（中・下）」（玉子色地鳳凰文様下絵金切箔ちらし）
 と墨書。〔料紙〕間合紙（「中将姫」のみ斐紙）。〔体裁〕
 袋綴。横本。一面一三行。「ふん正」上—二三丁・下—二五
 丁、「さ、やきたけ」上—一四丁・中—一六丁・下—一四丁、
 「つき嶋」上—一九丁・中—二三丁・下—一七丁、「つるのさ
 うし」上—二二丁・中—二二丁・下—二五丁、「ほうらい山」
 上—一七丁・下—一五丁、「こわたきつね」上—二二丁・下
 —一三丁、「むはかわ」一六丁、「いは屋」上—三三丁・中—
 三二丁・下—二九丁、「中将姫」上—一五丁・中—一六丁・
 下—一四丁。見返しは、卍繫鶴文様型押金銀切箔ちらし（「ふ
 ん正」）、銀箔地雷文繫型押（「ささやきたけ」「つき嶋」）、金
 銀切箔ちらし（「つるのさうし」「ほうらい山」）、菱繫型押金
 銀切箔ちらし（「こわたきつね」）、銀箔地布目文様型押（「む
 はかわ」）、金切箔ちらし（「いは屋」）、銀箔地卍繫型押（「中
 将姫」）。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸

印)「黒川真道藏書」「天邑/堂(陰刻)」「佐野/文庫(楕円、
「いは屋」のみ)」、後見返しに「筒井藏書(丸印)」朱印。「中
将姫」には黒川家の藏書印なし。

〔奥書〕なし。

〔備考〕奈良絵本。「いは屋」巻末に「いはやのさうしといふ
もの印本と/写本と二遍ありて文章異同あり/いつれも古代
の本の伝はりし/にはあらず(中略)古名を襲て後人の/偽
作せるなるへし 弘賢」と墨書。なお、本学常磐松文庫には
同種同系統の奈良絵本『さごろも』三冊を収蔵する。

244
〔お伽草子〕

〔一三六〕

版本、二〇巻、三四冊。〔表紙〕縹色地黄色草花文様表紙。

〔寸法〕一四・六cm×二四・六cm。〔外題・内題〕表紙中央に

朱色地銀切箔ちらし刷題簽(一一・四cm×三・〇cm)貼付。「は
ちかつき 上(中・下)」、「小町さうし 上(下)」、「御さう

し嶋わたり 上(下)」、「からいとさうし 上(下)」、「こわ
たきつね 上(下)」、「玉子色地銀切箔ちらし、下は縹色題簽
に墨書」、「七くささうし」(縹色地銀切箔ちらし)、「さるけ
んし 上(下)」、「ものくさ太郎 下」(上は縹色題簽に「物
くさ太郎 上」と墨書)、「さ、れ石」、「はまくり草紙 上
(下)」、「小あつもり 上」(墨流し題簽に墨書、下は剥落)、
「二十四孝 上(下)」(上は玉子色地緑色紅葉文様下絵題簽
に墨書)、「ほんてん国 上(中・下)」、「のせさる」(縹色地
銀切箔ちらし)、「ねこの草紙」(玉子色地銀切箔ちらし)、「は
まいて草紙」、「一寸ほうし」(文字消失)、「さかき草紙」、「よ
こふえ」、「しゆてんとうし 上(下)」。

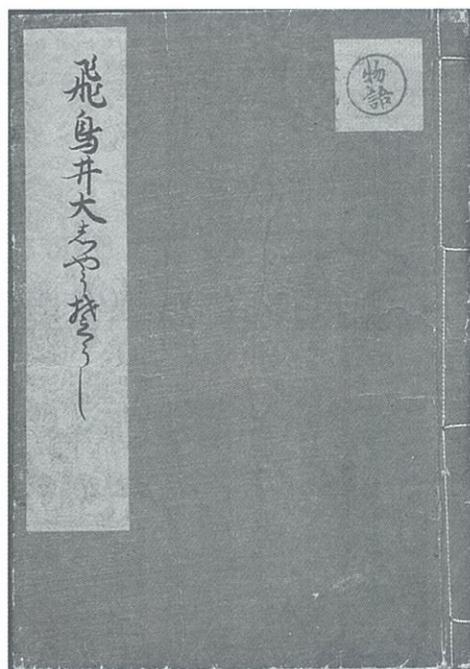
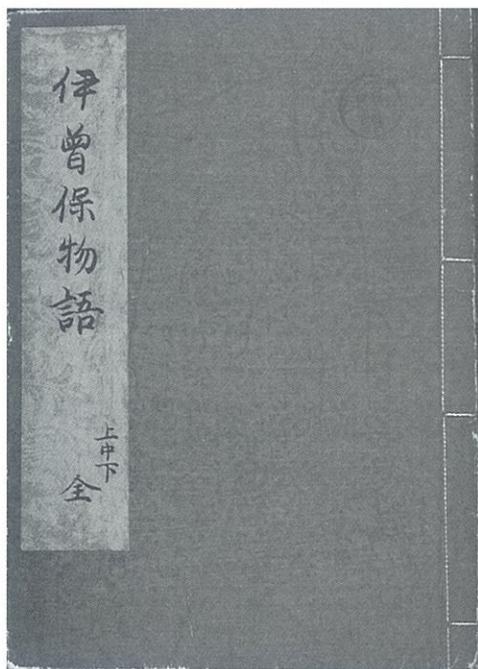
〔料紙〕楮紙。具引。〔体裁〕袋綴。横本。一面一三行。「は
ちかつき」上―一九丁・中―一八丁・下―一八丁、「小町さうし」
上―一七丁・下―一五丁、「御さうし嶋わたり」上―一八丁・
下―一九丁、「からいとさうし」上―二七丁・下―二二丁、「こ
わたきつね」上―二二丁・下―二二丁、「七くささうし」九
丁、「さるけんし」上―二五丁・下―二三丁、「ものくさ太郎」
上―二二丁・下―一七丁、「さ、れ石」七丁、「はまくり草紙」

上―一七丁・下―一三丁、「小あつもり」上―二二丁・下―
 一二丁、「二十四孝」上―一八丁・下―一八丁、「ほんてん国」
 上―一四丁・中―一七丁・下―一二丁、「のせざる」一四丁、
 「ねこの草紙」一七丁、「はまいて草紙」九丁、「一寸ほうし」
 一三丁、「さかき草紙」一七丁、「よこふえ」二五丁、「しゆ
 てんとうし」上―二七丁・下―二〇丁。各冊ノド上部に「は
 ち上ノ一（十九終）」などの丁付あり。〔印記〕二丁表に「黒
 川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」、後見返
 しに「筒井藏書」朱印。〔刊記〕なし。

245 伊曾保物語

〔二三七〕

写本、三卷、一冊。〔表紙〕山吹色小葵型押文様表紙。〔寸法〕
 二三・三 cm × 一六・九 cm。〔外題・内題〕表紙左上に支子色
 唐草具引文様題簽（一八・五 cm × 三・九 cm）貼付「伊曾保物語
^{上中下}
 全」と墨書。内題「伊曾保物語上」。〔料紙〕楮紙。



〔体裁〕袋綴。一面一二行。七九丁。〔印記〕一丁表に「黒

川真道藏書」「樋野／氏印」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕141「飛鳥井大しやうそうし」と同様の装丁。

246 薄雪物かたり

〔二三八〕

版本、二卷、二冊。〔表紙〕縹色地に銀の切箔散らし表紙。

〔寸法〕一六・三cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に

黄色刷題簽（四周单边、一七・八cm×三・三cm）貼付「薄雪物

かたり 上（下）。内題「新板うす雪物語の序」（序）、「う

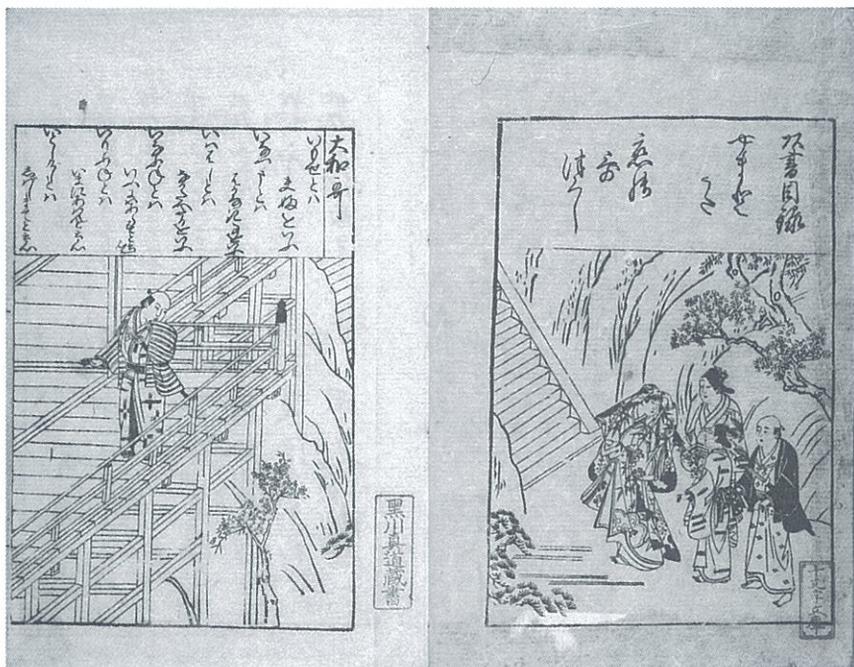
すゆき物語上（下）」（巻首）。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一四行。上―一三丁、下―一四丁。四周单边。〔印記〕

一丁表に「黒川真道藏書」「十文字文庫」朱印。

〔刊記〕下巻後見返し「天保甲辰（二八四四）臘月 御書物

屋 江戸横山町一丁目 出雲寺万次郎板」。



〔備考〕「十文字文庫」は三村竹清（一八七六—一九五三）の蔵書印。三村は篆刻をよくし、三田村鳶魚と並称された市井の書誌学者、蔵書家。

247 尤のさうし

（二三九）

写本、二卷、一冊。〔表紙〕薄香色地香色横刷毛目文様表紙。

〔寸法〕二七・〇cm×一九・九cm。〔外題・内題〕表紙左上打

付に「尤のさうし 上下」と墨書。内題「尤之双紙目錄上(下)」。

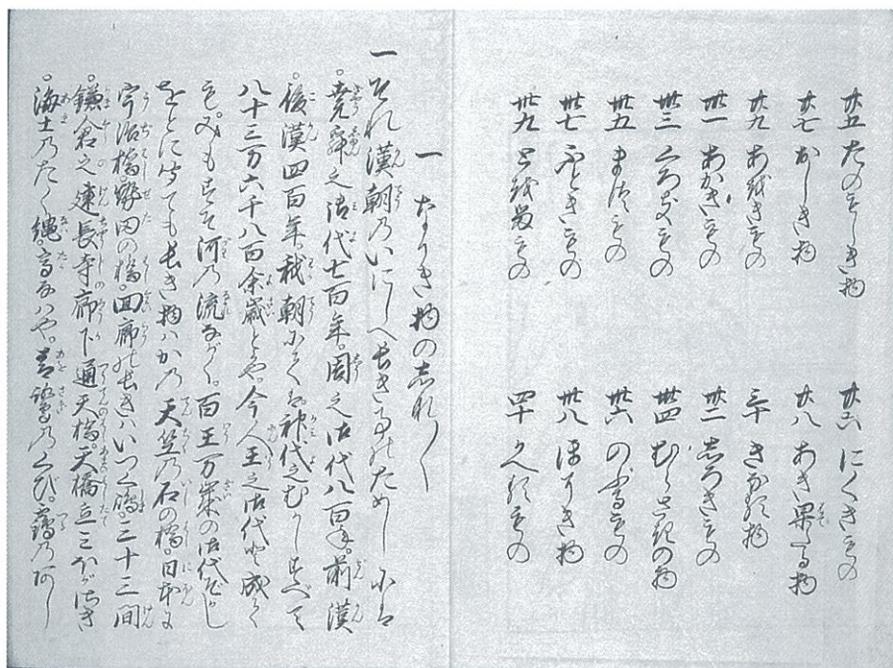
〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。八三丁。〔印記〕

一丁表に「黒川真頼蔵書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道蔵書」

「伊東蔵書」「藤原祐膺」朱印。

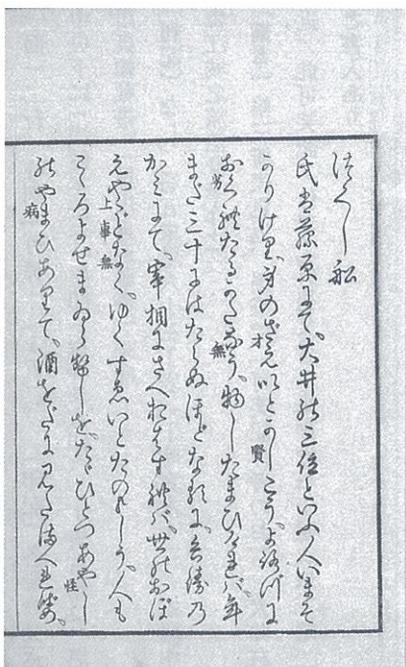
〔識語〕「あめやすらけきな、つのとしも、さくら／咲にほふ春の比うつしぬ／おれかなりところ青山といふところ／すみける比なり／藤原祐膺誌」。

〔備考〕版本の写し。次項247『つくし船』と同じ装丁。



版本、一巻、一冊。〔表紙〕薄香色地香色横刷毛目文様表紙。
 〔寸法〕二六・五cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に
 子持ち野題簽（一九・三cm×三・三cm）貼付「三位物語 完」
 と墨書。右端に「平春海著」と墨書、「文化十一年版」と朱書。
 内題「つくし船」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。
 五六丁。四周单边。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒
 川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」「朝田家藏書」朱印。
 〔刊記〕「文化十一年歲次甲戌（一八一四）春二月 書林 江
 戸梓行須原屋茂兵衛 京都勝村治右衛門 大坂大野木市兵
 衛」。

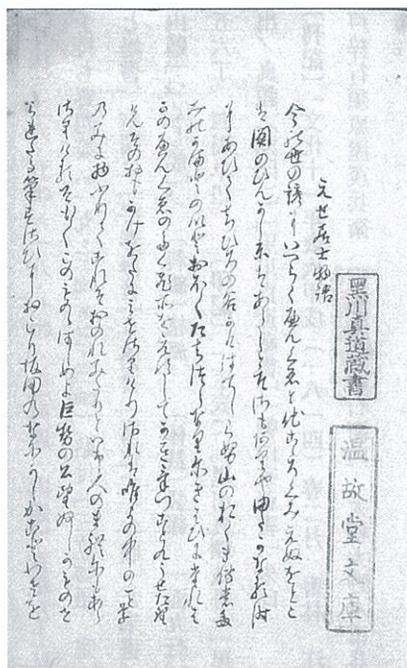
〔備考〕「朝田家藏書」は岸本由豆流の藏書印。



249 えせ物語

写本、一巻、一冊。〔表紙〕薄香色紙表紙。〔寸法〕
 二三・六cm×一六・二cm。〔外題・内題〕表紙左上部に打付
 書、「えせ物語」。表紙右下端に「物語部／第 / 共」と
 ある料紙貼付（単郭内三分割で「部／第／共」とある料紙を

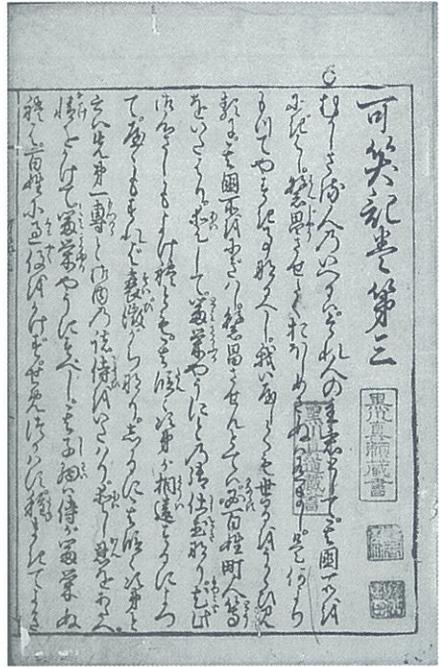
使用)。内題「えせ居士物語」。
 綴。一面一〇行。墨付一一丁。
 川真道藏書」朱印、「温故堂文庫」朱印。
 〔奥書〕なし。



250 可笑記 如備子

〔二四二〕

版本、五卷、五冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕
 二六・七cm×一六・二cm。〔外題・内題〕各冊表紙左上部に
 書題簽、縦二〇・一cm×横三・六cm。「可笑記 天(地・人)」。
 内題、各卷冒頭に「可笑記卷第一(二・三・四・五)」(巻第一
 については、序文一丁の後)。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。
 一面一二行。柱刻「可笑一(一五)」。
 〔印記〕各冊表見返
 中央下に「浅艸本法寺」墨印(複郭長方印)、一丁表右裾に「黒
 川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。
 〔刊記〕なし。巻五末尾六十三丁表「于時寛永十三／孟陽中
 韓江城之旅泊身筆作之」。
 〔備考〕第三冊表見返、墨筆で「可笑記作者のおち／大井右
 近／此可笑記ノ作者之外祖父者／東禪寺右午頭(以下略)」
 と書入あり。



251 俗語雑記それく艸 乙州 (二四三)

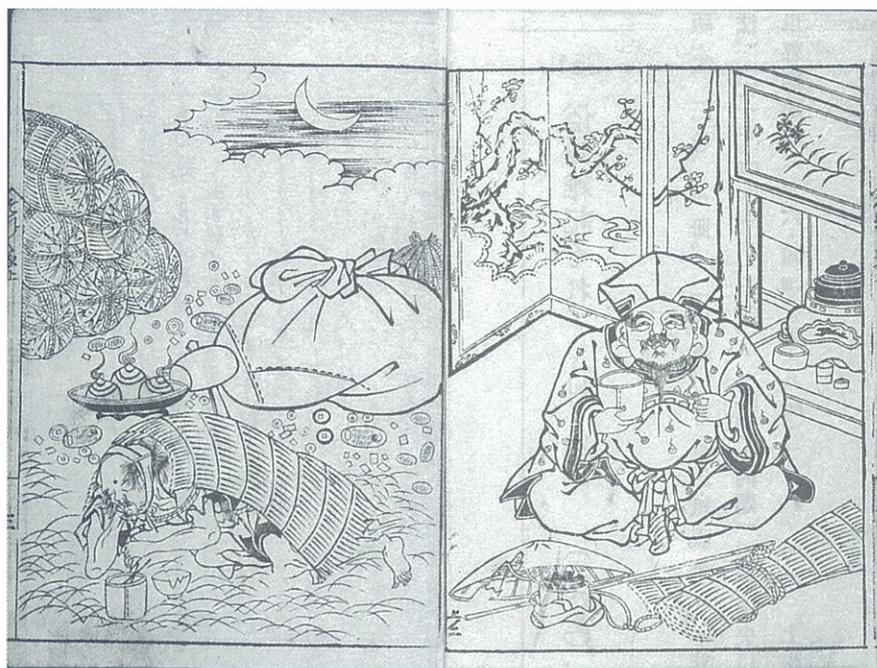
版本、三卷、一冊。「表紙」薄香色紙表紙。「寸法」二二・二cm×一六・三cm。「外題・内題」表紙中央に単郭刷題簽(一六・四cm×三・八cm)「それく艸 上中

下」(角書「俗語／雑記」)。表紙右上端に「正徳五年版三卷合冊」と朱筆で付記。内題、「それく草」(序題・目録題・内題・尾題)。「料紙」楮紙。「体裁」袋綴。一面二二行。絵入。柱刻「それく草序(上・中・下)」。「印記」一丁表右裾に「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「随□蔵書」朱印。一丁表右上に「柱」墨印(単郭正方印)。

〔刊記〕下巻末尾(廿六丁裏)に、「正徳五年乙未年／正月吉祥日／大和絵師／川嶋叙清図／寺町通松原上ル町／菊屋七郎兵衛開板」。

〔備考〕右のように『それく草』の諸本は三種あるが、本書はIに該当する。

- I 正徳四年序、正徳四年跋、正徳五年刊
 - II 宝永元年序、正徳元年跋、正徳五年刊
 - III 宝永元年序、正徳元年跋、享保四年刊
- 〔参考〕気多恵子『「それそれ草」(乙州) 諸版考』(『国文』八一。一九九七年七月。お茶の水女子大学国語国文学会)



252 雑々拾遺 藤原行定

〔二四四〕

版本、六卷、六冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二二・五cm×一六・〇cm。〔外題・内題〕第二～六冊表紙左

上に単郭刷題簽（一四・九cm×横三・五cm）「雑々拾遺 二（三・

四・五・六）」（二冊目は題簽剥落のため打付書、二冊目上三分

の一題簽欠）。単郭の寸法で料紙を裁断、部分的に郭線を欠く。

内題、「雑々拾遺卷第一（～六）〔料紙〕楮紙。

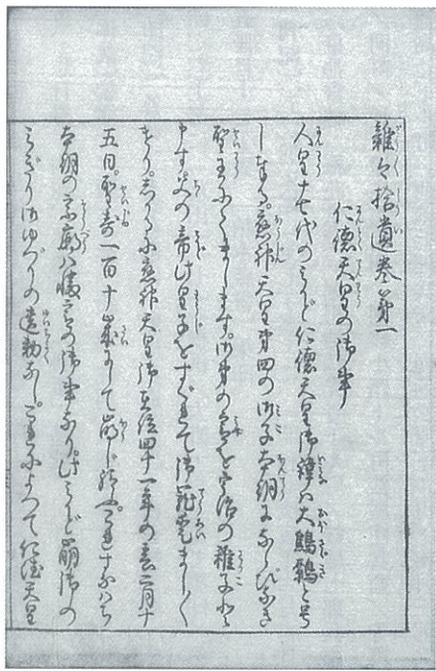
〔体裁〕袋綴。一面一〇行。柱刻「雑々一（～六）」。

〔印記〕各冊一丁表右裾に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」

朱印。

〔刊記〕刊年不明。卷第六末尾（廿二丁裏）「京寺町松原上ル

町／古川三郎兵衛板行」。



253

さるほうこ 虚室生白

〔二四五〕

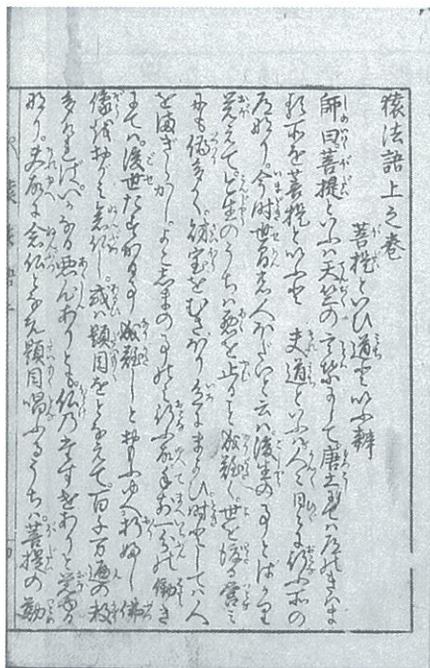
版本、三卷、一冊。〔表紙〕白地に薄藍色草花(麻の葉・松葉・菊)散らし文様表紙。〔寸法〕縦二二・八cm×横一六・三cm。〔外題・内題〕表紙左上部に子持ち野刷題簽(一六・五cm×横三・七cm)貼付「さるほうこ」。題名の上に丸に「幻疴」(破

損)案」とあり。書名の下に「上中下/完」と墨筆。表紙右上端に「宝曆板」と朱筆で付記。内題、「猿法語」(序題・目錄題・内題・尾題)

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二二行。絵入。柱刻「猿法語上(中・下)」。

〔印記〕一丁表右裾に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕下巻末尾十八丁裏に「宝曆十一辛巳年正月/書林/大坂心齋橋筋順慶町/柏原与左衛門」。



254 席上奇観垣根草 都賀庭鐘 (二四六)

版本、五卷、五冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二二・四cm×一五・五cm。〔外題・内題〕各冊子持ち野刷題簽、

(一六・三cm×四・一cm) 貼付「垣根草 二(一五止)」(一冊

目破損のため巻名判読不能、角書「席上奇観」。第一冊目「明

和七年板共五」と朱筆で付記。内題、「席上奇観せきじやうきかん垣根草」(巻

首、惣目録、内題、尾題)。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一一行。絵入。柱刻「垣根草巻之一(一五)」。

〔印記〕各冊二丁表右裾に「黒川真道藏書」「古蒼樓文庫」朱

印、右上部に「宮田」「七」「横浜／大野」以上全て墨印。第

五冊目十七丁表、「柏木藏書」朱印。

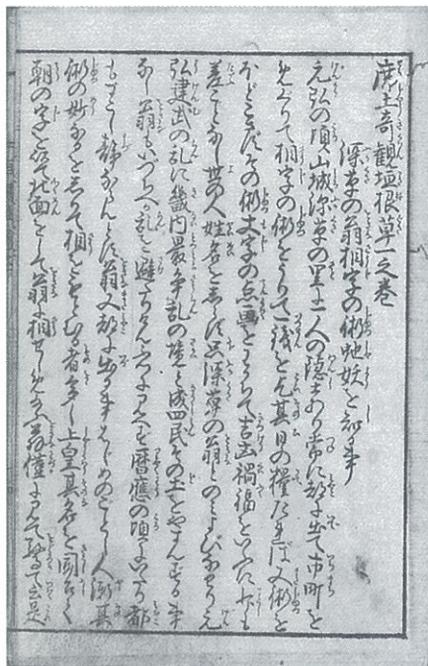
〔刊記〕五之巻末尾(十七丁裏)に、「明和七庚寅年六月吉旦

／皇都書林 梅花堂藏／堀川通仏光寺下ル町／錢屋七郎兵衛

／同町／近江屋庄右衛門／同綾小路下ル町錢屋庄兵衛／寺町

通高辻下ル町／菊屋七郎兵衛／同通松原下ル町／梅村三郎兵

衛」。



255 しみのすみか物語 石川雅望 〔二四七〕

版本、二卷、二冊。〔表紙〕薄縹色布目地の表紙。

〔寸法〕一三・五cm×一五・七cm。〔外題・内題〕刷題簽部分

存、一六・八cm×三・三cm（縦寸は剥落痕からの推定。上「し

みのすみか物（以下打付書で「語 上」、下「しみのすみか

（同上「物語 下」）。第一冊目表紙右上に「享和版」と朱筆

で付記。内題、「しみのすみか物語」（目録題、下巻尾題）。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一一行。絵入。柱刻なし。

〔印記〕各冊二丁表右下「黒川真頼藏書」「黒川真頼（丸印）」

「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕なし。享和二年序（序の四丁裏、「享和壬戌仲秋大邨

詔書於蓬客／舎」）。

〔備考〕上巻末尾に「尾張乃家菴 新古今和歌集注解」（「尾

陽書肆東辟堂欽白」、下巻末尾に「後撰和歌集新抄 全部

十五冊／別記老冊」（「尾陽書肆東辟堂欽白」）あり。

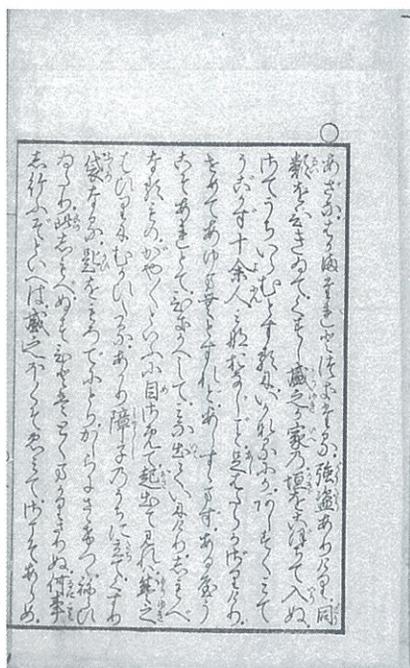
256 田舎莊子 佚斎樗山 〔二四八〕

写本、一冊（上・中・下・附録）。〔表紙〕薄縹色紙表紙。

〔寸法〕一三・三cm×一六・三cm。〔外題・内題〕書題簽（白

紙）、一五・五cm×三・七cm。墨筆で「田舎莊子 完」（「上中下、

附録」と朱筆で付記）。内題、「田舎莊子」（目録題・内題）。



〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面九行。墨付、六〇丁。

〔印記〕 一丁表右裾に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」「夸舛藏」朱印。

〔奥書〕 末尾「天保十四癸卯年五月吉祥日写之／涼月園藏」と墨書。

257 井蛙文談 佚斎樗山著 (二四九)

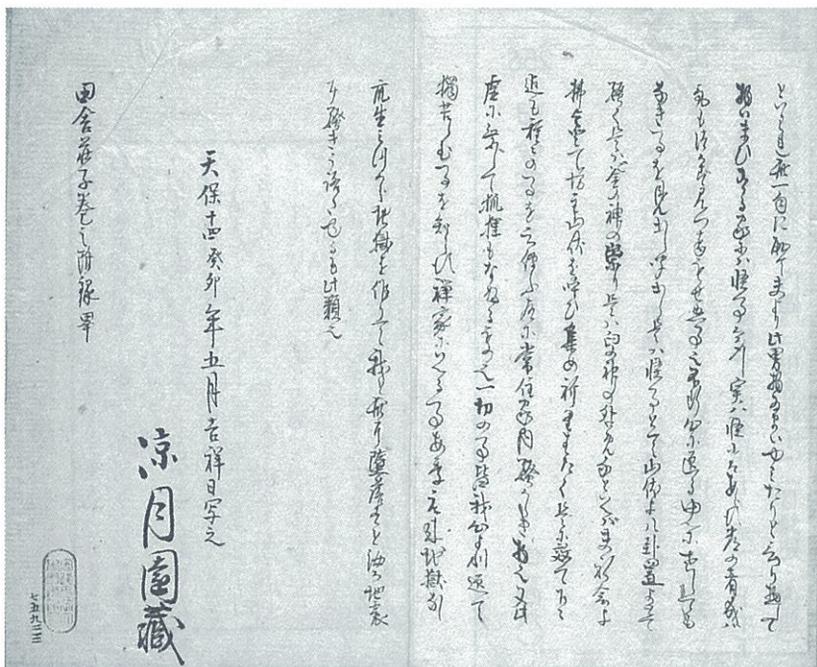
版本、三卷、一冊。〔表紙〕 薄縹色紙表紙。〔寸法〕

二二・八cm × 一六・一cm。〔外題・内題〕 单郭題簽、(一七・〇

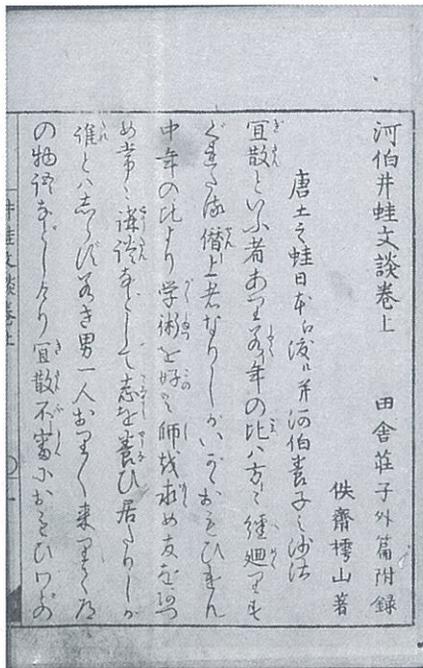
cm × 三・三cm) 墨筆で「田舎莊子後篇／井蛙文談 全 (朱筆で「上中下」と付記)。表紙右上端に朱筆で「享保板」と付

記。内題、「河伯井蛙文談」(内題)、「井蛙文談」(序題・目錄題・尾題)。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。絵入。一面

九行。柱刻「井蛙文談卷上(中・下)」。〔印記〕 「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」「松濤館／図書印」朱印他。



〔刊記〕下巻末尾(十八丁裏)に刊記、「享保十三甲戌歳(一七二八)季夏吉日／京都書肆 堀河錦上ル町／西村市良右衛門／江都書林 通本町三丁目／西村源六蔵板／江戸豊嶋町／彫工 栗原次良兵衛」。



258 藤の窟 荒木田麗

〔二五〇〕

写本、二卷、二冊。〔表紙〕渋引き表紙。〔寸法〕二・三・八cm×一六・五cm。〔外題・内題〕表紙左上に薄紅色題簽(薄紅色)、(二六・三cm×三・二cm)貼付「藤の窟 上(下)」墨筆。内題なし。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上三〇丁、下二七丁。〔印記〕各冊一丁目表右裾に「黒川真道藏書」朱印、二丁目右裾に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」朱印。〔奥書〕なし。

濱千鳥

上

藤乃窟

上

飛袁理

上

桂中將

全

259

浜千鳥 荒木田麗

(二五二)

写本、二巻、二冊。〔表紙〕淡引き表紙。〔寸法〕

二三・八cm×一六・五cm。〔外題・内題〕薄紅色題簽、(一六・三

cm×三・二cm) 貼付「濱千鳥 上(下)」墨筆。内題なし。

〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上―三三三丁、下―三三三丁。

〔印記〕各冊二丁目表右上「黒川真道藏書」朱印、二丁目右

裾に「黒川真頼藏書」朱印および「黒川／真頼(丸印)」朱印。

〔奥書〕なし。

260

桂中将 荒木田麗

(二五二)

写本、二巻、二冊。〔表紙〕淡色紙表紙。〔寸法〕

二三・八cm×一六・五cm。〔外題・内題〕薄紅色題簽、(一六・三

cm×三・二cm) 貼付「桂中将 上(下)」と墨筆。内題なし。

〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上―三三三丁、下―三三三丁。

〔印記〕各冊二丁目表右上「黒川真道藏書」「黒川真頼藏書」

朱印(および「黒川／真頼(丸印)」朱印。

〔奥書〕下末尾、墨筆で「明和九壬辰年五月上旬」。

261 飛表理 荒木田麗

〔二五三〕

写本、三卷、三冊。〔表紙〕渋引き表紙。〔寸法〕縦二三・八cm×横一六・五cm。〔外題・内題〕書題簽（薄紅色）、縦一六・三cm×横三・二cm。墨筆で「飛表理 上（中・下）」内題なし。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、上三三丁、中三三丁、下二七丁。〔印記〕各冊二丁目表右裾に「黒川真道藏書」朱印 二丁目右裾に「黒川真頼藏書」朱印および「黒川／真頼（丸印）」朱印。

〔奥書〕なし。

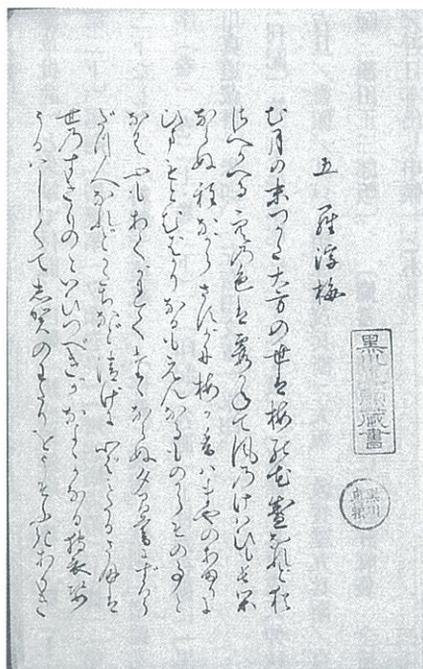
262 怪世譚 荒木田麗

〔二五四〕

写本、八卷中七卷存（卷一欠）、七冊。〔表紙〕渋引き表紙。〔寸法〕縦二三・八cm×横一六・五cm。〔外題・内題〕書題簽（薄紅色）、縦一六・三cm×横三・二cm。墨筆で「怪世譚 二（四・五・六・七）」（卷二題簽欠）。内題なし。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。片一面一〇行。墨付、各冊四六・四七・四八・四二・四四・四三・二九丁。〔印記〕各冊一丁目表右上「黒川真道藏書」朱印、二丁目右上「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」朱印。

〔識語〕卷八末尾「天保十二年七月 雑学菴主人」墨書。



263

丹鶴叢書 水野忠央編

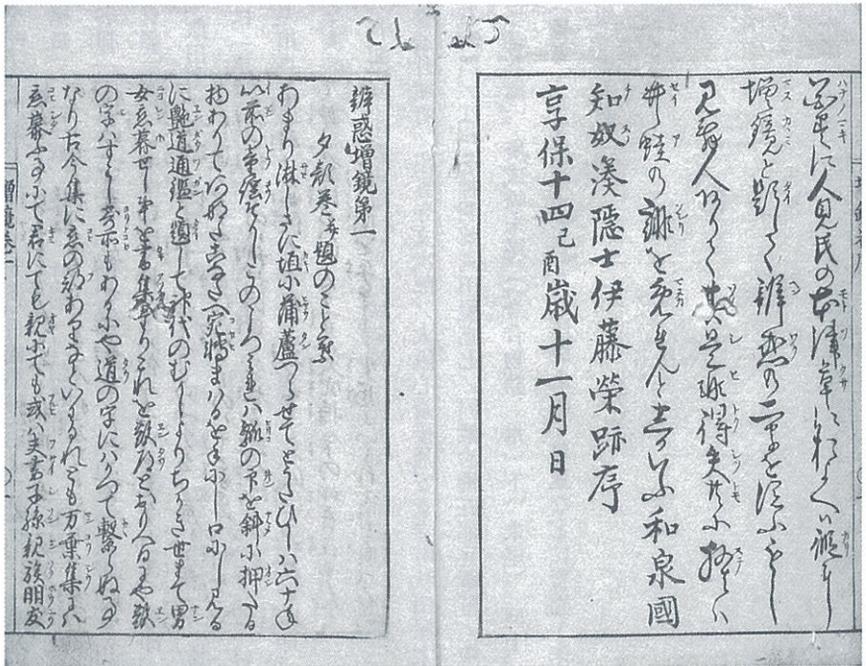
〔二五五〕

版本、四七冊。〔表紙〕香色紙表紙。鶴丸と雲丸散らし型押文様表紙。戊申帙は無地の香色紙表紙。〔寸法〕二二・六・二 cm × 一八・二 cm。〔外題・内題〕各冊表紙右上に単郭刷題簽（一九・〇 cm × 三・八 cm）上部に「丹鶴叢書」、下部に掲載書名

を配す。内題、各冊一丁表に「丹鶴叢書」および帙名。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。柱刻「丹鶴叢書」。〔印記〕丁未帙、各冊一丁目表右裾に「黒川真道蔵書」「黒川真頼蔵書」「黒川真頼」朱印。戊申帙はこれらに加え、「不羈齋図書部」朱印、「飯田刻」朱印、「多」「與」朱印。庚戌帙、「忍音物語」二冊は「黒川真道蔵書」「静岡学校」朱印の二種。『今昔物語』は黒川真道蔵書」「黒川真頼蔵書」「黒川／真頼（丸印）」朱印。辛亥帙、刊記なし。

〔刊記〕丁未帙末尾、「丹鶴城蔵梓／売弘所三都書肆／京都三条通升屋町／出雲寺文次郎／大阪心齋橋通安堂寺町秋田屋太右衛門／江戸芝神明前岡田屋嘉七／同鍛冶橋五郎兵衛町／中屋徳兵衛」。庚戌帙末尾（『今昔物語 卅一下』末尾）、同上。〔備考〕本文に朱点を打ち、匡郭上部・見返などに青墨・朱墨で書入あり。

版本、二卷、三冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕
 二三・〇cm×一六・二cm。〔外題・内題〕各冊右上に刷題簽、
 (二五・三cm×三・九cm)。单郭内「増鏡」、角書「辨惑」。書名
 の下に「夕顔のまき／松」「末摘花の巻／竹」「すゑつむ花の
 巻／梅」とあり。松冊には「艶道通鑑批評」、竹冊には「本
 津草批評」と朱筆で付記。内題「辨惑増鏡序(第一・第二上・
 第二下)」、尾題「増鏡第一夕顔巻終」「辨惑増鏡第二上終」(第
 二下なし)。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。柱刻「増鏡卷
 序(卷一・卷二上・卷二下)」〔印記〕各冊一丁目表右裾に「黒
 川真道藏書」朱印、「左右田文庫」朱印。
 〔刊記〕第二下冊末尾(二十五丁裏)、「享保十五庚戌天仲秋
 吉且／書館／江戸 須原屋茂兵衛／大坂 敦賀屋九兵衛／京
 師 額田正三郎版」。〔備考〕刊記の前に「統評麻袋 全冊
 ／近日本出し申候」とあり。



265 清石問答

清水浜臣問
石川雅望答

(二五七)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕薄香色布目地に香色刷毛目表紙。

〔寸法〕二六・二cm×一八・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に

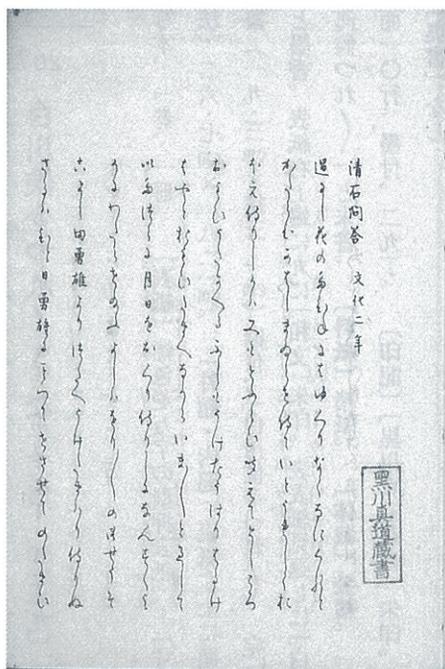
金箔散らし題簽(一八・二cm×一八・七cm)貼付。「清石問答

清水濱臣問／石川雅望答」。内題、一丁表「清石問答 文

化二年」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、

二三丁。〔印記〕一丁目右下に「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。



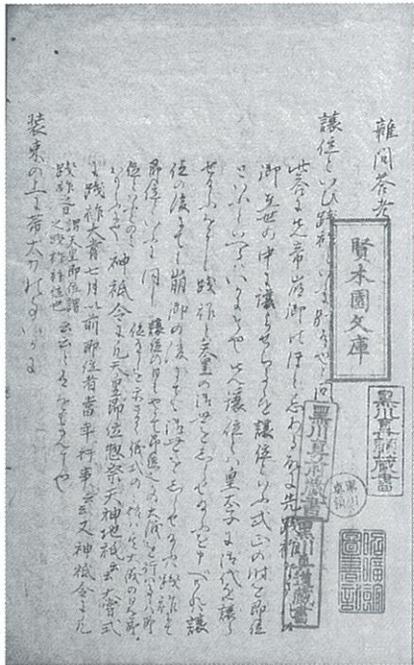
266 雑問答考〔内藤廣前書入本〕

賀茂真淵 (二五八)

版本、一巻、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二七・五cm×一八・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に単郭(墨

筆による)題簽(一九・五cm×二・九cm)貼付。「雑問答考 全」



と墨書。表紙右上端に丸に「官職」朱印。「賀茂真淵著／内藤廣前書人」と墨筆で付記。〔料紙〕楮混じりの斐紙。

〔体裁〕袋綴。一面二三行、墨付二六丁。

〔印記〕一丁表右裾に「賢木園文庫」（内藤広前）「黒川真前蔵書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」「昭藏館図書記」（加川元厚）朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕本文への書入は朱筆による字の訂正のみ。本文上部に朱筆による書入あり。



267 白川侯今つれく 松平定信 (二五九)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色菱万字の型押表紙。〔寸法〕二六・七cm×一八・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題

籤（一九・三cm×横三・一cm）貼付、「白川侯今つれく（完）」と墨書。表紙右上端に丸に「和文」朱印。表表紙見返しに「白河侯つれく」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一

面一〇行。墨付、二九丁。

〔印記〕「黒川真道蔵書」朱印。

〔奥書〕なし

268 菅家御記録野輯(多田義俊校本)〔二六〇〕

写本一卷、一冊。〔表紙〕香色に渋色の刷毛目表紙。〔寸法〕二三・〇cm×一五・三cm。〔外題・内題〕表紙中央に題

簽(一五・三cm×二・九cm)貼付。「菅家御記録全」と墨書。

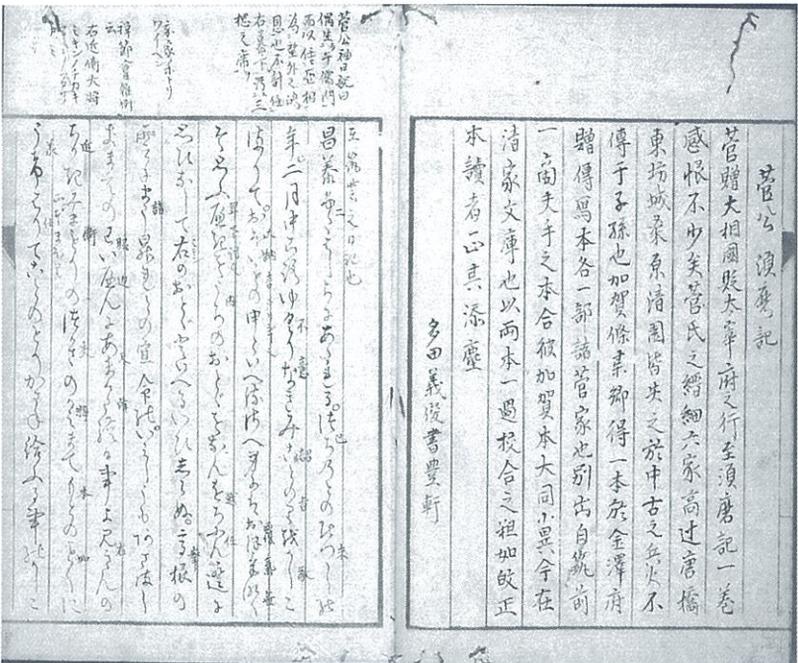
書名の左に墨筆で「須磨記」と付記。表紙下に「多田義俊校本」と付記。内題、初丁裏「菅公須磨記」(末尾に「多田義

俊書豊軒」とあり)。〔料紙〕楮紙。豎罫紙。〔体裁〕袋綴。

反面一〇行、墨付、一六丁半(初丁、表の料紙を欠く)。〔印記〕初めの罫紙(墨付なし)、丁表右裾に「黒川真頼藏書」「黒川

真道藏書」「黒川真前藏書」朱印、「黒川／真頼(丸印)」朱印。〔奥書〕なし。

〔備考〕図書館の登録書名「菅家御記録野輯」となっている。



269 琵琶物語〔中山速男筆写本〕 (二六一)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕木賊色七宝の型押文様表紙。〔寸

法〕二四・二cm×一六・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に題

籤(二六・七cm×三・五cm)「琵琶物語」。内題、「琵琶物語」。

〔料紙〕楮紙。一面一〇行、墨付、七丁。〔印記〕墨付二丁

表右下に「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。二丁表、

内題下、右下に「中山藏書」(中山速男)朱印。六丁裏「黒

川真道藏書」朱印。

〔奥書〕六丁裏、「琵琶物語の板本を得る事おほ／つかなく思

ふま、友人武田信堅／氏に借りて其本文のみ写す也／指絵あ

れども略す／明治四十三年二月吉日／中山速男」。

〔備考〕版本の写し。六丁表に刊記部分あり(弘化二年／巳

弥生月／画工 青陽堂景山／識者 松鶴菴芦風／尾陽琵琶島

橋詰 板元 玉華堂)。柱刻部分も写す(「琵琶物語」)。

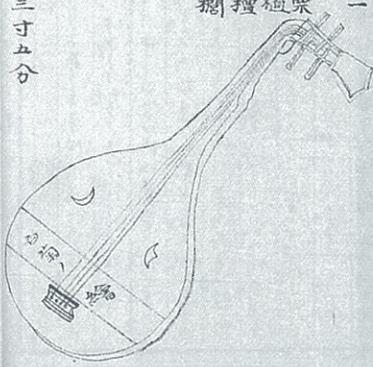
唐工渡三面之内隨一
白菊之琵琶

腹板 澤
海老尾 柘
鷲頭 紫
甲 華
兜耳 同
覆手 同
次 同
横 同
竪 同

一尺三寸五分

琵琶物語

抑琵琶川乃四話ハ往古大納言師長卿官比趣意に依
り不慮小平清盛ノ屬小競奏せし此 勅勅を蒙り尾
振の團半戸田の郷に左近北身とあり九重花捷まけ
き配所の月を詠わいと佐く撰たるけり或夜師長
乃君罪な兒身のかくも鄙れいぶせき伏屋小寒落する
アを悲けき頓て勅免ありて再び京都に上り人事
を祈らんと 熟田の御社又諸法一神前又踰臨京師よ
り將來せし白菊此琵琶を彈し身乃科あきを語り歎き

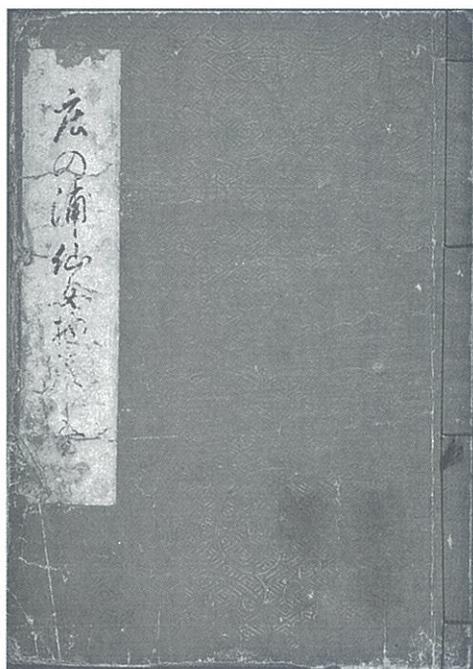


琵琶物語

270 庄の浦仙女物語 梅山斎園部久伯〔二六二〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕丹色雷文繫ぎ地に桐唐草型押文様表紙。〔寸法〕一三・三cm×一六・八cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（二六・二cm×三・五cm）貼付「庄の浦仙女物語 全」と墨書。内題、四丁表「庄の浦仙女物語」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行、墨付、一六丁。〔印記〕一丁表右裾に「黒川真道藏書」「黒川光長」（真道）朱印。〔奥書〕なし。

〔備考〕一丁表から三丁裏までは「遠賀郡乙村庄屋儀平申上口上覚」（寛政九年十二月付）および「遠賀郡乙丸村之内庄之浦百姓伝次乍恐申上口上之覚」（寛政九年十二月四月）。



271 老猴以欲情身殞之弁（黒川真道筆写本）

黙斎峻〔二六三〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕二六・八cm×一九・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上に打付書「老猴以欲情身殞之弁」と墨書。内題、一丁表「老猴以欲情身殞

之弁 黙齋峻誌」と墨書。

〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。反面二一行、墨付二〇丁。

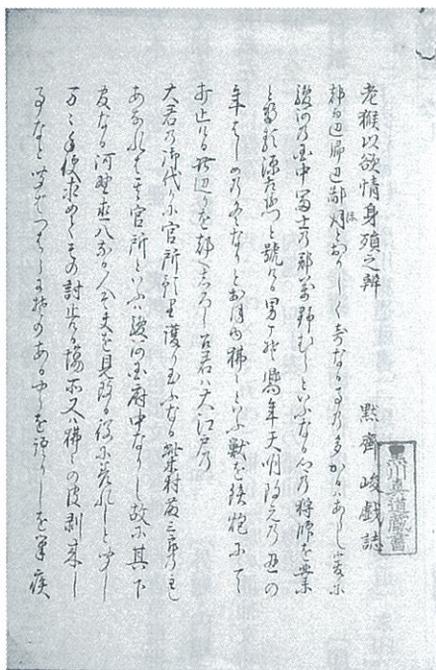
〔印記〕 一丁表右下「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕 なし。

〔識語〕 最終丁裏、朱筆で「明治廿六年三月十一日以加藤直

種所本今書寫了／黒川真道」とあり。

〔備考〕 若干の朱があるが、すべて本文の訂正。



272 物語袋

〔二六四〕

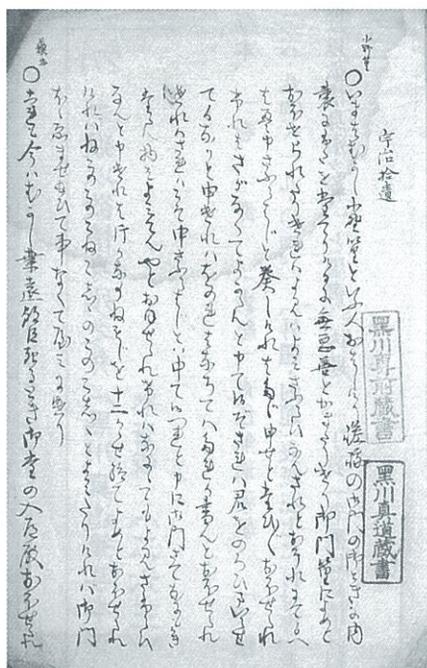
写本、一巻、一冊。〔表紙〕 本文共紙表紙。〔寸法〕

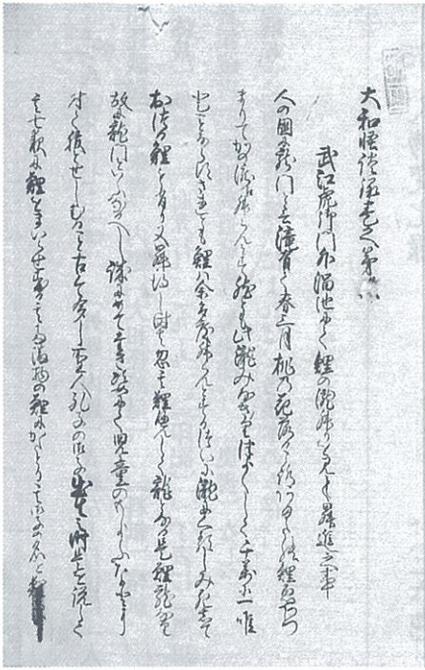
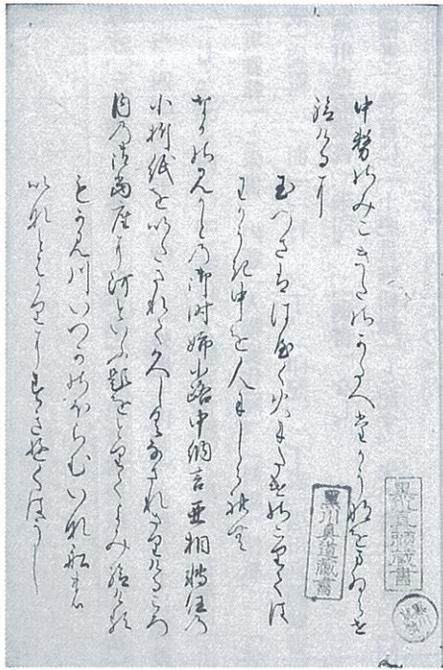
二五・二cm×一七・一cm。〔外題・内題〕 表紙左上打付に「物

語袋」と墨書。右端に「岡吉胤自筆本」と墨書。内題「宇治拾遺」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 仮綴。一面一三行。八丁。

〔印記〕 一丁表に「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。

〔奥書〕 なし。〔備考〕 宇治拾遺物語の抜き書き。





273 雲井雜談

〔二六五〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕縹色布目文様型押表紙。〔寸法〕二六・九cm×一九・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一八・八cm×三・七cm）貼付「雲井雜談 全」と墨書。右端に「成章著」と朱書。内題「雲井雜談」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。二五丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」。朱印。〔奥書〕「成章」と墨書。〔備考〕扉右上に「珍本」と朱書。〔備考〕『国書総目録』によれば、当該本のみ存。

274 大和怪談録

〔二六六〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二三・八cm × 一七・二cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「大和怪談録」と朱書。内題「大和怪談録」。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面九行。二九丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」等朱印。

〔備考〕『国書総目録』によれば、当該本のみ存。

275 人物变化録

〔二六七〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二三・四cm × 一五・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

（二七・三cm × 四・〇cm）貼付「人物变化録」と墨書。右端に「土

肥実雅輯」と朱書。内題「人物变化録」。〔料紙〕楮紙。〔体

裁〕袋綴。一面二一行。六丁。〔印記〕一丁表「黒川真頼藏書」

「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。

〔備考〕卷首に「土肥貫雅輯録」と記す。朱の書入あり。〔図

書総目録』によれば、当該本のみ存。

人物变化録

黒川真頼藏書 土肥貫雅輯録

○月令曰仲春之月鷹化為鳩又曰季春之月曰鼠化

為鴛又曰季夏之月鷹化為鸞又曰籩入大水為蛤

又曰雉入大水為蜃

○蟬子曰至陰方化為婦人至暴方化為猛虎

○本州綱目曰失其室則人化物

○根本毘奈耶雜事曰寺郎波雅請世尊曰大德尼若

根轉其事如何佛言同舊近因乃依夏次移向僧寺

復曰佛言世尊尼轉時即依本處送向僧寺倘若轉

根還依本處向僧寺大德比二人至彼處已根還

276 小説精言

〔追補〇〕

版本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二一・九cm × 一五・八cm。〔外題・内題〕表紙左肩に題簽（四

周単辺、一六・八cm × 三・八cm）貼付「小説精言」と墨書。表

紙打付に「十五貫戲言成巧禍／喬太守乱点鴛鴦譜／張淑兒巧

智脱楊生／陳多寿生死夫妻」と墨書。内題「小説精言卷一」。

〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面九行。一〇七丁。四周單

辺。〔印記〕 一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」「久

保田／家之藏」朱印。

〔刊記〕 なし。裏表紙見返し「廓應亭藏」と墨書。

277

けいせい柏の大黒天

〔追補1〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕

二八・〇cm×一八・九cm。〔外題・内題〕 表紙左肩打付に「け

いせい柏の大黒天」と墨書。右端に「版本写し」と朱書。内

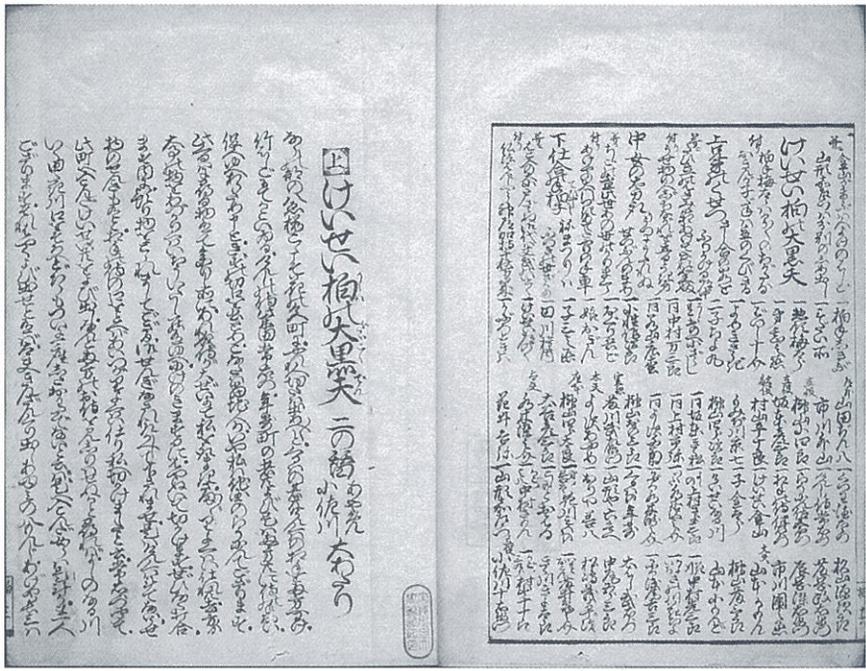
題「けいせい柏の大黒天 二の替 小佐川 大あたり」と墨

書。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面一二行。一三丁。

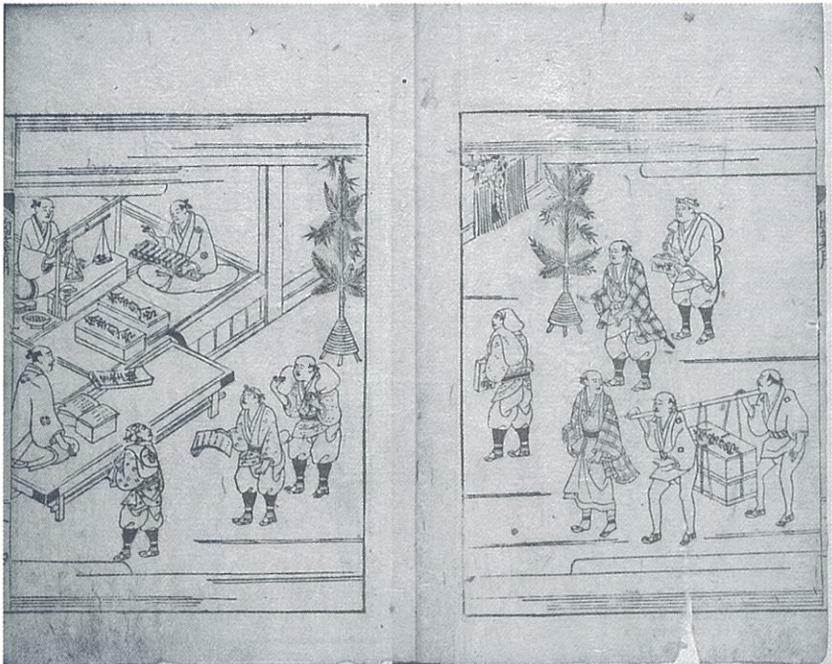
〔印記〕 一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕 なし。

〔備考〕 正徳三年八文字屋板の写し。



版本、五卷、五冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕
 二六・五cm×一七・六cm。〔外題・内題〕表紙左肩に刷題簽(四
 周双辺、一八・四×三・七cm)貼付「世間胸算用 大晦日八一
 日千金 卷一(〜五)」。一卷右端に「元禄十二年版」共五冊
 と朱書。内題「胸算用 大晦日八一 日千金 卷一(〜五)」。
 〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。一一二二丁、二
 一二〇丁、三一二〇丁、四一二〇丁、五一二二丁。四周单辺。
 〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒
 川真道藏書」「□間斎／藏書記」「□田氏」朱印。
 〔刊記〕「元禄十二己卯年八月吉旦／書肆 大坂本町一丁目
 万屋彦太郎板」。



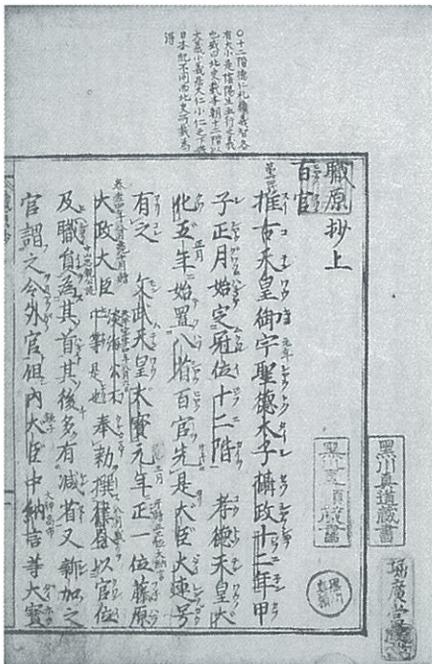
V 雜の部

279 職原鈔 北畠親房

(二六八)

版本、二卷、二冊。〔表紙〕藍色無地表紙。〔寸法〕二七・三cm×一九・四cm。〔外題・内題〕表紙左上に刷題簽(四周双辺、一六・九cm×四・七cm)貼付「改職原鈔 上(下)」上卷題簽に「延宝七年板」と朱書。上卷右端に「書人本」と朱書。内題「職原抄 上(下)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。上―四二丁、下―六七丁。四周双辺。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。「堀広管□」と墨書の上に「藤當」の墨印。〔刊記〕「延宝七年己未二月吉日／井筒屋六兵衛開板」。〔備考〕『職原抄』の延宝七年版本。下卷六六丁の後に、慶長

一三年版本の清原秀賢與書を手写した一丁を加える。墨・朱の書き入れ、押紙の貼付多し。



280 仮名職原鈔 壺井義和 (二六九)

写本、二卷、二冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二七・二cm × 一八・七cm。〔外題・内題〕表紙中央に題簽(四

周双辺、一九・二cm × 三・八cm) 貼付「仮名職原鈔 天(地)」

と墨書。上巻右端に「伴直方書入本」と朱書。内題「職原鈔

上(下)」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面八行。上

七八丁、下——一〇丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」

「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」「伴氏家印」朱印。

〔奥書〕「右職原仮名抄壺井安左衛門源義知之所著也 壺井之

門人伊木半七／伝之於貞益焉／貞益(花押)／天保十三年壬

寅二月十五日校合畢 伴直方／職原抄ノ註解多シトイヘトモ

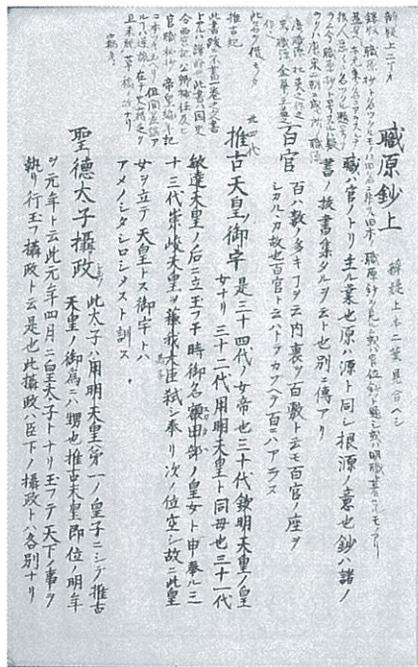
偽説ナル物多シ 皆浅学ノ所為也 壺井氏者博学ノ有職也

官職装束等ノ故実甚精シ 此職原仮名抄同真字抄同弁疑皆精

撰ナル者也」と墨書。

〔備考〕「職原仮名鈔」に同じ。奥書によれば、壺井義知の門

人伊木半七から貞益に伝えられたものに、伴直方が校合・書き入れを加えたもの。墨・朱の書き入れ多く、押紙も数葉あり。



281 職原鈔仮名註 壺井義和 (二七〇)

写本、二卷、二冊。〔表紙〕山吹色無地表紙。〔寸法〕

二七・三cm × 一八・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

これを略す」と墨書。

〔備考〕「職原仮名鈔」を宝暦九年に橋老師（大塚嘉樹）が手
写・校合したものを、文化二年に長塩親貞が書写し、さらに
薄斎（黒川春村）が校合書き入れしたもの。墨・朱による書
き入れ、押紙多し。

282 和歌職原鈔

今出川晴季詠
吉田定俊 編

（二七一）

版本、八卷、八冊。〔表紙〕鼠色無地表紙。〔寸法〕

二二・二cm × 一六・二cm。〔外題・内題〕表紙中央上部に刷

題簽（一四・九cm × 三・四cm、ただしほとんどの題簽が一部剥
落しており寸法の明らかなものは八巻のみ）貼付「和歌職原

鈔 一（一三、追加四〜八）」（巻数を示す数字一〜三は墨書）。

一卷右端に「吉田定俊編」と墨書。内題「和歌職原鈔卷之一
（一〜八）」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。一

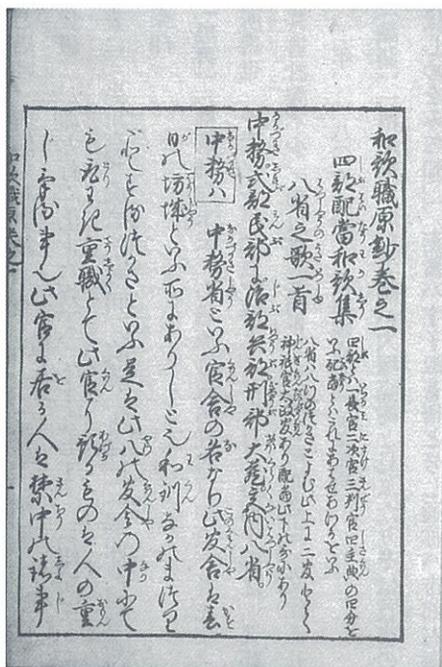
三〇丁、二一三五丁、三一三五丁、四一三四丁、五一二四丁、

六一二〇丁、七一二七丁、八一二六丁。四周单辺。〔印記〕

一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道
藏書」「黒川真前藏書」朱印。

〔刊記〕「貞享四乙卯年五月吉日 松葉屋権左衛門／伊勢屋新
兵衛／開版」。

〔備考〕挿絵あり。朱の書き入れわずかにあり。



284 雲上名目

(二七二)

写本、一帖。〔表紙〕鼠色雷文繫草花文様型押表紙。〔寸法〕

三三・八cm×一二・九cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「雲

上名目」と墨書。内題「禁中男女四季装束色目之事」。〔料紙〕

楮紙。具引。見返し金銀切箔ちらし。〔体裁〕帖装。六折。

〔印記〕一折めに「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。〔備考〕『国書総目録』に当該本のみ。

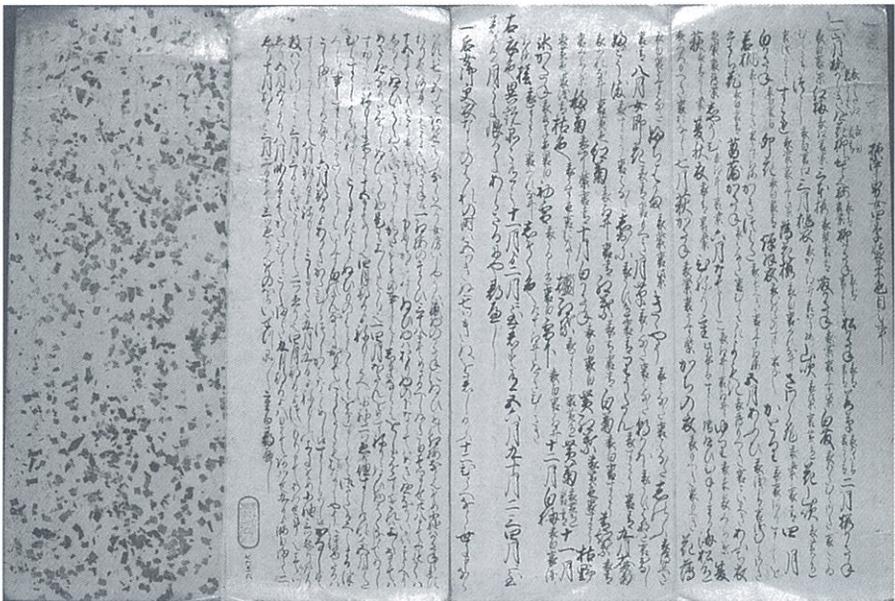
285 百寮訓要抄 二条良基

(二七三)

版本、一卷、一冊。〔表紙〕藍色無地表紙。〔寸法〕

二七・八cm×一七・五cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

(一六・七cm×三・六cm) 貼付「百寮訓要抄」と墨書。右端に



「中野義接校本」と朱書。内題「百寮訓要抄」。

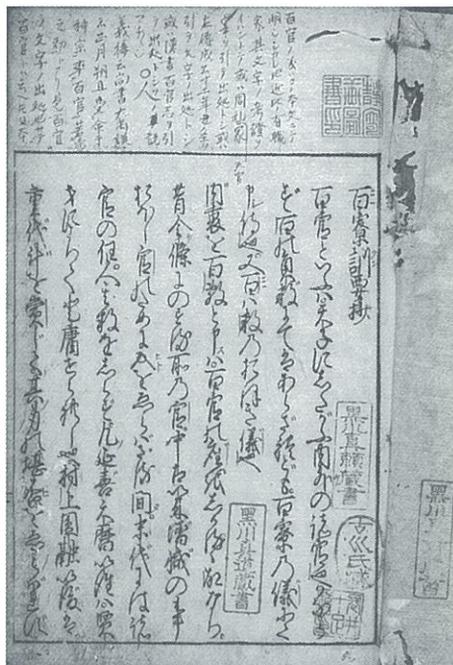
〔体裁〕袋綴。一面一〇行。五九丁。四周单边。

一丁表に「静岡／県図／書印」「黒川真頼藏書」「古川氏藏」「
井／十足／藏印」「黒川真道藏書」、見返しに「黒川真前藏書」

朱印。

〔刊記〕「寛文三年 野田弥兵衛新刊」。

〔識語〕最終丁表に「文政七甲申年十月五日 中野義接校正」
と朱書。〔備考〕朱の書き込み多し。



286 貞観政要格式目 (二七四)

版本、一冊。〔表紙〕山吹色無地表紙。〔寸法〕二五・九

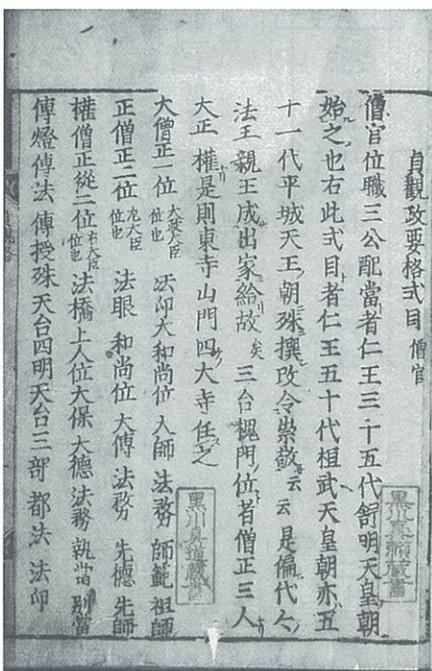
cm × 一八・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「貞観政要

格式目 僧官 全」と墨書（僧官）の文字は朱書。内題「貞

観政要格式目 僧官」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一

面一〇行。二二丁。四周单边。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒

川真道藏書」朱印。〔刊記〕なし。



貞観政要格式目 僧官

僧官位職三公配當者仁王三十五代舒明天皇朝

始之也右此式目者仁王五十代桓武天皇朝亦五

十一代平城天皇朝殊撰改令崇敬云云是偏代々

法王親王成出家給故 三台觀門位若僧正三人

大正権是則東寺山門四大寺任之

大僧正二位

正僧正二位 法眼和尚位大僧正先德先師

權僧正二位 法橋上入位大保大德法務執持別當

傳燈傳法傳授珠天台四明天台三部都法 法印

官位便蒙 上

武江

木岩處士

惠謝著

黒川真道藏書

百官
 官(大)臣以下書史以上ヲ云也百トハ大職也官職百トハ事小職ト云數ノ多キヲ云ナリ
 禮記王制曰法親曰官者等也以管領高カク
 額也所居也
 若德天皇紀曰大化五年春二月削冠十九階又詔博士
 高向重理與辨僧足置八省百官制ト云
 位階
 字輩位者正也凡所當任者皆曰位詔天皇降也廣義位也
 推古天皇紀曰十一年十二月戊辰朔壬申始行冠位
 大格 小格 大仁 小仁 大札 小札
 大格 小格 大義 小義 大智 小智
 第十二階以著色緋綾之頂檢攝和雲而著緋爲唯元日
 著紫華十二年春正月次庚寅始賜冠位於諸臣各有差
 十八階也同辨之始九此將未夕官ヲ置ス冠色ノ深淺上中下ヲ以テ
 冠ナリ分フトナリ
 錦冠上 正一位 中位二位 下位三位

287

官位便蒙

(二七五)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色刷毛目文様表紙。〔寸法〕

二三・〇×一六・一cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽貼付

「官位便蒙 上下 全」と墨書。右端に「木岩処士著」と墨書。

内題「官位便蒙 上」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一

面二〇行。九二丁。〔印記〕一丁表に「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕「維時／元禄第五龍舍壬申孟冬日／武江木岩処士／欽書」と墨書。

288

官位略抄

本居内遠

(二七六)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二四・九cm×一七・三cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「官

位略抄 本居内遠著」と墨書。右端に「神官」と墨書。内題「官

位略抄」。〔料紙〕「黒川書齋」の原稿用紙。〔体裁〕紙縫

綴。一面一〇行。一八丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」

「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕「右本居内遠大人諒／安永四年八月以豊頼主本於東都

旅寓写」と墨書。

〔備考〕墨・朱の書き入れあり。卷末に明治二十八年九月九

日付の「官報」切り抜きを貼付。

290 揚名介之事

(二七八)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕茶色刷毛目文様表紙。〔寸法〕

二三・九cm×一七・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「魚

書秘伝別抄(朱) / 揚名介之事」と墨書。右側に「中国相国

抄」一名、揚名問答」と墨書。内題「揚名介事」。〔料紙〕

楮紙。〔体裁〕袋綴。一面九行。三三丁。〔印記〕一丁表

に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」「黒

川真前藏書」「□輔堂／秘書記」朱印。

〔奥書〕「右正本中国相国筆跡家問答自筆狀親加之不慮一覽之間／率爾書写之 秘中

之極秘頗書其源奥／者歟雖子孫非執心之器量者輒莫許／相伝

而已／明応甲寅南呂朔 亜槐拾遺郎判／一見次而書写之畢／

明応七年十一月三日 前左大臣藤原(花押)」と墨書。

〔備考〕中国相国筆の正本を明応三年相伝し、それを同七年

に写したものの。朱の書入あり。

291 有職問答書

小宮山昌世問
野宮 定基答

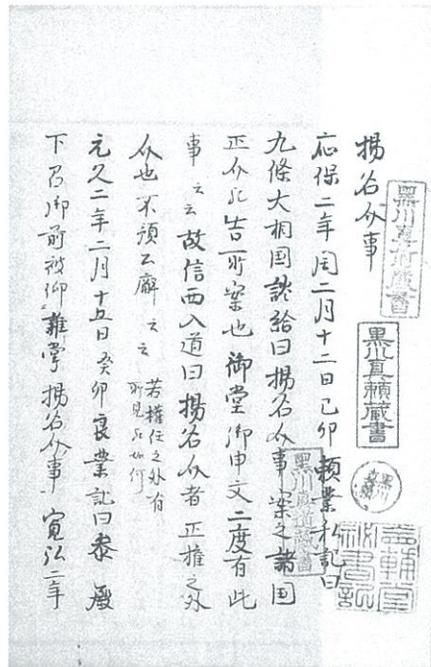
(二七九)

写本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二三・九cm×一六・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に緑色題

簽(二四・九cm×二・二cm) 貼付「有職問答書 完」と墨書。

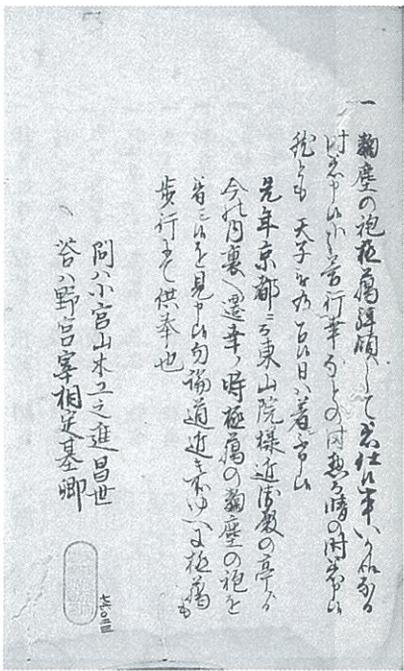
端に「問小宮山昌世 答野宮定基卿」と墨書。〔料紙〕楮紙。



〔体裁〕袋綴。一面一一行。二七丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕卷末に「問ハ小宮山木工之進昌世／答ハ野宮宰相定基卿」と記す。朱の書入あり。『国書総目録』によれば、当該本のみ。



292 有職懐中抄 竹井定興 〔二八〇〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕茶色無地表紙。〔寸法〕

二七・八cm×一九・八cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「有

職懐中抄 全 大嶋氏」と墨書。右端に「竹井貞興述」と墨書。

内題「有職懐中抄卷之二」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。

一面一一行。五〇丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒

川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」「大島氏

藏書」朱印、「大嶋（丸印）」黒印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕「竹井貞興」は「定興」か。

有職懷中抄 目錄

卷之一

一攝家之事并家業 撰政 関白 大関

一清和之事并家業 極位 極官

一大匡之事并家業 極位 極官

一羽林家之事并家業 極位 極官

一名家之事并家業 極位 極官

一新承之事

一北近衆之事

一羽林名家之外之事并家業 極位 極官

黒川真道藏書

黒川真道藏書

黒川真道藏書

黒川真道藏書

293 有職懷中抄

〔追補5〕

写本、五卷、一冊。〔表紙〕練色地渋色刷毛目文様表紙。〔寸

法〕二四・二cm×一六・六cm。〔外題・内題〕表紙左肩打付に「有

職懷中抄 完」と墨書。〔有職懷中抄卷之一〕。〔料紙〕楮紙。

〔体裁〕袋綴。一面二一行。四三丁。〔印記〕二丁表に「黒

川真頼藏書」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」「為可堂／藏

書記」朱印。

〔奥書〕なし。

有職懷中抄卷之一

攝家并家業

一近衛

一日九條

一日二條

一日一條

一日應吉司

一日黒川真道藏書

右五條を抄家と云抄改関白と先述と云云五條大政大臣

二條殿内記大化抄最要事云抄改下云云改と極と隆と云云に

覺り云云方概抄改と云云是云云攝改女事云云勿事の時

人天子尊と云云改勢と云云関白と云云関白と云云

と云云天子能執と云云人長能家上と云云

黒川真前藏書

黒川真前藏書

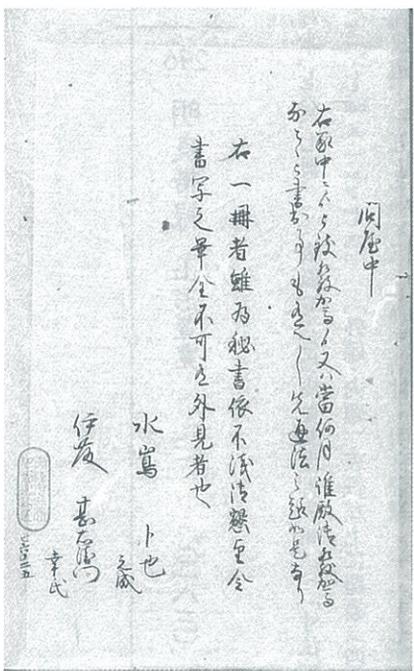
黒川真前藏書

黒川真前藏書

294 代官補任状

〔二八一〕

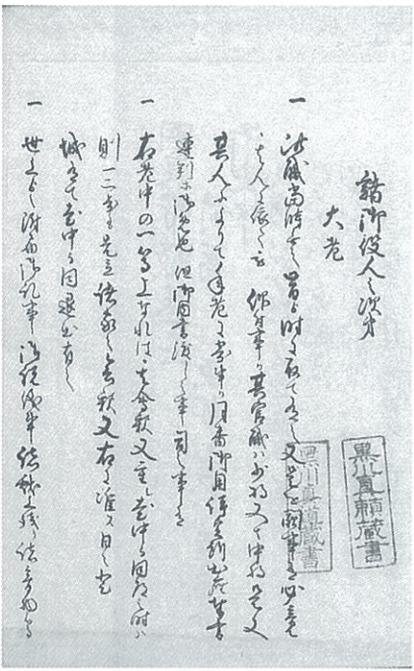
写本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二三・六cm×一五・八cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に「代官補任状」と墨書。右端に「水島流」と朱書。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行前後。一八丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕「右一冊者雖為秘書依不淺御懇望令／書写之畢 全不可有外見者也／水寫下也元成／伊藤甚右衛門幸氏」と墨書。



295 諸御役人之次第 松岡辰方

〔二八二〕

写本、一卷、一冊。〔表紙〕玉子色地茶刷目目文様表紙。〔寸法〕二三・四cm×一六・三cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（一六・〇cm×三・三cm）貼付「諸御役人之次第 全」と墨書。右端に「松岡辰方著」と墨書。内題「諸御役人之次第」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面二行。五〇丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕「寛政九年十月 松岡平次郎辰方」と墨書。



296 明良帶録 山形豊寛

(二八三)

写本、七卷、七冊。〔表紙〕茶色松皮菱繋型押表紙。〔寸法〕

二三・七cm × 一七・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽(四

周双辺、一五・九cm × 三・二cm) 貼付「明良帶録 一(一七)」

と墨書。一卷に「山形豊寛著」と朱書。内題「明良帶録卷之一」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。墨付、一一二二

丁、二一二七丁、三一二四丁、四一七丁、五一二二丁、六

一三八丁、七一二四丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」

「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。

〔奥書〕なし。

〔備考〕卷一見返しに「本書の著者につきて大槻氏藏本に左

の書付あり／山形豊寛ハ彦左衛門ト称ス小田原藩士ナリ 此

書ノ／外ニ公侯熙績ト云フ書ヲ撰セシカハ公儀ヨリ罪カふむ

／りて武家奉公構トナリタリ／右ハ坂田諸遠老人ヨリ聞取し

ま、記ス／丁亥八月 修二(印)」と朱書する。

297 明官古名考 林義卿

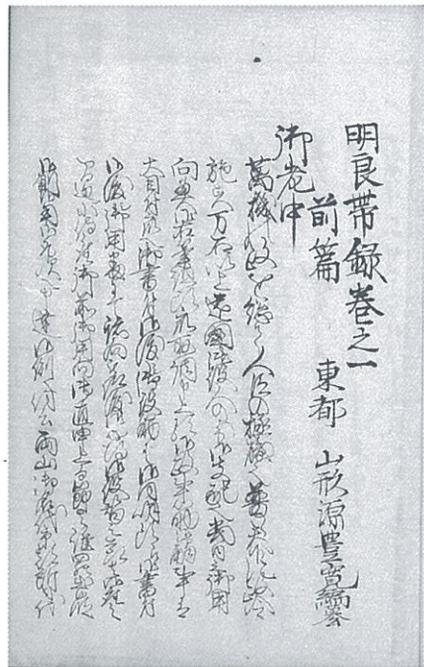
(二八四)

版本、一卷、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二二・五cm × 一五・九cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽

(二五・〇 × 三・〇cm) 貼付「明官古名考」と墨書。右端に「林

義卿著」と朱書。内題「明官古名考」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕



也亦足以觀古今官職之沿革哉

華哉

寛延辛未夏五月

浪華北貞卿

書非公之不同



明官古名考

長陽 林義卿周父 著

○后妃 從后妃至宗廟非獨明朝也又似非必官名也然不可漏於此書者也並考古名以及焉

。后 王妃周礼皇后禮記 太后周礼 帝母禮記 皇太禮記 后周礼 天周礼 后禮記 后族禮記 外禮記

家後漢書 椒房周礼 親周礼 上周礼 姻周礼 臣周礼 國周礼 戚周礼 。

○繼紹

。后家椒房 妃並后

袋綴。一面六行。三五丁。四周單辺。〔印記〕一丁表に「黒

川真頼藏書」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。

〔刊記〕なし。

〔備考〕宝暦元年跋あり。

298 礼儀類典 徳川光圀編

〔追補7〕

写本、三三三卷、三四六冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸

法〕二七・七cm×一九・七cm。〔外題・内題〕表紙左上に子

持ち野題簽（一七・六cm×三・五cm）貼付「礼儀類典 一」と

墨書。内題「礼儀類典卷第一」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕

袋綴。一面九行。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川

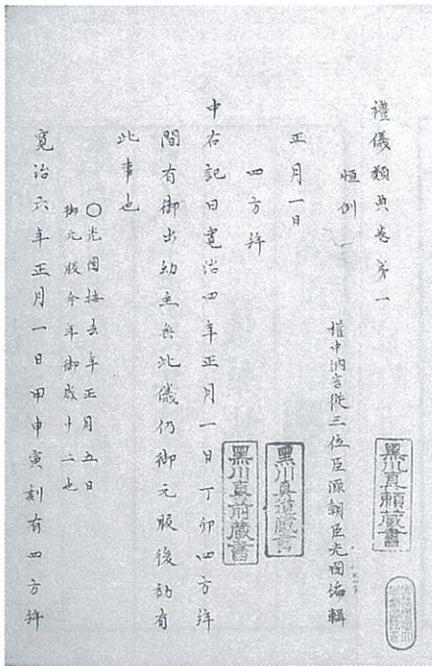
真道藏書」「黒川真前藏書」（朱印）。〔奥書〕なし。

〔識語〕第一冊卷末に「以於水府秘庫之本令対校畢／天保六

未年三月廿六日」と墨書。

〔備考〕表紙・外題等の体裁は一樣ではないが、煩雑なため

省略する。三四六冊の内訳は、卷一から五一〇（二二七卷分欠本）、引用書目・目錄・図絵などからなる。「目錄」中に、「礼儀類典 博物館本 五百十卷 順序処々タガヘリ校合ニ能ハズ」と記す。印記はほかに、「家□□□□□／中原氏圖書」「構東精舎」「本居藏書」「師範学校／払下之印」「爾家／藏書」「□事／官藏」「東京師／範学校／圖書印」「静観／堂／圖書（陰刻）」「黒川／真頼（丸印）」等。



299 朝鮮官職考 林文進 (二八五)

版本、一卷、一冊。〔表紙〕藍色雷文繫植物文様型押表紙。

〔寸法〕二二・七cm × 一六・〇cm。〔外題・内題〕表紙左上

に刷題簽（四周双辺、一七・三cm × 三・七cm）貼付「朝鮮官職考 全」。右端に「林文進著」と朱書。内題「朝鮮官職考」。

〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。三三丁。四周单辺。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」

「黒川真道藏書」「筒井藏書」「富□園藏（陰刻）」朱印。

〔刊記〕「京相之町通御池上ル町／林権兵衛」。

〔識語〕後見返しに「明治二季四月吉祥日／高崎住弘園吟社」と墨書。

東涯先生考訂
門人林文進記

朝鮮官職考

京師書林

文泉堂

朝鮮官職考叙

朝鮮之為國素稱禮義之邦宗

氏建國在明洪武年間其官制

禮儀擬唐宋之制亦彬彬乎可見

矣頃得一書圖載其官階祿秩之

朝鮮官職考

黑川真道藏書

黑川真道藏書

300

上野国豪族志

〔二八六〕

写本、一巻、一冊。〔表紙〕縹色亀甲繫ぎ型押文様表紙。〔寸法〕二六・四cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽（四周双辺、一五・七cm×三・〇cm）貼付「上野国豪族志」と墨書。内題「豪族志」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面七八行。墨付三四丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「真頼稿」「黒川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。

新田家記

真頼稿

黒川真頼藏書
余子真頼謹撰

上野国

新田郡

新田家

301 新撰上野国志沿革図説

(二八七)

写本、二卷、二冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕

二三・七cm×一六・二cm。〔外題・内題〕表紙左上に題簽(四

周単辺、一六・八cm×二・七cm)貼付「新撰上野国志沿革図説

上(下)」と墨書。上巻右端に「嘉永六年」と墨書。内題「新

撰上野国志郡郷図説」(上巻扉)、「新撰上野国志沿革図説」(下

扉)、「新撰上野国志卷一(二)」(巻首)。〔料紙〕楮紙。〔体

裁〕袋綴。一面二〇行程度。墨付、上―二九丁、下―三三丁。

〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」朱印。

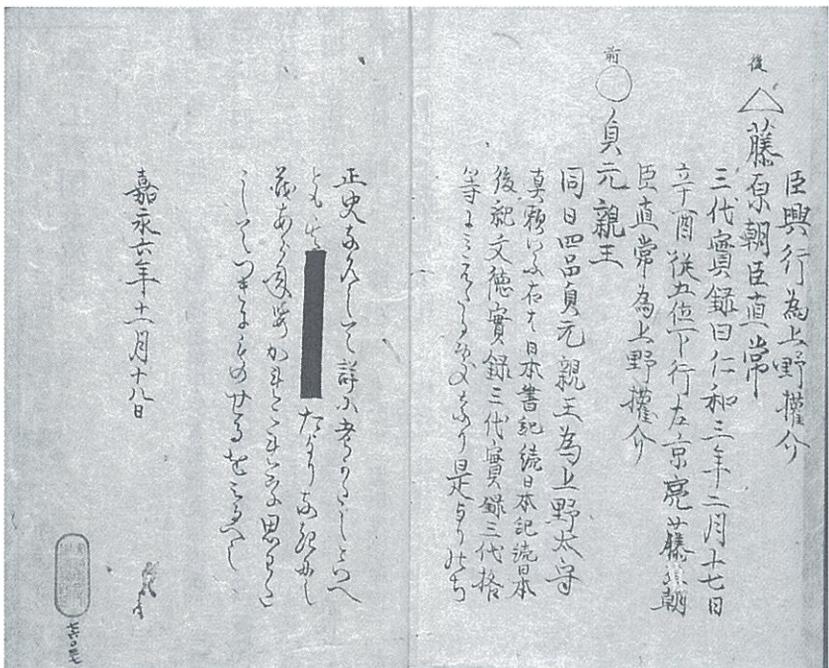
〔識語〕上巻末「嘉永六年十一月四日夜 灯下書記」、下巻末

尾「嘉永六年十一月十八日」と墨書。

〔備考〕上巻巻頭に「平真縁謹撰」と記す。本文上欄に「真

頼云……」の書入あり。『国書総目録』によれば、当該本の

み存。



302 高津宮・長柄宮・長柄橋旧地考 (二八八)

写本、一巻、一冊。〔表紙〕本文共紙表紙。〔寸法〕

二七・九cm×二〇・三cm。〔外題・内題〕表紙左上打付に

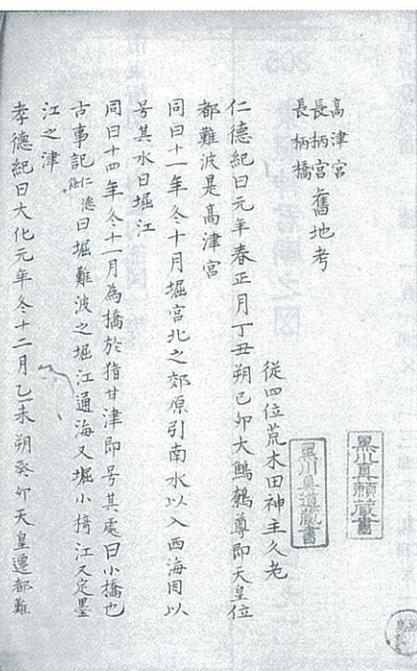
「高津宮／長柄宮／長柄橋」旧地考」と墨書。右端に「丙

五十一」の小紙片貼付。内題「高津宮／長柄宮／長柄橋」

旧地考」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕仮綴。一面二一行。墨

付八丁。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒

川真道藏書」朱印。〔奥書〕なし。



303 大日本四神図略 (二八九)

手写地図 一軸 一九〇cm×一二九cm (日本・千鳥・樺太・

朝鮮) 部分切図 二〇枚付 官許印

年月日・藏版・序文・凡例等省略、東京、山本平吉・山口藤

兵衛の写あり。

304 神泉苑所伝 京都図 (二九〇)

京都切図 七枚 各四〇cm×六〇cm (誤差あり) (二九・五cm

×一五・cm) 条理図・皇居・八省等

小杉榎郵書写・同藏印

〔備考〕書名は切図七枚が収められていた紙製の帙書きによ

る。京都・神泉苑に伝わったという、各種の京都地図。「京

都市東街図」「内裏内部図」等。

305 東照神君廟之図

〔二九二〕

手描折畳図面 一舗 一五・一cm × 一一・三cm (二九cm × 一四cm)
厚紙表紙付

306 蝦夷絵図

〔二九二〕

手描絵地図 一軸 七五cm × 一二・九cm 彩色 (樺太・蝦夷・松前等)
各地の里程記入 「蝦夷島奇観」(伝説) 付

307 蝦夷之図

〔二九三〕

手描彩色地図 一軸 六九cm × 一〇・二cm
朱書「魯西亜人近年日本属辺江涉海嶋名改正」蝦夷地名・口
シア語地名併記

308 〔石版蝦夷図〕

〔二九四〕

地図 六帖 五五cm × 六一cm (二二cm × 一四・五cm)
二〇〇〇〇分の一 英語・片仮名併用
明治八年(一一年) 開拓使地理課刊行
内容 室蘭・根室・石狩川・厚岸・浜中湾・小樽

309 東西蝦夷山川地理取調図

松浦竹四郎 (二九五)

木版蝦夷地図 二七帖 三七cm×五一cm (一八・八cm×一〇

cm) 彩色 厚紙表紙付

安政六年(一八五九) 凡例並びに案内土人名簿(首巻)

310 古代冠形 黒川真頼考案 (二九六)

紙製 実物大 四頭 袋入

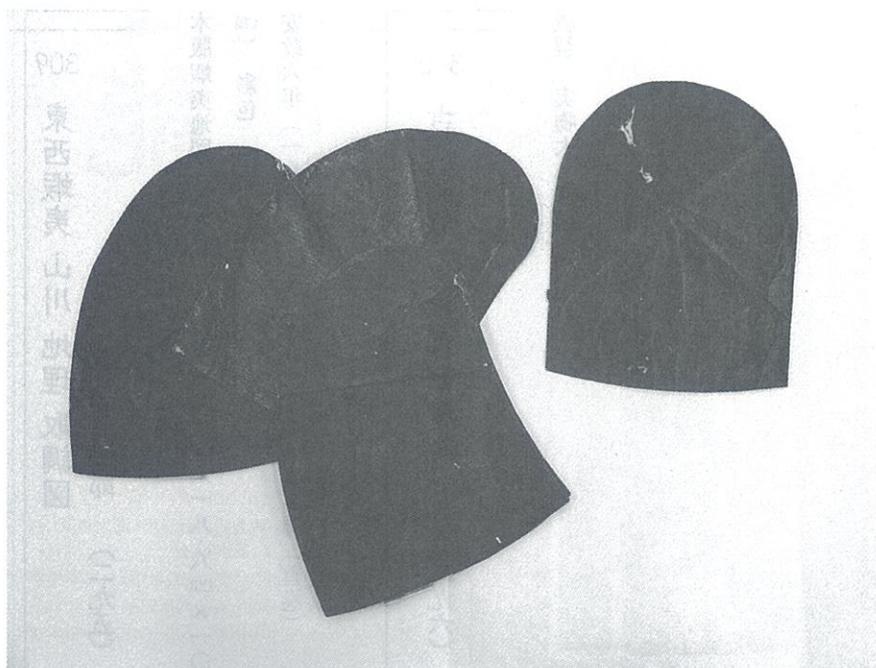
311 烏帽子雛形 (二九七)

紙製黒漆塗 一六種

明治二四年(一八九二) 添書「甲斐塩山麓農家所伝・備中国農家所伝他 美加乃舎」

〔備考〕紙製黒塗りの烏帽子雛形(模型・レプリカ) 16種。
椿井氏伝来の引立烏帽子ひきたて・大臣烏帽子、宮寫氏所蔵烏帽子(備中国農家所伝、延徳年中の物)、甲斐国塩山麓百姓所持古代烏帽子などの雛形。





312 女官服小形

〔二九八〕

紙製雛形 一一種 袋入

袋書「享和二年三月吉祥日 竹黄龍亭再模擬之泉石君藏庫」

313 典侍装束一具雛形

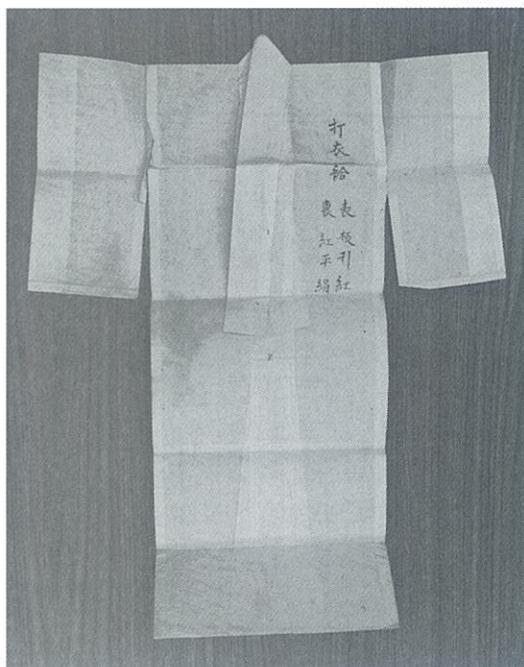
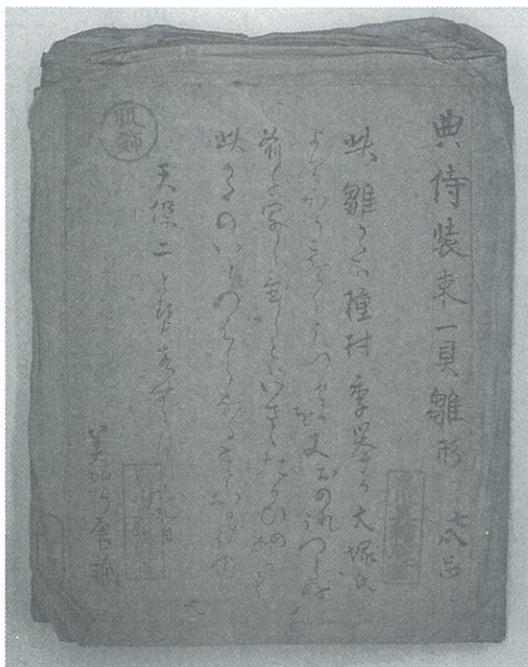
〔二九九〕

紙製 六種（七袋の中欠二）

天保二年（一八三二） 美加乃舎袋書

〔備考〕「典侍」は女官のつとめる後宮十二司のひとつ内侍司の次官。典侍の衣装——打衣・表着・五衣・張袴・裳・緋袴・唐衣の雛形を紙で手づくりしたもの。各一枚の雛形を入れた紙袋を糊付けで綴じ合わせ、外見を本のように纏める。その

袋外側に「此雛かたは種村季挙が大塚氏よりかりえてうつせるを又おのれうつしぬ／前に写し置しとはいさゝたかひめありて／此かたのいとはしなることおもほゆる也／天保二とせ（一八三二）水無月廿九日／美加乃舎藏」と墨書する。



314 古代枅之写

〔三〇〇〕

実物大の写し 一綴 二八cm×四〇・五cm 袋入

内容 物指 写し二種

枅 表・裏・側面よりの写し

太子升・民部省厨升・宣旨升・太孝升・侍所小升・

反銭升・山科升・尾州農家所伝古升・興福寺南員

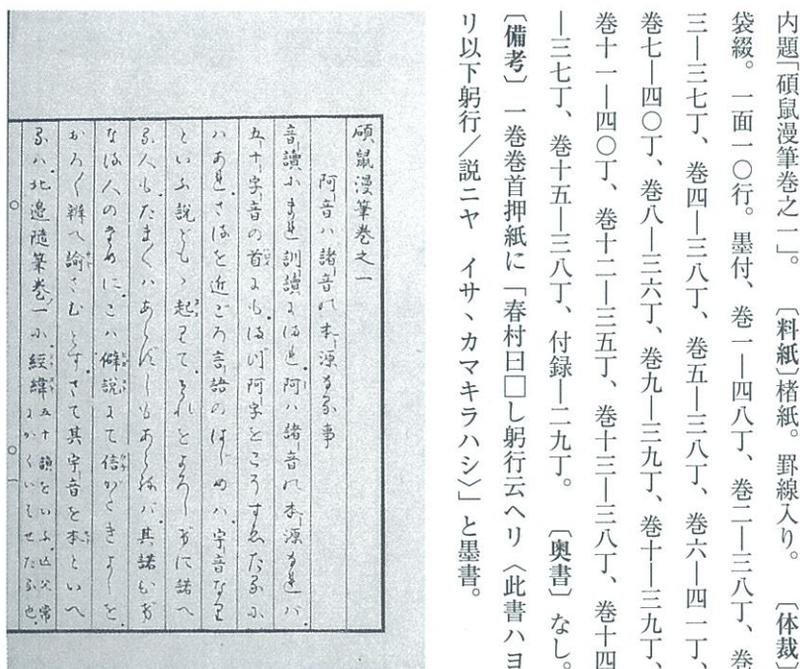
堂油升

315 碩鼠漫筆〔黒川春村自筆本〕〔追補10〕

写本、一五巻・付録一卷、一六冊。〔表紙〕萌葱色地金砂

子表紙。〔寸法〕二七・〇cm×一九・二cm。〔外題・内題〕

表紙左肩に雲形題簽貼付「碩鼠漫筆 阿部上 一」と墨書。



316 水鳥記 茨木春朔

〔追補18〕

版本、二卷、二冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕

二七・二cm×一七・八cm。〔外題・内題〕表紙左肩に刷題簽(四

周双辺、一六・五cm×四・二cm)貼付「水鳥記 上(下)」。上

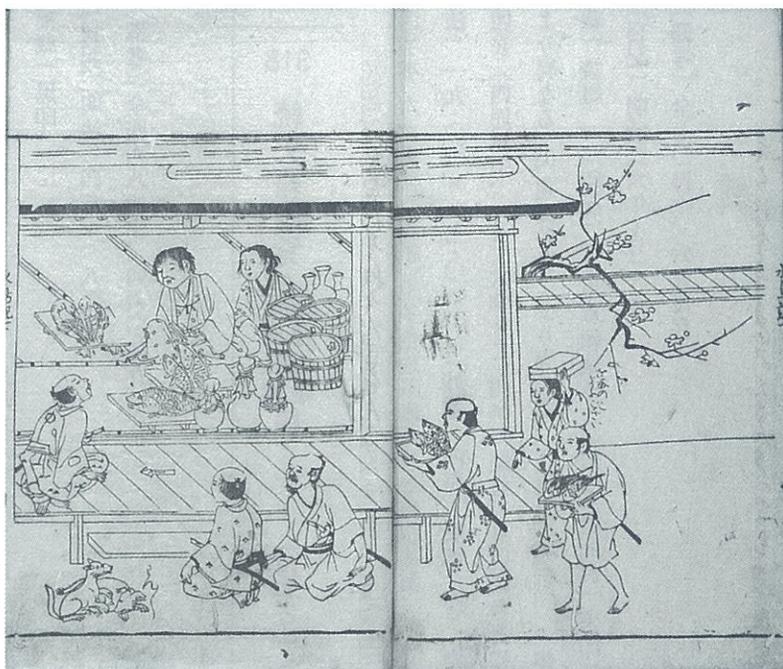
卷右端に「寛文七年版」「珍品」と朱書。内題「水鳥記 上」。

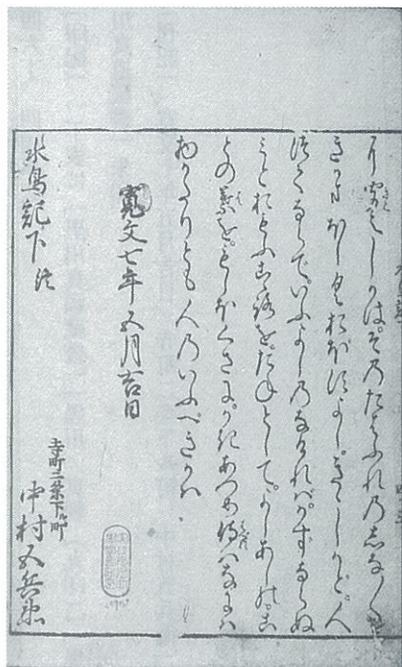
〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。上―三六丁、下

四六丁。四周单辺。

〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼(丸印)」「黒川真道藏書」朱印。

〔刊記〕「寛文七年五月吉日／寺町二条下ル町 中村五兵衛」。





317 史籍集覧 近藤瓶城編

〔追補8〕

活字本、四六〇冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕一八・四cm×一二・四cm。〔外題・内題〕表紙左肩に刷題簽(四周双辺、一三・八cm×二・一cm)貼付。外題は各冊により異なる。内題は各冊により異なる。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋

綴。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印、「黒川福蔵」黒印。

〔刊記〕明治一四年〜一八年。

〔備考〕全四六八冊中、四六〇冊存。

318 続史籍集覧

近藤瓶城編
近藤圭造

〔追補9〕

活字本、六九冊。〔表紙〕玉子色地茶刷毛目等模様表紙。〔寸法〕一九・〇cm×一三・〇cm。〔外題・内題〕表紙左肩に刷題簽(四周单辺、一三・六cm×二・四cm)貼付。外題は各冊により異なる。内題は各冊により異なる。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」朱印。〔刊記〕明治二六年〜三一年。〔備考〕全七〇冊中、六九冊存。

稿本、一冊。〔表紙〕木賊色布目地亀甲整型押表紙。〔寸

法〕二八・〇cm×一九・三cm。〔外題・内題〕表紙中央に題

籤（四周双辺、二二・〇cm×五・五cm）貼付「黒川氏ノ稿ヲ改

纂シタル最初ノ第一稿」と墨書。内題「近古史要卷一」（「国

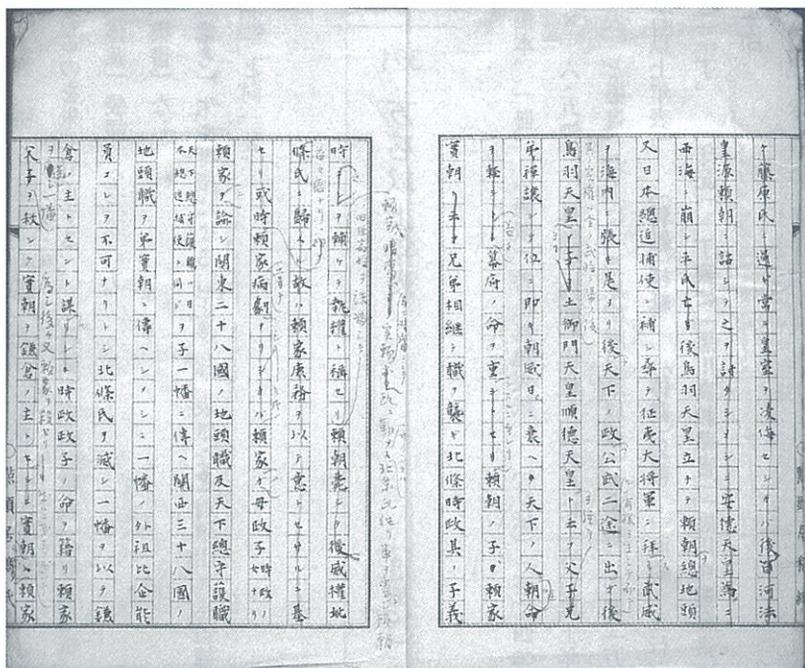
史要略」とあるのを朱で訂正する）。〔料紙〕「點頭居稿紙」

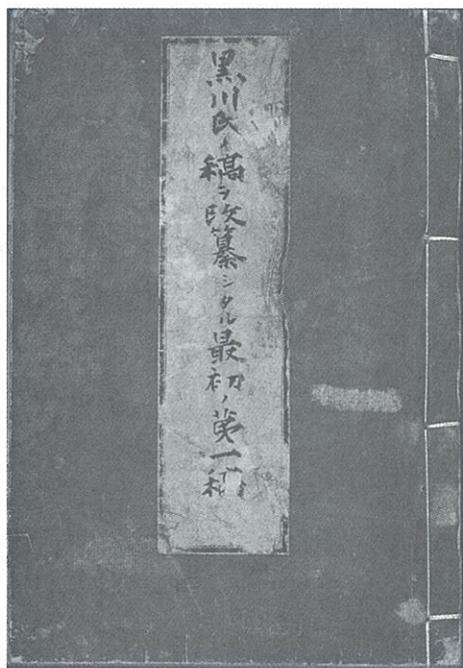
の原稿用紙。〔体裁〕袋綴。三三四丁。

〔奥書〕なし。

〔備考〕朱の書き入れ中に、「明治廿四年」の記述あり。表紙

など次項320Ⅱ〔追補21〕と同じ装丁。





320 近古史要第二稿

〔追補21〕

稿本、一冊。〔表紙〕木賊色布目地亀甲整型押表紙。〔寸法〕

二八・〇cm×一九・五cm。〔外題・内題〕表紙中央に題簽（四

周双辺、一二・〇cm×五・五cm）貼付「第一稿ヲ修校シタル次

321 万石以上年表

〔追補19〕

稿本、一冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕二三・四cm

×一六・五cm。〔外題・内題〕表紙左肩打付に「万石以上年

表」と墨書。右上に「栗原柳庵自筆原稿」と墨書。内題「万

石以上年表」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面約一五行。

二二丁。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川真道藏書」

朱印。

〔奥書〕なし。

回ノ第二稿」と墨書。内題「近古史要卷一」（「近古史略」とあるのを朱で訂正する）。〔料紙〕「点頭居稿紙」の原稿用紙。〔体裁〕袋綴。全三三二丁。

〔奥書〕なし。

〔備考〕朱や押紙による訂正多し。表紙など前項318 〃〔追補20〕と同一装丁。

〔備考〕 帙題簽に「万石以上年表原柳庵自題草稿」と墨書。

322 問疑答説

〔追補17〕

写本、二卷、二冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕

二二・一 cm × 一五・九 cm。〔外題・内題〕 表紙左肩に題簽

（一六・一 cm × 三・二 cm） 貼付「問疑答説 乾（坤）」と墨書。

内題「問疑答説 乾（坤）」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。

一面七行。乾一六〇丁、坤一五二丁。〔印記〕「黒川真頼藏

書」朱印。

〔奥書〕 なし。

〔識語〕「寛政二庚戌年八月 高橋久吉写之」と墨書。

323 醍醐雜事記

〔追補24〕

写本、一六卷、一六冊。〔表紙〕 香色無地表紙。〔寸法〕

二六・六 cm × 一八・七 cm。〔外題・内題〕 表紙左肩打付に「醍

醐雜事記 一（一十六止）」と墨書。一卷右肩に「原書」（朱

）「三宝院本」、右裾に「共十六冊」と墨書。内題「上醍醐寺雜

事記卷第一」「上醍醐雜事記卷第二」「下醍醐雜事記卷第三（

六）」「醍醐雜事記卷第七（一十五）」「寺家雜筆至要抄 雜々

記」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面八行。一一一八

丁、二一四二丁、三一四九丁、四一一九丁、五一一六丁、六

一三三丁、七一四一丁、八一三九丁、九一四〇丁、十一三六丁、

十一一三九丁、十二一四〇丁、十三一二五丁、十四一二八丁、

十五一二八丁、十六一五三丁。〔印記〕 一丁表に「黒川真

頼藏書」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。

〔奥書〕 十六冊目最終丁に「右醍醐雜事記 十五帖 寺家雜

筆至要抄 雜々記合冊 就三宝院所藏古写本影摹了 明治

十二年三月 小杉楹邨」と墨書。

〔識語〕「明治廿八年十月以小杉楹邨氏藏本令書寫了 黒川真道」と朱書。

324 群書類従 塙保己一編

〔追補〕

版本、二四三冊。〔表紙〕香色無地表紙。〔寸法〕二六・五cm×一七・九cm。〔外題・内題〕表紙左肩に題簽（四周単辺、一七・九cm×三・五cm）貼付「群書類従 六 神祇部 六（四八五 雜部四十）」。各冊右端に収録内容を墨書。内題「群書類従卷第六」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。〔印記〕「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」朱印。その他多し。〔刊記〕なし。

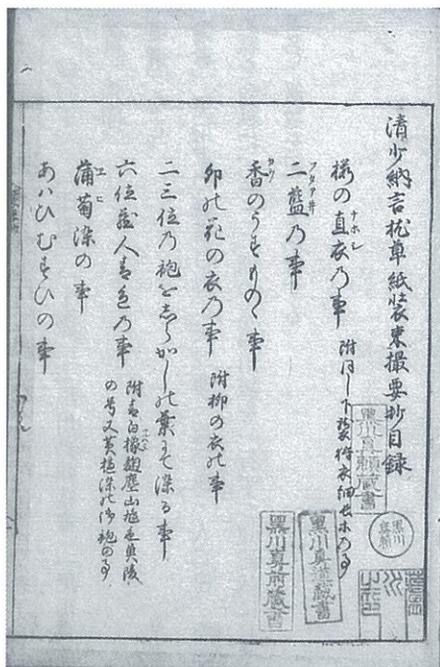
〔備考〕取り合わせ本。「春村書入本」「天保十三年十二月十一日 以一本比較之 春村」「夏蔭書入本」「間宮永好 真

頼書入」「真頼書入本」などと墨書する。

325 枕草子装束抄 壺井義知

〔追補〕

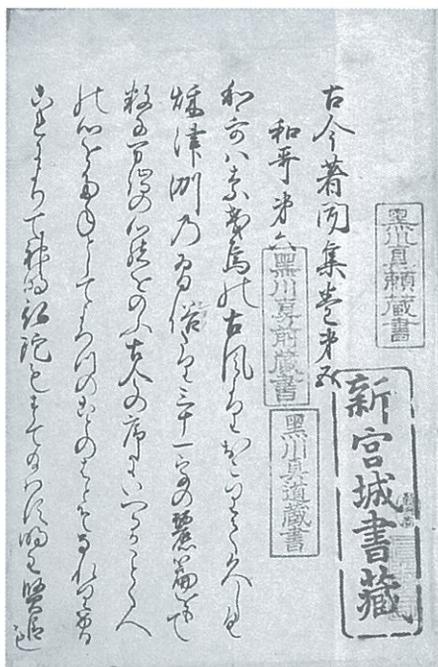
版本、一卷、一冊。〔表紙〕縹色無地表紙。〔寸法〕二七・四cm×一九・二cm。〔外題・内題〕表紙左肩に刷題簽（×四・二cm、下部剥落）貼付「枕草子装束抄」。内題「清少納言枕草紙装束撮要抄」。〔料紙〕楮紙。〔体裁〕袋綴。一面一二行。一八丁。四周単辺。〔印記〕一丁表に「黒川真頼藏書」「黒川／真頼（丸印）」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」「蘆／□／之印」朱印。〔刊記〕「皇都 四条通京極西入町／上坂勘兵衛源兼勝発梓／享保十四年己酉卯月下旬」。



326 古今著聞集 橘成季

〔追補16〕

写本、二〇巻、五冊。〔表紙〕 香色布目地型押表紙。〔寸法〕 二〇・六cm × 一四・六cm。〔外題・内題〕 表紙左肩打付に「古今著聞集 一（一五）」と墨書。一卷右端に「元禄写本」



〔共五冊〕と墨書。内題「古今著聞集巻第二」。〔料紙〕 楮紙。〔体裁〕 袋綴。一面七行。墨付、巻一―一六七丁、巻二―二二二丁、巻三―一七二丁、巻四―一六八丁、巻五―一六九丁。〔印記〕 一丁表に「黒川真頼藏書」「新宮城書藏」「真壁氏」「黒川真道藏書」「黒川真前藏書」、巻末に「房／行（陰刻）」、「蔵書」「月明莊」朱印。

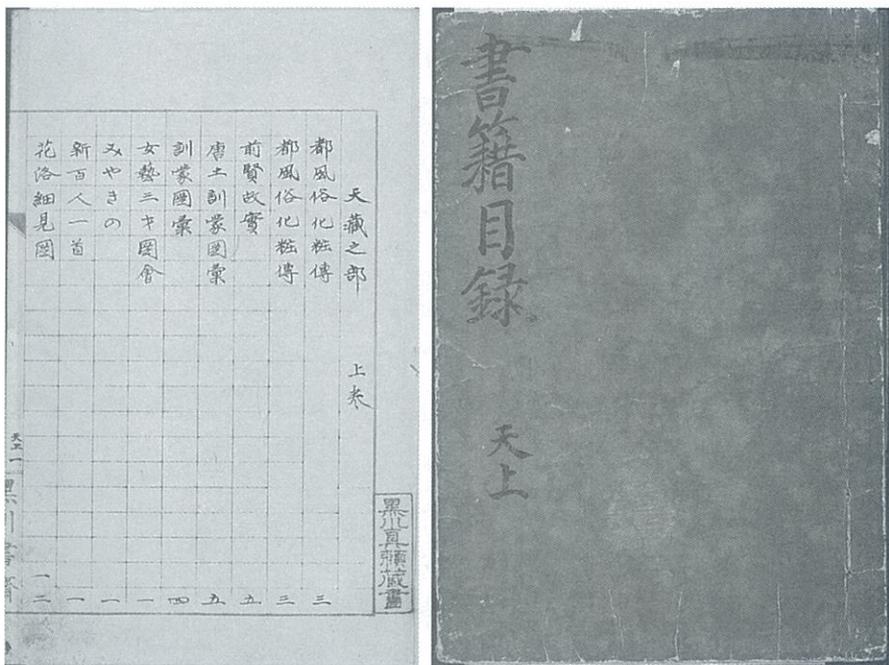
〔奥書〕 「元禄十二乙卯三月三日終功畢」と墨書。

稿本、三卷、八冊。〔表紙〕柿色無地表紙。〔寸法〕二四・九cm×二七・二cm。〔外題・内題〕表紙左肩打付に「書籍目録 天上（～人下）」と墨書。〔料紙〕「黒川書齋」の原稿用紙。〔体裁〕袋綴。一面一〇行。

〔奥書〕なし。

〔備考〕黒川家の蔵書目録。天二冊・地三冊・人三冊。

〔参考〕城田秀雄「黒川真頼蔵書目録影印（一）～（八）」（実践女子大学文芸資料研究所『年報』第八号～第十五号、一九八九年三月～一九九六年三月）。天上―八号、天下―九号、地上―一〇号、地中―一一号、地下―一二号、人上―一三号、人中―一四号、人下―一五号。



稿本、一冊。〔表紙〕柿色無地表紙。〔寸法〕二四・二cm

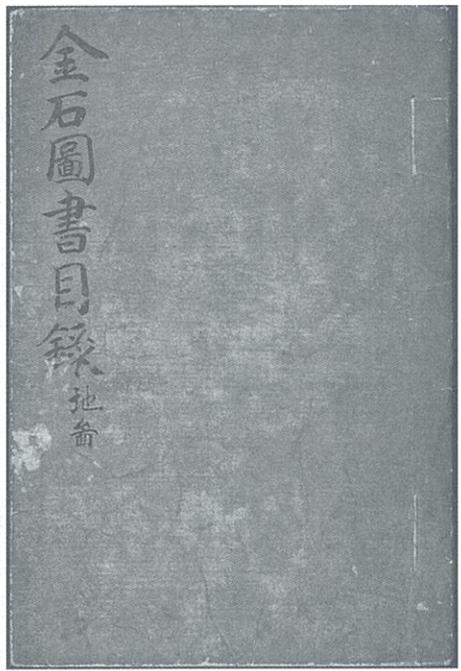
×一七・〇cm。〔外題・内題〕表紙左肩打付に「金石圖書目

録 地図」と墨書。内題「金石目錄」。〔料紙〕「黒川書齋」

の原稿用紙。〔体裁〕紙縫綴。一面一〇行。五三丁。

〔奥書〕なし。

〔備考〕鐘銘・碑銘・像などの目錄。地図。



金石目錄	
1	1印
一	山城北野神宮寺鐘 <small>延徳</small>
二	同東山清水寺鐘 <small>文明</small>
三	同千本通引樓寺鐘 <small>康保</small>
四	同東山知恩院鐘 <small>寛永</small>
五	同京師小川教恩寺梵字鐘 <small>享和</small>
六	同京師六角堂鐘 <small>享和</small>
七	同鼓小路夫田寺鐘 <small>慶長</small>
八	同山崎寶積寺鐘 <small>永享</small>

黒川文庫 印譜（抄）

黒川文庫の各書目に見える蔵書印等をここに集成した。目録中「印記」の項は簡略に従ったので、本「印譜（抄）」を併せ参照して頂きたい。なお調査が不十分で、不明な点が少なくない。「（抄）」とする所以である。

黒川家蔵書印

黒川真頼

「黒川真頼蔵書」



「黒川／真頼」



「真頼稿」



黒川真道

「黒川真道蔵書」



「黒川光長」



黒川真前

「黒川真前蔵書」



大久保西山

「愛岳麓藏書」



会田芳園

「会田家藏書」



青木信寅

「青木印」

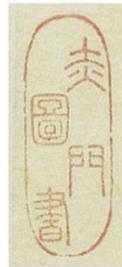


赤沼蓬園

「赤沼書屋」



「赤門図書」



「浅草本法寺」

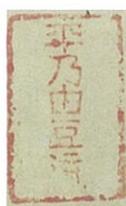


岸本由豆流

〔朝田家藏書〕

〔岸本家藏書〕

〔平乃由豆流〕



〔あらゐ氏〕



徳島藩蜂須家

〔阿波國文庫〕



〔関竜堂藏〕



〔為可堂藏書記〕



長島尉信

〔郁子園藏〕



那須資明

〔石原文庫〕



〔伊藤藏書〕



〔伊藤文庫〕



〔稻垣大業家藏記〕



〔稻廼舍藏書〕



「今杜酒合之家」



「韻勝閣」



鹿島則文「桜山文庫」



「大嶋」



「大宅園成」



岡田真

「岡田真之藏書」



小汀利得

〔小汀氏藏書〕



埤家

〔温故堂文庫〕



〔柏木藏書〕



〔葛飾艸堂〕



佐竹義路

〔閑雅文庫〕



〔完山□〕



〔神田〕



松平頼寛

〔観涛閣〕



〔菊印〕



〔菊〇氏蔵書印〕



〔北村氏所蔵〕



〔虚〕



「倉持氏印」



黒川光隆

「黒川光隆蔵」



反町茂雄「月明荘」



佐藤硯湖「硯湖秘蔵奇書之臺」

「尚古堂」



「元邑堂」



竹内篁園「篁園文庫」





「広当」



「光鴻」



前田善子「紅梅文庫」



「高天神孫」



「吾嶺」



「五辻十里」

「近亭」



酒井忠固「酒井忠固蔵書」



小杉楹邨「杉園蔵」



吉田幸一「幸」



「椎通屋」



「祠乗坊図書印」



「静岡県図書印」



屋代弘賢「不忍文庫」



清水濱臣「清水濱臣藏書」



三村竹清

「十文字文庫」



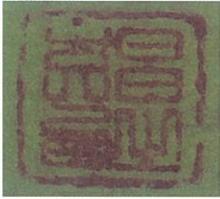
加川元厚

「昭曠館図書記」



「春山式路烏啼華」





「昌山充印」



「正木園文庫」



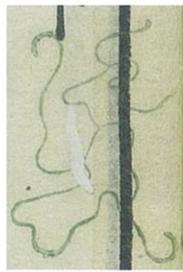
水野忠央「新宮城書藏」



「松葉舎」



契沖（「神代文字」）



賀茂真淵（「神代文字」）

〔誠〕



加藤千蔭

〔橘氏蔵書〕



石井至毅

〔玉川文庫〕



〔丹誠五十年門外へ出さず〕



〔辻氏所蔵之記〕



〔鶴文庫〕



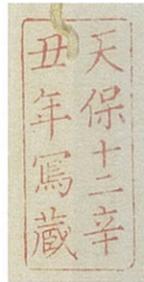
「筒井藏書」



堀直格「天保十二辛丑年写蔵」

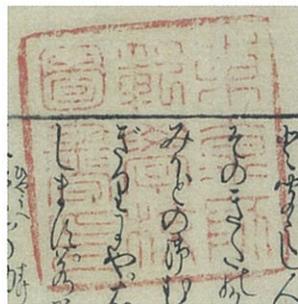
「花廼家文庫」

「墨阪十一代主写蔵記」

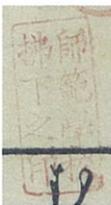


東京師範学校

「東京師範学校図書印」



「師範学校私下之印」



鈴木成夔

「藤館奥藏書安政年間改之」



「樋野氏印」



林東園

「東園文庫」



「林厚徳」



「林氏図書」



「戸田文庫」

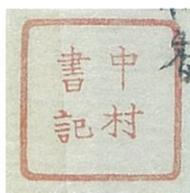


「富永家藏書印」



中村秋香

「中村書記」



「不尽廼屋文庫之記」



「富天園藏」



「中村藏書」



中川得棧

「中川氏藏」



中山速男

「中山藏書」



「榛」



ハイド

「拝土蔵書」



伴直方

「伴文庫」



「伴氏家印」



「万物静観習由」



齋藤彦磨

「彦磨」



「肥島原藩坂本氏蔵」



秋山不霸斎

「不霸斎図書記」



福田敬同

「福田文庫」



「藤枝文庫」



本居大平

「藤垣内印」



本居内藤

「本居蔵書」



藤原祐庸

「藤原祐庸」

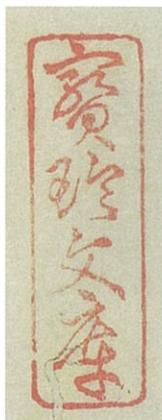


「古川氏藏」



ホーレー

「宝玲文庫」



堀田正敦

「堀田文庫」



三多葆光

「三多」



「岷嵩」



最上義薄

「最上屋形藏書」



「柳生藏書」



「結城印」
「龜」



「幽真閣圖書記」



「横□」



「緑園文庫」





「若水」



「和樂齋」

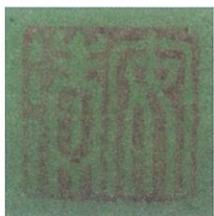


「渡部平」



「渡部藏書」

「□井十足藏印」



「□輔堂秘書記」



「□橋案陰」



「東 楼」



「蘆水之印」



「延隆」



「□□内印」





「津宅連長」



「木」



「東邊樸」

永田清一「黒川文庫」

『実践女子大学文学部紀要』第二三集（一九八一年三月）より転載

- 16) 橋本進吉：国語研究室焼失主要書目録，国語と国文学 1号，至文堂，大正13 P.103
- 17) 橋本進吉：前掲誌，1—7号，大正13. 5—11
- 18) 東京都立日比谷図書館五十年紀要，昭和34 P.28—31
- 19) 新聞集録大正史 第12卷（大正13年）大正出版，昭和53 P.159
- 20) 坪谷善四郎：大橋図書館の焼失，図書館雑誌，54号，大正12 P.149
- 21) 近代文学研究叢書 8 P.468
- 22) 東京古典会50年史年表，創立50周年記念善本図録，昭和35
- 23) 東京古書組合五十年史，東京都古書籍商業協同組合，昭和49 P.509
- 24) 特殊文庫目録，ノートルダム清心女子大学付属図書館，昭和50 P.157
- 25) 山岸徳平：中世文学文献報告，中世文学 2号，中世文学会，昭和32 P.14
- 26) 黒川文庫目録，実践女子大学図書館，昭和42
- 27) 和漢図書分類目録，増加一，宮内庁書陵部 昭和43
- 28) 神道書籍解説目録，第1輯，国学院大学図書館，昭和35
- 29) 全国特殊コレクション要覧，改訂版，出版ニュース社，1977 P. 5
- 30) 伊地知鉄男：戦前戦後の図書資料の移動，中世文学，1号，昭和31 P. 5
- 31) 近代文学研究叢書 8 P.467
- 32) 桃園文庫（和装本）目録，一事務用，東海大学附属図書館，昭和54

いる日本大学総合図書館²⁹⁾、国語関係資料を所蔵している東京大学国語研究室³⁰⁾とがあり、また真頼の長男・直吉が金子家を継いだ、その子金子竹太郎の死去と同時に金子家に残された三代の図書、額、懸軸が桐生市立図書館に収蔵された³¹⁾という。このように真頼の時代にあった8万冊の蔵書は関東大震災と第二次大戦を経て80年後の今日、その約1割の資料が分散し七つの図書館(表7)に保管されている。

(表7) 黒川文庫所蔵の図書館

図書館	特色	部数	冊数
ノートルダム清心女子大	歌学	1081	3387
実践女子大学図書館	物語	313	2286
宮内庁書陵部	日記・紀行	219	399
国学院大学図書館	神道	408	704
日本大学総合図書館	仏書	約500	/
小計		約2302	約7500
東京大学国語研究室	国語	/	/
桐生市立図書館	遺品	/	/

そして、これらの資料は震災で焼け残った「人」の蔵の13,174冊の中に殆どあったが残余の約5千冊の資料は第二次大戦で焼失したか、また池田亀鑑の蔵書であった桃園文庫³²⁾の中に12部、31冊見出されるように別の蔵書体系の中へ1冊1冊分散して溶け込んでしまったのである。

おわりに黒川家蔵書目録の図版掲載についてご許可くださいました図書館長・福島邦道先生に厚くお礼を申し上げます。(本研究の一部は1980年武蔵野女子大学で開催された第28回日本図書館学会研究大会において発表した。)

参考文献

- 1) 佐藤利文：黒川真頼先生言行録，国学院雑誌 12巻10号，明治39 P.1036
- 2) 佐藤利文：前掲誌 P.1033—1040
- 3) 近代文学研究叢書8 昭和女子大学近代文学研究室，昭和33 P.466
- 4) 弥吉光長：参考図書の解題，理想社，昭和30 (図書館実務叢書) P.148
- 5) 橘曙覧：福井県短歌人連盟 昭和43 P.161
- 6) 国学者伝記集成 第2巻 国本出版社 昭和9 P.1432
- 7) 石川了：初代笠亭仙果年譜稿 大妻女子大学文学部紀要，12号，昭和55 P.3
- 8) 黒川真道：黒川真頼伝，奈良書店，昭和54 (大正8年刊の複製)
- 9) 図書人を偲ぶ座談会(二) 図書館雑誌 35巻4号 昭和16 P.215
- 10) 黒川真頼全集，黒川真道編 国書刊行会 明治43，44年，全6巻
- 11) 近代文学研究叢書8 P.463
- 12) 日本教育文庫，同文館，明治43，44年 12巻
- 13) 日本歴史文庫，集文館，明治44，45年 15冊
- 14) 日本風俗図絵，同図絵刊行会，大正3，4年 全12冊
- 15) 土井重義：营造物としての東大附属図書館図書館雑誌，36年9号，昭和17 P.642

稿本類，⑤著者自筆本及名家手澤本，⑥大惣文庫本）が作成されている。この中に黒川春村の著作「音韻考證及附説 一冊写」と「音韻考證緊要鈔 一冊写」も含まれている。東大ばかりでなく明大，日大，専大の図書館もほとんどの図書が灰燼にきした。

東京の市立図書館は日比谷図書館を中心とし小学校附設の図書館を加えて震災直前には20館あり，その蔵書数225,547冊でサービスをしていた。特に深川，一橋，京橋の図書館は昼夜開館していたが震災により12館が崩壊し焼失図書総数は約半数（103,682）冊に達した¹⁸⁾。この復旧作業に際して「浅草本願寺内，深川八幡境内，京橋金六町，両国及神田駿河台ニコライ堂に各50坪のバラックを急造する事となった」¹⁹⁾という。私立大橋図書館も蔵書8万8千余冊とともに焼失した。²⁰⁾黒川家も「土蔵が三つあり8万余の書籍が収められていたが震災で二つの蔵が落ち，3分の2を焼失した。」²¹⁾崩壊した蔵は天と地の蔵である。

大正13年2月25日に蔵書整理の入札が浅倉屋書店と村口書房の主催で浅草小島町の黒川家の邸宅で三都の有力な書肆12，3人が集まり開催された。出来高は12,500余円であるという。²²⁾この時整理されたものは主として江戸時代の絵本類で，三代目の真道が『日本風俗図会』を編輯する材料に使われたものが大部分であったが，西鶴物の名作も多く出て未曾有の高値を呼び，『一代男』1000円，『一代女』1200円，『男色大鑑』1160円，『艶艶大鑑』（二代男）550円などという落札値が業界内外の耳目を驚倒させたという。²³⁾この西鶴物は書籍目録の「人」の蔵にあった。

2. 大戦後

大震災で焼け残った蔵（人）の資料は古書店に流れたものと家族の手許に置かれたものがあったが，第二次大戦後の混乱とインフレで家族の手許にあった資料も手放さなければならなくなった。「黒川家歴代の蔵書は戦後に書陵部と実践女子大学と本学〔ノートルダム清心女子大学〕に三分されて購入され，その主要部分である歌書関係が本学所蔵となった」²⁴⁾といわれるように昭和25年頃，千葉県市川市の黒川未亡人の許に疎開してあったものの中から「筒井氏の許に行ったある部分が纏って購入せられた。」²⁵⁾

ノートルダム清心女子大学は和歌・歌謡（904部，2770冊），物語・小説（68部，281冊），日記・紀行（18部，82冊），古代法制（69部，159冊），語学その他（22部，95冊）であり，実践女子大学²⁶⁾は物語・小説関係（313部，2286冊）であり，宮内庁書陵部²⁷⁾は日本文学概説（10部，51冊），和歌（13部，16冊），物語・小説（26部，55冊），日記・紀行（143部，212冊），国語（2部，4冊），教育（21部，55冊），仏書・日本史他（4部，6冊）で三分されたノートルダム清心女子大学，実践女子大学，宮内庁書陵部を合すると計1613部，6072冊である。

これらを書籍目録で検索すると一部は「地」の蔵にあったものもあるが，その大部分は「人」の蔵にあったものである。このことから「人」の蔵の約半分の図書が筒井氏によって売却されたことがわかる。

この他に黒川文庫の資料を現在架蔵している図書館には神道関係資料を昭和30年度文部省私立大学基礎設備補助金の交附をうけて購入した国学院大学図書館²⁸⁾，仏書関係資料を所蔵して

下、織田弾正記、清須合戦記、道家祖看記、南蛮寺興廢記、総見院殿追善記、(6)梅松論、明德記、応永記、永享記、(7)里見九代記、鴻台後記、国府台戦記、南総酒井伝記、房総治乱記、東源軍記、(8)応仁記、応仁別記、応仁乱消息、鎌倉大草紙、鎌倉大草紙脱漏、(9)鎌倉北条九代記上、(10)菅利家郷語話、清正記、(11)氏郷記、最上出羽守義光物語、(12)難波戦記上、(13)難波戦記下、冬夏難波深秘録、村越道伴物語留書、関難問記、(14)朝鮮征伐記、清正高麗陣實書、朝鮮南大門合戦記、(15)聚楽物語、大坂物語、秀頼事記一名、豊内記」であり、日本風俗図絵は「(1)和国百女、岩本絵巻、美人絵巻(師宣)、(2)和国諸職絵巻、姿絵百人一首(師宣)、(3)百人女郎品定(祐信)、絵本浅香山(師宣)、風俗鏡見山、(4)絵本常磐草(祐信)、絵本女中風俗艶鏡(祐信)、絵本鏡百首(祐用)、(5)大和耕作絵抄(流宣)、絵本和歌浦(貞武)、(6)絵本小倉錦(奥村政信)、(7)絵本江戸絵簾屏風(政信)、絵本御伽品鏡(長谷川光信)、絵本家賀御伽(同)、絵本花葛藟(鈴木春信)、(8)吉原美人合(春信)、絵本操節草(同)、(9)絵本江戸紫(石川豊信)、絵本名紋盡、絵本満都鑑(下河辺拾水)、絵本物見岡(関清長)、(10)絵本藻蘆草(北尾重政)、絵本世都時(同)、絵本吾妻扱(同)、(11)絵本吾妻の花(同)、当世かもじ雛形(安部玉腕子)、役者夏の富士(勝川春章)、絵本紅葉稿(同)、四時交加(山東京伝画)、(12)絵本江戸爵(喜多川歌麿)、絵本駿河舞(同)、青楼年中行事(同)」である。

1. 関東大震災

震災当時、東京大学附属図書館長であった和田萬吉は「大正12年9月1日(土曜日)午前11時50分頃近年稀有ノ地震アリ」の書き出しで始まる図書館焼失顛末記事¹⁵⁾を残した。これによると全大学建物の約半分が焼亡し、図書館は「創立50年間に蒐集セル内外古今ノ有用ナル図書約75万冊ヲ蔵シ其内約35万冊ハ各学部ニ配付セラレ、現ニ在庫ノモノ約45万冊ニ上リシガ、事務室用並ニ閲覧室常置ノ図書若干ノ外、悉皆烏有ニ帰シ、尚法学両学部ニ常置ノモノノ中約78万冊モ亦各教室、研究室等ニ於テ罹災センヲ以テ、通計約60万冊ノ損失ヲ見タル次第ナルガ、本館在庫中ニハ『旧幕府評定所記録類』『旧内務省地誌取調書類』『釜山文書類』『旧幕府社事領書類』『野々宮本』『廣幡本』『白山黒水文庫』『星野博士遺書』『西村茂樹遺書』『マクスミューラー文庫』『デルンブルグ遺書』『エンゲル遺書』『コーラー文庫』『神谷法学学士遺書』『フルベック遺書』等重要ノ集書アリ」と報告し、これは爆発物を取扱う教室が余りに近接して存在していたことが罹災の素因であった述べている。東大国語研究室は明治23年、言語取調所から寄贈された図書(510部、1416冊)を基礎として明治30年に設置され震災前6453部、17501冊を所蔵していたが震災による火災で約7割方(4682部、12058冊)を焼失した。運び出したもの1771部、5443冊で、この中、完全なものは3割弱(1717部、5091冊)で「古版本、古写本、摸刻本、著者自筆本、名家抄本の部は全部焼失し、摸写及摸刻本の大型のもののみ残った。

大惣文庫本では院本の全部、脚本の過半及笑話の全部を残し、洒落本、草双紙、絵本、滑稽本、音曲、川柳及和歌並に雑部は悉々焼失した。』¹⁶⁾という。焼失主要書目録¹⁷⁾(甲、特別書の部、①古活本、②稀観整版本、乙、普通書の部、①語学書、②文学書、③雑書、④研究室編集

語の下(図6の10行目)に記してある。この内容索引には「旧本今昔物語類標 一」と9点を1冊に纏めた索引「日本書紀／釈日本紀／著聞集／今昔物語／風土記逸文／常陸風土記／伊勢物語新釈／安齋隨筆／和歌今様類語類標 一」の中に見出される。春村と同時代の歌人、橘曙見(1812—1868)が「たのしみは数ある書を辛くして うつし竟えつつとぢて見るとき」⁹⁾と詠っているように春村もこのような心境で索引を作ったのであろう。

II. 黒川文庫の命運

黒川春村⁹⁾(1799—1866)は寛政11年に江戸浅草田原町に生まれ、通称は治郎左衛門といい、後に主水と改めたが、浅草庵守舎に従い狂歌を学び浅草庵の号(3世)を継いだ。弘化3年(1846)になって、この号を笠亭仙果⁷⁾(1804—1868)に譲り、自身は和歌を修めた。更らに狩谷掖斎(1775—1835)について古学を学び清水濱臣(1776—1824)、岸本由豆流(1789—1846)、伴信友(1773—1846)等と交わり考證学に専念し、濱臣、信友の没後は江都の物識りといわれた。著書は『国書総目録』の著者別索引で黒川春村の項を見ると136点があげられている。

黒川真頼⁹⁾(1829—1906)は群馬県桐生市の機業家、金子吉右衛門治則の長子であったが、7才のとき「夕立やしのをたばねてふる雨にかすかにきこゆ馬方のこえ」という和歌を詠む。13才のとき春村について国文・国語・音韻学を学び、春村没後、師の遺請により黒川の姓を名乗り家学を継承した。明治2年、大学に出仕し次いで文部省に移る。8年元老院、10年内務省に転じ博物館史伝課長心得となり、『工藝志料』を編纂する。12年、東京大学法学部、文学部の講師として日本古代法律と和文学を担当、18年博物館史伝課長兼図書課長、19年宮内省御歌所寄人、20年『古事類苑』編纂委員を拝命、21年文学博士の学位を受ける。同年東京美術学校の創立と同時に嘱託となり博物館学芸員を兼務する。24年東京音楽学校教授を兼任、26年帝国大学文科大学教授となり国語、国文、国史を担当する。31年帝国博物館鑑査委員、帝国博物館歴史部長心得、35年東大名誉教授となり文学・芸術・教育の各方面にわたって活躍するも明治39年8月没す。なお、明治25年(1892)に創設された日本文庫協会(日本図書館協会の前身)の会員であった。⁹⁾ 著作は多いが『黒川真頼全集』¹⁰⁾本文2578頁「(1)(2)考古書譜、(3)日本美術・日本工藝篇、(4)日本歴史・日本風俗篇、(5)日本制度・考證篇、(6)論説・日本文学・日本語学篇」の他に65点がある。

真頼には直吉、嘉市、伍市、真道、慶之助、真琴の6人の子供があったが、直吉は金子家を継ぎ、嘉市、伍市は早世したので真道¹¹⁾(1866—1925)が後を継いだ。真道は明治21年に東京帝国大学古典科を卒業し『古事類苑』編纂の嘱託となり帝国博物館に勤務した。豊富な資料に恵まれていたため、これらの資料を翻刻し『日本教育文庫』¹²⁾『日本歴史文庫』¹³⁾『日本風俗図会』¹⁴⁾等の編纂にあたった。日本教育文庫の内容は「(1)家訓篇、(2,3,4)訓誡篇、(5)女訓篇、(6,7)孝義篇、(8)学校篇、(9)教科書篇、(10)心学篇、(11)宗教篇、(12)衛生及遊戯篇」であり、日本歴史文庫は「(1)桜雲記、南朝記伝、伯耆之卷、光明寺殘篇、(2)四載紀聞、三州一向宗乱記、石山退去録、(3)将門純友東西軍記、奥州後三年記、保元物語、平治物語、(4)信長記上、(5)信長記

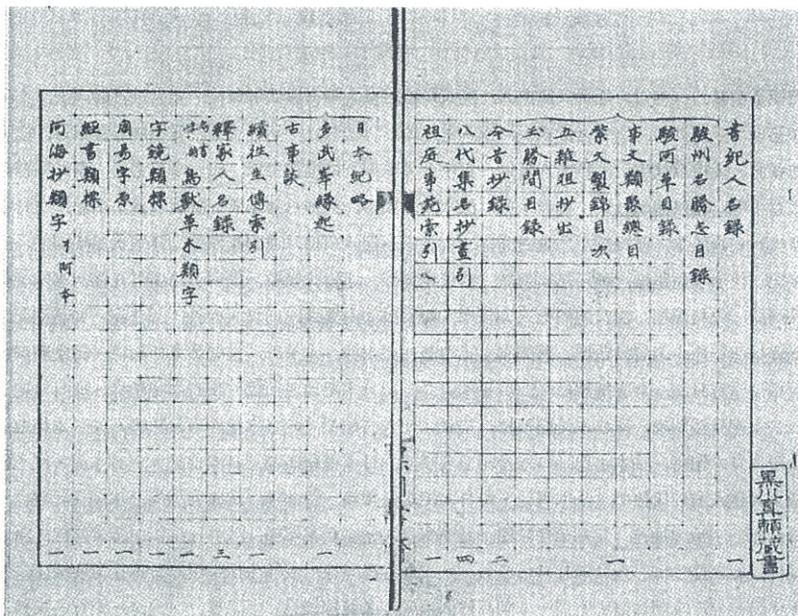
(表6) 索引類の内容別内訳

内容	部数	内容	部数
総記	18	語学	19
神道	9	日本文学, 総記	1
仏教	15	詩歌	37
日本歴史	51	小説・物語	45
伝記	17	隨筆	16
地誌	9	日記・紀行	8
法制, 薬学など	8	中国文学	11

類標茶標紙, (神道) 延喜式類標③, 儀式類標, 皇大神宮儀式解類標, 皇大神宮儀式帳, 古談深秘抄, 三種抄録, 豊受宮儀式帳, 祝詞考類標, (仏教) 一切經音義, 覚明註三教指帰, 桂川地藏記, 後拾遺往生伝, 釋家人名録, 釈教五種類標, 拾遺往生伝, 祖庭事苑索引, 多武峯縁起, 玉造小町, 秘密儀軌目安, 仏教字典, 法華驗記類字, 法華八講集成, 翻訳名義集類語, (日本歴史) 安齋隨筆, 家長日記, 黄白問答, 官職書, 儀式類標, 着物集類標, 江家次第類標②, 康平記, 使者部類類標, 稱号部類類標, 装束書類標, 諸陵式類標, 史料引用書目江家次第本朝雜抄同統, 史料類標, 西宮記類標, 大日本人物索引, 内裏式, 内裏式標目, 親元記, 知譜拙記, 知譜拙記類標, 調度鈔類標, 著聞集, 二中歴, 北山抄, 勾玉考, 雅亮装束抄類標, 御堂殿御記類標, 室町日記, 令義類標②, 釈日本紀②, 釈日本紀地名類標, 釈日本紀類標, 続日本紀, 続日本紀見要類標, 続日本後紀類標, 続日本紀人名類標, 続日本紀姓名録類標, 続日本紀地名類標, 日本紀略, 日本書紀, 日本書紀地名類標, 日本書紀類標, 日本書紀・釈日本紀・風土記逸文神仏人名姓氏類標, 日本書紀・釈日本紀訳語類標, 百練抄, 武家書類標, 本朝世紀類標, (伝記) 宇治大納言, 公郷補任類標, 元享釈書, 元享釈書類標, 三外往生伝, 諡号雜記, 諸家補任, 新修往生伝, 人名録并神仏の名, 姓氏録抄録類標, 続往生伝索引, 日本往生極楽記, 分脈伊呂波分, 本朝高僧伝索引, 本朝高僧伝類標, 名義抄捷見, 名字集, (地誌) 紀行名類抄, 古伝国分名寄以呂波韻, 駿州名勝志目録, 地名鈔類標, 地名録類標, 常陸風土記, 風土記逸文, 山城名勝志類標②, (法制他) 政事要略, 律令書類標, 類聚三代格, 類聚符宣抄年表, 尚書鳥獸草木類字, 本草和名, 農史類標, 猿樂考證(語学) 東鑑類彙稿本, 東鑑類標, 海人藻芥, 韻鏡類標, 古語拾遺②, 字鏡類標, 詔詞解類標, 消息類標, 書言故事類標, 新撰字鏡類語, 新撰字類標, 千祿字書類標, 七字書類標, 箋注和名鈔訓纂, 萬葉仙覚字類, 訳文釜踏類標, 山彦冊子, 類從字類類標, (日本文学) 隨看類標, (詩歌・狂言) 奥儀抄類標, 小嶋口號, 歌仙歌集伊呂波分, 歌仙歌集類標, 拳白集, 散木集類標, 拾玉藻, 新撰六帖類標, 千首百首類標, 草菴集類句, 曾丹集類標, 長明無名抄, 年波草類標, 廿一代集類標, 日本紀寬宴類標, 標次類聚類標, 仏足石之歌, 堀河兩度百首, 守武千句拳白集, 八雲御抄類標, 柘園類纂, 和歌今様類語, 和歌色波抄類標, 万葉集地名類標, 万葉集類標, 統詞花集, 河社類標, 古今六帖類標, 三代集檢語写, 八代集名抄画引, 六家集地名類標, 家集廿二種類標, 山家集, 金槐集類標, 袋草紙,

ということで、夕飯には御馳走が出て会食をする慣例になっておりました。³⁾と云われるように図書の虫干しを行ない保管していた。『書籍目録』に記録してある約3万6千冊の蔵書を日本十進分類法で類別すると技術・工学の類だけがなく、あらゆる領域にわたった集書(表5)で、あたかも文芸資料の専門図書館であった。

この2種類の目録の他に『書籍目録』地中の冊には「書紀人名録 一」で始まる索引が264部リストされている。これは特定図書の中の人名・地名または主要語を選んで、それぞれに本文中の掲載箇所を示した内容索引と考えられ、一著作物について数冊のものから複数の著作物の索引を1冊に纏めたものまでである(図4)。



(図4)

この中には黒川春村自身が著した「古今六帖類標 一」「猿蓑考證 十一」「標次類聚類標 十」「遊仙窟類標 一」や春村の友人であった岸本由豆流が著した「柘園類纂」、伴信友の「靈異記索引」⁴⁾等もある。また読書後、自分の関心をもった問題についての索引または心覚えと思われる「類標 茶標紙 十」も含まれているが、その大凡その内訳(表6)と索引類を記す。書名の次の丸で囲んだ数字は同一書名の点数であり、書名に類標とついていないものは合冊したものである。

(総記) 搗糞抄伊呂波分、淵鑑類函類標、群書類従、紀行部伊呂波分、同公事部伊呂波分、同装束書類々々、同連歌部伊呂波分、同候歌部伊呂波分、経籍兼言類標、五雜俎類標、雜詞抄録類標、雜書人名録、神中抄類標、塵添搗糞抄類標②、万葉録人名部并神名類標、万葉録類標、

順に仕分けして座右にある糊壺で順序よく野紙に貼付して作ったからであろう。

(表4) 色葉書目の点数

	部 数	冊 数
天 い〜け	1413	4045
天 ふ〜す	1356	3646
地 い〜よ	1242	4389
地 た〜て	1581	5698
地 あ〜す	1384	4346
人 い〜ま	1613	5577
人 け〜す	1634	6381
合計	10223部	34082冊

4. 蔵書構成と索引

研究活動の物理的環境は研究目標に関する蔵書量と、それを使いこなすことを可能にする索引との二変数の函数関係で示されるが、父、黒川春村の学問を継承した真頼は明治4年(1871)3月、浅草小島町の家を購入し居を定め公務の余暇に輪講会を毎週日曜日は午前、木曜日は夜間に自宅八畳の書齋で明治32年(1899)の発病まで行なった。

この書齋は座敷、応接所、食堂、寝室を兼ねた自由な小天地で日曜日は早朝より机に向い弟子達の質問を受け、また輪講の箇所を講釈し、昼食後、弟子達が帰った後は古書店へ行き図書を求めた。明治24年頃に土蔵を造くり八万余の図書を所蔵するまでになった。²⁾そして、これらの図書を天、地、人の蔵ごとに類別して収納し、その分類目録である『書籍目録』と書名目録である『色葉書目』を作成し、毎年の夏には「孫達全部が集まり、家中総掛りで本を一丁ずつリレー式にバラバラと繰って風を入れ、全部やり終ると、その日は一つの年中行事が終った

(表5) 蔵書構成

類別 (NDC)	蔵	比率
総記(書目, 雑書, 叢書)	天地	7.8
哲学(経書, 教訓, 神道, 仏教)	天地人	9.5
歴史(日本史, 地方誌, 東洋史等)	天地人	35.2
社会科学(法制, 経済, 風俗等)	天地	7.2
自然科学(天文, 医学)	地人	3.0
産業(農業, 水産業)	人	0.8
芸術(工芸, 武芸, 絵画等)	天地	4.7
言語(日本語, 中国語)	天地人	8.1
文学(日本文学, 詩・物語等)	天地人	23.7

け	慶長年代記	77	267	め	明治沿革史	35	175
ふ	扶桑略記	122	289	み	水鏡	58	174
こ	皇詔抜粹	348	1252	し	神代葦牙	564	1740
え	永日記	65	268	ゑ	衛禁律	7	12
て	帝王御次第	77	144	ひ	百鍊抄 写	63	187
あ	東鑑	100	296	も	文徳実録	32	88
さ	斉明紀童謡解	195	701	せ	西史年表	100	306
き	偽年号考	188	552	す	相撲起渡	28	98
ゆ	遊仙窟類標	14	17	計		4207部	14433冊

人之蔵			人之蔵				
	部数	冊数		部数	冊数		
い	犬おふもの馬場図	127	355	ゐ	井上通女道之記	2	4
ろ	牢溜人足 合	17	53	の	乃保利小旗采拝開書	24	64
は	配酌門目録	89	298	お	押羽織ノ図	68	245
に	蟻川記	43	68	く	元服ノ記	94	320
ほ	細川右京大夫御成記	107	463	や	大和流弓道之段	42	104
へ	兵家受用集	16	59	ま	魚板記	101	526
と	徳川氏制度	87	400	け	闕疑兵庫記	97	433
ち	女中仕立物調方記	98	260	ふ	武家装束類聚	120	660
り	律令要略	40	172	こ	婚礼管法目録	277	974
ぬ	沼田城破却記	1	1	え	袍衣納ノ巻	55	185
る	類聚流鏑馬次第	12	57	て	調度名所記	51	99
を	女駝方	21	65	あ	赤鳥副考	63	97
わ	和歌書詠	53	130	さ	雑々隨筆	146	720
か	錆劔刀考 合	152	417	き	弓馬諸礼	138	505
よ	万請取之書	29	75	ゆ	鞆緒留様	19	42
た	男礼	117	368	め	鳴弦	30	130
れ	礼節要抄	36	180	み	三好新造ノ亭工御成記	52	104
そ	続地方落穂集	60	336	し	進納礼口伝	378	1693
つ	積形目録	48	151	ゑ	繪本野山草	19	63
ね	年賀式	18	30	ひ	百ヶ条口伝書	53	100
な	難波後記	39	93	も	文選旁訓大全	27	91
ら	老子経	9	46	せ	制度考	109	485
む	村越道伴物語留書	26	48	計		3247部	11958冊
う	うのはな衣	37	189				

色葉書目の各冊ごとの点数(表4)は書籍目録より少ないが、これは野紙に見出し、書名、蔵、冊数を「人の使い捨てた穂先のぬけた筆で書き」¹¹⁾これを大きな鉄で切りとって、いろは

り	律尺考驗 合	24	48	く	花洛細見図	100	920
ぬ	専菜草紙	2	2	や	大和耕作絵抄	38	149
る	類聚国史 合	10	55	ま	増鏡考 合	29	54
を	尾張国大須真福寺宝生			け	言有物斉書目	55	150
	院経蔵抄目	18	34	ふ	佛像図彙	93	181
わ	和漢軍書要覧	27	73	こ	御所なその本	246	642
か	寛政二年御遷幸	165	320	え	栄花物語	36	94
よ	用語類纂	22	62	て	天工開物	43	170
た	大明三蔵聖教目錄	101	203	あ	扇之記	62	160
れ	蓮門類聚経籍録	19	41	さ	参議要抄	113	253
そ	粟賦類	70	280	き	金石文字墨帖一覽	121	296
つ	通俗編	18	26	ゆ	遊女図	17	22
ね	年々隨筆	13	31	め	名所采	20	66
な	南都薬師寺金石記	57	122	み	都風俗化粧伝	38	77
ら	禮記王制地理図説	6	32	し	新百人一首	368	1176
む	武蔵国式内四十四社神			ゑ	画本年中行事	18	51
	社命附 合	26	39	ひ	菱川百女図	57	138
う	雲図抄 合	30	69	も	孟子井田辨	22	49
み	位牌書 合	6	15	せ	前賢故実	75	211
の	能登国郡村名記	9	15	す	姿絵百人一首	27	60
お	奥村政信古絵	39	92		計	2769部	7691冊

地之蔵		部数	冊数	地之蔵		部数	冊数
い	池の藻屑	135	397	た	たまの真はしら	145	692
ろ	六国史要覧	11	76	れ	鎌中抄	61	340
は	はなさくまつ	74	164	そ	続日本五代一覽	93	358
に	日本書紀見例備考	154	635	つ	月のゆくへ	29	76
ほ	本朝年代紀	149	403	ね	年代珍事留	14	38
へ	平家物語評判瑕類	42	180	な	南木誌	87	239
と	東京天変地災	117	363	ら	學生抄	7	9
ち	長享天正年間略表	115	483	む	室町記	18	53
り	両音辨疑	39	87	う	上記鈔訳	47	138
ぬ	縫殿寮式	3	3	み	猪熊関白記	2	4
る	類聚国史考異	29	262	の	能之図	19	83
を	岡屋関白記	28	66	お	大八洲史	95	282
わ	王代一覽餘編	84	424	く	愚管抄	168	802
か	春日山紀	232	750	や	野史纂略	58	217
よ	世々概覧	30	96	ま	増鏡	49	147

地図は「実測日本地図」他の大日本国図類と「諸国独案内記」他の諸国図類、「淀川筋」他の海川筋図類、「大明九辺路程全図」他の外国図類、「安政新内裏之図」他の京都図類、「長祿年中図、狩野閑川旧蔵 一」他の江戸図類、「浪速上古図并図説」他の畿内図類、「改正関八州之図 小本」他の東海道諸図、「近江」他の東山道諸国図、「備前国児島郡藤戸図」他の山陽道諸国図、「紀伊」他の南海道諸国図、「丹波国大絵図」他の山陰道諸国図、「若狭」他の北陸道諸国図、「九州海上之図」他の西海道諸国図、「松前」他の北海道諸国図で300点ある。

『書籍目録』8冊と『金石図書目録』1冊に記録された点数は11479部、36239冊である。

(表2) 書籍目録と金石図書目録の点数

	部 数	冊 数
書籍目録 天上	1411	4575
〃 天下	1323	2970
〃 地上	1673	6468
〃 地中	1272	3752
〃 地下	1587	4643
〃 人上	1427	5156
〃 人中	916	2880
〃 人下	1213	5138
計 8冊	10822	35582
金石図書目録	657	657
合 計	11479部	36239冊

3. 色葉書目

『色葉書目』は7冊あって、天、地、人の蔵に収蔵されている図書の書名を蔵ごと、いろは順に配列したものである。書籍目録と同一の野紙に見出し語1字と書名、蔵、冊数を書き、これを切りとって野紙に糊で貼付したものである。時間が経過しているため割がれた箇所(図3)もあるが、それぞれの冊について各見出し語の最初の書名と各見出し語の下にある部数、冊数を示す。

(表3) 色葉書目、各見出し語別の点数

天之蔵		部数	冊数	天之蔵		部数	冊数
い	岩木糸つくし	93	211	ほ	本朝書籍目録	100	248
ろ	陸西遊行囊抄	13	25	へ	辨疑書目録	32	67
は	博物館書目	68	162	と	唐土訓蒙図彙	109	232
に	女芸三才図会	54	99	ち	地誌書目稿	60	169

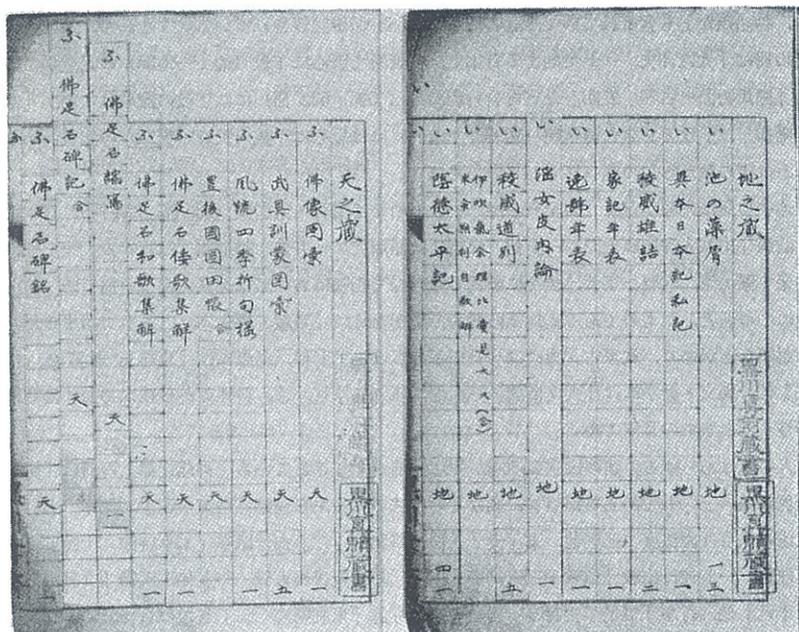
育、物語類なども含まれていて、計4532部、14863冊が記録されている。すなわち、地蔵之部上の冊は「大八洲史 一」で始まる日本史関係資料で版心に丁数（地1—地35）の記載があるが「源氏物語 古写 五四」などを含む物語類（55部、632冊）には丁数の記載はない。「語学階梯 二」などを含む語学類（169部、281冊）には版心に丁数（天17—天22）の記載があり、これは天の蔵から地の蔵へ移したものであろう。

地中の冊は内題がなく「書紀人名録 一」で始まる書目・索引類（266部、341冊）、日本地方誌類「山城大和国風土記 一」他、漢籍「漢語類從 一」他、神道類「二宮年表 一」他、神楽・催馬楽、教育、工芸、法令に類別した目録で当初においては地蔵之部下の冊であったが後に中の冊としたものである。地下の冊も内題がなく、「東鑑 應永本 二五」で始まる軍記物語類などがあり、武家古文書には「真田家分限帳 二」他、書画には「東洋絵画叢誌 十五」他、天文・暦学には「天文俗談 一」他、諸芸には茶、香、料理等から往来物類「庭訓往来抄 三」までの目録である。

人の蔵はあらゆる主題の図書3556部、13174冊が記録されている。神蔵之部上の冊は「御仕置例類集 三〇」で始まるが婚礼、簇などの礼法の図書から農業「地方落穂集 板本 七」他、武家の法令「諸法度 三」他、東洋史「元明史略便蒙 二」他、医学「本草啓蒙 十四」「薬名便覧 一」他、宗教「仏教十二宗綱要 二」・「新約聖書馬太伝 一」他、漢籍「文献通考纂 十八」他、行事「恒例年中行事 二」他、世界誌「米利堅志 二」までの目録である。人下の冊は巻頭内題に「神蔵之部下」とあり「柳営史 五八」から始まる日本史関係資料と「宇都保物語 校本 三〇」「今昔物語 片假名 二六」を含む物語類が大部分である。人下の冊には内題がなく「島原出役之物頭ヨリノ書状 一」から始まるキリシタン史料と「歌かたり 一」「八代集抄 五〇」「古今和歌集遠鏡 小本 六」などの勅撰集、八代集と黒川真頼蔵書の長方形朱印ある箇所（23丁）で「万葉集秘決 四」の私撰集、「夫木和歌抄 三七」などの類題集、「慶長千首 一」「永久百首 書入本 一」などの定数歌、「今様職人尺歌合 二」などの歌合「三十六家集 本願寺本 三四」などの家集、「蜀山人狂歌百首 一」などの狂歌・狂文、「連歌茶談 前編 一」や「俳諧史伝 一」などの連歌・俳諧関係の歌学資料である。なお「狂歌大体 一」の後に一行空きで「根南志具佐 一」などの滑稽本、仮名草紙、浮世草子があり、巻末に「大臣名 一」「帝王御譜 一」と辞典類が「座処置備書目」として記録されている。

2. 金石図書目録

金石図書目録の冊は金石目録イ印とロ印、図書目録ハ印、地図の四つに区分されている。金石目録イ印は「一 山城北野神宮寺鐘 延徳3年」から「イ七十八 国未詳仙頭山碑」まで、ロ印は「一 紀州密寺鉄塔石柱銘 永和」から「二百十七 董其昌書 欽中八仙歌 12枚」まであり、図書目録ハ印は「一 吉備公像」から孟子像、道真公像、武田信玄像などの肖像画が多く「六十二 軍配团扇」まであり、この中「九 松花堂三十六歌仙」「十二 三十六歌仙 本阿弥光悦自画讃」「廿六 伎楽之図面」の3点が朱書きで「巻物トス」と記されている。



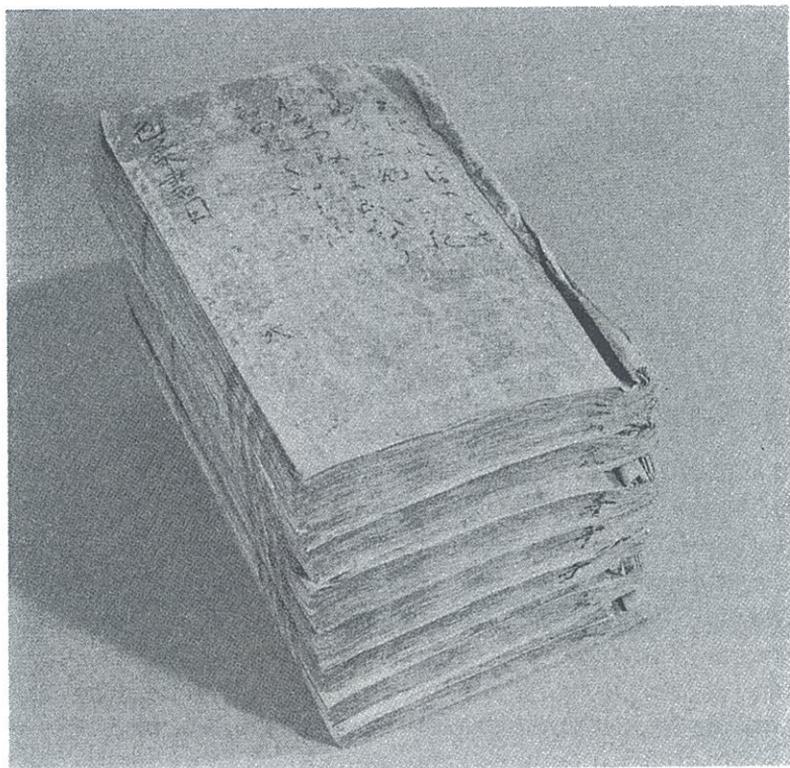
(図3)

『書籍目録』の天上、天下の各冊には巻末に「明治20年8月10日一校了 光長」と地上、地中、地下の各冊の巻末には「明治20年8月29日一校了 光長」の識語があるが他の冊にはない。各冊の丁数の合計は1359丁(表1)である。

1. 書籍目録

書籍目録は天、地、人の蔵ごとに図書を類別し、罫紙に書名と巻数を記録したもので、各冊とところどころに書入れと欄外上部に朱と黒で符号「○」「▽」「□」が記してある。各蔵の大凡その内容と、その数量を示すと天の蔵には書目、叢書、地方誌、名所図会、系譜、随筆、装束、官職、儀式典礼、武芸に類別されていて計2734部、7545冊が記録されている。すなわち、書籍目録、天蔵之部上の冊は「都風俗化粧伝 三」で始まるが、書目には「蓮門類聚経籍録一」など、叢書には「群書類従、明治20年7月調、六三九」他、地方誌には「秩父風土記一」他、名所図会には「和泉名所図会 四」他、系譜には「後深草天皇以来御系図附官方系図一」などの目録であり、系譜(489部、1158冊)が一番多い。天蔵之部下の冊は「随見即誌 六」で始まり、装束には「文化13年御転任之節新調御装束 一」他、官職には「禁秘鈔古板本 二」他、儀式典礼には「有職問答 五」他、武芸には「犬追物馬場法用 一」などがある。

地の蔵は日本史の史料と伝記が大部分であるが、語学、書目・索引、漢籍、神道、諸芸、教



(図2)

(表1) 黒川家蔵書目録の丁数

目録	丁数	長方形朱印	目録	丁数	長方形朱印
書籍目録天上	91	巻初「黒川真頼蔵書」朱印ある	色葉書目		各冊巻初に「黒川真頼蔵書」
同 天下	71	同上	天 い〜け	97	「黒川真前蔵書」がある
同 地上	96	同上	天 ふ〜す	81	
同 地中	75	同上	地 い〜よ	84	
同 地下	98	同上	地 た〜て	107	
同 人上	79	同上	地 あ〜す	88	
同 人中	50	同上	人 い〜ま	109	
同 人下	80	23丁にある	人 け〜す	100	
金石図書目録	53	朱印ない			

みえる。天、地、人の蔵ごとの蔵書を書名のいろは順に編成した『色葉書目』の各冊には巻初に「黒川真頼蔵書」と「黒川真前蔵書」の朱印がある(図3)。

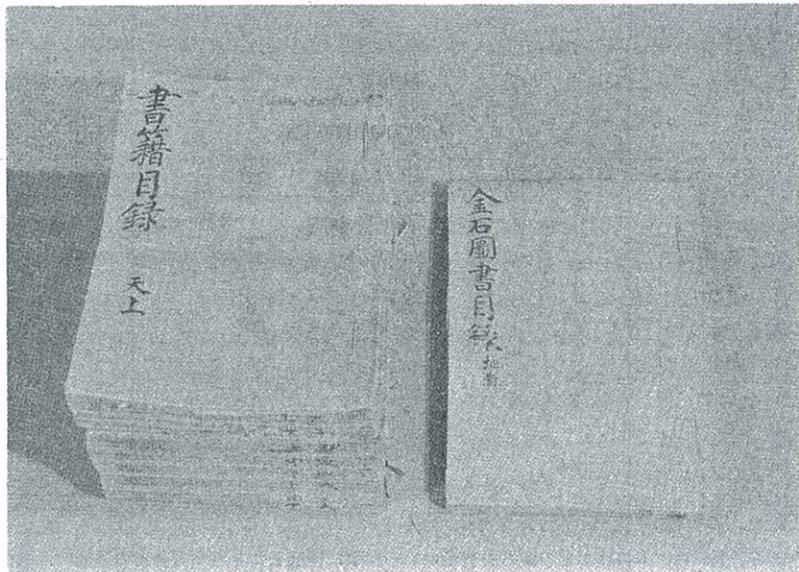
黒川文庫

永田清一

I. 黒川家蔵書目録

黒川真頼家蔵書目録には2種類ある。一つは表紙が朱色の『書籍目録』8冊と『金石図書目録』1冊であり(図1)、一つは表紙がねずみ色の『色葉書目』7冊である(図2)。

いずれも半紙本(25×17cm)で版心に「黒川書齋」と印刷した野紙(20×20行、朱・黒の2種)に図書を類別して書名と巻数を書き、これを50枚ないし100枚重ねて紙捻で前と後の両面に表紙を添えて綴じた袋綴である。版心に丁数のあるのは天上、天下、地上の3冊だけで他の13冊にはない。各冊の巻初に蔵書印(長方形朱印)があるが『金石図書目録』にはない。『書籍目録』の蔵書印は「黒川真頼蔵書」で人下の冊は加除したため23丁の「萬葉集秘決」の下に



(図1)

実践女子大学図書館所蔵

黒川文庫目録【新版】

二〇一一年三月二六日 発行

編集 実践女子大学図書館
発行 実践女子大学文芸資料研究所

東京都日野市大坂上四一―一
bungei@jissen.ac.jp

印刷 インフォテック
株式会社

東京都多摩市落合二一六一―一
<http://www.infotec.co.jp/>

実践女子大学文芸資料研究所
年報 第三十一号 別刷
平成二十四年三月三十日 発行

黒川文庫目録
【新版】
追補稿

文芸資料研究所 編

黒川文庫目録【新版】追補稿

文芸資料研究所編

黒川文庫目録の追補について

黒川文庫目録【新版】正誤表

A 黒川文庫書誌解題 正誤表

B 蔵書印譜（抄）正誤表

C 書名索引

D 人名索引

黒川文庫目録の追補について

二〇一〇年度末、ここ数年來の懸案であつた、本学図書館のコレクションの中核のひとつ黒川文庫の目録『黒川文庫目録【新版】』（全三三〇ページ）を刊行することができた。同年度の学内特別研究「近代初頭期における古典籍蒐集の文献学的研究とその展開——黒川春村・真頼・真道と黒川文庫をめぐる考察——」の補助金による刊行であつた。旧版から四三年を閲して蔵書は増え、専門的用途にたえうる目録の必要性は私ども自身が強く感じるところではあつたが、点数は限られるとはいへ、多岐にわたる蔵書の整理はかなり困難なものに思えたものである。

調査にかける時間の制約や、担当者である私どもの力不足の自覚もあつたため、公表するにあたって不安は尽きなかつた。しかし、手前味噌かも知れないが、案外にも好評をもつて迎えられる感がある。特に、今回の眼目のひとつ、目録に登載した書目全部の図版を掲載する、という試みについての感想を頂くことが少なくなかつた。刊行後に、諸方面から残部の要望を頂いたものの、予算の関係で部数が限られていたため、研究機関を中心に配布せざるをえず、心ならずも要請に応えられないところもあつた。

さて、かくして図書館のコレクションには、まだ山岸徳平博士の旧蔵本からなる「山岸文庫」、さらに渋谷時代からの蓄積になる「常磐松文庫」があり、これら大物についても以前より学外から目録の作成を要請されていた。私どもも責務と認識しており、黒川文庫のそれが一応かたちになつたところで次の一步を踏み出すべきであると考える。

ただし、今回の『目録』は、幾分か的好评を頂いたとはいえ、なにせ急卒の所行であった。まず、作成した本人の私どもにも誤りの箇所が発見されたし、不充分とは知りつつ、締め切り時間に追われて割愛した部分もあった。割愛とは、たとえば「書目索引」などがそのひとつである。次の段階に進むためにも、まず足場を固めてから出発したい。今回、ここに「正誤表」「索引」など追補の稿を積み重ねる理由である。

なお、いまだ不充分、誤り多しの譏りを免れがたい。各位には、よろしくご斧正の労をお願い申し上げる次第である。

二〇二二年三月

実践女子大学文芸資料研究所長

横井 孝

黒川文庫目録【新版】 正誤表

A 黒川文庫書誌解題 正誤表

書誌用語は、各書に個性のある場合があり、しかも本目録は共同作業の所産であつて、大きく整理をくわえたもの、微細な点では統一しきれていない憾みがあるかも知れない。凡例に記したとおり、表紙文様については国文学研究資料館『調査研究報告』第二五号別冊(二〇〇四年一月)を一応の標準とし、他の用語については『日本古典籍書誌学辞典』(岩波書店、一九九九年三月刊)を標準とし、藤井隆『日本古典書誌学総説』(和泉書院、一九九一年四月刊)、堀川貴司『書誌学入門』(勉誠出版、二〇一〇年三月刊)などを参照した場合があるが、なお十分ではない。ここでは単純な誤記、脱漏、誤植等についてのみ一覧表にした。学外からの、たとえば浅田徹氏等のご指摘を頂いたところもある。謝意を表したい。なお、今後とも各位にはご教示を賜りたい。

番号	書名	頁・行数	項目	誤	正
1	たけとり物語	一一下4 一一下7	〔備考〕 〔参考〕	昭和九年 (記載なし)	明和九年(一一七二) 山崎正伸「黒川文庫蔵『竹取物語』 関係書籍について」(文芸資料研究

22	山口記	二八上1	著者名	(記載なし)	飯尾宗祇
21	山口記	二七下1	著者名	(記載なし)	飯尾宗祇
20	伊勢物語私抄	二七上1	著者名	(記載なし)	里村紹巴
17	惟清抄	二四下15	(備考)	宗尤は清原宣賢の外祖父。	宗尤は清原宣賢の号。宣賢は細川幽齋の外祖父。
16	闕疑抄	二四上1	(備考)	也足軒素然(九条種通)	也足叟素然(中院通勝)
14	和歌知頭集	二二上5	(外題・内題)	(内題記載なし)	内題「和歌知頭集」
10	日本伊勢物語考異	一九上5	(外題・内題)	内題「伊勢物語卷上(下)」考異、尾題「伊勢物語考異終」	内題「伊勢物語卷上(下)」考異、序題「楷書勢語」、尾題「伊勢物語考異終」
7	真名伊勢物語	一七上5	(刊記)	二條通鶴屋町	二條通
6	真名伊勢物語	一六上14	(備考)	…朱筆による片仮名による振り仮名が加わる。	…朱筆片仮名による振り仮名が加わる。
4	伊勢物語〔角倉本〕	一四上8	(印記)	〔光鴻〕	〔光慎〕
		一四上15	(識語)	〔光(印)〕印	〔光慎〕印

所「年報」第一九号、二〇〇〇年三月

23	伊勢物語奥旨秘訣	二八下12	〔印記〕	〔津宅連長□□〕	〔津守連長□□〕（朱印）
24	後水尾天皇勢語御講抄	三〇上1	〔奥書・識語〕	「…おもひも出よ水くきのあと／＼享保十二……」	「…おもひも出よ水くきのあと」享保十二……」
28	伊勢物語童子問	三二下3	〔内題〕	（内題記載なし）	内題「伊勢物語童子問」
31	勢語臆断	三四下13	〔刊記〕	「此書契冲自筆本……」	「此書以契冲自筆本……」
37	伊勢物語箋	三九下5	書名	写本、三卷、三冊	写本、二卷、二冊
38	伊勢物語註土代	四〇上1	〔外題〕	伊勢物語土台	伊勢物語註土代
46	大和物語直解	四五下1	著者名	賀茂真淵	賀茂真淵著、安田躬弦編
53	うつほ物語	五一下11	〔刊記〕	「延宝五丁巳……」	「延宝五丁巳……」
54	宇津保物語	五二下2	〔表紙〕	黄土色植物文様型押	芥子色唐草文様型押
64	源氏物語好聞抄	六一下15	〔参考〕	（記載なし）	野口元大「黒川文庫「清水浜臣本うつほ物語」解題」（文芸資料研究所『年報』第一九号、二〇〇〇年三月）
			〔参考〕	伊井春樹「源氏物語注釈書・享受史事典」（平成一三年東京堂出版）	野村精一「『好聞』所引「九条殿ノ抄」について―孟津抄校訂遺事（五）」（『研究と資料』二〇輯、一九八八年（二月））

155	枕草子	一四〇上11	〔刊記〕	初夏初旬	初夏上旬
154	枕草子〔古活字版〕	一三九上12	〔参考〕	(記載なし)	川瀬一馬『増補古活字版の研究』第 三種本(寛永中刊十三行本)(八) 種と同版。実践女子大学所蔵優品録 二『古活字版好色本 赤本 歌舞伎 雑の部』(文芸資料研究所、二〇一 〇年四月)
129	とりかへばや	一一八下9	〔印記〕	(記載なし)	各冊末尾「和楽／斎」(単郭朱印)、 第五冊裏見返し「筒井蔵書」(丸朱 印)
118	狭衣下紐	一一〇下2	〔識語〕	ところく	ところく
113	狭衣〔古活字版〕	一〇六下12	〔参考〕	優品二	優品録二
112	さころも	一〇六上5	〔参考〕	(記載なし)	渡邊道子「黒川文庫十二冊本」さこ ろも」翻刻」(『物語史研究の方法と 展望・論文篇』実践女子大学文芸資 料研究所、一九九九年三月刊)
100	栄花物語	九六下1	〔識語〕	(第十冊目)	(第十冊目) (太字の表示)
70	花鳥余情		〔備考〕	「68 六六と……」	「69 六六と……」
67	源氏物語	六四下2		版本(四〇冊)、補 写本(六冊)	版本(四二冊)、補写本(四冊)

316	281	280	255	247	231	222	203
水鳥記	職原鈔仮名註	仮名職原抄	しみのすみか物語	尤のさうし	こうろき物語	小督物語	撰集抄
二六七上10	二四四下	二四四上	二二五上2	二一八上14	二〇四上14	一九六下13	一八〇下1 一八〇下12
〔参考〕	著者名	著者名	〔表紙〕	〔備考〕	〔参考〕	〔参考〕	書名 〔参考〕
(記載なし)	壺井義和	壺井義和	布目地の表紙	247 『つくし船』	(記載なし)	(記載なし)	撰集抄〔古活字版〕 (記載なし)
(文芸資料研究所、二〇一〇年四月)	壺井義知	壺井義知	布目地表紙	248 『つくし船』	渡邊亜紀「黒川文庫蔵『こうろき物語』解題・翻刻」(文芸資料研究所『年報』第二二号、二〇〇三年三月)	渡邊亜紀「黒川文庫蔵『小督物語』解題・翻刻・影印」(文芸資料研究所『年報』第二三号、二〇〇四年三月)	実践女子大学所蔵優品録二「古活字版好色本赤本歌舞伎雑の部」(文芸資料研究所、二〇一〇年四月)

B 藏書印譜（抄）正誤表

黒川文庫本の藏書印の多様さは『目録』のとおりであり、なおかつ印記の読みは十分ではない。相変わらず「（抄）」と証するゆえんである。各位のご教示を俟ちたい。ここにはその後の補充調査の一部をあげた。

頁・所在	誤	正	備考
281・右下	関竜堂藏	闇章堂藏	
285・左中	菊□氏藏書印	柴□氏藏書印	
286・右下	元邑堂	元良堂	
286・左中	尚古堂	尚古齋	
288・右上	近亭	欣亭	
288・右中	「杉園藏」	「杉園藏」	
288・右下	椎通屋	椎迺屋	
289・右上	静岡県図書印	静岡軒図書印（尾藤二洲）	
295・右下	万物静観習由□	万物静観皆自得	
297・右上	藤原祐庸	藤原祐膺	
298・右下	横□	横山	
300・右上	□井十足藏印	長井十足藏印（長井十足）	
300・右下	□輔堂秘書記	会輔堂秘書記	
300・左上	□□	安清	
301・右上	東楼	愛日□	
301・左下	□□内印	□古齋	

302 ・ 左 上	302 ・ 右 中
津宅連長□	(記載なし)
津守連長□	藤垣内印 (本居大平)

黒川文庫目録 人名索引

人名(別称・資料掲載名等)

掲載資料番号

阿州候

一四六

飛鳥井一位

二四

荒木田麗

二五八・二五九・二六〇・

会田芳園

一六〇

二六一・二六二

會田安昌

一六〇

阿羅為氏

一五八

秋田屋市五郎

一九四

在原業平(業平)

五・一八・三一

秋田屋平左衛門

三五・二六三

粟田口桂羽直起

二二九

秋田屋平左衛門

七五

安藤為章

九三・一〇三・一〇四

秋山亭(秋)

一〇〇

秋山不羈

二一五

朝倉八右衛門

三五

飯尾宗祇(宗祇法師)

二二・九〇

浅田弓槻(岸本由豆伎)

二四二

伊木半七

二八〇

足利義澄(法住院義澄)

二二〇

石井至毅

三五

足利義尚(源義高・常徳院内大臣義尚)

二二〇

石川雅望

八三・八四・

い

和泉屋吉兵衛 二五五・二六五
和泉屋庄次郎 二二三
和泉屋庄次郎 三五・三六
出雲寺和泉掾 九一
出雲寺文治郎 九二・九四
出雲寺文次郎 二六三
出雲寺万次郎 二四六
伊勢 一八
伊勢貞丈(平貞丈) 一〇三
伊勢屋新兵衛 二八二
板谷桂舟 二二九
市川久□□ 一六七
一条兼良(二禪) 六八・七〇・一七二
一華堂切臨(切臨) 一九・四三・四七・一一八
佚斎樗山 二五六・二五七
井筒屋六兵衛 二七九
伊藤栄跡 二六四
伊藤甚右衛門 二九四

伊藤弘篤 二〇〇
伊能預則 四五
井上文雄 四五
井上頼国 八三
茨木春朔 三二六
茨城多左衛門 二
井原西鶴 二七八
今川範政 八五・八六
今出川晴季 二八二
岩崎 五一
韻勝閣主人 一八三

う

上田秋成 三〇・六一・九一
植村藤右衛門 三三・三五・三六

内田おり代雅女 二四
内田代雅 二四
梅の屋保足 二二六

梅村三郎兵衛

二〇八・二五四

芸窓師

三九・一八三

え

永樂屋東四郎

二

恵比須屋市右衛門

二二一

お

近江屋庄右衛門

二五四

大井右近

二五〇

大江富元

六九

大川鏡吉

二三〇

大久保西山

五二・一〇八

南畝主人 (大田南畝)

二二八

大塚嘉樹 (橋老師・子敏・蒼悟・市郎右衛門)

二八一

大槻文彦

二〇一

大野木市兵衛

二四八

大宅園成

二三

岡孝

一九一

岡田真

一二五・二二九

岡田屋嘉七

三六・二一三・二六三

岡西惟中

一六三・一六四

岡村庄助

二

岡本保考

四六・一〇六・一一一

岡吉胤

二七二

奥田彌三郎

二二二

小倉候 (小倉)

六一・六二

乙州

二五一

小野道風

一一〇

帯屋甚右衛門

一八一

小山田与清

一九二・二八九

か

加賀屋弥助

三六

加川元厚

二六六

花鴈園

八九

廓應亭

二七六

狩野掖斎(掖斎)

一九七

鹿島則文

一三八

上坂勘兵衛

一六〇・三二五

柏原屋清右衛門

二〇一

賀茂重誠

四〇

柏原与左衛門

二五三

賀茂季鷹

二一一

柏屋兵助

八一

賀茂直兄

四〇

柏屋重鑑

二三九

鴨長明(長明・蓮胤)

一六六・一六七・一六八・

柏屋重浪

四六

一六九・一七〇・一七一

荷田春満

二八

賀茂真淵

一・一一・二九・三四・

勝村治右衛門

二四八

(岡部真淵・真ふち)

四六・六二・二六六

葛城長兵衛

六一・六二

狩谷掖斎

一八六・二〇一

加藤磯足(梅の屋)

一二六

狩谷望之

一九七

加藤宇万伎

九一

川勝五郎右衛門

一八一

加藤才次郎

二二三

川口氏友女

一〇〇

橋千蔭(加藤千蔭・千蔭)

六二・六七・二一一

川嶋叙清

二五一

加藤千浪

四五

河内屋卯助

二

加藤直種

二七一

河内屋儀助

三六・一六六

加藤盤齋(盤齋)

三九・一五八

河内屋吉兵衛

一九七

兼孝

七三

河内屋喜兵衛

二・三

河内屋太助 三

河内屋藤四郎 三六・二二三

河内屋藤兵衛 二二三

河内屋八兵衛 一九四・一九五・一九六

河内屋彦兵衛(彦兵衛) 一九五

河内屋茂八 二〇一

河内屋茂兵衛 三六・二二三

き

喜阿 六九

義淵 一〇三

菊屋七郎兵衛 二五一・二五四

岸本由豆流 一三・三八・一一四・

(由豆流・弓楸・弓弦) 一四〇・一四七・一八七・

二二二・二三三・二四八

北島親房 二七九

北村季吟 二五・二六・二七・四八・

五〇・七七・八〇・一六〇・

一六一・一六二・一七七

北村湖春 九五

北村久備 九四

吉川為章 一三五

城戸市右衛門 三六

木村次郎兵衛 二二一

汲古学人 二五

仰古亭主人 二二九

虚室生白 二五三

玉華堂 二六九

清原宣賢(環翠軒宗尤) 一七

清原秀賢 二七九

く

草野御牧 四五

九条種通(九条・九条禅閣・也足軒素然)

一六・三九・七三

邦高親王(伏見院) 一〇〇

熊沢蕃山 八九

蔵原祐庸 七八

栗原次良兵衛 二五七

栗原柳庵 一六五・三二一

黒川氏 三一九

黒川春村 九九・一三四・一三六・
一四四・一七〇・二八一・
三一五・三二四

(春村・芳蘭・薄齋)

黒川福蔵 三二七

黒川真前(真前) 五二・五五・七一・七七・
一三九・一四三・一五四・
一五五・一六一・二一九・
二六六・二六八・二六九・
二七二・二八二・二八三・
二八五・二九〇・二九二・
二九三・二九六・二九七・
二九八・三二三・三二四・
三二五・三二六・三二七

黒川真道(真道)

一〇・二二〇・二二二〇・
四二〇・一〇六・一〇八

一一七・一一九〇・一二二・

一二四・一二六〇・一五一・

一五三〇・一五八・一六〇

一八四・一八六〇・二四一・

二四三〇・三〇〇・三〇二・
三一六〇・三一八・三二一・

三二三〇・三二六

黒川真頼

(金子真頼・真頼・平真縁)

一〇・一三・一六・一七・

一九・二二〇・三〇・三二・

三三・三五〇・四一・四三〇

四四・四七〇・六一・六三〇

六六・六九〇・七〇・七二〇

七四・七六〇・八八・九〇・

九二〇・九五・九八・九九〇

一一三・一一五〇・一一七・

一一九〇・一二四・一二六・

一二九〇・一三五・一三八〇

黒川光長

二七〇

一四〇・一四三・一四五・

黒沢

二八一

一四七・一四八・一五〇・

一五四・一五五・一五七〇

契沖

一一・三一・三二・五三・

一七三・一七五・一七八〇

景儔

七八・一四七・二〇九

一八〇・一八二〇・一八四・

景儔

二四

一八六〇・二二二・二二四・

景帝

二二〇

二二五・二二七・二二二・

慶福院

一五七

二二四・二二五・二二七〇

兼載

二一六

二二九・二三三〇・二四〇・

猷帝

二二〇

二四二〇・二四四・二四七・

顯如

六五

二四八・二五〇〇・二五三・

二八八

五三

二五五〇・二六三・二六六・

二八八

九一

二六八・二七三〇・二八六・

二八八

二二〇

二八八〇・三〇二・三二〇・

三二一

三二七

三二一〇・三二二・三二七

三二一

三二七

三二一〇・三二二・三二七

三二一

三二七

三二一〇・三二二・三二七

三二一

三二七

八四

高祖

二二〇

高載陽

九一

弘園吟社

二九九

箇庵主道人

五三

こ

け

勾当内侍

二三二

坂田諸遠

二九六

光武

二一〇

前左大臣藤原

二九〇

後光厳院

一四三・一四四・一五六

笹田誠山

九五

小嶋市郎衛門

一九

佐竹義路

二四

小嶋彌左衛門

一九

貞久

一七三

小杉楯邨

一五一・三〇四・三三三

貞益

二八〇

後土御門院

二三二

雑学菴主人

二六二

小中村

六二

佐藤硯湖

二四一

後水尾天皇

二四

里村紹巴(紹巴)

二〇・七一・一一八・

小宮山昌世

二九一

一一九

近藤圭造

三二八

澤田庄左衛門

七・八・一五五

近藤瓶城

三二七・三二八

三条西公条(称名院)

一七・七二・七三

崑崙服夫

二二九

三条西実澄(西三条実澄)

七二

三条西実隆(実隆・逍遙院・

一七・三九・七三・

堯空・亜槐拾遺郎)

一一八・二九〇

三田葆光(平葆光)

四一・四二・一九二

西行上人

二二二

斎藤彦麿(智明)

三三三

酒井忠固

二〇八

さ

し

庄屋儀平

二七〇

白河院

一三三

慈廣大僧都

二〇九

真綽

一三六

時斎

二〇八

心也

一一四

篠木信定

九五

柴田常昭

一三六・一三七

す

渋川興左衛門

三〇

随宜堂

二四

清水浜臣(浜臣・沼泊舎)

四六・五四・五八・五九・六一・六二・一三一・一五八・一六〇・一六一・二二二・二六五

鈴木朗(鈴木のあきら)

八二・九二

鈴木安覚

一八六

鈴木成夔

一九六

釈察

四九

鈴木直道

一六〇

沙弥源昌

九四

須原茂兵衛(須原屋茂兵衛)

一一・三六・六一・六二・一二三・二四八・二六四

沙門真空

二〇一

修二

二九六

須原屋伊八

三・三五・一六二

春子

一〇一

須原屋佐助

九五

松鶴菴芦風

二六九

須原屋新兵衛

三六・二一三

昌城

九五

せ

正純

三一

清少納言

一五四・一五五・一五六

青陽堂景山

二六九

世尊寺伊行

九六

錢屋七郎兵衛

二五四

錢屋庄兵衛

二五四

そ

増基

一三九

桑山亭(桑)

一〇〇

宗七

六一・六二

桑門無名子

二〇五

反町茂雄(月明荘・弘文荘)

五二・五四・一二六・

一二九・一九六・

二〇四・三二六

た

平兼盛

一四三

高木忠昌

一六九

高階楊順

一七六

高田宗賢

一七八

高橋久吉

三二二

竹井定興

二九二

竹内弥左衛門

一二五

(竹内南淵・恭通)

武田伝右衛門

一三〇

武田信堅

二六九

建部綾足

九・一〇

多田三郎

二四

多田義俊

二六八

橘成季

一九九・二〇〇・

二〇一・三二六

橘守部

三七・七七

龍彦

五六

田中大秀

三・一〇

田中權兵衛

一五八

谷岡七左衛門

四七・一一八・二二一

種村季挙

三二三

環弘業

一七〇

為実

一〇〇

為親卿

一〇〇

ち

親房

四三

千村仲雄

九二

長慶天皇

七六

鳥嘴庵

九〇

丁子屋平兵衛

三六・二二三

つ

都賀庭鐘

二五四

月屋升芳(月の屋主人升芳)

一四三

拓植知清

八〇

海石榴園

二二九

壺井安左衛門

二八〇

壺井義知

二八〇・二八一・三二五

(源義知・壺井鶴翁)

敦賀屋九兵衛

二六四

と

洞院公数

六九

徳川光圀

二九八

土佐光信

二二六

殿村常久

五九

土肥実雅

二七五

与清

一四六

富田元泰

七七

な

内藤撰津守	二二〇	中野小左衛門	四八・二〇九・二三七
内藤広前	八	中野道也	一四八
内藤廣前	二六六	中野半兵衛	二二・三八
内藤風虎	二二一	中野義接	二八五
中井積善	一一〇	中原廣明	八〇
長尾景寛	一六〇・一六一	中村秋香	六二・一一五
中尾幸三郎	八二	(不二のやのあるし)	
長尾平兵衛	一・二七	中村五兵衛	三一六
中川得楼	一二七	中村七兵衛	一七九
長塩親貞	二八一	中村文子	六一・六二
長島尉信	五三	中村光房	四六
長瀬俊香	三	中屋徳兵衛	二六三
永田長兵衛	一八〇	中山美石	九二
永田有翠	二二三	中山速男	二六九
中臣祐範	七三	那須資明	一九九
中院通勝(也足叟素然)	五・七四	奈良屋長兵衛	五三
		成章	二七三
		成島司直	九五

南部宗寿

一七九

野宮定基

二九一

に

西宮屋彌兵衛(西宮彌兵衛)

五七・三六・九四

梅山齋園部久伯

二七〇

西村市良右衛門

二五七

萩家毛登

二九・三〇

西村源七

六一・六二

萩原宗固

一四八

西村源六

三〇・二五七

橋本幸藏

一六二

二条為氏(為氏)

一四

長谷川藤良

一〇三

二条良基

二八五

畑井(はた井)正有

一四九

日徴

一六九

秦元寧

二三九

如儡子

二五〇

秦常則

二三八

ぬ

服栗齋

二八一

額田正三郎

六一・六二・二六四

服部菅雄

七七

の

英文藏

二二三

野田庄右衛門

二一五

英平吉

二二二

野田弥兵衛

二二三・二八五

埴家

五五・六四・九九・二二八

埴保巳一

三三四

羽根満主賀

一四九・一五〇・一五一

は

林義卿 二九七

林権兵衛 一七一

林東園(林厚德) 一九六

林道春 一七五

林文進 二九九

万松院等貴 一〇〇

伴資矩 九三

伴直方(伴直) 三四・一〇三・一一〇・

一三九・一四二・一九一・

二〇二・二八〇

伴直剛 二〇一

伴信友 二八三

ひ

垣子 五六

百姓伝次 二七〇

百華庵 二一八

平田篤胤 九四

広沢長孝 一三三

ふ

風月荘左衛門(風月庄左衛門) 九・一〇・九二・九四

風月宗智 一六

不遠斎(水田長隣) 一八三・一八四

深草元政 二〇七

伏義 二一〇

福田敬同 一七二・一八七

藤井高尚(藤原高尚) 三四・三六・八一

藤沢英規 八六

藤野九郎兵衛 二五

藤原敷淵 一七〇

藤原磯足 一二五

藤原行成(行成卿) 一一〇

藤原祐膺 二四七

藤原為家(為家卿) 一一六

藤原為定

一六七・一六八・
一六九・一七〇

藤原定家(定家・京極黃門)

四・五・九〇

藤原利一

六一

藤原成範

二一〇

藤原宇合(宇合)

二〇

藤原治之

九三

藤原雅世(雅世卿)

六八・一六七・一六八・
一六九・一七〇

藤原真道

一四八

藤原光英

一四二

藤原盛雄

八七・八八

藤原行定

二五二

藤原佳豊

一六七

藤原良房(忠仁公)

二〇

武帝

二一〇

古川三郎兵衛

二五二

へ

平兵衛

一八二

ほ

木岩処士

二八七

墨水萬里

一五〇・一六〇

細井貞雄

五七

細川幽齋(玄旨・細川玄旨)

一六・三九・七四

堀田正敦

八七

堀直格

二二一・二二五・
二三四・二四〇

本阿弥光悦(光悦)

二〇四

本多正信

一五

ま

前川虚舟

一〇

前川六左衛門

九四

前田(菅原)夏蔭	一四八・二〇九		
前田善子	一二六・一二九		
榎島昭武	一六六	美加乃舍	三一一・三二三
正冬	一七〇	三木親信(親信・安兵衛)	一一五・一一八
真澄	六一	水寫卜也	二九四
松浦竹四郎	三〇九	水野忠央	一一四・一五七・二六三
松岡平次郎(辰方)	二九五	三田村鳶魚	二四六
松局六窓	七六	光氏	一九二
松平定信	二六七	光長	二二九
松平頼寛	一九八	皆川庸郡	一〇〇
松永貞徳(長頭丸・明心居 士・貞徳・逍遙軒明心)	二三・三九・一八三・ 一八四・一八五	源朝臣	六九
松葉屋権左衛門	二八二	源正路(源朝臣)	一〇〇
松村九兵衛	三〇	源有長	六五
松本平助	九四	源兼勝	一六〇・三二五
松屋清兵衛(まつ屋せいひやうへ)	一四一	源貞憶	五八
松屋善兵衛	三	源丞相	八〇
間宮永好	三三四	源経信(経信)	一三
		源重信(重信)	一三

み

源道方 (道方)

一三

源道別 (信夫顯祖)

一一四

源躬弦

四六

源基とを

一六九

源義憲

二四

三村竹清

二四六

美毛比磨

六一

三好長慶 (長慶)

一六七・一六八・
一六九・一七〇

む

村上勘左衛門

七七

村上勘兵衛

七七

村田宗園

二二九

村田春海

六一・六二・

(平春海・村田・村田翁)

一一六・二四八

も

黙齋峻

二七一

本居大平

五九・九二・

一四五・一四六

本居宣長

一〇・七七・八一・九八・

一二五・一三六・一三七

本居内藤

一四五・二八八

基重

六九

森嘉基 (醉月園)

八二

や

屋代弘賢 (源弘賢・弘賢)

二二・三五・一〇〇・

一〇一・一一六

安田躬弦 (源躬弦)

四六

山岡元隣 (伴俊明)

五二・一八〇

山形豊寛 (彦左衛門)

二九六

山口藤兵衛

三〇三

山崎知雄 二二九

山崎弘泰 三

山城屋佐兵衛 二・三六・二二三

山城屋政吉 二二三

山本明清 二二四

山本のい 一〇〇

山本春正 六六

山本長兵衛 一三〇

山本平吉 三〇三

山屋治右衛門 一七六

ゆ

祐繁 七三

行長 二二九

よ

与阿 六九

横山由清 四五・二二二

慶純 二〇

吉田定俊 二八二

吉田四郎右衛門 三六・七七・九四

吉田四郎衛門 九二

良近式部 二〇

吉野屋仁兵衛 二

吉水僧正 二二九

四辻善成 六九

万屋太次右衛門 九四

万屋彦太郎 二七八

ら

樂前翁 一三〇

り

凉月園 二五六

れ

冷泉為相

五一

ろ

六條宮

六・七

六波羅二膺左衛門

一九七

わ

渡瀬

七六

渡部平

一六

黒川文庫目録 書名索引

書名 参考(奥書・識語等掲出書名) 番号

あ

葦手書の事 三九

飛鳥井大しやうそうし 狭衣中将物語 一四一

あまのかるも 一三三

雨夜物語だみことば 九一

天稚彦物語 二二八

怪世譚 二六二

鴉鷲物語 二三四

い

和泉式部物語 右中弁兼秀本 一五三

惟清抄 一七

伊勢物語 角倉本

伊勢物語 五

伊勢物語奥旨秘訣 題号口決・極秘裏説条目口決・極秘七箇大事 一三三

伊勢物語聞書 秘七箇大事 一八

伊勢物語古意 二九

伊勢物語考 三四

伊勢物語校本 三田蓑光稿本 四一

伊勢物語私抄 紹巴抄・浅田弓楨本 四二

伊勢物語七ヶ口訣 伊勢物語七ヶ口訣裏説 三九

伊勢物語拾穂抄 真道本 二五

伊勢物語拾穂抄 二六

伊勢物語拾穂抄 二七

伊勢物語拾穂抄 二七

伊勢物語拾穂抄 二七

伊勢物語集注	一九
伊勢物語抄	一五
伊勢物語新釈	三六
伊勢物語箋	三七
伊勢物語題号考	四〇
伊勢物語知顕集	一三
伊勢物語註土代	三八
伊勢物語童子問	二八
伊曾保物語	二四五
一本きく	二一五
田舎荘子	二五六
いはやのさうし	二一四
異本伊勢物語	一一二
今ものがたり	二〇二
色葉書目	三二七
岩清水物語	一三六
	真道校本

う

宇治拾遺物語

絵入本

一九三

宇治大納言物語

小世継物語

一九四

宇治大納言物語

空穂物語玉琴

一九五

薄雪物かたり

山岡俊明自筆校合書入本

二四六

空穂物語玉琴

伊曾保物語

五七

宇津保物語

うつほ物語

五二

うつほ物語

うつほ物語「たゝこそ」

五三

宇津保物語

宇都保物語年立

五四

うつほ物語「たゝこそ」

浦島物語

五六

宇津保物語「俊蔭」

雲上名目

五五

宇都保物語年立

禁中男女四季装束色目之事

五九

浦島物語

え

二二七

雲上名目

え

二八四

え

栄花物語

絵入版本

九九

か

河海抄

河院聖相公数御家本・室町殿局本

六九

可笑記

二五〇

首書絵入徒然草吟和抄

頭書徒然草絵抄

一八一

花鳥余情

七〇

桂中将

二六〇

仮名職原鈔

伴直方書入本

二八〇

鴨長明四季物語

一六九

鴨長明方丈記流水抄

一六六

かやくき物語

宇津保物かたり・樓の上

六〇

唐鏡

二一〇

唐物語

讀庫旧藏面行自筆本(校倉)

二一一

唐物語提要

二二二

歌林四季物語

鴨長明四季物語

一七一

官位便蒙

二八七

官位略抄

二八八

閑居友

藤原夏蔭書入本

二〇九

菅家御記録野輯

須磨記・多田義俊校本

二六八

冠注大和物語

四五

き

日本伊勢物語

日本伊勢物語新釈・建部綾足之校

九

訂本

日本伊勢物語考異

古事記伝

一〇

日本今昔物語語読法

岸本由豆流校合本

一九二

きりきりす物語

岸本由豆流校合本

二二三

近古史要

三一九

近古史要第二稿

三二〇

金石圖書目錄

金石目錄・地圖

三二九

く

熊野紀行

伴直方自筆校本

一三九

雲井雑談

二七三

雲隱六帖

九七

群書類従

春村書入本・夏蔭書入本・真頼書入

三二四

け

けいせい柏の大黒天

二七七

闕疑抄

一六

源氏彙言

八八

源氏彙事

八七

源氏外伝

大関括糞翁蔵本

八九

源氏小鏡

七五

源氏物語

無刊記本・加藤千藤自筆書入本

六七

源氏物語好聞抄

六四

源氏物語湖月抄

本居宣長本・富田元泰本（校合）

七七

源氏物語三ヶテ大事

三九

源氏物語忍草

九五

源氏物語玉の小櫛

八一

源氏物語提要

八五

源氏物語提要

八六

源氏論議

抄出本

六八

源氏和秘抄

抄出本

六八

源注拾遺

湖月抄

七八

源註余滴

八三

源註余滴目録

八四

こ

上野国豪族志

三〇〇

鼈頭増註重改職原鈔参考

伴信友校本

二八三

こうろき物語

二三一

古活字版源氏物語

元和活字本

六五

苔の衣

黒川春村書入本

一三四

苔の衣

黒川四冊本・穂久邇文庫本（近似）

一三五

小督物語

黒川真道自筆写本

一二二

古今著聞集

一九九

古今著聞集

二〇〇

古今著聞集

校合本

二〇一

古今著聞集

元禄写本

三二六

五種人丸

一八四

古代冠形

三一〇

古代枅之写

三二四

狭衣

古活年版

一一三

後水尾天皇勢語御講抄

二四

狭衣

古活年版・源道別校合本

一一四

今昔物語

昌平御座本・狩谷掖斎本・鈴木安
寛本(校合)

一八六

狭衣

中村秋香校本

一一五

今昔物語

寛本(校合)

一八七

狭衣

真頼書入本

一一六

今昔物語

寛本(校合)

一八八

狭衣系図

承応三年版

一一七

今昔物語

寛本(校合)

一八九

狭衣三ヶ大事口訣

承応三年版

一一八

今昔物語集部類

寛本(校合)

一九一

狭衣下紐

零本

一一九

今昔物語問答

寛本(校合)

一九〇

雑々拾遺

内藤廣前書入本

一二〇

今昔物語問答

寛本(校合)

一九〇

雑問答考

内藤廣前書入本

一二一

さ

西行物語

寛本(校合)

二二一

さるほうこ

猿法語

一二二

在五中将物語

寛本(校合)

二二九

参考伊勢物語

冠注伊勢

一二三

嵯峨野物語

寛本(校合)

二四一

し

嵯峨物語

寛本(校合)

二二八

四季物語

卷村本・歌林四季物語

一二四

さよころも

寛本(校合)

一一二

四季物語

卷村本・歌林四季物語

一二五

さよころも

寛本(校合)

一一〇

四季物語

卷村本・歌林四季物語

一二六

寺家雜筆至要抄	小杉樞郎氏藏本(書写)	三二二	職原鈔		二七九
四十二物譚考証	四十二のものあらしひ提要	二二四	職原鈔仮名註	春村與書及校合	二八一
紫女七論		九三	書籍目録		三二八
史籍集覽		三二七	白川侯今つれく		二六七
十訓抄	掖齋翁自筆本(書写)	一九七	神泉苑所伝 京都図	京都市東街図・内裏内部図	三〇四
十訓抄		一九八	新撰上野国志沿革図説		三〇一
しのびね物語		一三八	新著聞集		二二三
しみのすみか物語		二五五	人物変化録		二七五
沙石集		二〇六	す		
十番物あらしひ		二二五	水鳥記		三一六
貞觀政要格式目		二八六	硯破	硯破物語	二二〇
正三位物語	岩清水物語・帝國図書館本(謄写)	一三七	すみよし物語	契沖校本	一四七
精進魚類物語		二三五	すみよし物語	前田夏蔭校本・宗固本(比較)・真道本	一四八
小説精言		二七六	住吉物語	羽根満主賀校本	一四九
庄の浦仙女物語		二七〇	住吉物語	羽根満主賀校本	一五〇
紹巴抄	源氏物語抄	七一	住吉物語	羽根満主賀校本(影写)	一五一
正本伊勢物語	伊勢物語古意	一一			
諸御役人之次第		二九五			

すみれ草

源氏物語系図・年立

九四

せ

井蛙文談

田舎荘子後篇

二五七

勢語臆断

日本紀・万葉集・和名抄・契沖自筆之本(上木)

三一

勢語臆断

伊勢物語臆断

三三

勢語図抄

彦麿翁自筆原本

三三

清少納言校本

光厳院宸翰本(校倉)

一五九

清少納言図式

栗原柳庵自筆本

一六四

清少納言年立

栗原柳庵自筆本

一六五

清少納言万歳抄

清少納言枕草子抄

一五八

清少納言旁註

清少納言枕草子抄

一六三

清少納言枕草紙

清少納言枕草子抄

一五七

清石問答

源氏物語・湖月抄

二六五

清風抄

源氏物語・湖月抄

八〇

席上奇観垣根草

源氏物語・湖月抄

二五四

碩鼠漫筆

黒川春村自筆本

三二五

(石版蝦夷図)

世間胸算用

二七八

仙原抄

七六

撰集鈔

二〇三

撰集抄

嵯峨本・角倉本・光悦本

二〇四

撰集鈔

二〇五

浅略抄

源氏物語

七九

そ

雑々記

小杉樞郷氏藏本(書写)

三二三

俗語雑記それく艸

二五一

統史籍集覽

三一八

統世継問答

一〇五

袖のみかさ

岸本由豆伎自筆本

二四二

た

代官補任状

二九四

醍醐雑事記

小杉樞郷氏藏本(書写)

三二三

大納言物語			二二八
大日本四神図略			三〇三
萬津宮・長柄宮・長柄橋旧地考			三〇二
竹取翁物語解	真頼晋人本		三
たけとり物語	尊鎮法親王本・繪入竹取物語		一
たけまとの蛭	伊勢国古事集		二三八
たけ窓のほたる			二三九
手枕			九八
玉の小櫛補遺	源氏物語玉小櫛補遺		八二
玉松			五八
玉虫ものかたり	岸本由豆流校合本		二二二
丹鶴叢書			二六三
ち			
朝鮮官職考			二九九
長明四季物語			一六七
長明四季物語			一六八
つ			
月のいるさ	虫道行物語		一三三
月刈藻集			二四〇
つくし船	三位物語		二四八
堤中納言物語			一二四
徒然草諺解			一七九
徒然草	古活字版		一七三
徒然草			一七四
寂寥草一部諸系図并器物之図	徒然草直解本		一八二
徒然草句解			一七六
徒然草三箇之大事			一八三
徒然草三事口伝			一八五
徒然草大全	徒然草抄		一七八
徒然草文段抄			一七七
徒然三箇之大事			一八四
徒然野槌			一七五

て

増補 鉄槌 一八〇

と

東西蝦夷 山川 地理 取調図 三〇九

東照神君廟之図 三〇五

多武峯少将物語 一三二

多武峯少将物語考証 一九二

土佐日記付言 一二五

とりかへばや 一二八

とりかへばや 一二九

とりかへばや物語 一二六

とりかへばや物語 一二七

登利可遍婆也物語 一三〇

とりかへばや物語 一三一

村上真澄本(書写)
加藤磯足自筆本
浜臣本・写本

な

典侍装束一具雛形 三二三

なよ竹物語 鳴門中將・付いぬほし・伴直方自筆校本 一三九

に

日本紀の御局の考 伴直方自筆本 三四

女官服小形 三二二

ね

ねざめの記 承応二年版 一七二

の

野宮草紙 山崎武陵所藏摹本(謄写) 二二九

は

長谷雄卿物語 栗田口桂羽直起藏本(写) 二二九

八幡の本地

絵入本

一一三〇

簪木別注

雨夜談抄

九〇

浜千鳥

二五九

浜松中納言物語

一二三三

ひ

飛猿理

二六一

ひたち花かた

文正物語(異本)

一三三六

百寮訓要抄

中野義接校本

二八五

兵部卿物語

岸本由豆流稿本

一四〇

琵琶物語

中山連男筆写本

二六九

ふ

袋法師

二二九

藤の窟

二五八

藤袋草紙

真道自筆写本

二二六

へ

平仲物語

冷泉為相卿其跡本(書写)・静嘉堂

五一

弁惑増鏡

文庫蔵本

二六四

ほ

宝物集

絵入本・三卷本系

二〇七

堀江物語

七卷本系

二〇八

ま

枕草子

古活字版

一五四

枕草子

一五五

枕草紙

後光厳院展覧本(書写)

一五六

枕草子春曙抄

清少納言枕草子装束撮要抄(合綴)

一六〇

枕草子春曙抄

浜臣本・春村校本

一六一

枕草子春曙抄

清少納言枕草子装束撮要抄(合綴)

一六二

枕草紙抄

一〇三

枕草子装束抄

清少納言枕草紙装束撮要抄

三二五

増鏡問答

一〇五

松帆浦物語

二一六

松帆浦物語

影写本

二一七

松浦の宮

月屋升芳本

一四三

松浦の宮

春村校本

一四四

松浦宮物語

本居大平本

一四五

松浦宮物語考

帝國圖書館通本(書写)

一四六

真名伊勢物語

六

真名伊勢物語

七

真名伊勢物語

八

万石以上年表

栗原柳庵自筆原稿

三三一

み

明星抄

源氏物語

七二

明官古名考

二九七

岷江入楚

源氏物語

七四

め

明良帯録

二九六

も

孟津抄

普徳部藏中臣祐範自筆本(近似)

七三

尤のさうし

二四七

物語袋

岡吉胤自筆本・宇治拾遺物語

二七二

問疑答説

高橋久吉書写本

三二二

や

病草紙

二二九

山口記

二一

山口記

二二

やま路の露・系図

繪入源氏物語(無刊記小本)

九六

大和怪談録

二七四

大和物語

四三

大和物語

四四

大和物語系図 五〇

大和物語首書 四七
大和物語抄 大和物語抄

大和物語抄 四八

大和物語鈔 四九

大和物語直解 四六

大和物語別勘并追考 五〇

ゆ

有職懐中抄 二九二

有職懐中抄 二九三

有職問答書 二九一

よ

揚名考 二八九

揚名介之事 二九〇
魚書秘伝別抄・中国相国抄・揚名
問答

よしやあしや 三〇

世継物語 一九六
宇治大納言物語(対照・校正)

世継物語考 一〇三
栄花物語・大鏡

世継物語考 一〇五

夜のねさめ 一二二
松平文庫本(相似)

れ

礼儀類典 二九八

礼儀類典・水府秘庫之本 二九八

礼儀類典・博物館本 二九八

ろ

老猴以欲情身殞之弁 二七一
黒川真道筆写本

六人さんげ物語 二一九

わ

若草物語 一四二

和歌職原鈔 二八二

和歌知蹟集 一四

賴藏書
黑川真賴藏書

黑川真賴藏書

黑川真賴藏書

川真賴藏書

黑川真賴藏書

川真賴藏書

黑川真賴藏書

川真賴藏書

黑川真賴藏書

黑川

黑川真賴藏書

黑川